

土 木 学 会 認 定 C P D プ ロ グ ラ ム

# 土木学会 平成27年度全国大会 案内

Japan Society of Civil Engineers 2015 Annual Meeting

大会テーマ

## 地域とともに 確かな未来を築く土木技術 ～新たなる第一歩～

日時：平成27年9月16日（水）～18日（金）

会場：岡山大学津島キャンパス・岡山プラザホテル・岡山シティミュージアム

主催：公益社団法人 土木学会

全国大会情報

<http://www.jsce.or.jp/taikai2015/>

本付録の掲載情報は、2015年7月31日現在のものです。

掲載情報が変更になっている場合もございますので、ホームページもあわせてご確認ください。

QRコード



平成27年全国大会

平成27年度全国大会参加者へのアンケートご協力をお願い

<http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/102>

全国大会参加者へのサービス向上と運営の効率化のため、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

(2015年9月30日までに回答ください)

QRコード



# NIPPON KOEI



ささえる、つなげる、みんなでつくる。

世界の人々が、より豊かに、いきいきと、安心して暮らせる社会の実現を目指して、  
世の中の仕組みを支え、つなぐためのすべてを、私たちはこれからもつくり続けます。

知恵と技の集合体、私たちは日本工営です。

**日本工営株式会社**

<http://www.n-koei.co.jp/>



# 「土木学会全国大会案内」

日時：平成27年9月16日(水)～18日(金) 会場：岡山大学津島キャンパス・岡山プラザホテル・岡山シティミュージアム

大会テーマ「地域とともに確かな未来を築く土木技術 ～新たなる第一歩～」

## CONTENTS

### ◆挨拶・講師等のプロフィール

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 土木学会平成27年度全国大会を迎えて ..... | 3 |
| 基調講演会講師の紹介 .....         | 4 |
| 特別講演会講師の紹介 .....         | 5 |
| 全体討論会の趣旨と講師の紹介 .....     | 6 |

### ◆全国大会会場案内・大会行事

|                      |    |
|----------------------|----|
| 会場所在地 .....          | 8  |
| 岡山大学津島キャンパス会場図 ..... | 9  |
| スケジュール .....         | 10 |

### ◆行事案内

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| (1) 基調講演会 .....                          | 11 |
| (2) 特別講演会 .....                          | 11 |
| (3) 全体討論会 .....                          | 11 |
| (4) 第70回年次学術講演会 .....                    | 11 |
| (5) 研究討論会 .....                          | 12 |
| (6) 交流会 .....                            | 12 |
| (7) 中国支部特別企画 .....                       | 12 |
| (8) 国際関連行事 (International Program) ..... | 12 |
| (9) 映画会 .....                            | 14 |
| (10) パネル展示 .....                         | 15 |
| (11) 見学会 .....                           | 15 |
| (12) アンサンブルシヴィル演奏 .....                  | 16 |
| (13) 土木コレクション2015in岡山 .....              | 16 |
| 年次学術講演会講演要領—学術講演会での講演者へのご注意— .....       | 17 |
| 学術講演に関わる注意事項【重要】 .....                   | 18 |
| ウィルス対策について .....                         | 20 |
| 年次学術講演会優秀講演者表彰制度について .....               | 21 |

### ◆研究討論会等内容紹介

|               |    |
|---------------|----|
| 研究討論会一覧 ..... | 22 |
|---------------|----|

### ◆第70回年次学術講演会プログラム

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 第70回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表 ..... | 28 |
| 第I部門 .....                       | 30 |
| 第II部門 .....                      | 42 |
| 第III部門 .....                     | 46 |
| 第IV部門 .....                      | 55 |
| 第V部門 .....                       | 57 |
| 第VI部門 .....                      | 70 |
| 第VII部門 .....                     | 85 |
| 共通セッション .....                    | 88 |

## 挨拶・講師等のプロフィール

挨拶 土木学会平成 27 年度全国大会を迎えて

### 「地域とともに確かな未来を築く土木技術 ～新たなる第一歩～」



**丸山隆英** Takahide Maruyama  
全国大会実行委員長  
国土交通省 中国地方整備局長

平成27年度土木学会全国大会を、9月16日（水）から18日（金）までの3日間、岡山大学津島キャンパスを主会場として開催いたします。

岡山での全国大会の開催は初であり、中国地方での開催は2007年に広島大学で開催して以来8年ぶりとなります。土木学会は昨年創立100年を迎え、今年、新たな100年に向け一歩を踏み出しており、学会最大の行事である全国大会をこの地で開催できますことは、中国地方の社会資本整備を担う中国地方整備局といたしましても大変喜ばしく思います。

開催地である岡山市は、近畿と九州を結ぶ西日本の東西軸と日本海と太平洋をつなぐ南北軸の結節点に位置し、道路・鉄道・空路等の交通網が集中する中枢拠点機能を担っている人口約70万人の政令指定都市です。市域を旭川・吉井川の2つの「大川」が貫流し、水と緑あふれる豊かな自然環境と温暖で晴れの多い気候や自然災害の少なさが相まって、美しさと暮らしやすさを兼ね備えています。また、古代吉備国の時代から水陸交通の要衝として栄え、江戸時代前期には池田光政、池田綱政の二代の藩主に仕えた津田永忠による新田干拓、百間川の開削等の土木事業など、めざましい業績を遺し、現在の岡山市の基礎が築かれました。

昨年は全国各地で災害が多発した年でした。近年の雨の降り方の局地化・集中化・激甚化や地震・火山活動の活性化は、我が国の災害が新しいステージに入ったことを示唆しているように思われます。ソフトとハード両面の対策を組み合わせることにより、国民の命を守り、社会経済活動の壊滅

的な被害を回避していく必要があります。

中国地方でも、昨年8月の岩国土砂災害、広島豪雨災害、12月豪雪等、多くの災害が発生しました。特に広島豪雨災害では、土石流が山麓の住宅地を直撃、死者74名と甚大な被害が生じました。改めてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。土木学会では災害直後より地盤工学会と合同で「広島豪雨災害合同緊急調査団」を派遣し被災状況調査を行い、昨年10月には調査報告書を取りまとめ、会員及び一般市民の方を対象とした報告会を開催しました。

さて、人口減少対策が重要な政策課題となっており、政府全体で地方創生に向けた対策が推進されていることは皆様御承知のことと思います。その一環として国土交通省も、昨年7月に「国土のグランドデザイン2050」を策定し、今後の国土構築の理念として、各種都市機能を拠点にコンパクトにまとめ、これらをネットワークで結ぶことにより、質の高いサービスの提供と新たな価値創造を可能にするという、「コンパクト+ネットワーク」の考えを提示しています。

今後この理念を踏まえ、国土計画、広域地方計画等の見直しが行われていくこととなります。ともすれば、費用対効果分析に偏りがちだった社会資本整備の必要性の議論の中に、このような長期的・戦略的視点を加えていくことは大変意義あることと思います。

今大会のテーマは、「地域とともに確かな未来を築く土木技術～新たなる第一歩～」とさせていただきます。土木学



会はこれまで土木技術者の高い使命感により社会基盤の整備を通じて我が国の社会経済の発展に大きな役割を果たしてきました。一方で、現在我が国は、多様で頻発する災害、切迫する巨大地震の脅威だけでなく、人口減少社会の到来、インフラの老朽化など様々な課題に直面しており、安全安心で持続可能な社会を構築してゆくために、土木技術の果たすべき役割は引き続き大きいものと考えます。また、これらの課題には、市民の参画、市民との連携など地域との協働によって立ち向かっていくことが不可欠となっております。我々土木技術者は、次なる100年のスタートに立ち、「今、土木技術者がやるべきこと、できること」は何かを考え、次世代の子供たちに「強くしなやかで美しい国土」を引き継ぐために新たな第一歩を踏み出す必要があります。

全国大会は、学会として最大の行事であり、特別講演会、

年次学術講演会、研究討論会が基幹事業として位置づけられております。特別講演会では、岡山藩郡代津田永忠顕彰会会長の小嶋光信氏をお招きし、世界遺産登録を目指す津田永忠の事績である土木遺産についてご講演いただきます。全体討論会では、パネリストに他分野の方をお招きし、次なる100年を見据えた土木の役割について討議していただきます。また、特別企画では、「地域の安全・安心に向けた新たな第一歩～広島土砂災害を教訓に～」と題して、今後想定される災害への対策に関するメッセージを伝えたいと考えております。

多くの土木技術者が岡山の地に集い、市民とともに新たな第一歩を踏み出すべく、活発な交流が行われますことを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

## 基調講演会講師の紹介

9月17日(木) 13:30～14:20 岡山プラザホテル

### ■ 会長講演



第103代土木学会会長

**廣瀬 典昭** Noriaki Hirose

日本工営株式会社 代表取締役会長

#### 学会歴

1968年 4月 土木学会 入会  
1997年 6月 水理委員会 委員  
2003年 6月 水工学委員会 委員  
2007年 6月 コンサルタント委員会 委員長  
2008年 6月 理事  
2011年 6月 論説委員会 委員  
2015年 6月 会長

#### 学歴・職歴

1968年 3月 東京大学工学部土木工学科 卒業  
1968年 4月 日本工営株式会社 入社  
1974年 6月 米国スタンフォード大学大学院土木工学専攻修士課程 修了  
2008年 6月 日本工営株式会社 代表取締役社長  
2014年 9月 日本工営株式会社 代表取締役会長

### 講演題目：次代に繋ぐ土木技術者の「志」と「熱意」

昨年は土木学会の創立100周年にあたり、磯部前会長のリーダーシップのもと様々な記念事業が行われました。100周年宣言では、「あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く」ことを土木学会の目標とし、それを行動に移すための最初の一步としてJSCE2015が策定されました。

その背景には、現在我々を取り巻く社会・自然環境が、非

常に複雑で不透明な時代に入っているという認識があります。日本における人口減少・少子高齢化の確実な進行、我が国特有の地理的条件に起因する地震や火山活動、異常気象に伴う自然災害の激化・複合化、さらには老朽化するインフラの維持管理、更新・機能強化、これに加えて、原子力発電所事故による汚染の影響への対処や、エネルギー供給の見

直しなど、対応すべき課題が山積しており、国土と地方経営にかかわる大きな変革が必要となってきました。一方、情報通信技術や流通機能の強化によって世界の各地域との結びつきはより緊密になっています。このような時代の変化を踏まえて作られたJSCE2015を確実に実行していくことと共に、それを担うべき土木技術者の育成が重要です。

土木技術者は、産業界、官界、学界など、それぞれの立場で役割を果たしてきています。そして、その集合体である土木学会が主として担うべき役割は、(1) 学術研究・技術開発およびその現場への適用と、(2) 土木を担う人材を育てる教育、即ち、土木技術をもって社会に貢献しようとする「志」と「熱意」を持った人材の育成です。

これまでの本邦土木史ならびに土木学会の100年史を顧みると、今日の我々が享受している経済・生活水準は、先達の英知によって築き上げられた数々の社会インフラ資産の上に成り立っていることに気づかされます。この掛け替えのないレガシーを大切に引き継ぐと共に、次代が必要とする新たな社会基盤資産を創造していくことが土木技術者の責務です。時代の推移とともに自然環境や社会環境が変わり、その結果、社会のニーズや事業の進め方が変わることがあるとし

ても、土木技術を持って地域の人びとのために貢献しようとする土木技術者の基本姿勢は決して変わりません。これまでの土木史を形成してきた先達の生き方に、その手本を見出し、その技術への探求心や、事業遂行への「志」と「熱意」を学び、継承し、実践していくことは土木技術者として非常に大切なことです。

土木事業は多くの専門分野の集積で成り立ち、様々なバックグラウンドを有する利害関係者との合意形成を必要とするため、土木技術者にはより総合的な視野を持つことが求められます。これからは、個性ある地域を創出する事業や、途上国・新興国などへの我が国で蓄積してきた技術や知見による貢献がさらに求められますが、国内外を問わず、地域の人々との交わりを通じて事業を完遂するには、当然、その土地の歴史や文化と風土、価値観に関する理解が必要であり、それを踏まえた合理的な判断と、それを説明し相手の理解を得るコミュニケーション能力が必要です。どのような現場でも、たとえ言葉の違いがあったとしてもそれを乗り越え、自らの事業に対する「志」と「熱意」をもって、その力を発揮できる技術者を育てていくことが土木学会の使命であると考えます。

## 特別講演会講師の紹介

9月17日(木) 14:40 ~ 15:40 岡山プラザホテル

### ■ 特別講演



**小嶋 光信** Mitsunobu Kojima  
両備ホールディングス株式会社社長兼CEO  
岡山藩郡代津田永忠顕彰会会長

1968年慶應義塾大学経済学部を卒業後、(株)三井銀行(現・(株)三井住友銀行)勤務を経て、1973年両備運輸(株)(現・両備ホールディングス(株))常務取締役役に就任。以後、両備グループ各社の社長を歴任し、2011年両備ホールディングス(株)代表取締役会長兼CEOに就任。地方における公共交通の再建を積極的に手がけ、「地方交通の再生請負人」とも呼ばれる。著書に『日本一のローカル線をつ

くる一たま駅長に学ぶ公共交通再生』(学芸出版社、2012年)、『地方交通を救えー再生請負人・小嶋光信の処方箋』(交通新聞社、2014年)など。岡山大学元理事で、岡山藩郡代・津田永忠による農業土木遺産の業績を後世に伝えるための世界遺産登録をすすめる等、津田永忠の偉業を顕彰する会の代表も務める。

### 講演題目：土木工学と土木技術者の使命 —津田永忠の偉業と地方交通再生に学ぶ

両備グループは、1910年に設立された西大寺鐵道をルーツとし、現在では、運輸・観光、情報サービス、生活関連、文化活

動などの事業を展開する50社、年間売上高約1,300億円の企業グループに成長しています。両備グループの経営理念は「忠恕

（真心からの思いやり）」であり、行動規範の「知行合一（良いと思うことは必ず実行する）」は、江戸時代前期に岡山藩郡代として活躍し、後楽園、閑谷学校、百間川、倉田・幸島・沖新田などの整備を通じて「土木巧者」として知られる津田永忠の顕彰事業から示唆を得たものです。永忠は自身の行動原理を「治世とは民の苦しみを救うことごさる」と書き残していますが、公共性の高い事業に携わる企業経営者として、この言葉に強い共感を覚えています。両備グループでは、和歌山電鐵、中

国バス、井笠鉄道などの地方交通再建を手がけてきましたが、その根底には「交通機関を利用している地域住民という“民”を守りたい」という強い意志があります。土木工学は、英語で Civil Engineering（市民工学）と呼ばれ、文字通り「民を守る」ことを使命とする学問と技術です。2014年11月に創立100周年を迎えた土木学会が次なる100年を見据えるに当たり、改めて「民を守る」ことの意味を問い直したいと思います。

## 全体討論会の趣旨と講師の紹介

9月17日（木）16:00～17:40 岡山プラザホテル

### テーマ：地域とともに確かな未来を築く土木技術 ～新たなる第一歩～

## 討論内容

2014年11月24日に土木学会は創立100周年を迎えました。これまでの100年は、土木技術者の高い使命感により社会基盤の整備に貢献してきましたが、近年では急速に進む人口減少、局地的・集中化・激甚化する豪雨、切迫する巨大地震、インフラの老朽化など様々な課題に対し、持続可能な社会を築くための新たな対応が求められています。学会をはじめ個々の土木技術者においても、これからの100年に向けた新たなる第一歩を踏

み出す必要があると考えます。また、これらの課題には、地域との協働によって立ち向かっていくことが不可欠となっており、土木工学の原点であり不変の使命である「国民の生活を守ること」に立ち戻り、「今、土木がやるべきこと、できること」が何であるのかも求められています。次世代の子供たちに強くしなやかに美しい国土を引き継ぐという土木技術者のメッセージをどのように発信していくのかを、各分野で活躍されているパネリストと共に議論していきたいと考えます。

## ■ 全体討論会講師の紹介



【コーディネーター】

**阿部 宏史** Hirofumi Abe

岡山大学 理事・副学長、大学院環境生命科学研究科 教授、工学博士、土木学会フェロー会員  
1980年京都大学大学院工学研究科修士課程修了、1982年京都大学工学部助手、1988年岡山大学工学部助教授、1999年同環境理工学部教授、2007年～2011年同大学院環境学研究科長を経て、2011年4月より岡山大学理事・副学長、大学院環境生命科学研究科教授、現在に至る。専門は、都市・地域計画学、交通計画学、環境計画学。文部科学省日本ユネスコ国内委員会、国土交通省中国地方整備局事業評価監視委員会、岡山県事業評価監視委員会、岡山市都市計画審議会、倉敷市都市景観審議会などの委員を務める。



【パネリスト】

**池内 幸司** Koji Ikeuchi

国土交通省 技監、博士（工学）、土木学会正会員

1980年東京大学工学部卒業。1982年東京大学大学院工学系研究科修了。同年建設省（現・国土交通省）入省。2006年内閣府（防災担当）参事官、2009年河川局河川計画課長、2013年近畿地方整備局長、2014年水管理・国土保全局長などを経て、2015年7月より現職。この間、土砂災害防止法、水防法等の改正も担当。主な著書・論文『Floodplain Risk Management』（共著）（A.A.BALKEMA／ROTTERDAM、1998）、『河川計画論』（共著）（東京大学出版会、2004）、『日本における河川環境の保全・復元の取り組みと今後の課題』（応用生態工学、2003）、『大規模水害時の人的被害の想定と被害軽減方策の効果分析』（土木学会論文集、2013）など。



[パネリスト]

## 後藤 千恵 Chie Goto

NHK 解説委員

1988年早稲田大学政経学部政治学科卒業。同年NHK入局。福岡放送局を経て1993年東京・社会部記者。地方自治、公共事業、労働問題、格差・貧困問題などを担当。ニュース取材・リポートのほか、「NHKスペシャル」「クローズアップ現代」などの番組制作に携わる。2003年厚生労働省クラブキャップ。2006年解説委員。労働、福祉、社会保障、地域社会に関わるテーマ等を担当。「時論公論」「くらし☆解説」などの解説番組のほか、「解説スタジアム」「週刊ニュース深読み」「ハートネットTV」などの番組に出演。2013年6月よりNHK放送文化研究所 メディア研究部 副部長兼務。



[パネリスト]

## 須田 久美子 Kumiko Suda

鹿島建設株式会社 東京外環地中掘削準備事務所 所長、博士（工学）、土木学会フェロー会員  
茨城県出身。2児の母。中央大学理工学部土木工学科卒業後、1982年鹿島建設入社。研究部門でコンクリート構造の耐震性向上や長寿命化技術の研究開発に従事、2005年設計部門、2007年裏高尾橋工事現場の副所長、09年中央環状品川線五反田出入口工事現場の副所長、2014年から現職。「裏高尾橋」で日本コンクリート工学会作品賞。2009年にはウーマン・オブ・ザ・イヤー（日経ウーマン）に土木技術者として初めて選出された。「（一社）土木技術者女性の会」の人材育成担当運営委員として土木の魅力を一般にアピールし次世代育成の活動に力を入れている。



[パネリスト]

## 太田 昇 Noboru Oota

岡山県真庭市長

京都大学法学部卒業。1975年に京都府へ入庁し、財政課長、知事室長、総務部長等を経て、2010年から副知事を務めた後、2013年4月に真庭市長へ就任、現在に至る。真庭市の持続的発展のためには、地域資源を見出し、活用し、連携していくことが一つの方策であるという考えのもと、豊かな木質資源を活用したバイオマス発電やCLT（直交集成板）の普及など、里山真庭の多彩な地域資源を生かした戦略的取組に挑戦している。



[パネリスト]

## 桑子 敏雄 Toshio Kuwako

東京工業大学 大学院社会理工学研究科 教授、博士（文学）、土木学会正会員

1975年東京大学文学部哲学科卒業、同大学院人文科学研究科哲学専修課程博士課程修了。南山大学文学部助教授などを経て1989年東京工業大学工学部助教授、1996年同大学院社会理工学研究科教授。専門は、哲学・倫理学・社会的合意形成・プロジェクトマネジメント。著書多数、特に『環境の哲学—日本の思想を現代に活かす』（1999年、講談社）の出版を機に、国や地方自治体による様々な社会資本整備の社会的合意形成とプロジェクトマネジメントに携わる。2014年土木学会創立100周年記念事業「市民普請大賞」の創設に従事。



[パネリスト]

## 加藤 せい子 Seiko Kato

NPO法人吉備野工房ちみち 理事長

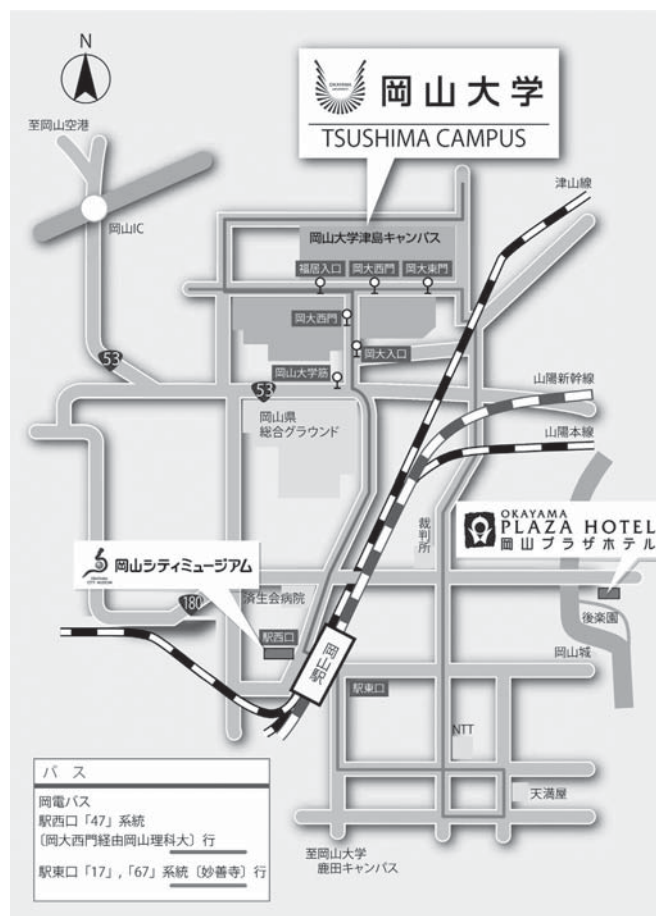
岡山県総社市在住。子育てをする中でPTAやボランティア活動などに取り組む。10年間のボランティア経験を活かし、2008年5月にNPO法人吉備野工房ちみちを設立し、まちづくりに関連する市民活動を支援している。その活動が認められ、2009年度に国土交通省中国地方整備局より夢街道ルネサンスの運営団体として認定を受ける。現在、内閣府地域活性化伝道師、総務省地域力創造アドバイザー、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属システムデザイン・マネジメント研究員、岡山県社会教育委員、倉敷芸術科学大学非常勤講師、中国短期大学非常勤講師を務める。



# 全国大会会場案内・大会行事

## ■ 会場所在地

- ・ 岡山大学津島キャンパス 〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1-1
- ・ 岡山プラザホテル 〒703-8256 岡山市中区浜二丁目3-12
- ・ 岡山シティミュージアム 〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1



### 岡山大学津島キャンパス

(第70回年次学術講演会・研究討論会・国際関連行事・映画会・パネル展示・中国支部特別企画会場)

#### ・ JR 岡山駅から

岡山駅西口バスターミナル22番乗り場から岡電バス「47」系統「岡山理科大学」行きで「岡大西門」にて下車

※所要時間約10分、200円

※岡山駅西口バスターミナル～岡山大学津島キャンパスの臨時直行バス（有料）も運行します。

#### ・ 岡山空港から

岡山空港ターミナルビル前バス乗り場から空港リムジン「岡山駅西口」行きで「岡山駅西口」にて下車後、上記の路線バスへ乗り換え。

※（岡山空港～岡山駅西口）所要時間約30分、760円

※空港リムジンバスのうち、ノンストップ便以外は、「岡山大学筋」バス停に停車します。（「岡山大学筋」から大学まで徒歩で約10分）

## 岡山プラザホテル (基調講演会・特別講演会・全体討論会・交流会会場)

・JR岡山駅から

岡山駅東口バスターミナル11番乗り場から宇野バス「東岡山」線で「浜(岡山プラザホテル前)」バス停にて下車

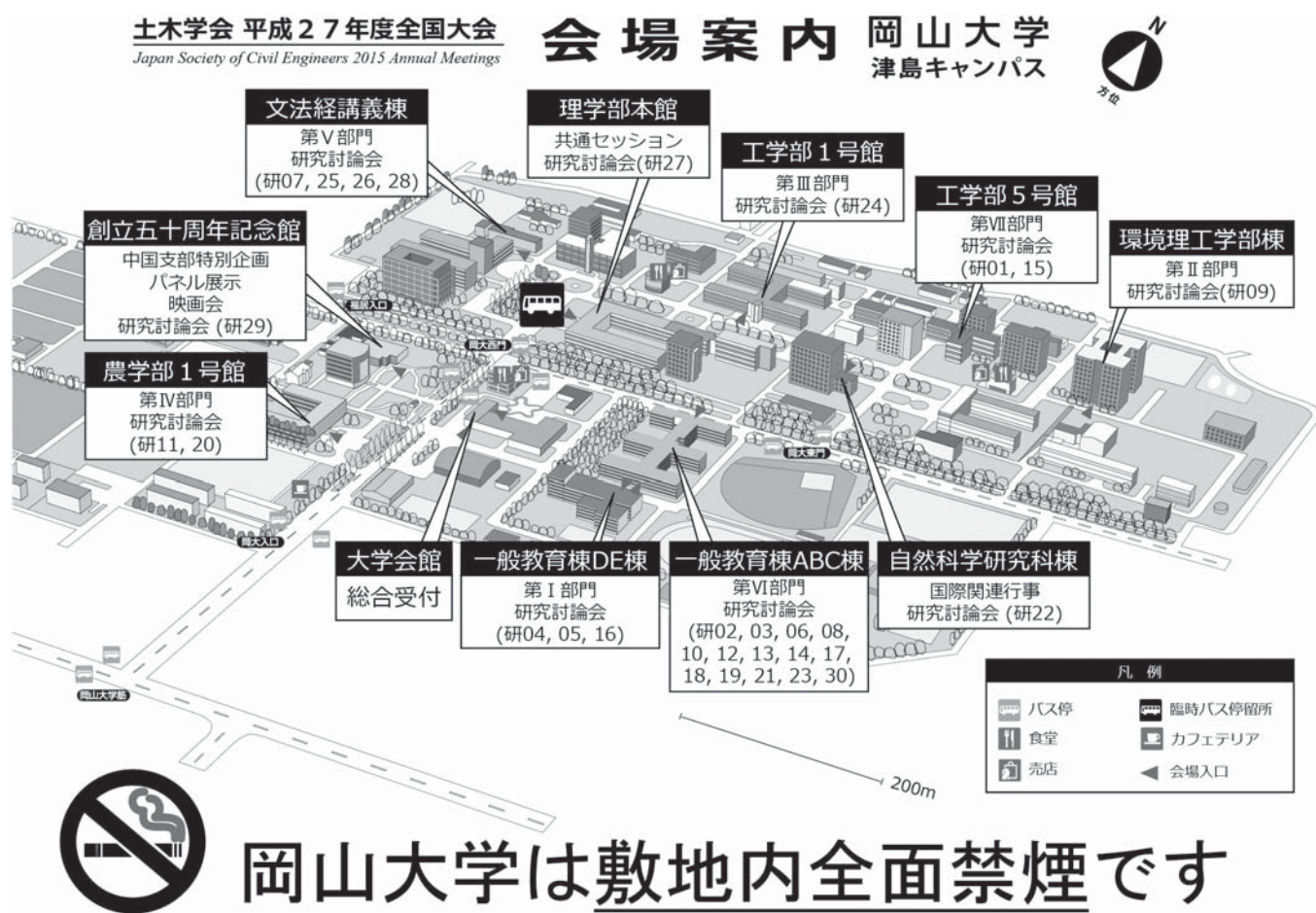
※所要時間 約10分、140円

※岡山大学津島キャンパスから無料シャトルバスを運行します。

## 岡山シティミュージアム (土木コレクション2015 in 岡山会場)

・JR岡山駅西口向かい

## ■岡山大学津島キャンパス会場図





## ■ スケジュール

|       | 第1日目 9月16日(水)              | 第2日目 9月17日(木)                          | 第3日目 9月18日(金)              |
|-------|----------------------------|----------------------------------------|----------------------------|
| 8:00  | 受付開始                       | 受付開始                                   | 受付開始                       |
| 9:00  | 9:00<br>年次学術講演会①<br>(80分)  | 9:00<br>年次学術講演会④<br>(80分)              | 9:00<br>年次学術講演会⑥<br>(80分)  |
| 10:00 | 10:20<br>休憩(20分)           | 10:20<br>休憩(20分)                       | 10:20<br>休憩(20分)           |
| 11:00 | 10:40<br>年次学術講演会②<br>(80分) | 10:40<br>年次学術講演会⑤<br>(80分)             | 10:40<br>年次学術講演会⑦<br>(80分) |
| 12:00 | 12:00                      | 12:00                                  | 12:00                      |
| 13:00 | 昼休憩(60分)                   | 昼休憩・移動(60分)                            | 昼休憩(60分)                   |
| 14:00 | 13:00<br>年次学術講演会③<br>(80分) | 13:00<br>アンサンブルシヴィル(30分)<br>【岡山ブラザホテル】 | 13:00<br>年次学術講演会⑧<br>(80分) |
| 15:00 | 14:20<br>休憩(20分)           | 13:30<br>基調講演会(50分)<br>【岡山ブラザホテル】      | 14:20<br>休憩(20分)           |
| 16:00 | 14:40<br>研究討論会①<br>(120分)  | 14:40<br>特別講演会(60分)<br>【岡山ブラザホテル】      | 14:40<br>年次学術講演会⑨<br>(80分) |
| 17:00 | 16:40                      | 15:40<br>休憩(20分)                       | 16:00<br>休憩(20分)           |
| 18:00 | 16:40                      | 16:00<br>全体討論会(100分)<br>【岡山ブラザホテル】     | 16:20<br>研究討論会②<br>(120分)  |
| 19:00 |                            | 17:40<br>休憩・移動(30分)                    |                            |
| 20:00 |                            | 18:10<br>交流会(120分)<br>【岡山ブラザホテル】       |                            |
|       |                            | 20:10                                  |                            |

土木コレクション2015 in 岡山【岡山シティミュージアム】  
 9月19日(土) 10:00~18:00  
 9月20日(日) 10:00~15:00

## ■ 行事案内

### (1) 基調講演会

9月17日(木) 13:30～14:20 岡山プラザホテル

会長講演「次代に繋ぐ土木技術者の『志』と『熱意』」

土木学会 会長 廣瀬典昭(日本工営株式会社代表取締役会長)

【会場】岡山プラザホテル 新館4階「鶴鳴の間」

【入場料】無料(一般参加可能)

### (2) 特別講演会

9月17日(木) 14:40～15:40 岡山プラザホテル

特別講演「土木工学と土木技術者の使命－津田永忠の偉業と地方交通再生に学ぶ」

両備ホールディングス株式会社社長兼CEO

岡山藩郡代津田永忠顕彰会会長 小嶋光信

【会場】岡山プラザホテル 新館4階「鶴鳴の間」

【入場料】無料(一般参加可能)

### (3) 全体討論会

9月17日(木) 16:00～17:40 岡山プラザホテル

テーマ「地域とともに確かな未来を築く土木技術 ～新たなる第一歩～」

・コーディネーター 阿部宏史 岡山大学理事・副学長

・パネリスト 池内幸司 国土交通省技監

後藤千恵 NHK解説委員

須田久美子 鹿島建設株式会社東京外環地中拡幅準備事務所所長

太田 昇 岡山県真庭市長

桑子敏雄 東京工業大学大学院社会理工学研究科教授

加藤せい子 NPO法人吉備野工房ちみち理事長

【会場】岡山プラザホテル 新館4階「鶴鳴の間」

【入場料】無料(一般参加可能)

### (4) 第70回年次学術講演会

9月16日(水)～18日(金) 岡山大学津島キャンパス

9月16日(水) ①9:00～10:20、②10:40～12:00、③13:00～14:20

9月17日(木) ④9:00～10:20、⑤10:40～12:00

9月18日(金) ⑥9:00～10:20、⑦10:40～12:00、⑧13:00～14:20、⑨14:40～16:00

## (5) 研究討論会

9月16日（水）、18日（金） 岡山大学津島キャンパス

①9月16日（水） 14:40 ～ 16:40

②9月18日（金） 16:20 ～ 18:20

## (6) 交流会

9月17日（木） 18:10 ～ 20:10 岡山プラザホテル

【会 場】岡山プラザホテル 新館5階「延養の間」

【参加費】事前申込み：（一般）6,000円、（学生）3,000円

当日申込み：（一般）7,000円、（学生）4,000円

※申し込みは、大会情報ホームページ（交流会）をご覧ください。

大会情報ホームページ（交流会）：<http://www.jsce.or.jp/taikai2015/sight/banquet.html>

## (7) 中国支部特別企画

9月16日（水） 10:00 ～ 12:00 岡山大学津島キャンパス

主催：中国支部

### 地域の安全・安心に向けた新たな第一歩～広島土砂災害を教訓に～

2014年の広島土砂災害では甚大な被害が発生しましたが、全国の土砂災害危険箇所は約53万箇所にもものぼります。多様で頻発する災害に加え人口減少社会の到来などを鑑みると、あらためて広島土砂災害を検証し、効果的な防災・減災に向けた取り組みを次世代に引き継ぐことが重要となります。ここで、広島土砂災害の報告書をまとめた中国支部を中心に、大会テーマの「地域とともに確かな未来を築く」ためのメッセージを伝えます。

【会 場】創立五十周年記念館 金光ホール

【入場料】無料（一般参加可能）

## (8) 国際関連行事 (International Program)

9月16日（水）～ 17日（木） 岡山大学津島キャンパス

Organizer：International Activities Center （主催：国際センター）

JSCE Annual Meeting International Program focuses on current issues and challenges facing the civil engineering profession. Please take this opportunity to meet and share ideas and opinions with engineering professionals from around the world.

国際関連行事として、期間中に英語、一部日本語による以下の行事を実施致します。

○ Venue : Okayama University, Tsushima Campus, Graduate School of Natural Science and Technology, Building No.1,  
Faculty of Science Main Building (会場：岡山大学津島キャンパス自然科学研究科棟、理学部本館)

#### 1. International Roundtable Meeting (国際ラウンドテーブルミーティング)

Topic : "Infrastructure in Big Data Era toward Realizing Sustainable Development"

「ビッグデータ時代の社会資本の整備—持続可能な開発の実現を目指して」

Date : September 16 (Wed)

Time : 13:30 - 17:00

Venue : Graduate School of Natural Science and Technology, Building No.1, 2F, Large Lecture and Large Conference Room (会場：自然科学研究科棟 2階 講義室兼大会議室)

#### 2. The 17th International Summer Symposium (第17回インターナショナルサマーシンポジウム)

Date : September 16 (Wed) -17(Thu)

Time : 9:00 - 12:00

Venue : Faculty of Science Main Building, Common Session room (会場：理学部本館, 共通セッション会場)

#### 3. International Workshop for Young Engineers (国際若手技術者ワークショップ)

Topic : "Why Did You Come to Japan?" -expectation, reality and future-

Date : September 16 (Wed)

Time : 13:30 - 17:30

Venue: Graduate School of Natural Science and Technology, Building No.1, 2F, Lecture Room 1 and Lecture Room 2 (会場：自然科学研究科棟 2階 第一講義室, 第二講義室)

#### 4. Special Discussion (特別討論会)

Topic : 「元留学生が語る、日本土木への注文」 ( "Messages to the Japanese civil engineering/construction industry from former international students who studied in Japan" )

Date : September 16 (Wed)

Time : 10:20 - 12:20

Venue : Graduate School of Natural Science and Technology, Building No.1, 2F, Large Lecture and Large Conference Room (会場：自然科学研究科棟 2階 講義室兼大会議室)

Language : Japanese

※日本語で行います。

For further details, please visit the JSCE website: <http://www.jsce-int.org>

詳細については、土木学会英文ホームページをご覧ください。



## (9) 映画会

9月16日(水)～18日(金) 岡山大学津島キャンパス

主催：土木技術映像委員会

### 【プログラム】

#### 9月16日(水) イブニングシアターファンが選んだベスト3

挨拶

13:05 ～ 富士山を測る (25分)

13:30 ～ 北越北線鍋立山トンネル工事―超膨張性地山との戦いの記録― (31分)

14:01 ～ 青函トンネル (47分)

14:48 ～ 佐久間ダム総集編 (96分)

16:34 終了

#### 9月17日(木) 岡山&本四架橋特集

挨拶

10:10 ～ より良いアクセスのために 川辺橋東詰交差点改良事業の記録 (24分)

10:34 ～ 地下岩盤に築く一倉敷国家石油ガス備蓄基地水封式地下岩盤貯槽建設の記録― (23分)

10:57 ～ 環境と景観―来島海峡大橋の建設― (30分)

11:27 ～ 本州四国連絡橋南北備讃瀬戸大橋7A長大橋の基礎を築く第三部 (37分)

12:04 終了

#### 9月18日(金) 北陸を祝って新幹線特集&海外プロジェクト

挨拶

10:10 ～ 輝くあおもり 東北新幹線八戸・青森間 (18分)

10:28 ～ 山陽新幹線岩鼻PCトラス (32分)

11:00 ～ 東北新幹線第2・第3阿武隈川橋りょう建設の記録 (28分)

11:28 ～ 黎明のキリマンジャロ ロアモシ農業開発工事の記録 (50分)

12:18 ～ 休憩

12:50 ～ 干ばつの大地に用水路を拓く―アフガン治水技術7年の記録 (72分)

14:02 ～ ボスポラス海峡横断鉄道トンネル―海底にわたる風― (33分)

14:35 ～ 「パッテンライ！！」 (90分)

16:05 終了

【会場】創立五十周年記念館 金光ホール

【入場料】無料(一般参加可能)

## (10) パネル展示

9月16日(水)～18日(金) 岡山大学津島キャンパス

中国地方で進められている各種のプロジェクトを紹介するパネル展示を行います。各地の課題に対して進められている対策・事業を一度に概観できます。また、特別講演でも触れられる江戸時代前期に岡山藩主の補佐役として土木事業を行い、藩の産業・生活の基盤造りに尽力した津田永忠に関する展示も行います。

【日 時】 9月16日(水) 9:00～16:40

9月17日(木) 9:00～12:00

9月18日(金) 9:00～16:00

【会 場】 創立五十周年記念館 大中小会議室

【入場料】 無料(一般参加可能)

## (11) 見学会

9月16日(水)、18日(金) 岡山大学津島キャンパスより出発

| コースNo. | コース名                          |     | 日 時                     | 参加費    | 定 員 |
|--------|-------------------------------|-----|-------------------------|--------|-----|
| ①      | 瀬戸中央自動車道「瀬戸大橋」<br>—吊橋主塔の塔頂体験— | 日程A | 9月16日(水)<br>13:00～16:40 | 2,000円 | 40名 |
|        |                               | 日程B | 9月18日(金)<br>9:00～13:00  | 2,000円 | 40名 |
| ②      | 高梁川の歴史探訪と水島港水島玉島地区臨港道路        |     | 9月16日(水)<br>13:00～16:40 | 2,000円 | 40名 |
| ③      | 百間川分流堰と河口水門                   |     | 9月18日(金)<br>9:00～13:00  | 2,000円 | 40名 |

お申し込み方法及び詳細な情報は、大会情報ホームページ(<http://www.jsce.or.jp/taikai2015/sight/seto.html>)をご覧ください。

スニーカー、長ズボン等動きやすく肌の露出の少ない服装でお越し下さい。

コース①については、以下の参加条件がございます。

＊対象者：次の条件を満たす方

- ・自己責任で2km歩行、高さ2mの垂直はしごの昇降および高さ20mの階段の昇降が問題なくできる方
- ・高所および閉所恐怖症、心臓病等の疾患のない方

＊日程A・Bとも、同じ経路となります。

＊強風等の影響により、ツアーを実施しないことがあります。

＊眼鏡、カメラ、ビデオカメラ、双眼鏡等、携帯電話、スマートフォンをご使用される方は、落下防止のため、必ず首から提げられる状態にしておいて下さい。

## (12) アンサンブルシヴィル演奏

9月17日(木) 13:00～13:30 岡山プラザホテル

主催：土木学会弦楽合奏団「アンサンブルシヴィル」

### 【曲 目】

モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K. 136

ブリテン：シンブル・シンフォニー Op. 4

バッハ：管弦楽組曲第3番BWV1068から「アリア」

【会 場】岡山プラザホテル 新館4階「鶴鳴の間」

【入場料】無料（一般参加可能）

## (13) 土木コレクション2015 in 岡山

9月16日(水)～20日(日) 岡山シティミュージアム

主催：土木の日実行委員会土木コレクション小委員会

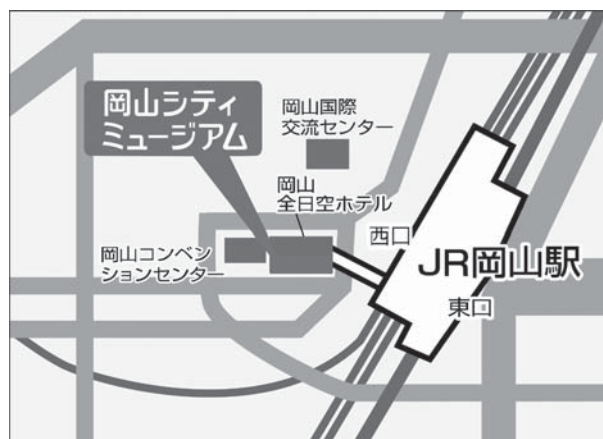
### 「HANDS + EYES」と「絵画・図面にみる近世・近代の岡山」

土木学会では土木の魅力や奥深さを一般市民の皆様にご実感して頂くことを目的に、2008年から土木構造物の貴重な歴史資料や図面、写真などをパネル展示する「土木コレクション」を開催しております。ポスト100周年の今年は、全国の代表的な「HANDS + EYES」パネルに加えて、近世から近代にかけて岡山でおこなわれた普請事業・土木事業に関わる設計図の原図やオリジナルの資料約50点も展示します。岡山駅に直結した岡山シティミュージアムでの展示ですので、講演会会場（岡山大学津島キャンパス）への行き帰りにお立ち寄り下さい。なお、全国大会終了後も2日間展示をしています。

【日 時】9月16日(水)～20日(日) 10:00～18:00（最終日は15:00まで）

【会 場】岡山シティミュージアム 4階企画展示室

【入場料】無料（一般参加可能）



会場位置図

## ■ 年次学術講演会講演要領 —学術講演会での講演者の方へのご注意—

- 1) 講演会の各セッションの運営は、そのセッションの座長に一任されています。
- 2) 座長と講演者の打合せをセッション開始直前にその会場で行います。その際、座長より、発表順、発表時間、討論時間などについて指示がありますので、これを遵守して下さい。
- 3) **発表時間は原則として、登壇も含めて9分**です。9分以内に発表が完了できるように、準備をお願い致します。なお、第1鈴を7分で、第2鈴を9分で鳴らします。
- 4) 発表に際しては、液晶プロジェクターを使用します。パソコンの操作は、講演者自身をお願い致します（会場担当係では対応しかねますのでご了承下さい）。
- 5) パソコンは、**講演者各自のパソコンまたは講演会場備え付けのWindowsPC**を用いて下さい。
- 6) 発表セッションの10分前までにご自身の発表される会場に、発表に用いるパソコンまたは発表データをご持参下さい。遅れると発表できない場合がございます。
- 7) 講演者の方は会場前方の席にて待機して下さい。
- 8) ファイルの立ち上げ操作は、講演者でお願いします。ディスプレイ切替器の操作は、会場担当係が行います。
- 9) トラブルにより発表順が変更になる場合もありますのでご了承下さい。
- 10) 講演中にファイルが動かなくなった場合でも、必ず規定時間内に講演を終了して下さい。

### Note for Presenters

- 1) The chairperson is responsible for conducting the session.
- 2) A preliminary meeting is to be held right before the session, where the sequence and time limit of presentation and discussion time are fixed by the chairperson. Presenters should follow the chairperson's instruction.
- 3) Each session is 80 min long including up to 7 presentations. A presentation should be finished within 9 min. Two bells ring at 7 and 9 min, respectively, for notice.
- 4) The presenter uses a LCD projector installed at each session room, and operates the PC by oneself. Note that the session staff does not support the PC operation for presentation.
- 5) Presenters can use their own PC or a preinstalled Windows PC.
- 6) Please come to the session room with your PC and presentation files 10 min before opening the session. Your presentation may be cancelled if you were late.
- 7) Please take a seat near the stage and be ready for the presentation.
- 8) A presenter should start a presentation file by oneself. An RGB switcher is operated by a staff.
- 9) A presentation sequence could be changed in case of unexpected troubles.
- 10) Please finish the presentation within the time limit even if the PC hangs up or freezes.

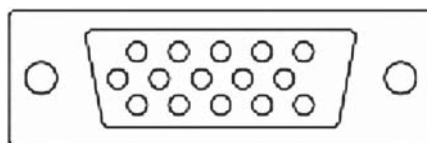
## ■ 学術講演に関わる注意事項【重要】

### 1. 発表方法

発表には、講演会場に設置されたプロジェクターを用いて、講演者各自のパソコンまたは講演会場に備え付けのWindowsPCにより行って下さい。OHPによる発表はできません。指示棒およびレーザーポインターは準備致します。

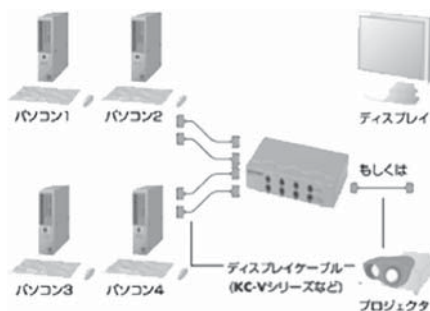
### 2. 講演者各自のパソコンによる発表について

1) 発表会場のプロジェクターとは、切替器（サンワサプライ SW-EV4）を介して講演者各自のパソコンを接続します。切替器からは、下図に示すミニD-sub15pin（HD15pin）オス端子付ケーブルが出ており、これを各自のパソコンに接続します。



ミニD-sub15pin（HD15pin）オス端子

- 2) 上図に示す端子以外のパソコンの方は、変換アダプタ等をご用意下さい。
- 3) 動作確認等のチェック用の試写室は設けていません。講演の妨げにならない時間帯で、発表される会場でご確認下さい。
- 4) 発表セッション開始10分前に会場に集合し、会場担当係にパソコン接続ならびに投影の直前チェックを受けて下さい。
- 5) 進行をスムーズに行うために、切替器には、講演者と次講演者の2つのパソコンを常時接続し、順次切り替えおよび接続の更新を行います。
- 6) 次講演者は、必ず次講演者席で、発表用PCの電源等を確認し、発表に備えて下さい。その他の講演者の方も会場担当係の指示に従い、指定された席で待機して下さい。
- 7) 不測のトラブルが発生した場合に備えて、発表用データファイルをUSBメモリまたはCD-Rに保存してご持参下さい。メディアは、必ずウィルス等に感染していないことを確認しておいて下さい。





### 3. 講演会場備え付けのパソコンによる発表について

- 1) 講演会場備え付けのパソコンには、PowerPoint2013と Adobe Reader Xをインストールしてご用意致します。OSは、Windows7 Professional (64ビット) です。
- 2) 発表用データファイルをUSBメモリもしくはCD-R (ファイナライズされたもの) に保存しご持参下さい。それ以外のメディアはご利用頂けません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施して頂くようお願い致します。
- 3) サイズは20MB以下を目安とし、これを超える場合も100MB以下を遵守して下さい。
- 4) 発表用データファイルの名前は演題番号として下さい。(例えばII部門の演題番号138の場合は、II-138.pptxとなります)
- 5) 動画アプリケーションデータの再生は、Windows Media Playerのみが使用可能です。
- 6) フォントは標準装備されているものをお使い下さい。(MS明朝、MSゴシック、MSP明朝、MSPゴシック、Times New Roman、Century、Arial など)
- 7) ファイルの動作確認等のチェック用の試写室は設けていません。講演の妨げにならない時間帯で、発表される会場でご確認下さい。
- 8) 発表セッションの10分前までに、ご自身の発表される会場に、発表用データファイルをご持参下さい。遅れると発表できない場合がございます。
- 9) 会場に備え付けのパソコンにコピーされた発表用データファイルは、発表終了後、会場担当係が責任を持って削除致します。

#### Note for oral presentations

##### 1. Methods

Presenters can use a LCD projector and a preinstalled Windows PC in the session room. Presenter's own PC can also be used for presentation. Pointing stick and laser are prepared. Overhead projector is not prepared.

##### 2. For the presenters using their own PC

- 1) A presenter's PC is connected to the room LCD projector via a switching device (SW-EV4; Sanwa Supply) by using a cable with male VGA connector (D-sub 15 pin).
- 2) If no D-sub 15 pin port is installed on your PC, bring a conversion cable by yourself.
- 3) No room is prepared for checking PC or presentation files (ppt, pptx, pdf files etc.) Presenters can check them in a session room for your presentation while no one is disturbed.
- 4) Arrive 10 min before the session and check PC connection and operation with the session staff.
- 5) In order to make a steady progress, PCs of present and next presenters are simultaneously connected to the switching device.
- 6) The next presenter should make sure all of the PC and be ready for the presentation at the next speaker's seat. The other presenters would be ready at presenter's seats.
- 7) Please back up the presentation file to USB memory stick or CD-R and bring them against unexpected troubles. Keep files secured and virus free.

##### 3. For the presenters using the room PC

- 1) You would be asked to make presentation using PowerPoint 2013 or AdobeReader X on the Windows PC provided at the session room. You would be asked to bring ppt or pptx file together with pdf file for your presentation if you prepare the presentation file on a Macintosh PC.

- 2) Please bring your presentation file on USB memory stick. Install your presentation file into the room PC before your session. A staff member helps you to install your presentation file on the PC. You are also kindly asked to do virus check of your media in advance.
- 3) The size of your presentation file is preferably less than 20 MB and must be less than 100 MB.
- 4) The file name should be the assigned presentation number as below: presentation number.ppt , presentation number.pptx , or presentation number.pdf (For example, II138.ppt , II138.pptx , or II 138.pdf if your presentation number is 138 in the Division II.)
- 5) In case you use a motion picture, it should be playable on Media Player.
- 6) You are asked to use the fonts installed as standard fonts; namely MS Mincho, MS P Mincho, MS P Gothic, Times New Roman and Century.
- 7) No room is prepared for checking presentation files (ppt, pptx, pdf files, motion picture etc.) Check your files in your session room while no one is disturbed.
- 8) Bring all the presentation files to your session room 10 minutes before your session will start. Your presentation may be cancelled if you were late.
- 9) After your presentation, the person in charge will delete your presentation data from the room PC.

---

## ■ ウィルス対策について

---

会場内に設置した全てのPCにウィルス対策ソフトをインストールしていますが、ウィルス感染に関する責任は学会として負いかねます。各自の責任で会場内のPCをご利用下さい。また、発表の際に使用したメディアは、お持ち帰りの後、ご自身のPCに接続する前に再度ウィルスチェックをして頂くようお願い致します。

### Measures for computer virus

Anti-virus software will be installed in every computer in the session rooms. However, JSCE would not take responsibility to any trouble with computer virus brought by any presenter. Therefore, every presenter is required to take proper anti-virus measure for your presentation file in advance. The presenter is suggested to check once again the media (USB memory stick), connected to the computer at the session room, when the presenter will use it later.

## ■ 年次学術講演会優秀講演者表彰制度について

全国大会委員会

全国大会年次学術講演会の発表者を対象に「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」を実施しております。

この「表彰規定」は、将来の土木界を担っていく若手の研究者および技術者の論文内容や講演技術が向上し、さらに全国大会が活性化することを目的とし定めたものです。

今回講演される若手研究者、技術者の方々のご健闘を期待致します。

### 土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰規定

この規定は土木学会全国大会における研究発表の表彰に関する取り扱いについて定めたものである。

#### 1. 表彰の目的

土木学会全国大会で優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰し、

- ①論文内容、講演技術の向上に寄与する。
- ②若手研究者、技術者の参加意欲の向上を図る。
- ③全国大会全体の活性化に貢献する。

などを目的とする。

#### 2. 名称

この表彰の名称は「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」とする。

#### 3. 対象者

- ・全国大会で実際に講演を行う個人会員の中で、40歳以下の研究者、技術者を対象に、論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れたものに与える。
- ・講演予定者と講演者が一致しない場合は、審査の対象外とする。
- ・ポスターセッションは対象外とする。

#### 4. 選出方法

- ・各セッションの座長（司会者）は、対象者の講演を「土木学会年次学術講演会優秀講演者採点表記入上の留意事項」に基づき採点し、合計得点最上位者1名を推薦する。
- ・本部事務局（全国大会実行委員会事務局）にて、部門ごとに各セッションからの被推薦者の合計得点を集計する。その中から、各部門セッション数の2分の1の人数となる合計得点の上位者を、優秀講演者として選出する。なお、ボーダーラインにある合計得点数が同じ被推薦者を全て含めた場合に、各部門セッション数の2分の1の人数を超えるときには、合計得点が同じ被推薦者の中から年齢の若い順番に選出し、2分の1を超えない人数に調整する。

#### 5. 表彰

- ・土木学会全国大会報告号において氏名を発表する。
- ・後日、個人あてに表彰状を送付する。
- ・表彰は全国大会実行委員会講演部会長と全国大会委員会委員長の連名で行う。

#### 6. その他

- ・この規定は、1995年度全国大会から施行する。
- ・本規定は必要に応じて全国大会委員会において見直す。

附則（平成7年3月24日理事会了承）

（平成8年6月18日一部改正）

# 研究討論会等内容紹介

## 研究討論会一覧(岡山大学津島キャンパス)

日時:平成27年9月16日(水)、18日(金)

| 日時／会場                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 題 目                                                                                                                                                                        | 座長および話題提供者                                                                  |                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【研11】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>農学部<br>第4講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 「市民参加型防災まちづくりハンドブック」からの展開<br><br>コンサルタント委員会市民合意形成小委員会<br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/kenc/SubGoui.html">http://www.jsce.or.jp/committee/kenc/SubGoui.html</a> | 座 長 上野俊司<br>話題提供者 森本章倫<br>三村 聡<br><br>大曾根正一<br>和田陽介<br>伊藤将司                 | 国際航業株式会社 副社長執行役員<br>早稲田大学理工学術院 社会環境工学科 教授<br>岡山大学大学院社会文化科学研究科教授・地域総合研究センター副センター長<br>株式会社サンコーコンサルタント<br>株式会社千代田コンサルタント<br>株式会社福山コンサルタント                          |
| 本委員会では、これまで活動してきた市民合意形成に関する研究成果を活かしながら、昨年度までに市民参加型防災まちづくりの必要性、事業別の市民合意形成手法や地域防災力の向上などについて検討し、ハンドブックの骨子を取りまとめた。本年度は、昨年度の本討論会の議論も参考に、さらに事例集を加えて「市民参加型防災まちづくりハンドブック」を作成した。<br>本討論会では、このハンドブックでの提案をもとに、防災まちづくりを進めていく上での市民力を活かした新たな地域づくりのしくみと、合意形成の専門家の必要性を探ってみたい。                                                                                                |                                                                                                                                                                            |                                                                             |                                                                                                                                                                 |
| 【研15】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>工学部5号館<br>第15講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 東北地方太平洋沖地震津波を踏まえた津波評価技術<br><br>原子力土木委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/ceofnp/">http://committees.jsce.or.jp/ceofnp/</a>                                         | 座 長 丸山久一<br>主旨説明 高橋智幸<br>話題提供者 平田賢治<br>佐藤慎司<br>糸井達哉<br>松山昌史<br>木場正信<br>藤井直樹 | 長岡技術科学大学:原子力土木委員会委員長<br>関西大学:津波評価小委員会委員長<br>防災科学技術研究所／地震学<br>東京大学／海岸工学<br>東京大学／地震工学<br>一般財団法人電力中央研究所／津波評価小委員会幹事長<br>エンクロープコンサルタント／津波評価小委員会幹事<br>東電設計／津波評価小委員会幹事 |
| 東北地方太平洋沖地震とそれによる巨大津波は未曾有の大災害となった。この巨大津波は福島第一原子力発電所の事故の主要因と言われている。このような巨大津波災害を踏まえて、原子力発電所の安全性向上において必要な津波評価技術とはどうあるべきであろうか。<br>原子力土木委員会津波評価小委員会は、2002年に「原子力発電所の津波評価技術」を技術書として取りまとめた。今回、東日本大震災の教訓を踏まえた上で、これまでの成果を加えて、この技術書の改訂版(案)を作成した。本討論会では、改訂版(案)の概要を報告し、その方向性について議論する。                                                                                      |                                                                                                                                                                            |                                                                             |                                                                                                                                                                 |
| 【研18】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>A36講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 地下空間における災害時のリスク軽減と空間活用<br><br>地下空間研究委員会<br><a href="http://www.jsce-ousr.org/">http://www.jsce-ousr.org/</a>                                                               | 座 長 工藤康博<br>話題提供者 松井直人<br>西田幸夫<br>石垣泰輔<br>粕谷太郎                              | 地下空間研究委員会<br>三菱地所(株)顧問 元国土交通省大臣官房技術審議官<br>埼玉大学特任准教授<br>関西大学教授<br>都市地下空間活用研究会主任研究員                                                                               |
| 異常気象の頻発、大地震発生予測などがなされる中、都市圏や地方中核都市ではこれらの災害による大規模な被害が想定されている。これらの都市では、地下空間が地上も含めて複雑にかつ高度にネットワーク化されており、常時には非常に利便性の高いインフラとなっている一方で、災害時には数多くのリスクを抱える空間となり得ることも事実である。これらのリスクを洗い出し、問題点、対応策などを検討し、リスクの軽減、回避をハード、ソフト両面で行うことにより、災害時における地下空間の効果的活用が可能となると考えられる。<br>討論会では地下空間の防災・減災、避難、利活用について、防災システム、人間行動心理、啓蒙、エリアマネジメント、空間計画・保守等の多くの側面から幅広く意見交換したいと考えている。             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |                                                                                                                                                                 |
| 【研23】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>A35講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 災害に対する強靱な社会づくりとそれを支える安全教育<br><br>安全問題研究委員会<br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/csp/csp1.htm">http://www.jsce.or.jp/committee/csp/csp1.htm</a>                      | 座 長 白木 渡<br>話題提供者 須藤英明<br>橋本隆雄<br>長沢 護<br>猪熊敬三<br>指田朝久<br>柄谷友香              | 香川大学<br>鹿島建設<br>千代田コンサルタント<br>長大<br>国土交通省四国地方整備局<br>東京海上日動リスクコンサルティング株式会社<br>名城大学                                                                               |
| 安全・安心・安定した社会のためには、地域住民はもとより、我が国の将来を担う子供たちに、万一の災害に備えて自分の身はまず自分で守り(自助)、自分を取り巻く家庭・学校・職場等が安全で安心かつ安定した生活の場として継続できる基盤づくりの大切さを知ってもらい(共助・公助)、さらに、自分たちが何をすべきか(権利・義務・責任)を考えて行動できる力を体得してもらうことが重要かつ必要である。当討論会は、こうした観点から、全国各地域に暮らす人々が、自分を取り巻く家庭・学校・職場等が万一の災害に直面しても損失を最小限に抑え、生活の場を復旧復興そして継続していくための基盤整備(ハード・ソフト・人材育成)に関する情報を共有し議論する場としたい。                                   |                                                                                                                                                                            |                                                                             |                                                                                                                                                                 |
| 【研22】<br>9月16日(水)<br>10:00-12:00<br>自然科学研究科棟講義室兼<br>大会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 国際センター主催 特別討論会 「元留学生在語る、日本土木への注文」<br><br>国際センター<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/kokusai/">http://committees.jsce.or.jp/kokusai/</a>                               | 座 長 大内雅博<br>話題提供者 未定                                                        | 高知工科大学・教授／国際センター 交流グループ台湾グループリーダー<br>日本での留学または勤務経験のある、土木学会海外分会のメンバー5名(台湾、韓国、モンゴル、ベトナム、インドネシア)                                                                   |
| 日本での留学または勤務経験があり現在は母国で土木を主導する任にある5名の方から、日本の土木に対して忌憚なく注文を述べてもらいます。日本土木の国際化が求められている中、日本に所縁があり母国で相応の地位にある方の意見は何物にも代えがたい貴重なものです。本研究討論会では最初に5名の方から話題提供を頂きます。海外への事業展開はもちろんのこと、国内業務の発展にも有意義な、海外からの日本土木への視点を明らかにします。そして、日本の強みと弱みを理解した上で、各国の発展に日本の土木技術を活かしてもらうため、何をすべきかについて会場の皆様で議論します。<br>尚、本討論会を、国際センター主催の特別討論会として位置付け、今後も土木学会の国際活動の推進の一助となるようなテーマの討論会の実施を検討しております。 |                                                                                                                                                                            |                                                                             |                                                                                                                                                                 |



| 日時／会場                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 題 目                                                                                                                                                                                                          | 座 長 および 話題提供者                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【研04】</b><br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>E11講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <b>橋の耐震設計のゆくえー機能性・経済性・安全性のバランスと役割ー</b><br><br>地震工学委員会 性能に基づく橋梁等構造物の耐震設計法に関する研究小委員会・東日本大震災による橋梁等の被害分析小委員会(による共同企画)<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/eec204/">http://committees.jsce.or.jp/eec204/</a> | 座 長 幸左賢二 九州工業大学<br>話題提供者 秋山充良 早稲田大学<br>小野 潔 早稲田大学<br>庄司 学 筑波大学<br>高橋良和 京都大学<br>星隈順一 国立研究開発法人土木研究所構造物メンテナンス研究センター<br>室野剛隆 公益財団法人鉄道総合技術研究所鉄道地震工学研究センター |
| 兵庫県南部地震後には、技術的に生じ得る被害の可能性を洗い出し出来る限りの対応をしていくことが技術者個人や組織の技術力であることや、地盤・基礎構造・橋脚構造・支承構造・上部構造からなる橋全体で見えていく必要があることなど、橋の耐震設計のあり方が議論された。あれから20年、東日本大震災を契機に、インフラストラクチャーの耐震設計には、想像を働かせどのような被害が生じるかを考えるとともに設計で決めた安全が満たされなくなった時への対応が求められるようになった。老朽化した社会資本としての橋の耐震補強設計、甚大な被害を経験したわが国の橋の耐震設計の国際競争力など、橋の耐震設計のゆくえーについて討議したい。                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                      |
| <b>【研05】</b><br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>E21講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <b>V&amp;Vのススメ：土木分野における数値解析の課題</b><br><br>応用力学委員会 土木分野の数値解析におけるV&Vに関する小委員会<br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/amc/subcommittee.html">http://www.jsce.or.jp/committee/amc/subcommittee.html</a>      | 座 長 渦岡良介 徳島大学<br>話題提供者 渦岡良介 徳島大学<br>櫻井英行 清水建設<br>山田貴博 横浜国立大学<br>本城勇介 岐阜大学                                                                            |
| ものづくりの実務における数値解析の役割の急速な拡大に伴い、近年、その信頼性を評価するための方法論として、V&V(Verification & Validation)が注目されている。対象とする問題に対して、解析コードやプロセスが十分に検証されているのか(Verification)、工学的に妥当な解析結果が得られているのか(Validation)の観点で評価する。<br>本小委員会では、先行している欧米や日本の他学会の取り組み・成果を参照しつつ、土木分野における数値解析のV&Vの考え方やプロセスをまとめることを目指して活動しており、昨年度の討論会ではV&Vの概要と動向、並びに、土木分野の実状を紹介した。今年度は、本小委員会のこれまでの活動内容やASME(米国機械学会)ガイドライン等の既往の考え方の紹介、および、土木分野特有の問題の一つである大きなバラツキに関する話題提供を通じて、土木分野における数値解析のV&Vの課題と方向性について議論したい。 |                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                      |
| <b>【研06】</b><br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>A21講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <b>我が国の橋梁の維持・管理を考えるー現状と問題点、将来展望ー</b><br><br>構造工学委員会<br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/struct/framepage2.htm">http://www.jsce.or.jp/committee/struct/framepage2.htm</a>                             | 座 長 睦好宏史 埼玉大学<br>話題提供者 岩城一郎 日本大学<br>玉越隆史 国交省国土技術政策総合研究所<br>藤山卓也 山口県土木建築部道路整備課<br>本間淳史 東日本高速道路(株)<br>細江育男 大日コンサルタント(株)                                |
| 平成20年に構造工学委員会主催で、「我が国の橋梁の維持・管理を考えるーその現状分析と将来展望ー」が開催された。その後7年が経過し、橋梁のインフラのあり方、その重要性、国の施策などは大きく変わってきている。国では、昨年度をメンテナンス元年と位置づけ、道路交通法の改正、インフラ長寿化基本計画の策定などが行われている。道路橋を例にとると、約70万橋のうち、その7割を地方自治体が管理しており、財源不足、専門知識を備えた技術者の不足等の多くの問題を抱えている。本研究討論会では、鋼、コンクリート、複合構造を含めた道路橋の長寿化に向けた維持・管理について最近の動向と問題点ならびに解決策などを、産、学、官の専門家を交えて討論するものである。                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                      |
| <b>【研12】</b><br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>A31講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <b>地域のインフラメンテナンスにおけるNPO等サードセクターの役割</b><br><br>シビルNPO推進小委員会(教育企画・人材育成委員会)<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/education14/">http://committees.jsce.or.jp/education14/</a>                                | 座 長 駒田智久 シビルNPO推進小委員会委員長<br>話題提供者 阪井暖子 東京都都市整備局、前国土交通省国土交通政策研究所<br>田村隆弘 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科<br>有岡正樹 NPO法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会<br>海野達夫 (株)エイト日本技術開発    |
| 平成24年末の笹子トンネル事故を奇禍として、インフラ施設のメンテナンスの重要性が再認識され、土木学会は改めてこの問題に取組み、翌年「取組み戦略」を発表し、引き続き検討を進めている。国では平成25年を「社会資本メンテナンス元年」と位置付けて検討を進め、同年末に維持管理・更新のあり方について答申、平成27年2月に市町村におけるメンテナンス体制の確立に関する提言があった。<br>当小委では、特に地域におけるこの問題について幾つかの発信をしてきたが、現状でNPOは必ずしも多くを期待されていない。しかしながら、過疎や高齢化などの地域が抱える問題を踏まえて、NPO法人などサードセクターの活動による課題解決への動きが想定される。                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                      |
| <b>【研19】</b><br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>B41講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <b>鋼橋の点検・診断資格の課題と展望</b><br><br>鋼構造委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/steel/">http://committees.jsce.or.jp/steel/</a>                                                                               | 座 長 阿部雅人 株式会社ビーエムシー<br>話題提供者 西川和廣 (一財)土木研究センター<br>高木千太郎 (一財)首都高速道路技術センター<br>松田 浩 長崎大学<br>鈴木雅行 (株)安藤・間<br>松坂敏博 東日本高速道路(株)                             |
| 高度成長期に整備された多数の鋼橋の老朽化が社会的問題となっている。既設鋼橋の信頼性を確保するためには、点検・診断の質の向上が課題となっており、資格制度の確立などの議論がなされてきた。最近、国においても「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程」が定められ、鋼橋の点検・診断に関していくつかの民間資格が登録され、その一歩を踏み出した。本討論会では、資格登録制度の背景や、登録された資格の鋼橋の点検・診断における特徴などを紹介した後、点検・診断員の質の確保および今後の更なる質の向上のために資格制度に対する期待や解決すべき課題を明らかにし、資格制度が将来あるべき姿について議論する。また資格制度に対して学会が果たすべき役割についても議論する。                                                                                                |                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                      |



|             | 日時／会場                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 題 目                                                                                                                                                                          | 座 長                                                             | 座長および話題提供者                                                                                                                                                    |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社会インフラメンテ関係 | 【研25】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>文法経講義棟<br>26番講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2020年以降も社会に貢献し続ける次世代型コンクリート工学を目指して<br><br>コンクリート委員会<br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/index.html">http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/index.html</a> | 座 長 岩波光保<br>話題提供者 池田裕二<br><br>佐藤文彦<br><br>小川由希子<br>山崎啓治<br>佐藤靖彦 | 東京工業大学<br>国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所長(地方創生の視点から)<br>大成建設新潟高架化天神尾工区工事作業所(コンクリート工事の現場から)<br>広島大学助教(女性技術者の視点から)<br>鹿島建設橋梁グループ設計長(国際化の観点から)<br>北海道大学准教授(コンクリート標準示方書のあり方) |
|             | 今、2020年の東京オリンピック・パラリンピック以降の建設業界のあり方が問われている。しかし、2020年以降も、安全で安心な国民生活と社会の持続的発展のためには、社会基盤の整備と維持管理を継続して推進していかなければならない。この際、コンクリート工学が果たす役割は、現在と同様にきわめて大きいものであることに疑いはない。そこで、本研究討論会では、2020年以降もコンクリート工学が社会に貢献し続けるためには何をすべきか、異なる立場の若手技術者・研究者から話題提供していただき、今後もコンクリート工学が魅力的であり続けるための方向性を議論したい。                                                                                                                       |                                                                                                                                                                              |                                                                 |                                                                                                                                                               |
| 環境関係        | 【研01】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>工学部5号館<br>第16講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 多様化する途上国援助ー日本の環境工学はどう貢献できるか<br><br>環境工学委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/eec/">http://committees.jsce.or.jp/eec/</a>                                              | 座 長 船水尚行<br>話題提供者 山本浩一<br>清水芳久<br>藤原健史                          | 北海道大学<br>山口大学<br>京都大学<br>岡山大学                                                                                                                                 |
|             | 途上国における環境問題に対して、環境工学分野では科学的知見の集積や技術開発による実態の把握、問題点の解明や解決策の提供など、先進国による様々な援助が行われてきている。しかし、先進国の思想や技術を単に移転するのではなく、途上国の社会構造、インフラ、資源、人間性、また援助における新興国の台頭など、様々な要因を把握・理解した上できめ細かな取り組みを行うことが求められている。本討論会では、様々な観点から途上国の環境問題に取り組んでこられた方々に話題提供をしていただき、途上国援助が多様化する中で、今後日本の環境工学分野がその特徴を生かしながらより実効的な貢献をしていくには何が必要かを考える機会としたい。                                                                                           |                                                                                                                                                                              |                                                                 |                                                                                                                                                               |
| その他         | 【研02】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>A37講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | CIMの最新動向:米・欧の状況、日本の状況とこれから<br><br>土木情報学委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/cceips/">http://committees.jsce.or.jp/cceips/</a>                                        | 座 長 森 博昭<br>話題提供者 城古雅典<br>未定                                    | ICT施工研究小委員会 小委員長<br>国土基盤モデル小委員会 小委員長<br>国土交通省、ICT施工研究小委員会、国土基盤モデル小委員会から5名程度                                                                                   |
|             | 2012年より始まったCIM (Construction Information Modeling/Management) は、今年で4年目を迎える。その間、CIMの試行業務や試行工事が行われ、CIM導入の効果や問題点が明らかになってきた。また、土木学会の土木情報学委員会のICT施工研究小委員会と国土基盤モデル小委員会が連携して、全国各地でCIM講演会を行い、情報発信および情報収集を行った。さらに、海外の情報収集も積極的に行い、2013年は米国、2014年は欧州に調査団を派遣して情報収集した。以上を踏まえ、CIMの最新動向や、海外の状況、そして、CIMの目指すべき方向性についての研究討論を行うものである。                                                                                     |                                                                                                                                                                              |                                                                 |                                                                                                                                                               |
|             | 【研03】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>A32講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 「若手土木技術者による学会活動活性化と交流促進」の展望<br><br>企画委員会 若手会員パワーアップ小委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/kikaku/">http://committees.jsce.or.jp/kikaku/</a>                           | 座 長(予定) 中村 光<br>話題提供者 未定                                        | 名古屋大学<br>企画委員会-「若手会員パワーアップ小委員会」の委員                                                                                                                            |
| その他         | 2014年度までの土木学会創立100周年記念事業として各支部において実施した「若手土木技術者の交流サロン」などの活動成果の情報共有をはかり、併せて、若手土木技術者が積極的に学会活動に参加するための問題・課題や若手技術者が組織の枠を超えて交流する意義について議論する。<br>2015年度、企画委員会傘下に新たに設置した「若手会員パワーアップ小委員会」の委員を核に開催し、海外の学会活動事例、企業や他学会の取り組みなどの報告のプログラムと併せて、地域レベルあるいは全国レベルでの若手技術者のネットワークの構築や学会全体の活動活性化に向けた議論の機運を醸成する。                                                                                                                |                                                                                                                                                                              |                                                                 |                                                                                                                                                               |
|             | 【研09】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>環境理工学部<br>棟104講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 水理水文解析のための汎用プラットフォームによる水工技術の社会実装<br><br>水工学委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/">http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/</a>                              | 座 長 山田 正<br>話題提供者 立川康人<br>大平一典<br>菊森佳幹<br>他                     | 中央大学理工学部土木工学科<br>京都大学<br>中央大学<br>国土技術政策総合研究所                                                                                                                  |
|             | 土木学会、国土交通省及び建設コンサルタンツ協会等は産官学連携コンソーシアムを結成し、水理水文解析のための汎用プラットフォームを開発してきた。汎用プラットフォームの開発目的の一つに、水工学に関する研究成果の河川事業等への反映の迅速化がある。その目的を達成するために、汎用プラットフォームの開発に当たっては、産官学のそれぞれのセクターの技術者・研究者が協力できるように、解析モデル間のインターフェースの共通化とユーザビリティの改善を図ってきた。現在、汎用プラットフォームの改良やその他利用環境の改善を重ねることにより、技術的な課題は解決されつつあるが、水工学の研究成果を事業に反映させるには至っていない。本討論会では、汎用プラットフォームの開発理念を確認するとともに、現状と課題を認識し、汎用プラットフォームを用いて、どのように水工技術の社会実装を実現していくかを議論するものである。 |                                                                                                                                                                              |                                                                 |                                                                                                                                                               |
| その他         | 【研13】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>一般教育棟<br>B32講義室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 技術者にとっての生涯学習、その必要性と支援制度<br><br>技術推進機構 継続教育実施委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd">http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd</a>                               | 座 長 竹村次朗<br>話題提供者 野田 勝<br>清水嘉一<br>竹野明子<br>松下定功                  | 東京工業大学／継続教育実施委員会委員長<br>国土交通省 中国地方整備局 企画部部長<br>(株)建設技術研究所 九州支社 道路・交通部 主任<br>大成建設株式会社 土木本部企画室 主任<br>岡山県 備中県民局 井笠地域事務所 総括副参事                                     |
|             | 技術者の継続教育の重要性については、広く認識されて土木学会においても2001年度に継続教育制度を創設し、インターネットを利用した「土木学会CPDシステム」を構築して土木技術者の学習記録の自己管理サポートをしている。しかし、同システムの利活用については必ずしも十分な状況にあるとは言えない。課題としては、職種、年代、ジェンダー、地域等による学習機会の差や制度の問題、学習成果の活用場の不足等が指摘されている。<br>本研究討論会では、次世代を担う若手技術者・女性技術者および地方の技術者に焦点をあて、生涯学習の必要性、その求められる学習内容と方法、更にはそれらを支援するための魅力ある技術者教育制度について討論する。                                                                                    |                                                                                                                                                                              |                                                                 |                                                                                                                                                               |

|          | 日時／会場                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 題 目                                                                                                                                                                | 座長および話題提供者   |                                                               |                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| その他      | 【研20】<br>9月16日(水)<br>14:40-16:40<br>農学部<br>第3講義室                                                                                                                                                                                                                                                      | 国際貢献のための大学連携を考える<br><br>建設マネジメント委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/cmc/">http://committees.jsce.or.jp/cmc/</a>                                           | 座 長<br>話題提供者 | 渡邊法美<br>高野伸栄<br>堀田昌英<br>福本勝司<br>佐橋義仁<br>森 望                   | 高知工科大学<br>北海道大学<br>東京大学<br>(株)大林組<br>(株)建設技術研究所<br>国立研究開発法人 土木研究所                                                                                                                                                                           |
|          | 国際貢献無くしては、日本は存続できない。今後、大学を中心とする国際貢献は、さらに大きな役割を果たすことが期待される。本セッションでは、まず、国際貢献における大学間連携の現状、海外研究者・実務者からの評価・期待を紹介・共有する。その上で、国内外大学間の連携充実化の夢・課題・実現方策、国内外の産官学組織間の連携の夢・課題・実現方策を話し合う。                                                                                                                            |                                                                                                                                                                    |              |                                                               |                                                                                                                                                                                                                                             |
| 防災関係     | 【研24】<br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>工学部1号館<br>大講義室                                                                                                                                                                                                                                                    | 頻発する土砂災害の減災に向けて～発生メカニズムと社会的対応<br><br>地盤工学委員会・火山工学研究小委員会、斜面工学研究小委員会<br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/">http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/</a>  | 座 長<br>話題提供者 | 安養寺信夫<br>稲垣秀輝<br><br>地頭蘭隆<br><br>鈴木素之<br><br>伊藤和也<br><br>畑山満則 | 火山工学研究小委員会委員長、(一財)砂防・地すべり技術センター技術研究所長<br>環境地質／①全国の火山地域の分布特性とそこでの土砂災害の特徴<br>鹿児島大学農学部／②火山地域における土砂移動現象の特徴<br>山口大学工学部／③伊豆大島および阿蘇山における土石流発生地の原位置強度・地下水流音特性および土石流発生履歴<br>東京都市大学工学部／④自然災害に関する国土の安全性指標「GNS」の策定<br>京都大学防災研究所／⑤土砂災害後の復旧期に求められる災害リスク情報 |
|          | 近年頻繁に発生する大規模土砂災害の原因として極端な集中豪雨に加え、火山地域での未固結表層土や大規模な盛土地形などの軟弱地盤、水分保有率の少ない表層などが考えられる。このような特徴を持つ地域は活火山周辺に留まらず全国に広く分布しており、中国山地でも同様の状況にある。このような地域では今後も豪雨による大規模土砂災害の多発が懸念される。本研究討論会では主として火山地域の災害事例を踏まえ、地形・地質と土砂災害の特性を比較検討し、土砂災害の発生条件を含めたメカニズムを議論する。さらに防災構造物のみでは対応が困難な突発的土砂災害の軽減に対処するための社会環境と対応のあり方の方向性を議論する。 |                                                                                                                                                                    |              |                                                               |                                                                                                                                                                                                                                             |
|          | 【研27】<br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>理学部本館<br>21講義室                                                                                                                                                                                                                                                    | 放射性汚染廃棄物対策技術の現状と今後～土木技術の役割と貢献～<br><br>放射性汚染廃棄物対策土木技術特定テーマ委員会／エネルギー委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/enedobo/">http://committees.jsce.or.jp/enedobo/</a> | 座 長<br>話題提供者 | 大西有三<br>未定                                                    | 関西大学 特任教授／京都大学 名誉教授                                                                                                                                                                                                                         |
|          | 福島第一原発事故から4年以上が経過し、原発サイト内では多面的な汚染水対策等が大きく進展し、汚染水のリスクは大幅に低減されてきている。また、廃止措置に向けての技術戦略プラン2015も公表され、今後はロードマップの見直しと本格的な廃炉計画の進展が期待されている。一方、福島県内の事故由来の除去土壌等の除染廃棄物については、除染廃棄物の中間貯蔵施設への搬入が開始され、今後は施設の建設・操業の進展が期待されている。ここでは、廃止措置や中間貯蔵施設計画の今後の円滑な推進に向けての最近の状況ならび今後の長期的な取り組みの方向性と課題や土木の役割・貢献策等について討論していただく。        |                                                                                                                                                                    |              |                                                               |                                                                                                                                                                                                                                             |
| 社会インフラ関係 | 【研07】<br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>文法経講義棟<br>10講義室                                                                                                                                                                                                                                                   | 維持更新時代における舗装の診断技術～舗装の健康診断～<br><br>舗装工学委員会<br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/pavement/index.html">http://www.jsce.or.jp/committee/pavement/index.html</a> | 座 長<br>話題提供者 | 亀山修一<br>丸山記美雄<br><br>高橋茂樹<br>竹内 康<br>中村博康<br>富山和也             | 北海道科学大学 工学部 都市環境学科 教授／(路面性状小委員会、舗装構造小委員会、NPO法人 舗装診断研究会)<br>寒地土木研究所／美々試験道路における舗装の診断結果について<br>NEXCO東日本／舗装の解体新書について<br>東京農業大学／移動式たわみ測定について<br>NIPPO/IRI共通試験について<br>北見工業大学／路面プロファイルの解析方法について                                                    |
|          | 道路舗装は、安全で円滑かつ快適な交通を確保するための重要な社会インフラの一つである。現在我が国は、社会インフラの本格的な維持更新の時代にあり、道路舗装においても限られた財政のもと、効率的よく適確にその状態を診断し、適正な維持管理を実施する必要があるのは言うまでも無い。<br>そこで、本討論会においては、“舗装の健康診断”と題し、舗装のこれからの維持管理の考え方はもちろん、長期供用された舗装の診断を行った事例、および路面性状や舗装構造の最新の診断技術に関し、産官学それぞれの立場から意見を頂き討議を行うものである。                                    |                                                                                                                                                                    |              |                                                               |                                                                                                                                                                                                                                             |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 日時／会場                                                | 題 目                                                                                                                                                                      | 座長および話題提供者 |       |                           |         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|---------------------------|---------|
| 社会インフラメンテ関係                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 【研16】<br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>一般教育棟<br>E21講義室  | 維持管理を変える ～点検依存からの脱却と構造性能評価の実現に向けて～<br><br>複合構造委員会<br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/index.html">http://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/index.html</a> | 座 長        | 奥井義昭  | 埼玉大学                      |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          | 話題提供者      | 福永靖雄  | 西日本高速道路株式会社               |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 岩波光保  | 東京工業大学                    |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 渡辺忠朋  | 北武コンサルタント                 |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 斉藤成彦  | 山梨大学                      |         |
| 構造物の維持管理は、主として外観目視の結果から材料劣化の程度によってグレードを定め、それに応じた対策を講じているのが現状であるが、外観の変状に基づく判断の多くは材料劣化の程度に着目したものであり、構造性能の観点から評価を行っているケースは少ない。笹子トンネルの崩落事故では点検のあり方が問われているが、点検に過度に依存するのではなく、点検より得た情報に基づいて構造物の性能評価を実施し、適切な時期での修繕や更新を行っていくことが重要と考えられる。一方、地域における技術者不足への対策として、点検員の育成に関する取組みが始まっているが、性能評価を実施できる技術者をいかに育成するかが課題となっている。今後ますます構造物の老朽化が進み、「この構造物の耐荷力はいくらなのか？いつまで供用できるのか？」といった問いに確実に答えるためにも、構造性能評価法の構築と性能評価を実施できる技術者の育成は急務である。本討論会では、性能評価に関するいくつかの取組み事例を紹介頂くとともに、性能評価法の提示を主眼において制定された複合構造標準示方書[維持管理編]の紹介を通して、現状の維持管理における問題点を抽出し、構造性能評価に立脚した維持管理の実現に向けて議論したい。 |                                                      |                                                                                                                                                                          |            |       |                           |         |
| 社会インフラメンテ関係                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 【研30】<br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>一般教育棟<br>B41講義室  | 社会インフラメンテナンスの人材育成を考えるー技術者の育成と課題ー<br><br>社会インフラ維持管理・更新の重点課題検討特別委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/infra_ac/">http://committees.jsce.or.jp/infra_ac/</a>         | 座 長        | 内田裕市  | 社会インフラ特別委員会               | 第三部会副部長 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          | 話題提供者      | 佐藤寿延  | 国土交通省総合政策局                |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 松田 浩  | 長崎大学                      |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 玉田和也  | 舞鶴工業高等専門学校                |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 中村 光  | 名古屋大学                     |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 工藤修一  | 福岡市道路下水道局                 |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 小笹浩司  | 西日本高速道路株式会社               |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 垣尾 徹  | 西日本旅客鉄道株式会社               |         |
| 社会インフラの老朽化は大きな社会的問題となっている。従前、新規建設に予算や技術者が集中的に投入されてきたが、今後は、老朽化した社会インフラの維持管理・更新にこれらの資源をシフトする必要性が益々増大する。一方で、メンテナンスの分野は各組織内でも比較的地味な部門として見られる事が多く、メンテナンスに従事する技術者の育成も後手に回る傾向となっている。<br>本研究討論会では、各組織における人材育成の取り組み事例を共有するとともに、期待や解決すべき課題を明らかにし、メンテナンスに従事する技術者のあるべき姿について議論する。また、議論を通じて、技術者育成に際して、土木学会が果たすべき役割についても議論する。                                                                                                                                                                                                                                |                                                      |                                                                                                                                                                          |            |       |                           |         |
| 環境関係                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 【研28】<br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>文法経講義棟<br>14番講義室 | 土木における木材利用400万㎡を目指して<br><br>木材工学委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/mokuzai/">http://committees.jsce.or.jp/mokuzai/</a>                                         | 座 長        | 沼田淳紀  | 飛鳥建設                      |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          | 話題提供者      | 佐々木貴信 | 秋田県立大学                    |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 渋谷龍也  | 森林総合研究所                   |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 福島道雄  | 岡山県農林水産部治山課               |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 木原浩則  | 木原木材店(北はりま小径木加工センター)      |         |
| 木材工学委員会では、森林・林業再生プランに示される2020年までに国産材利用率50%とする目標に合わせ、土木分野における木材利用量400万㎡を目指して2013年3月に提言を発表した。この提言のひとつは、「土木分野における木材利用技術の開発推進」である。本研究討論会では、需要者側である土木分野より課題を示した後に、木材利用の最新技術、土木屋にとって馴染みの多い型枠合板、木材生産のそれぞれにおいて実務をされている専門の方をお招きし、土木における木材利用400万㎡を目指すうえでの技術的な解決策を模索する。                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                      |                                                                                                                                                                          |            |       |                           |         |
| その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 【研08】<br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>一般教育棟<br>A31講義室  | 学部卒と修士卒のキャリアパスの相違ー社会に役立つ土木工学教育を目指してー<br><br>教育企画・人材育成委員会 大学・大学院小委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/education/">http://committees.jsce.or.jp/education/</a>     | 座 長        | 宮里心一  | 金沢工業大学                    |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          | 話題提供者      | 伊代田岳史 | 芝浦工業大学                    |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 白旗弘実  | 東京都市大学                    |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 松山公年  | 日本工営                      |         |
| 教育企画・人材育成委員会「大学・大学院小委員会」では、2年間に亘る活動を通じて、大学院修士課程を修了後に社会人になるキャリアパスと、学部卒業後に社会人になるキャリアパスを比較してきました。その一環として、全国の大学4年生や大学院生ならびに土木系の社会人に、大学院へ進学した、あるいは学部で卒業した経緯をアンケートしました。これにより、大学生が本質的な土木工学の魅力を理解し、大学院に進学しようと思うきっかけを整理できました。本討論会では、多くの土木学会会員の協力の下で回収できたアンケート協力に対するフィードバックも兼ねて、社会で活躍する土木技術者の卵を、学部および大学院で育成する策を議論します。                                                                                                                                                                                                                                   |                                                      |                                                                                                                                                                          |            |       |                           |         |
| その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 【研10】<br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>一般教育棟<br>B32講義室  | 待ったなし！土木界のダイバーシティ＆インクルージョン<br><br>ダイバーシティ推進委員会<br><a href="http://committees.jsce.or.jp/diversity/">http://committees.jsce.or.jp/diversity/</a>                          | 座 長        | 保田祐司  | ダイバーシティ推進委員会・副委員長         |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          | 話題提供者      | 岩城奈津  | (株)クオリア主席研究員              |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |                                                                                                                                                                          |            | 飯島玲子  | ダイバーシティ推進委員会 提言検討小委員会副委員長 |         |
| 土木界においては、女性技術者の活躍支援について業界団体や女性技術者自身による取り組みが急速に進展しており、2014年8月には国と業界団体による行動計画が公表され、モデル事業の実施も始まった。土木学会においても10年にわたりダイバーシティ推進の取り組みを継続しており、2015年5月に「土木学会ダイバーシティ＆インクルージョン行動宣言」(以下、「行動宣言」と呼ぶ)を策定した。そこで本研究討論会では、この行動宣言と委員会が考える今後の戦略を紹介する。これを議論の端緒として、さらなる戦略や課題、今後の展望について、登壇者、会場とともに率直に議論する。                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                      |                                                                                                                                                                          |            |       |                           |         |



| 日時／会場                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 題 目                                                                                                                                                                                                                                                                       | 座長および話題提供者                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【研14】</b><br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>一般教育棟<br>B21講義室                                                                                                                                                                                                                                             | <b>土木界の新しい広報体制ー土木広報センターの役割ー</b><br><br><b>社会コミュニケーション委員会／土木広報センター</b><br><a href="http://committees.jsce.or.jp/publicity/">http://committees.jsce.or.jp/publicity/</a>                                                                                                    | 座 長 依田照彦 早稲田大学(土木広報センター センター長)<br>話題提供者 島谷幸宏 九州大学(土木広報センター 市民交流グループ)<br>緒方英樹 全国建設研修センター(土木広報センター 社会インフラ解説グループ)<br>大幡勝利 労働安全衛生総合研究所(土木広報センター 企画グループ)<br>佐々木正 国土技術研究センター(土木広報センター 土木広報アクショングループ)<br>小松 淳 日本工営(土木広報センター 情報集約・発信グループ)                     |
| コミュニケーション部門では平成24年度「土木広報アクションプラン小委員会」、その後「土木広報インフラ構築準備会」「土木広報戦略委員会」における検討を経て、平成27年度に新たな土木広報組織「土木広報戦略会議」及び「土木広報センター」を設置した。これは、コミュニケーション部門を再編成するもので、「土木広報戦略会議」は土木界が一体となって取り組む広報戦略・基本方針を策定する司令塔であり、「土木広報センター」はその戦略・方針に基づき、自らが主体となる活動、各委員会や支部、関係団体が主体となる活動との連携・調整、情報共有・発信などを行う。本討論会では、新しい土木広報体制への期待と展望を語る。 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>【研17】</b><br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>一般教育棟<br>A21講義室                                                                                                                                                                                                                                             | <b>日本の豊かな国土形成に向けて<br/>～その担い手である建設業の活性化・進化のために～</b><br><br><b>建設技術研究委員会</b><br><a href="http://committees.jsce.or.jp/sekou/">http://committees.jsce.or.jp/sekou/</a>                                                                                                       | 座 長 足立宏美 建設技術研究委員会委員長 前田建設工業(株) 取締役専務執行役員 土木事業本部長<br>話題提供者 涌井史郎 東京都市大学 環境学部 教授<br>大石久和 (一財)国土技術研究センター国土政策研究所長<br>内藤 廣 建築家、東京大学名誉教授<br>高木 敦 モルガン・スタンレーMUFG証券(株) マネージングディレクター                                                                           |
| 日本の地形、文化、歴史を踏まえたうえで、豊かな国土形成を図っていくことは土木技術者の責務である。それを果たしていくためには、国土形成の重要な担い手である建設業(ゼネコン)が魅力ある産業へと活性化・進化させなければならない。本研究討論会では、関連する各分野から、建設業(ゼネコン)への期待、および変革しなければならないものは何か聞き、その施策を討論したい。                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>【研21】</b><br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>一般教育棟<br>B33講義室                                                                                                                                                                                                                                             | <b>ロボット技術の最新動向と当委員会の役割ー建設用ロボット委員会の新体制ー</b><br><br><b>建設用ロボット委員会</b><br><a href="http://committees.jsce.or.jp/robot/">http://committees.jsce.or.jp/robot/</a>                                                                                                              | 座 長 建山和由 建設用ロボット委員会委員長<br>話題提供者(予定・案) 岩見施工企画室長 国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課<br>吉江研究計画官 (独)港湾空港技術研究所                                                                                                                                                           |
| 国土交通省と経済産業省の連携による社会インフラ用ロボットの開発・導入プロジェクトや、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)における社会インフラ用ロボットの開発プロジェクトなどが鋭意進められています。本研究討論会では、「次世代インフラ用ロボット現場検証委員会」での平成26年度応募技術と平成27年度の状況について紹介をするとともに、今後、当委員会としてどのように対応していくのかについて新委員会の紹介と活動方針を紹介し、討論いたします。                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>【研26】</b><br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>文法経講義棟<br>12講義室                                                                                                                                                                                                                                             | <b>復興と土木:対話できる社会基盤と新たな国土デザインを考える</b><br><br><b>土木計画学研究委員会・海岸工学委員会</b><br><a href="http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.shtm">http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.shtm</a><br><a href="http://www.coastal.jp/ja/index.php">http://www.coastal.jp/ja/index.php</a> | 座 長 羽藤英二 東京大学大学院工学系研究科 教授(予定、変更可能性あり)<br>話題提供者 磯部雅彦 土木学会会長<br>佐藤慎司 海岸工学委員長<br>家田 仁 東大・政策研究大学院大学教授<br>石川幹子 中央大学教授                                                                                                                                      |
| 海岸工学と社会基盤計画の視点から、東日本大震災における工学と土木の専門家の様々な学会活動を振り返った上で、特に地域社会と社会基盤の対話について海岸工学と土木計画の視点から考えたい。さらに防潮堤と地域の関係に着目し、防潮堤の高さの見直しから、海岸施設と地域環境の保全の実情やランドスケープデザインまで、新たな国土デザインの方向性を議論する。                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>【研29】</b><br>9月18日(金)<br>16:20-18:20<br>創立五十周年<br>記念館金光<br>ホール                                                                                                                                                                                                                                      | <b>土木学会東日本大震災アーカイブサイトの今後の展開(その2)ーアーカイブ映像の具体的利用を考えるー</b><br><br><b>土木技術映像委員会</b><br><a href="http://committees.jsce.or.jp/avc/">http://committees.jsce.or.jp/avc/</a>                                                                                                      | 座 長 大野春雄 土木学会土木技術映像委員会委員長／攻玉社工短<br>期大学名誉教授／建設教育研究推進機構理事長<br>話題提供者 ・研究場面での利用<br>荏本孝久 神奈川大学工学部建築学科:地震工学<br>木暮敏昭 東京地下鉄(株):津波・浸水<br>山口直也 エイト日本技術開発(株):避難誘導<br>渋谷重彦 東急建設(株):発掘映像<br>・教育場面での利用<br>榊山清人 (一財)全国建設研修センター:一般対象<br>山下倫範 立正大学地球環境科学部環境システム学科:防災教育 |
| 「土木学会東日本大震災アーカイブサイト」は、2011.3.11の未曾有の大震災・大津波に関連して土木学会が発信する全ての学術情報(報告・資料・論文・災害記録映像・写真・図面その他)をデータベース化し一元的に保存・管理しています。<br>今年度の研究討論会では、当アーカイブサイトの震災映像に着目し「土木学会東日本大震災アーカイブサイトの展開(その2)」と題し、具体的なアーカイブ映像の具体的な利用について、研究場面、教育場面の両面から、話題提供していただきます。ご関心ある災害研究者、防災行政担当者、防災教育者等をはじめとする皆様のご参加を期待しています。                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                       |

## 第70回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表

| 部門  | 会場     | 教室                | 9月16日(水)                                                     |                                                                   | 9月17日(木)                                                |                                                         |
|-----|--------|-------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
|     |        |                   | 9:00~10:20                                                   | 10:40~12:00                                                       | 13:00~14:20                                             | 9:00~10:20                                              |
| I   | I-1    | 一般教育棟D11講義室       | 診断・補修・補強<br>Ⅰ-001~Ⅰ-006 西尾真由子                                | 橋梁振動(実験・測定) (1)<br>Ⅰ-007~Ⅰ-012 深田幸史                               | 橋梁振動(実験・測定) (2)<br>Ⅰ-013~Ⅰ-017 佐々木栄一                    | 耐震構造(ダンパー) (1)<br>Ⅰ-018~Ⅰ-023 松田泰治                      |
|     | I-2    | 一般教育棟D12講義室       | 地震防災(1)<br>Ⅰ-046~Ⅰ-051 秦 康範                                  | 地震防災(2)<br>Ⅰ-052~Ⅰ-057 田中 努                                       | 地震防災(3)<br>Ⅰ-058~Ⅰ-063 能島暢呂                             | 地震防災(4)<br>Ⅰ-064~Ⅰ-068 永田 茂                             |
|     | I-3    | 一般教育棟E11講義室       | 橋梁の耐震(1)<br>Ⅰ-093~Ⅰ-098 葛西 昭                                 | 橋梁の耐震(2)<br>Ⅰ-099~Ⅰ-105 後藤芳朗                                      | 橋梁の耐震(3)<br>Ⅰ-106~Ⅰ-110 竹田周平                            | 橋梁の耐震(4)<br>Ⅰ-111~Ⅰ-117 川西智浩                            |
|     | I-4    | 一般教育棟D22講義室       | 盛土の耐震<br>Ⅰ-151~Ⅰ-156 渡辺和明                                    | ダム・タンクの耐震(1)<br>Ⅰ-157~Ⅰ-161 藤田 豊                                  | ダム・タンクの耐震(2)<br>Ⅰ-162~Ⅰ-165 有賀義明                        | 基礎の耐震(1)<br>Ⅰ-166~Ⅰ-170 樋口俊一                            |
|     | I-5    | 一般教育棟D23講義室       | 橋梁床版(1)<br>Ⅰ-197~Ⅰ-201 街道 浩                                  | 橋梁床版(2)<br>Ⅰ-202~Ⅰ-207 久保圭吾                                       | 橋梁床版(3)<br>Ⅰ-208~Ⅰ-213 横山 広                             | 橋梁一般(施工)<br>Ⅰ-214~Ⅰ-219 佐々木保隆                           |
|     | I-6    | 一般教育棟D24講義室       |                                                              | 耐力・変形性能(1)<br>Ⅰ-248~Ⅰ-254 宮川義範                                    | 耐力・変形性能(2)<br>Ⅰ-255~Ⅰ-259 鈴木俊光                          |                                                         |
|     | I-7    | 一般教育棟D25講義室       | 耐震実験<br>Ⅰ-292~Ⅰ-297 伊津野和行                                    | 耐震補強(1)<br>Ⅰ-298~Ⅰ-304 曹岡亮洋                                       | 耐震補強(2)<br>Ⅰ-305~Ⅰ-310 松崎 裕                             | 維持管理(構造) (4)<br>Ⅰ-311~Ⅰ-315 相川 明                        |
|     | I-8    | 一般教育棟E21講義室       | 維持管理(構造) (1)<br>Ⅰ-345~Ⅰ-350 宮森保紀                             | 維持管理(構造) (2)<br>Ⅰ-351~Ⅰ-356 佐伯昌之                                  | 維持管理(構造) (3)<br>Ⅰ-357~Ⅰ-362 鈴木啓悟                        | 疲労(1)<br>Ⅰ-363~Ⅰ-368 石川敏之                               |
|     | I-9    | 一般教育棟E23講義室       |                                                              | 維持管理(検査・モニタリング) (1)<br>Ⅰ-400~Ⅰ-405 内田慎哉                           | 維持管理(検査・モニタリング) (2)<br>Ⅰ-406~Ⅰ-411 長山智則                 | 維持管理(腐食) (1)<br>Ⅰ-412~Ⅰ-417 内田大介                        |
|     | I-10   | 一般教育棟D33講義室       |                                                              | 波動<br>Ⅰ-448~Ⅰ-452 白旗弘実                                            | 非破壊評価<br>Ⅰ-453~Ⅰ-458 山田真幸                               |                                                         |
|     | I-11   | 一般教育棟D34講義室       |                                                              | 継手(1)<br>Ⅰ-488~Ⅰ-493 南 邦明                                         | 継手(2)<br>Ⅰ-494~Ⅰ-499 橋本国太郎                              | 継手(3)<br>Ⅰ-500~Ⅰ-505 一宮 充                               |
|     | I-12   | 一般教育棟D35講義室       |                                                              | 安全性・信頼性(1)<br>Ⅰ-537~Ⅰ-541 中村孝明                                    | 安全性・信頼性(2)<br>Ⅰ-542~Ⅰ-545 北原武嗣                          |                                                         |
|     | I-13   | 一般教育棟E32講義室       | 耐風・風工学(1)<br>Ⅰ-571~Ⅰ-576 松宮宏登                                | 耐風・風工学(2)<br>Ⅰ-577~Ⅰ-583 野田 稔                                     | 耐風・風工学(3)<br>Ⅰ-584~Ⅰ-589 松田一俊                           | 耐風・風工学(4)<br>Ⅰ-590~Ⅰ-595 木村吉郎                           |
| II  | II-1   | 環境理工学部棟101講義室     |                                                              | ダム・貯水池<br>Ⅱ-001~Ⅱ-006 梅田 信                                        | 湖沼・河川<br>Ⅱ-007~Ⅱ-011 矢島 啓                               | 河川堤防(1)<br>Ⅱ-012~Ⅱ-017 早川 博                             |
|     | II-2   | 環境理工学部棟104講義室     | 開水路の水利(1)<br>Ⅱ-046~Ⅱ-050 高橋正行                                | 開水路の水利(2)<br>Ⅱ-051~Ⅱ-056 内田龍彦                                     | 河道の水利・流砂<br>Ⅱ-057~Ⅱ-061 武藤裕則                            | 数値計算<br>Ⅱ-062~Ⅱ-067 重枝未鈴                                |
|     | II-3   | 環境理工学部棟105講義室     |                                                              | 発電<br>Ⅱ-098~Ⅱ-103 小林智尚                                            | 大気陸面<br>Ⅱ-104~Ⅱ-109 植垣厚至                                | 構造物の水利・機能(1)<br>Ⅱ-110~Ⅱ-115 大本照憲                        |
|     | II-4   | 環境理工学部棟201講義室     |                                                              | 津波被害予測(1)<br>Ⅱ-146~Ⅱ-151 信岡尚道                                     | 津波被害予測(2)<br>Ⅱ-152~Ⅱ-157 嶋原良典                           | 漂砂・飛砂・底泥<br>Ⅱ-158~Ⅱ-163 趙 容桓                            |
|     | II-5   | 環境理工学部棟202講義室     |                                                              | 降水(1)<br>Ⅱ-194~Ⅱ-199 瀬戸心太                                         | 降水(2)<br>Ⅱ-200~Ⅱ-204 吉野 純                               | 流域管理<br>Ⅱ-205~Ⅱ-210 相馬一義                                |
| III | III-1  | 工学部1号館第1講義室       |                                                              | 土質安定処理(1)<br>Ⅲ-001~Ⅲ-005 藤藤二郎                                     | 土質安定処理(2)<br>Ⅲ-006~Ⅲ-011 三隅浩二                           | 土質安定処理(3)<br>Ⅲ-012~Ⅲ-016 並河 努                           |
|     | III-2  | 工学部1号館第2講義室       | 岩の工学的性質<br>Ⅲ-046~Ⅲ-052 清水隆文                                  | シールドトンネル(1)<br>Ⅲ-053~Ⅲ-058 杉本光隆                                   | シールドトンネル(2)<br>Ⅲ-059~Ⅲ-064 高松伸行                         | 土壌地下水汚染(1)<br>Ⅲ-065~Ⅲ-069 植垣由紀子                         |
|     | III-3  | 工学部1号館第3講義室       | 締固め・施工機械・他<br>Ⅲ-096~Ⅲ-102 森 芳徳                               | トンネル(1)<br>Ⅲ-103~Ⅲ-108 鈴木仁志                                       | トンネル(2)<br>Ⅲ-109~Ⅲ-114 重田佳幸                             | トンネル(3)<br>Ⅲ-115~Ⅲ-120 日下 敦                             |
|     | III-4  | 工学部1号館第4講義室       | 透水・浸透(1)<br>Ⅲ-152~Ⅲ-157 高坂信章                                 | 透水・浸透(2)<br>Ⅲ-158~Ⅲ-163 小峯秀雄                                      | 透水・浸透(3)<br>Ⅲ-164~Ⅲ-170 森脇武夫                            | 透水・浸透(4)<br>Ⅲ-171~Ⅲ-176 笹倉 剛                            |
|     | III-5  | 工学部1号館第5講義室       | 斜面(1)<br>Ⅲ-208~Ⅲ-214 藤本哲生                                    | 斜面(2)<br>Ⅲ-215~Ⅲ-221 吉田郁政                                         | 斜面(3)<br>Ⅲ-222~Ⅲ-227 島居宣之                               | 斜面(4)<br>Ⅲ-228~Ⅲ-234 若松加寿江                              |
|     | III-6  | 工学部1号館第6講義室       | 凍結・凍土(1)<br>Ⅲ-265~Ⅲ-270 川口貴之                                 | 凍結・凍土(2)<br>Ⅲ-271~Ⅲ-276 伊藤 譲                                      | 凍結・凍土(3)<br>Ⅲ-277~Ⅲ-283 佐藤厚子                            | 数値解析(1)<br>Ⅲ-284~Ⅲ-288 金田一広                             |
|     | III-7  | 工学部1号館大講義室        | 地盤の動的挙動(1)<br>Ⅲ-319~Ⅲ-325 飛田哲男                               | 地盤の動的挙動(2)<br>Ⅲ-326~Ⅲ-331 上野一彦                                    | 地盤の動的挙動(3)<br>Ⅲ-332~Ⅲ-337 石川敬祐                          | 地盤の動的挙動(4)<br>Ⅲ-338~Ⅲ-343 福武毅芳                          |
|     | III-8  | 工学部1号館第7講義室       |                                                              | 圧縮・圧密<br>Ⅲ-374~Ⅲ-380 杉山太宏                                         | 地盤の応力と変形<br>Ⅲ-381~Ⅲ-386 大向直樹                            | 粘土の変形強度<br>Ⅲ-387~Ⅲ-392 木元小百合                            |
| IV  | IV-1   | 農学部1号館第1講義室       |                                                              | 景観特性・デザイン<br>Ⅳ-001~Ⅳ-006 石橋知也                                     | 景観評価・分析<br>Ⅳ-007~Ⅳ-012 高尾忠志                             |                                                         |
|     | IV-2   | 農学部1号館第3講義室       | 防災計画(1)<br>Ⅳ-038~Ⅳ-043 松丸 亮                                  | 防災計画(2)<br>Ⅳ-044~Ⅳ-049 松田曜子                                       | 防災計画(3)<br>Ⅳ-050~Ⅳ-055 藤生 慎                             | 交通流・交通制御(1)<br>Ⅳ-056~Ⅳ-061 西内裕晶                         |
|     | IV-3   | 農学部1号館第4講義室       |                                                              | 住民参加・パブリックインボルブメント<br>Ⅳ-089~Ⅳ-094 長曾我部まどか                         | 鉄道計画<br>Ⅳ-095~Ⅳ-100 寺部慎太郎                               |                                                         |
| V   | V-1    | 文法経講義棟11番講義室      | ひび割れ(1)<br>Ⅴ-001~Ⅴ-005 細田 暁                                  | ひび割れ(2)<br>Ⅴ-006~Ⅴ-010 西岡真帆                                       | ひび割れ(3)<br>Ⅴ-011~Ⅴ-015 溝淵利明                             | 構造設計(1)<br>Ⅴ-016~Ⅴ-020 村田裕志                             |
|     | V-2    | 文法経講義棟10番講義室      | 塩害(1)<br>Ⅴ-050~Ⅴ-055 高谷 哲                                    | 塩害(2)<br>Ⅴ-056~Ⅴ-061 宮本慎太郎                                        | 塩害(3)<br>Ⅴ-062~Ⅴ-066 林 和彦                               | 塩害(4)<br>Ⅴ-067~Ⅴ-071 丸屋 剛                               |
|     | V-3    | 文法経講義棟12番講義室      | 耐震補強<br>Ⅴ-102~Ⅴ-107 仁平達也                                     | 耐震(1)<br>Ⅴ-108~Ⅴ-113 瀧口将志                                         | 耐震(2)<br>Ⅴ-114~Ⅴ-119 築島大輔                               | 振動<br>Ⅴ-120~Ⅴ-123 水谷 司                                  |
|     | V-4    | 文法経講義棟14番講義室      | プレストレストコンクリート(1)<br>Ⅴ-153~Ⅴ-157 田中泰司                         | プレストレストコンクリート(2)<br>Ⅴ-158~Ⅴ-162 森本圭一                              | プレストレストコンクリート(3)<br>Ⅴ-163~Ⅴ-168 松本浩嗣                    | プレキャストコンクリート<br>Ⅴ-169~Ⅴ-174 志道昭昭                        |
|     | V-5    | 文法経講義棟19番講義室      | フレッシュコンクリート(1)<br>Ⅴ-202~Ⅴ-207 宮原茂樹                           | フレッシュコンクリート(2)<br>Ⅴ-208~Ⅴ-212 浦野真次                                | ポンプ圧送<br>Ⅴ-213~Ⅴ-217 橋本親典                               | 締固め<br>Ⅴ-218~Ⅴ-222 三田勝也                                 |
|     | V-6    | 文法経講義棟17番講義室      | 舗装材料(1)<br>Ⅴ-252~Ⅴ-257 岩間将彦                                  | 舗装材料(2)<br>Ⅴ-258~Ⅴ-263 東本 崇                                       | 舗装材料(3)<br>Ⅴ-264~Ⅴ-269 高橋 修                             | 新材料・新工法(材料)(1)<br>Ⅴ-270~Ⅴ-275 伊達直之                      |
|     | V-7    | 文法経講義棟15番講義室      | 維持・修繕(舗装)(1)<br>Ⅴ-306~Ⅴ-309 江向俊文                             | 維持・修繕(舗装)(2)<br>Ⅴ-310~Ⅴ-315 遠藤 桂                                  | 維持・修繕(舗装)(3)<br>Ⅴ-316~Ⅴ-321 佐藤正和                        | 維持・修繕(舗装)(4)<br>Ⅴ-322~Ⅴ-326 久利良夫                        |
|     | V-8    | 文法経講義棟13番講義室      | 温度応力(1)<br>Ⅴ-352~Ⅴ-356 石川晴晃                                  | 温度応力(2)<br>Ⅴ-357~Ⅴ-361 渡邊弘子                                       | セメント系舗装<br>Ⅴ-362~Ⅴ-367 梶尾 聡                             | リサイクル(舗装)<br>Ⅴ-368~Ⅴ-371 加納陽輔                           |
|     | V-9    | 文法経講義棟20番講義室      | 劣化予測<br>Ⅴ-399~Ⅴ-404 古賀裕久                                     | 維持管理(1)<br>Ⅴ-405~Ⅴ-410 花井 拓                                       | 維持管理(2)<br>Ⅴ-411~Ⅴ-416 島多昭典                             | 非破壊試験法(1)<br>Ⅴ-417~Ⅴ-422 内田慎哉                           |
|     | V-10   | 文法経講義棟22番講義室      | 物性(1)<br>Ⅴ-453~Ⅴ-458 青木優介                                    | 物性(2)<br>Ⅴ-459~Ⅴ-465 岡崎慎一郎                                        | 物性(3)<br>Ⅴ-466~Ⅴ-471 伊代田岳史                              | 物性(4)<br>Ⅴ-472~Ⅴ-477 麓 隆行                               |
|     | V-11   | 文法経講義棟24番講義室      | 耐久性一般(1)<br>Ⅴ-507~Ⅴ-512 小林孝一                                 | 耐久性一般(2)<br>Ⅴ-513~Ⅴ-518 田中博一                                      | 耐久性一般(3)<br>Ⅴ-519~Ⅴ-524 山本武志                            | 耐久性一般(4)・耐火性<br>Ⅴ-525~Ⅴ-530 小澤満津雄                       |
|     | V-12   | 文法経講義棟26番講義室      | 副産物利用・再生材料(1)<br>Ⅴ-558~Ⅴ-563 橋 貞則                            | 副産物利用・再生材料(2)<br>Ⅴ-564~Ⅴ-569 寺井健一郎                                | 補修・補強(材料)(3)<br>Ⅴ-570~Ⅴ-575 高橋裕文                        | 補修・補強(材料)(2)<br>Ⅴ-576~Ⅴ-581 鶴田浩章                        |
|     | V-13   | 文法経講義棟25番講義室      | 短繊維補強コンクリート(構造)(1)<br>Ⅴ-612~Ⅴ-616 伊藤 始                       | 短繊維補強コンクリート(構造)(2)<br>Ⅴ-617~Ⅴ-622 栗橋祐介                            | 連続繊維補強コンクリート(構造)<br>Ⅴ-623~Ⅴ-627 服部尚道                    | 短繊維補強コンクリート(材料)(1)<br>Ⅴ-628~Ⅴ-633 石岡嘉一                  |
| VI  | VI-1   | 一般教育棟B11講義室       | 測量・計測(1)<br>Ⅵ-001~Ⅵ-006 片山政弘                                 | 測量・計測(2)<br>Ⅵ-007~Ⅵ-012 杉浦伸哉                                      | 測量・計測(3) / 各種・基礎<br>Ⅵ-013~Ⅵ-018 長澤正明                    | ダム(1)<br>Ⅵ-019~Ⅵ-024 長谷川悦史                              |
|     | VI-2   | 一般教育棟A21講義室       | シールドトンネル(1)<br>Ⅵ-055~Ⅵ-059 金田則夫                              | シールドトンネル(2)<br>Ⅵ-060~Ⅵ-065 小坂政郎                                   | シールドトンネル(3)<br>Ⅵ-066~Ⅵ-070 室谷耕輔                         | シールドトンネル(4)<br>Ⅵ-071~Ⅵ-076 水原勝由                         |
|     | VI-3   | 一般教育棟B21講義室       | 情報化施工<br>Ⅵ-105~Ⅵ-110 堤 知明                                    | 検査技術・診断(1)<br>Ⅵ-111~Ⅵ-116 石井明俊                                    | 検査技術・診断(2)<br>Ⅵ-117~Ⅵ-122 山路 徹                          | 検査技術・診断(3)<br>Ⅵ-123~Ⅵ-128 松田 敏                          |
|     | VI-4   | 一般教育棟C22講義室       | 検査技術・診断(9)<br>Ⅵ-159~Ⅵ-164 古川 隼                               | 検査技術・診断(10)<br>Ⅵ-165~Ⅵ-170 白根 卓                                   | 検査技術・診断(11)<br>Ⅵ-171~Ⅵ-176 金本康宏                         | 建設マネジメント(1)<br>Ⅵ-177~Ⅵ-182 井林 康                         |
|     | VI-5   | 一般教育棟A31講義室       | アセットマネジメント(1)<br>Ⅵ-213~Ⅵ-218 五十嵐寛昌                           | アセットマネジメント(2)<br>Ⅵ-219~Ⅵ-224 小濱健吾                                 | CI/CM(1)<br>Ⅵ-225~Ⅵ-230 鈴木伸康                            | CI/CM(2)<br>Ⅵ-231~Ⅵ-236 矢吹信喜                            |
|     | VI-6   | 一般教育棟A32講義室       | 橋梁(1)<br>Ⅵ-267~Ⅵ-272 廣井幸夫                                    | 橋梁(2)<br>Ⅵ-273~Ⅵ-278 三住泰之                                         | 建設環境<br>Ⅵ-279~Ⅵ-284 渡邊和好                                | 新材料・品質管理<br>Ⅵ-285~Ⅵ-290 緒方明彦                            |
|     | VI-7   | 一般教育棟A34講義室       | リニューアル(7)<br>Ⅵ-321~Ⅵ-326 片山 武                                | リニューアル(7)<br>Ⅵ-327~Ⅵ-332 藤川俊夫                                     | リニューアル(8)<br>Ⅵ-333~Ⅵ-338 廣田元嗣                           | リニューアル(9)<br>Ⅵ-339~Ⅵ-344 高 龍                            |
|     | VI-8   | 一般教育棟A35講義室       | 品質管理(1)<br>Ⅵ-375~Ⅵ-380 堀口賢一                                  | 品質管理(2)<br>Ⅵ-381~Ⅵ-386 焼田真司                                       | 品質管理(3)<br>Ⅵ-387~Ⅵ-392 橋 直毅                             | 施工計画(2)<br>Ⅵ-393~Ⅵ-398 藤田 淳                             |
|     | VI-9   | 一般教育棟A36講義室       | 施工計画(1)<br>Ⅵ-428~Ⅵ-433 山本忠久                                  | 軌道の維持管理(1)<br>Ⅵ-434~Ⅵ-439 山根寛史                                    | 軌道の維持管理(2)<br>Ⅵ-440~Ⅵ-445 本野貴志                          | 軌道の維持管理(3)<br>Ⅵ-446~Ⅵ-451 坪川洋友                          |
|     | VI-10  | 一般教育棟A37講義室       | 設計技術<br>Ⅵ-482~Ⅵ-487 高橋敏樹                                     | 軌道の維持管理(9)<br>Ⅵ-488~Ⅵ-493 紅霞一寛                                    | 軌道の維持管理(10)<br>Ⅵ-494~Ⅵ-499 中村貴久                         | 軌道の維持管理(11)<br>Ⅵ-500~Ⅵ-505 及川祐也                         |
|     | VI-11  | 一般教育棟B32講義室       |                                                              | 鉄道工事(1)<br>Ⅵ-536~Ⅵ-541 小林裕介                                       | 鉄道工事(2)<br>Ⅵ-542~Ⅵ-547 伊藤弘之                             | 鉄道工事(3)<br>Ⅵ-548~Ⅵ-553 鈴木 亨                             |
|     | VI-12  | 一般教育棟B33講義室       | 耐震・免震・施工技術(1)<br>Ⅵ-585~Ⅵ-590 佐藤 清                            | 施工技術(2)<br>Ⅵ-591~Ⅵ-596 河野哲也                                       | 施工技術(3)<br>Ⅵ-597~Ⅵ-602 中出 剛                             | 施工技術(4)<br>Ⅵ-603~Ⅵ-608 神崎恵三                             |
|     | VI-13  | 一般教育棟A41講義室       | 山岳トンネル(1)<br>Ⅵ-639~Ⅵ-644 安井啓祐                                | 山岳トンネル(2)<br>Ⅵ-645~Ⅵ-650 砂金伸治                                     | 山岳トンネル(3)<br>Ⅵ-651~Ⅵ-656 岩尾哲也                           | 山岳トンネル(4)<br>Ⅵ-657~Ⅵ-662 山本雅弘                           |
|     | VI-14  | 一般教育棟A42講義室       | 地下構造物(1)<br>Ⅵ-693~Ⅵ-698 高橋正登                                 | 地下構造物(2)<br>Ⅵ-699~Ⅵ-704 坂梨利男                                      | 地下構造物(3) / 開削トンネル<br>Ⅵ-705~Ⅵ-710 山本 平                   | 施工技術(10)<br>Ⅵ-711~Ⅵ-716 天野英樹                            |
|     | VI-15  | 一般教育棟B41講義室       | 山岳トンネル(10)<br>Ⅵ-744~Ⅵ-749 石田滋樹                               | 山岳トンネル(11)<br>Ⅵ-750~Ⅵ-755 谷 卓也                                    | 山岳トンネル(12)<br>Ⅵ-756~Ⅵ-761 原 雅人                          | 山岳トンネル(13)<br>Ⅵ-762~Ⅵ-767 安井成豊                          |
| VII | VII-1  | 工学部5号館第15講義室      | 用排水処理(1)<br>Ⅶ-001~Ⅶ-006 村上和仁                                 | 用排水処理(2)<br>Ⅶ-007~Ⅶ-012 多川 正                                      | 用排水処理(3)<br>Ⅶ-013~Ⅶ-018 笠原伸介                            | 用排水処理(4)<br>Ⅶ-019~Ⅶ-024 長岡 裕                            |
|     | VII-2  | 工学部5号館第16講義室      | 温暖化対策・評価<br>Ⅶ-053~Ⅶ-057 渡辺亮一                                 | 循環資源リサイクル(1)<br>Ⅶ-058~Ⅶ-063 寺嶋光香                                  | 循環資源リサイクル(2)<br>Ⅶ-064~Ⅶ-069 島岡隆行                        | 理立処分場管理・処分計画<br>Ⅶ-070~Ⅶ-074 大下和徹                        |
|     | VII-3  | 工学部5号館第17講義室      |                                                              | 環境影響評価(1)<br>Ⅶ-100~Ⅶ-104 小林 功                                     | 環境影響評価(2)<br>Ⅶ-105~Ⅶ-110 大城 温                           | 環境計画・環境管理<br>Ⅶ-111~Ⅶ-116 米村惣太郎                          |
| CS  | CSの1会場 | 理学部本館11講義室 (B124) | 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(調査・開発・実証)<br>CS7-001~CS7-005 田島剛之       | 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(維持・管理)<br>CS7-006~CS7-011 松谷 治               | 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(施工管理・施工技術)<br>CS7-012~CS7-017 石間計夫 | 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(1)<br>CS10-001~CS10-005 松井隆行     |
|     | CSの2会場 | 理学部本館21講義室 (B218) |                                                              |                                                                   |                                                         | 放射性廃棄物の処分技術(1)<br>CS12-001~CS12-006 佐藤 伸                |
|     | CSの3会場 | 理学部本館22講義室 (B219) | 水理・水質解析のための汎用プラットフォームによる水工技術の社会実装(1)<br>CS6-001~CS6-006 立川康人 | 水理・水質解析のための汎用プラットフォームによる水工技術の社会実装(2)<br>CS6-007~CS6-013 菊森桂森      | International session国際セッション(2)<br>CS2-007~CS2-013 水谷 司 | International session国際セッション(3)<br>CS2-014~CS2-019 田中賢治 |
|     | CSの4会場 | 理学部本館23講義室 (B220) | International session国際セッション(1)<br>CS2-001~CS2-006 田村 洋      | International session国際セッション(2)<br>CS2-007~CS2-013 水谷 司           | 計算力学(4)<br>CS8-021~CS8-026 中畑和之                         | International session国際セッション(5)<br>CS2-025~CS2-029 安原英明 |
|     | CSの5会場 | 理学部本館24講義室 (A229) | International session国際セッション(9)<br>CS2-043~CS2-047 Yao Luan  | International session国際セッション(10)<br>CS2-048~CS2-051 MICHAEL HENRY | インフラ維持管理役割分担と契約方式<br>CS9-001~CS9-007 森田康夫               | International session国際セッション(7)<br>CS2-034~CS2-037 山本佳士 |
|     | CSの6会場 | 理学部本館25講義室 (B222) | 計算力学(1)<br>CS8-001~CS8-007 紅霞一寛                              | 計算力学(2)<br>CS8-008~CS8-013 車谷麻緒                                   | 計算力学(3)<br>CS8-014~CS8-020 浅井光輝                         | 地下空間の多角的利用(1)<br>CS5-001~CS5-006 馬場康之                   |



|     |        | 9月17日(木)                                                |                                                     | 9月18日(金)                                                |                                                     |
|-----|--------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 部門  | 会場     | 10:40~12:00                                             | 9:00~10:20                                          | 10:40~12:00                                             | 13:00~14:20                                         |
| I   | I-1    | 耐震構造(ダンパー)(2)<br>I-024~I-029 武田篤史                       |                                                     | 橋梁一般(測定)(1)<br>I-030~I-034 玉田和也                         | 橋梁一般(測定)(3)<br>I-041~I-045 西川貴文                     |
|     | I-2    | 地震防災(5)・地盤沈下<br>I-039~I-074 盛川 仁                        |                                                     | 地震応答解析(1)<br>I-075~I-079 久世益充                           | 地震応答解析(3)<br>I-086~I-090 庄司 学                       |
|     | I-3    | 橋梁の耐震(5)<br>I-118~I-124 幸左賢二                            | 橋梁の耐震(6)<br>I-125~I-130 五十嵐晃                        | 耐震設計法(1)<br>I-131~I-137 高橋良和                            | 耐震設計法(2)<br>I-144~I-150 矢部正明                        |
|     | I-4    | 基礎の耐震(2)<br>I-171~I-175 大竹吾吾                            | 地中構造物の耐震(1)<br>I-176~I-180 松本敏克                     | 地中構造物の耐震(2)<br>I-181~I-185 飯田泰子                         | 地中構造物の耐震(4)<br>I-192~I-196 中村 晋                     |
|     | I-5    | 震害<br>I-220~I-226 野口竜也                                  | 座屈・耐荷力(術)<br>I-227~I-231 松村政秀                       | 座屈・耐荷力(術)<br>I-232~I-236 奈良 敬                           | 座屈・耐荷力(その他)<br>I-243~I-247 熊野拓志                     |
|     | I-6    | 衝撃(1)<br>I-260~I-266 別府万寿博                              | 衝撃(2)<br>I-267~I-272 栗橋祐介                           | 衝撃(3)<br>I-273~I-279 牛渡裕二                               | 衝撃(4)<br>I-280~I-285 玉井宏樹                           |
|     | I-7    | 維持管理(構造)(5)<br>I-309~I-321 塩電裕三                         | 維持管理(構造)(6)<br>I-322~I-327 川西直樹                     | 維持管理(構造)(7)<br>I-328~I-333 笠野英行                         | 維持管理(システム・計画)(1)<br>I-334~I-338 木村元哉                |
|     | I-8    | 疲労(2)<br>I-369~I-375 穴見健吾                               | 疲労(3)<br>I-376~I-381 青木康泰                           | 疲労(4)<br>I-382~I-388 井口 進                               | 疲労(5)<br>I-389~I-393 丹波寛夫                           |
|     | I-9    | 維持管理(腐食)(2)<br>I-418~I-423 永田和寿                         | 維持管理(腐食)(3)<br>I-424~I-429 武渡勝道                     | 維持管理(腐食)(4)<br>I-430~I-435 片山英貴                         | 維持管理(腐食)(5)<br>I-436~I-441 下里哲弘                     |
|     | I-10   | 振動<br>I-459~I-463 渡邊孝歩                                  | 液状化<br>I-464~I-469 飛田哲男                             | 地盤変動(観測)<br>I-470~I-475 泰 吉弥                            | 地盤変動(解析)<br>I-476~I-481 坂井公俊                        |
|     | I-11   | 継手・接合<br>I-506~I-511 田畑晶子                               | 維持管理(補修補強)(1)<br>I-512~I-517 宮下 剛                   | 維持管理(補修補強)(2)<br>I-518~I-524 小野 潔                       | 維持管理(補修補強)(3)<br>I-525~I-530 高田佳彦                   |
|     | I-12   |                                                         | 数値解析<br>I-546~I-551 古川 陽                            | 免震構造・デバイス<br>I-552~I-558 牛島 栄                           | 破壊力学・弾塑性<br>I-559~I-564 車谷麻緒                        |
|     | I-13   | 耐風・風工学(5)<br>I-565~I-600 八木知己                           | 橋梁一般(設計)(1)<br>I-601~I-605 中島章典                     | 橋梁一般(設計)(2)<br>I-606~I-611 江頭康三                         | 橋梁一般(設計)(3)<br>I-612~I-617 奥井義昭                     |
| II  | II-1   | 河川堤防(2)<br>II-018~II-022 音田慎一郎                          | 魚網<br>II-023~II-028 鬼束幸樹                            | 河川生態(1)<br>II-029~II-034 皆川朋子                           | 水質<br>II-035~II-039 田中規夫                            |
|     | II-2   | 水理計測<br>II-068~II-073 橋 涼太                              | 植生水理<br>II-074~II-079 清水義彦                          | 流砂<br>II-080~II-085 山本太郎                                | 流砂・河床変動<br>II-086~II-091 福田朝生                       |
|     | II-3   | 構造物の水理・機能(2)<br>II-116~II-121 大槻朗朗                      | 海岸港湾構造物<br>II-122~II-127 津田宗男                       | 水生生物<br>II-128~II-133 田中隆二                              | 内湾環境・生態系<br>II-134~II-139 田井 明                      |
|     | II-4   | 高波・高潮<br>II-164~II-169 山城 賢                             | 津波と構造物(1)<br>II-170~II-175 松本 朗                     | 津波と構造物(2)<br>II-176~II-181 有光 剛                         | 津波と構造物(3)<br>II-182~II-187 小竹康夫                     |
|     | II-5   | 土砂管理<br>II-211~II-216 中川川誠                              | 流出・洪水(1)<br>II-217~II-222 小林健一郎                     | 流出・洪水(2)<br>II-223~II-228 馬龍 純                          | 水災害・防災(1)<br>II-229~II-234 伊藤弘之                     |
|     | II-6   | 土質安定処理(4)<br>II-017~II-022 足立有史                         | 地盤改良(1)<br>II-023~II-028 竹中博志                       | 地盤改良(2)<br>II-029~II-033 中澤博志                           | 地盤改良(3)<br>II-034~II-039 永尾浩一                       |
|     | II-7   | 土壌地下水汚染(2)<br>II-070~II-075 藤川拓朗                        | 地下空洞と地下構造物(1)<br>II-076~II-081 宇田川義夫                | 地下空洞と地下構造物(2)<br>II-082~II-086 前田健一                     | 維持・補修(1)<br>II-087~II-091 足尾雅樹                      |
|     | II-8   | トンネル(4)<br>II-121~II-126 砂金伸治                           | トンネル(5)<br>II-127~II-132 小泉直人                       | トンネル(6)<br>II-133~II-139 木村定雄                           | トンネル(7)<br>II-140~II-145 田近宏則                       |
|     | II-9   | 透水・浸透(5)<br>II-177~II-182 佐々木哲也                         | 廃棄物<br>II-183~II-188 小澤一喜                           | 不飽和土<br>II-189~II-194 酒匂一成                              | リサイクル<br>II-195~II-201 ハザリカヘマンタ                     |
|     | II-10  | 斜面(5)<br>II-235~II-240 小野祐輔                             | 斜面(6)<br>II-241~II-246 蔡 飛                          | 試験法・調査法(1)<br>II-247~II-252 小高猛司                        | 試験法・調査法(2)<br>II-253~II-258 伊藤和也                    |
|     | II-11  | 数値解析(2)<br>II-289~II-292 石丸 真                           | 土の動的性質<br>II-293~II-299 原田健二                        | 土の物理化学的性質・特殊土<br>II-300~II-306 片岡沙都紀                    | 土留め<br>II-312~II-317 古閑潤一                           |
|     | II-12  | 地盤の動的挙動(4)<br>II-344~II-349 規矩大義                        | 補強土(1)<br>II-350~II-355 峯岸邦夫                        | 補強土(2)<br>II-356~II-361 平川大貴                            | 補強土(3)<br>II-362~II-367 橋本 聖                        |
|     | II-13  | 安全性・信頼性<br>II-393~II-399 大竹 雄                           | 基礎工(1)<br>II-400~II-406 西岡英俊                        | 基礎工(2)<br>II-407~II-413 稲積真哉                            | 杭(1)<br>II-414~II-420 瀧 幸生                          |
| III | III-1  | 物流<br>III-013~III-017 石黒一彦                              | インフラ評価<br>III-018~III-021 柳沼秀樹                      | 土木史(1)<br>III-022~III-027 知野孝明                          | 土木史(2)<br>III-028~III-032 林 倫子                      |
|     | III-2  | 交通流・交通制御(2)<br>III-062~III-067 大橋幸子                     | 測量・リモートセンシング(1)<br>III-068~III-071 小西智久             | 測量・リモートセンシング(2)<br>III-072~III-077 杉村俊郎                 | 交通安全(1)<br>III-078~III-082 中西 航                     |
|     | III-3  | 観光・中心市街地活性化<br>III-101~III-105 長田哲平                     | 都市・地域計画<br>III-106~III-111 瀬谷 創                     | 歩行者・自転車交通<br>III-112~III-117 中村一樹                       | 交通安全(2)<br>III-118~III-123 松下 剛                     |
|     | III-4  | 構造設計(1)<br>III-027~III-032 田中秀治                         | 構造物調査・診断(1)<br>III-033~III-038 鈴木博博                 | 構造物調査・診断(2)<br>III-039~III-043 濱田 誠                     | 構造物調査・診断(3)<br>III-044~III-049 竹田章典                 |
|     | III-5  | クリープ・収縮<br>III-072~III-077 大野俊夫                         | 鋼材腐食(1)<br>III-078~III-083 加藤裕夫                     | 鋼材腐食(2)<br>III-084~III-089 奈良善和                         | 鋼材腐食(3)<br>III-090~III-095 山口明雄                     |
|     | III-6  | 新材料・新工法(構造)<br>III-124~III-129 滝本和志                     | 疲労・衝撃<br>III-130~III-135 藤山知加子                      | 補修・補強(構造)(1)<br>III-136~III-140 千々和伸治                   | 補修・補強(構造)(2)<br>III-141~III-145 上原子晶久               |
|     | III-7  | プレキャストコンクリート/コンクリート製品<br>III-175~III-179 加藤兼也           | 付着・定着・継手(1)<br>III-180~III-185 岡本 大                 | 付着・定着・継手(2)<br>III-186~III-189 佐藤瑞彦                     | 付着・定着・継手(3)<br>III-190~III-195 三木朋広                 |
|     | III-8  | 製造・施工<br>III-223~III-228 谷口秀明                           | リサイクル<br>III-229~III-234 江口康平                       | エコ・コンクリート/アクリル/LCC/LCA/サステナビリティ<br>III-235~III-240 黒岩義仁 | 高流動コンクリート<br>III-241~III-246 柳井修司                   |
|     | III-9  | 新材料・新工法(材料)(2)<br>III-217~III-222 堀直行                   | 新材料・新工法(材料)(3)<br>III-223~III-228 堀直行               | 新材料・新工法(材料)(4)<br>III-229~III-234 堀直行                   | 新材料・新工法(材料)(5)<br>III-235~III-240 堀直行               |
|     | III-10 | 構造評価(1)<br>III-327~III-331 中原大蔵                         | 路面評価(1)<br>III-332~III-336 亀山修一                     | 路面評価(2)<br>III-337~III-341 藤原采吾                         | 路面評価(3)<br>III-342~III-346 平川一成                     |
|     | III-11 | アスファルト系舗装<br>III-372~III-377 鈴木 徹                       | 舗装一般<br>III-378~III-383 川上篤史                        | 木材利用(1)<br>III-384~III-389 千田知弘                         | 木材利用(2)<br>III-390~III-395 原 忠                      |
|     | III-12 | 非破壊試験法(2)<br>III-423~III-428 大野健太郎                      | 非破壊試験法(3)<br>III-429~III-434 細野宏巳                   | 非破壊試験法(4)<br>III-435~III-440 阿波 稔                       | 非破壊試験法(5)<br>III-441~III-446 江里口玲                   |
|     | III-13 | 骨材(2)<br>III-478~III-482 上野 敦                           | 混和材(1)<br>III-483~III-488 佐川康貴                      | 混和材(2)<br>III-489~III-494 福岡和人                          | 混和材(3)<br>III-495~III-500 小川由布子                     |
| IV  | IV-1   | 特殊コンクリート<br>III-531~III-536 吉田克典                        | アルカリシリカ反応(1)<br>III-537~III-541 黒田 保                | アルカリシリカ反応(2)<br>III-542~III-546 上田隆雄                    | アルカリシリカ反応(3)<br>III-547~III-551 久保善司                |
|     | IV-2   | 補修・補強(材料)(1)<br>III-552~III-557 新川 浩                    | 補修・補強(材料)(2)<br>III-558~III-563 末岡英二                | 補修・補強(材料)(3)<br>III-564~III-569 木貴士                     | 補修・補強(材料)(4)<br>III-570~III-575 江良和徳                |
|     | IV-3   | 短繊維補強コンクリート(材料)(2)<br>III-634~III-639 岡枝 稔              | 破壊力学<br>III-640~III-643 上田尚久                        | 曲げ・せん断・ねじり(1)<br>III-644~III-649 渡辺 健                   | せん断・ねじり(2)<br>III-650~III-653 山本佳士                  |
|     | IV-4   | ダム(2)<br>III-025~III-030 坂詰俊彦                           | ダム(3)<br>III-031~III-036 黒木 博                       | ダム(4)<br>III-037~III-042 池松達治                           | 建設ロボット<br>III-043~III-048 池松達治                      |
|     | IV-5   | シールドトンネル(5)<br>III-077~III-082 新井 泰                     | シールドトンネル(6)<br>III-083~III-087 鹿島竜之介                | シールドトンネル(7)<br>III-088~III-092 安井克豊                     | シールドトンネル(8)<br>III-093~III-098 津野 究                 |
|     | IV-6   | 検査技術・診断(4)<br>III-129~III-134 佐藤大輔                      | 検査技術・診断(5)<br>III-135~III-140 松山公年                  | 検査技術・診断(6)<br>III-141~III-146 羽矢 洋                      | 検査技術・診断(7)<br>III-147~III-152 阿部慶太                  |
|     | IV-7   | 建設マネジメント(2)<br>III-183~III-188 小濱健吾                     | 建設マネジメント(3)<br>III-189~III-194 後藤忠博                 | 安全管理<br>III-195~III-200 原田雅弘                            | 海洋構造物<br>III-201~III-206 伊藤一教                       |
|     | IV-8   | CIM(2)<br>III-237~III-242 青山憲明                          | 公共政策・調達<br>III-243~III-248 伊藤 真                     | GPS・技術開発(1)<br>III-249~III-254 森田泰司                     | 技術開発(2)<br>III-255~III-260 石井裕泰                     |
|     | IV-9   | リニューアール(1)<br>III-291~III-296 内藤英樹                      | リニューアール(2)<br>III-297~III-302 熊坂徹也                  | リニューアール(3)<br>III-303~III-308 川本康志                      | リニューアール(4)<br>III-309~III-314 柴 幸三                  |
|     | IV-10  | リニューアール(10)<br>III-345~III-350 岩井 稔                     | リニューアール(11)<br>III-351~III-356 森崎静一                 | 地盤改良(1)<br>III-357~III-362 山下 徹                         | 地盤改良(2)<br>III-363~III-368 河田雅也                     |
|     | IV-11  | 施工計画(3)<br>III-399~III-404 清水正巳                         | 施工計画(4)<br>III-405~III-410 坂井佳久                     | 施工計画(5)<br>III-411~III-416 八朝秀晃                         | 施工計画(6)<br>III-417~III-422 梅村 勝                     |
|     | IV-12  | 軌道の維持管理(5)<br>III-452~III-457 橋谷栄一                      | 軌道の維持管理(6)<br>III-458~III-463 佐古武彦                  | 軌道の維持管理(7)<br>III-464~III-469 片岡慶太                      | 軌道の維持管理(8)<br>III-470~III-475 川崎祐征                  |
|     | IV-13  | 軌道の維持管理(12)<br>III-506~III-511 溝口敦司                     | 軌道の維持管理(13)<br>III-512~III-517 熊倉孝雄                 | 軌道の維持管理(14)<br>III-518~III-523 森本 勝                     | 軌道の維持管理(15)<br>III-524~III-529 田中博文                 |
| V   | IV-14  | 鉄道工事(4)<br>III-554~III-559 久多羅木吉治                       | 鉄道工事(5)<br>III-560~III-565 天野健次                     | 鉄道工事(6)<br>III-566~III-572 仁平達也                         | 鉄道工事(7)<br>III-573~III-578 大塚隆夫                     |
|     | IV-15  | 施工技術(5)<br>III-609~III-614 新田 亮                         | 施工技術(6)<br>III-615~III-620 藤原智都                     | 施工技術(7)<br>III-621~III-626 波多野正邦                        | 施工技術(8)<br>III-627~III-632 山本多成                     |
|     | IV-16  | 山岳トンネル(5)<br>III-663~III-668 土門 剛                       | 山岳トンネル(6)<br>III-669~III-674 嶋本敬介                   | 山岳トンネル(7)<br>III-675~III-680 三上元弘                       | 山岳トンネル(8)<br>III-681~III-686 岡岡 幹                   |
|     | IV-17  | 施工技術(11)<br>III-717~III-722 太木智明                        | 施工技術(12)<br>III-723~III-728 久保昌史                    | 施工技術(13)<br>III-729~III-733 吉田健治                        | 施工技術(14)<br>III-734~III-738 藤崎勝利                    |
|     | IV-18  | 山岳トンネル(14)<br>III-768~III-773 森田 篤                      | 山岳トンネル(15)<br>III-774~III-779 横尾 敦                  | 山岳トンネル(16)<br>III-780~III-784 手塚 仁                      | 土留め(2)<br>III-785~III-790 土屋雅徳                      |
|     | IV-19  | 用排水処理(5)<br>III-025~III-029 高部祐剛                        | 水質モニタリング・解析<br>III-030~III-035 金田一智規                | 水質浄化技術(1)<br>III-036~III-041 奈良松範                       | 水質浄化技術(2)<br>III-042~III-047 赤松良一                   |
|     | IV-20  | 埋立処分場と治水<br>III-075~III-079 藤原隆彦                        | 土壌地下水汚染(重金属等)<br>III-080~III-085 樋口隆哉               | 土壌地下水汚染(自然由来重金属)<br>III-086~III-090 緒方浩基                | 土壌地下水汚染(重金属以外)<br>III-091~III-094 伊藤 歩              |
|     | IV-21  | 環境創造・ビオトープ(1)<br>III-117~III-122 高砂裕之                   | 環境創造・ビオトープ(2)<br>III-123~III-128 群谷大輔               | 森林・植生<br>III-129~III-134 大野 剛                           | 振動<br>III-135~III-139 斎藤邦夫                          |
|     | IV-22  | 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(2)<br>CS10-006~CS10-011 石川裕一     | 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(3)<br>CS10-012~CS10-016 田中良樹 | 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(4)<br>CS10-017~CS10-021 本間雅史     | 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(5)<br>CS10-022~CS10-026 横山和昭 |
|     | IV-23  | 放射性廃棄物の処分技術(2)<br>CS12-007~CS12-012 千々松正和               | 放射性廃棄物の処分技術(3)<br>CS12-013~CS12-018 渡邊保貴            | 放射性廃棄物の処分技術(4)<br>CS12-019~CS12-024 中島 均                | 放射性廃棄物の処分技術(5)<br>CS12-025~CS12-031 川村一三            |
|     | IV-24  | International session国際セッション(4)<br>CS2-020~CS2-024 下園武雄 | 複合構造物(1)(FRP)(1)<br>CS3-001~CS3-005 松本高志            | 複合構造物(2)(FRP)(2)<br>CS3-006~CS3-011 中村一史                | 複合構造物(3)(複合構造物一般)(2)<br>CS3-012~CS3-022 葛西 昭        |
|     | IV-25  | International session国際セッション(6)<br>CS2-030~CS2-033 潮谷 創 | 複合構造物(5)(複合構造物一般)(1)<br>CS3-012~CS3-017 大久保直人       | 複合構造物(6)(すれ止め)(2)<br>CS3-018~CS3-023 斎藤 隆               | 複合構造物(7)(すれ止め)(2)<br>CS3-024~CS3-033 清江慶夫           |
|     | IV-26  | International session国際セッション(8)<br>CS2-038~CS2-042 高橋祐祐 | 土木教育一般(1)<br>CS1-001~CS1-007 皆川 浩                   | 土木教育一般(2)<br>CS1-008~CS1-013 加藤 隆                       | 土木教育一般(3)<br>CS1-014~CS1-020 山田久美                   |
|     | IV-27  | 地下空間の多角的利用(2)<br>CS5-007~CS5-012 宇野洋志城                  | 新設および大規模改修時における橋梁計画(1)<br>CS4-001~CS4-006 小村義弘      | 新設および大規模改修時における橋梁計画(2)<br>CS4-007~CS4-011 一瀬伯子ルイザ       | 新設および大規模改修時における橋梁計画(3)<br>CS4-012~CS4-016 永元直樹      |
| VI  | IV-28  | 自動化工システム<br>III-049~III-054 歌川紀之                        | シールドトンネル(9)<br>III-099~III-104 森脇昭博                 | 検査技術・診断(8)<br>III-153~III-158 戸田勝哉                      | 河川構造物<br>III-207~III-212 小畑耕一                       |
|     | IV-29  | 技術開発(1)<br>III-265~III-266 寺田倫康                         | リニューアール(5)<br>III-315~III-320 田野豊数                  | 人材育成<br>III-369~III-374 本間淳史                            | 上下水道管理<br>III-423~III-426 宮田 和                      |
|     | IV-30  | 事業計画・設計概念<br>III-530~III-535 古井伸一郎                      | 鉄道工事(8)<br>III-579~III-584 舟橋秀隆                     | 施工技術(9)<br>III-633~III-638 横山直行                         | 山岳トンネル(9)<br>III-687~III-692 高橋 浩                   |
|     | IV-31  | 土留め(2)<br>III-791~III-796 岩波 基                          | 上下水道管理<br>III-048~III-052 田野幹久                      | 土壌地下水汚染(重金属以外)<br>III-095~III-099 池田和弘                  | 自動化工システム<br>III-049~III-054 歌川紀之                    |
|     | IV-32  | 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(6)<br>CS10-027~CS10-031 北川幸二     | 放射性廃棄物の処分技術(6)<br>CS12-032~CS12-037 小室秀隆            | 複合構造物(4)(複合構造物一般)(3)<br>CS3-023~CS3-028 野尻 陽兵           | 複合構造物(5)(複合構造物一般)(2)<br>CS3-029~CS3-033 清江慶夫        |
|     | IV-33  | 土木教育一般(3)<br>CS1-014~CS1-020 山田久美                       | 新設および大規模改修時における橋梁計画(4)<br>CS4-017~CS4-022 畑山義人      |                                                         |                                                     |
|     | IV-34  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |
|     | IV-35  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |
|     | IV-36  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |
|     | IV-37  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |
|     | IV-38  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |
|     | IV-39  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |
|     | IV-40  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |
|     | IV-41  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |
|     | IV-42  |                                                         |                                                     |                                                         |                                                     |

# 第70回 年次学術講演会プログラム

## 第I部門

応用力学、構造工学、鋼構造、耐震工学、地震工学、風工学など

I-1 (一般教育棟D11講義室) / 9月16日(水)

### ■診断・補修・補強 / 9:00~10:20 / 西尾 真由子(横浜国立大学)

- I-001 超望遠撮影と高速度動画撮影による構造物の変位計測 / 名城大学 [正] 小塩 達也・木全 博聖
- I-002 連続する新設鉄道橋梁の変位特性に対する簡易変位測定 / 東日本旅客鉄道 [正] 中村 光佑・堤 直之・竹市 八重子
- I-003 遠隔非接触振動計測の測定手法及び実橋梁への適用に関する検討 / 長崎大学 [学] 長島 和輝・松田 浩・森田 千尋
- I-004 ロングゲージFBGセンサを用いたRC柱の部材角計測に関する研究 / 茨城大学 [学] 中島 悠樹・呉 智深・黄 黄
- I-005 ロングゲージFBGセンサモニタリングによる実橋梁の劣化損傷評価に関する研究 / 茨城大学 [学] 渡邊 智則・呉 智深・石沢 孝
- I-006 鋼部材の補修と状態把握を可能とするCFRPストランドセンサの基礎研究 / 長岡技術科学大学 [学] 田中 幹基・松本 大樹・秀熊 佑哉

### ■橋梁振動(実験・測定) (1) / 10:40~12:00 / 深田 幸史(金沢大学)

- I-007 歩道橋の構造減衰特性に及ぼす静止者のTMD効果 / 近畿大学 [F] 米田 昌弘
- I-008 実稼働モード解析による単径間PC橋の振動減衰特性同定 / 埼玉大学 [学] 田中 俊成・Rehmat Sheharyar・松本 泰尚
- I-009 経験的モード分解を用いた鋼ニールセンアーチ人道橋の減衰特性の検討 / 東京理科大学 [学] 木村 公亮・前田 恭佑・木村 吉郎
- I-010 大振幅振動現象を示す新幹線高架橋PRC桁の非接触振動計測による構造特性の分析 / 東京大学 [学] 中須賀 淳貴・水谷 司・山本 悠人
- I-011 実物大の旅客階段模型による共振振動試験 / JR東日本 [正] 三木 孝則・吉田 一・井上 佳樹
- I-012 高架鉄骨構造駅舎の床振動対策 / 熊谷組 [正] 山下 裕慈・柳川 和道・前川 利雄

### ■橋梁振動(実験・測定) (2) / 13:00~14:20 / 佐々木 栄一(東京工業大学)

- I-013 ARXモデルとバイズファクタを用いた長期橋梁ヘルスマニタリングへの試み / 京都大学 [学] 森田 知明・金 哲佑・大島 義信
- I-014 走行車両動的応答による橋梁固有振動数の抽出 / 京都大学 [学] 井上 真一・金 哲佑・杉浦 邦征
- I-015 FDD法およびSVD法の交通振動への適用性に関する基礎的検討 / 筑波大学 [学] 浅川 一樹・山本 亨輔・石川 幹生
- I-016 横断歩道橋を対象とした3次元振動特性同定と損傷位置同定 / 広島県 [正] 綿崎 良祐・宮森 保紀・門田 峰典
- I-017 横断歩道橋の数値解析モデル構築と補修前後のモード振動の相関性による損傷同定の検討 / オリエンタルコンサルタンツ [正] 門田 峰典・宮森 保紀・綿崎 良祐

I-1 (一般教育棟D11講義室) / 9月17日(木)

### ■耐震構造(ダンパー) (1) / 9:00~10:20 / 松田 泰治(熊本大学)

- I-018 皿バネボルトセットを用いた摩擦型ダンパーの速度依存性 / 大林組 [正] 早川 智浩・鈴木 雄吾・金田 和男
- I-019 橋梁の制震化に用いる摩擦ダンパーの実験的研究(その1:ダンパー概要と基本特性) / 青木あすなる建設 [F] 牛島 栄・波田 雅也・右高 裕二
- I-020 橋梁の制震化に用いる摩擦ダンパーの実験的研究(その2:L2地震時の履歴特性) / 青木あすなる建設 [正] 波田 雅也・牛島 栄・右高 裕二
- I-021 鋼管コイルばねを用いた緩衝機能付き落橋防止装置の提案 / 青木あすなる建設 [正] 新井 佑一郎・土田 亮章・石鍋 雄一郎
- I-022 魚骨形座屈拘束ブレース(FB-BRB)の開発に関する実験とシミュレーション / 名城大学 [学] 間 楊・丸山 陸也・賈 良玖
- I-023 免震U型ダンパーを用いた鋼方柱ラーメン橋の耐震性能向上に関する検討 / ニューブリッジ [正] 加藤 修・野呂 直以

### ■耐震構造(ダンパー) (2) / 10:40~12:00 / 武田 篤史(大林組)

- I-024 芯材に波形鋼帯板を適用したBRB (RP-BRB)の実験的検討 / 新日鉄住金エンジニアリング [正] 山崎 伸介・加藤 弘務・宇佐美 勉
- I-025 芯材に波形鋼帯板を適用したBRB (RP-BRB)の解析的検討 / 名城大学 [学] 加藤 弘務・山崎 伸介・宇佐美 勉
- I-026 絶対応答を低減する負剛性摩擦ダンパーの開発と性能検証(その1:ダンパーの設計・試作および単体性能試験) / オイレス工業 [正] 岩崎 雄一・河内山 修・豊岡 亮洋
- I-027 絶対応答を低減する負剛性摩擦ダンパーの開発と性能検証(その2:制震効果の解析的検討とハイブリッド試験による検証) / 鉄道総合技術研究所 [正] 豊岡 亮洋・本山 紘希・河内山 修
- I-028 軸力と曲げを考慮した高機能座屈拘束ブレースの制震性能に関する実験的検討 / 名城大学 [学] 石田 真士・渡辺 孝一
- I-029 拘束部材に溝形鋼を使用したBRBの変形性能に関する実験的検討 / 名城大学 [学] 清水 俊彦・渡辺 孝一

I-1 (一般教育棟D11講義室) / 9月18日(金)

### ■橋梁一般(測定) (1) / 10:40~12:00 / 玉田 和也(舞鶴工業高等専門学校)

- I-030 曲線を有する2径間連続鋼ポータルラーメン橋の実挙動 / 西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 河田 直樹・高橋 章・大柳 英之
- I-031 弾性支承を用いた走行荷重検知システムの構築 / 金沢大学 [正] 深田 幸史・樺山 好幸・河田 直樹
- I-032 走行活荷重測定用簡易センサーの開発 / フジエンジニアリング [正] 浜 博和・梨本 竜太郎・深田 幸史
- I-033 鋼製フィンガージョイントの実橋計測 / 横河住金ブリッジ [正] 松野 正見・利根川 太郎・宮下 剛
- I-034 社会基盤構造物への適応に向けた高精度光変位センサの評価実験 / 長岡技術科学大学 [学] 衣川 扶・宮下 剛・藤井 徹

### ■橋梁一般(測定) (2) / 13:00~14:20 / 小西 拓洋(東京都市大学)

- I-035 長支間PC床版を有する鋼2主鈎橋の振動特性について / 中日本高速道路 [正] 小野 聖久・金田 遥・大竹 省吾
- I-036 3径間連続曲線山岳橋梁の解体施工 / 砂子組 [正] 野崎 了・田中 孝宏・近藤 里史
- I-037 3径間連続曲線橋の床版撤去時の桁歪み挙動 / 砂子組 [正] 田中 孝宏・野崎 了・近藤 里史
- I-038 3径間連続曲線山岳橋梁の解体解析 / 砂子組 [正] 田尻 太郎・田中 孝宏・野崎 了
- I-039 鋼・コンクリート合成サンドウィッチ床版の実測有効幅 / 砂子組 [正] 近藤 里史・平島 博樹・丸山 欣一
- I-040 鋼・コンクリート合成サンドウィッチ床版計測による剛性評価 / 砂子組 [正] 平島 博樹・近藤 里史・丸山 欣一

### ■橋梁一般(測定) (3) / 14:40~16:00 / 西川 貴文(長崎大学)

- I-041 画像処理を利用した損傷検知技術 / 東京都市大学 [正] 小西 拓洋・小屋 祐太郎
- I-042 供用後100年経過した鋼鉄道橋を用いた静的載荷試験 / 東日本旅客鉄道 [正] 加藤 格・後藤 貴士・小林 薫
- I-043 飛橋の損傷付与実験〜橋の健全度診断に向けて〜 / 舞鶴工業高等専門学校 [学] 仮谷 允昌・玉田 和也・宮下 剛
- I-044 はす川橋の遠隔モニタリングに向けた研究 / 舞鶴工業高等専門学校 [学] 井尻 和秀・玉田 和也・宮下 剛
- I-045 連続桁道路橋の支間長変化による交通振動・低周波音解析 / 神戸大学 [学] 森 謙吾・川谷 充郎・坪本 正彦

I-2 (一般教育棟D12講義室) / 9月16日(水)

### ■地震防災 (1) / 9:00~10:20 / 秦 康範(山梨大学)

- I-046 新しいアルゴリズムを実装した早期警報用地震計の試作ならびに稼働試験 / 鉄道総合技術研究所 [正] 岩田 直泰・山本 俊六・岡本 京祐



- I-047 北海道新幹線における地震防災システムについて／鉄道・運輸機構 [正] 南 邦明・尾関 誠・伊藤 賀章  
 I-048 既往地震データに基づく高速道路復旧予測に関する基礎的検討／千葉大学 [学] 上原 康平・丸山 喜久  
 I-049 地震動による構造部材損傷をバイナリで判定するセンサの開発／東京理科大学 [学] 三村 真代・佐伯 昌之  
 I-050 杭基礎を有する複数RC構造物の津波被害発生メカニズムに関する研究／京都大学 [学] 家根 拓矢・奥村 与志弘・清野 純史  
 I-051 地盤不連続点における橋梁変状—傾斜地盤—／元前橋工科大学 [F] 那須 誠

#### ■地震防災(2) / 10:40~12:00 / 田中 努(エイト日本技術開発)

- I-052 学校防災・危機管理人材養成プログラムの実践／徳島大学 [正] 中野 晋・阪根 健二・山城 新吾  
 I-053 2015年2月6日徳島県南部地震における学校および保育所の避難行動／徳島大学 [正] 三上 卓・中野 晋・鳥庭 康代  
 I-054 実態調査とアンケートによる効果的な津波防災対策に関する研究(その1:観光都市鎌倉市での取り組み)／構造計画研究所 [正] 落合 努・高梨 成子・荏本 孝久  
 I-055 実態調査とアンケートによる効果的な津波防災対策に関する研究(その2:津波の避難行動)／神奈川大学 [正] 荏本 孝久・高梨 成子・落合 努  
 I-056 東京オリンピックと首都圏直下地震／[F] 伯野 元彦  
 I-057 地震動が高速道路走行中の車両の追従挙動に与える影響について／京都大学 [学] 村上 凌一・rishi ram parajuli・清野 純史

#### ■地震防災(3) / 13:00~14:20 / 能島 暢呂(岐阜大学)

- I-058 GISと道路データを用いた配水管の属性把握／千葉大学 [学] 川村 啓太・山崎 文雄・リュウ ウェン  
 I-059 造成地における水道管路被害地域スクリーニング手法の検討／関東学院大学 [学] 吉川 誠人・若松 加寿江・永田 茂  
 I-060 神戸市の建物データに基づく兵庫県南部地震における建物解体率／千葉大学 [学] 市村 直登・丸山 喜久  
 I-061 東北地方太平洋沖地震の津波被災地における平面道路被害分析／千葉大学 [学] 板垣 治・丸山 喜久  
 I-062 東北地方太平洋沖地震津波により被災した橋台周辺盛土の被害把握／筑波大学 [学] 高橋 和慎・庄司 学・水越 湧太  
 I-063 高解像度SAR画像を用いた福島第一原子力発電所の状況把握／千葉大学 [正] リュウ ウェン・水野 真晴・山崎 文雄

#### I-2 (一般教育棟D12講義室) / 9月17日(木)

#### ■地震防災(4) / 9:00~10:20 / 永田 茂(鹿島建設)

- I-064 長野県神城断層地震における都市ガス用マイコンメータ感震遮断と推定震度／名古屋大学 [正] 北野 哲司・久世 晋一郎  
 I-065 東北地方太平洋沖地震における東京ガス供給エリアの埋設管被害分析／千葉大学 [学] 向後 陽平・丸山 喜久・猪股 渉  
 I-066 東北地方太平洋沖地震の作用を受けた通信埋設管の被害の特徴／筑波大学 [学] 宮崎 史倫・庄司 学・若竹 雅人  
 I-067 供給系ライフラインの地震時機能的被害・復旧評価モデル—地点別簡易評価法のツール開発—／岐阜大学 [正] 加藤 宏紀・能島 暢呂  
 I-068 地震リスクを考慮した公共下水道管路施設のアセットマネジメントに関する研究／兵庫県庁 [正] 常井 友也

#### ■地震防災(5)・地盤液化化 / 10:40~12:00 / 盛川 仁(東京工業大学)

- I-069 微地形区分を用いた全国の表層地盤固有周期の簡易評価／JR九州コンサルタンツ [正] 加藤 尚・坂井 公俊・田中 浩平  
 I-070 広域地盤モデルの評価に向けた千葉県西北部地震における表層地盤増幅特性の推定／千葉大学 [学] 東野 晋也・丸山 喜久・猪股 渉  
 I-071 震度継続時間の予測モデルの2014年長野県神城断層地震への適用と検証／岐阜大学 [正] 能島 暢呂・久世 益充  
 I-072 臨海工業団地における埋立履歴を考慮した液化化危険度評価と道路機能支障の検討／豊橋技術科学大学 [正] 河邑 眞・石川 昌幹・中迎 誠  
 I-073 下水マンホールの液化化対策効果の解析的検証／東洋大学 [学] 鈴木 理也・鈴木 崇伸  
 I-074 マイクロスフェアを用いた新しい液化化対策工法の開発／大林組 [正] 望月 勝紀・山田 宏・伊藤 浩二

#### I-2 (一般教育棟D12講義室) / 9月18日(金)

#### ■地震応答解析(1) / 10:40~12:00 / 久世 益充(岐阜大学)

- I-075 地盤の規準変位が地表面地震動に与える影響の確認／ジェイアール総研エンジニアリング [正] 日野 篤志・坂井 公俊  
 I-076 下負荷面モデルによる地震応答解析／パシフィックコンサルタンツ [正] 宮下 健一朗・橋口 公一  
 I-077 せん断破壊・引張破壊を考慮した動的解析用地盤モデルの提案／鹿島建設 [正] 沖見 芳秀  
 I-078 入力波動場に基づく、3次元地盤非線形建物—地盤相互作用解析法／東京大学 [正] 飯田 昌弘  
 I-079 改定された設計地震動が鋼ランガー橋の地震時応答特性に与える影響／大阪大学 [学] 石川 達也・小野 潔・馬越 一也

#### ■地震応答解析(2) / 13:00~14:20 / 水谷 司(東京大学)

- I-080 非線形地震応答解析を用いたレベル2地震時における横浜ベイブリッジのウインドダウ—ウインドタンク間の衝突応答とその影響の分析／東京大学 [学] 武田 智信・水谷 司・長山 智則  
 I-081 東北地方太平洋沖地震の余震観測記録に基づいた鶴見つばさ橋の振動特性の検証／筑波大学 [正] 庄司 学・藤川 昌也  
 I-082 3DFEMを用いたプレキャストコンクリート連続アーチ橋の動的地震応答解析に関する基礎的考察／愛知工業大学 [正] 宗本 理・園田 佳巨・小篠 康徳  
 I-083 跨座型モノレールPC高架橋の地震応答解析／エイト日本技術開発 [正] 小野 和行・川谷 充郎・金 哲佑  
 I-084 東北新幹線の支保部特性を考慮した地震時不同変位に関する検討／東日本旅客鉄道 [正] 伊東 佑香・小林 薫・平林 雅也  
 I-085 鉄道無筋コンクリート橋脚の耐震対策に関する基礎的研究／京都大学 [学] 水上 輝・古川 愛子・清野 純史

#### ■地震応答解析(3) / 14:40~16:00 / 庄司 学(筑波大学)

- I-086 長大斜張橋の架設段階の地震に対する安全性の検討／早稲田大学 [学] 大橋 亮介・清宮 理  
 I-087 鉄道高架橋との連成を考慮した防音壁の地震時応答の簡易評価手法の提案／鉄道総合技術研究所 [正] 徳永 宗正・渡辺 勉・曾我部 正道  
 I-088 新幹線高架橋と車両連成系の非線形地震応答特性／[学] 松本 修平・川谷 充郎・何 興文  
 I-089 橋梁走行中の大型トラックの地震時転倒解析／[学] 成田 顕次・シリゴンゴ ディオン・藤野 陽三  
 I-090 新幹線高架橋上の電車線柱のTMDによる震動制御効果の連成系地震応答解析による分析／[学] 飯島 怜・水谷 司・武田 智信  
 I-091 複数の構造実験部分を有する遠隔・低温域サブストラクチャハイブリッド地震応答解析／八千代エンジニアリング [正] 齋藤 樹里・宮森 保紀・河内山 修  
 I-092 長大トラス橋に設置した軸降伏型制震ダンパーの動特性を考慮した解析による応答変化に関する一考察／九州大学 [学] 井手 将一・梶田 幸秀・ハッ元 仁

#### I-3 (一般教育棟E11講義室) / 9月16日(水)

#### ■橋梁の耐震(1) / 9:00~10:20 / 葛西 昭(熊本大学)

- I-093 正方形断面鋼製橋脚を持つ連続高架橋模型の2方向加振実験による終局挙動のFE解析／長大 [正] 鈴木 俊洋・後藤 芳顕・海老澤 健正  
 I-094 円形断面鋼製橋脚を持つ連続高架橋模型の2方向加振実験による終局挙動のFE解析／名古屋工業大学 [正] 海老澤 健正・後藤 芳顕・小畑 誠  
 I-095 連続高架橋模型の2方向加振実験に基づくゴム支承の挙動特性に関する検討／瀧上工業 [正] 奥村 徹・後藤 芳顕・海老澤 健正  
 I-096 大加速度の3方向地震動を受ける鋼製円筒橋脚の局部座屈現象に関する解析的検討／東京都市大学 [学] 水島 千賀子・森 雅美・白旗 弘実  
 I-097 鋼製橋脚の現行の耐震照査法の妥当性と水平2方向地震動同時入力下での安全性に関する検討／鳥取県 [正] 松本 英樹・後藤 芳顕・海老澤 健正  
 I-098 余震による鋼製橋脚の倒壊特性とケーブルによる倒壊防止構造／名古屋工業大学 [学] VAN BACH NGUYEN・後藤 芳顕・海老澤 健正

#### ■橋梁の耐震(2) / 10:40~12:00 / 後藤 芳顕(名古屋工業大学)

- I-099 座屈パラメータの違いが長時間連続地震動を受ける鋼製橋脚の耐力低下に及ぼす影響／ビー・アイ・ティー [正] 鈴木 拓馬・北原 武嗣・岸 祐介

- I-100 西船場JCT改築事業における犠牲橋脚を用いた耐震設計／阪神高速道路 [正] 谷口 惺・小林 寛・杉山 裕樹
- I-101 上部工と剛結されたラーメン鋼脚の耐震性能照査／西日本 [正] 北 健志・石田 悠樹
- I-102 鋼製橋脚を有する乗換線橋の耐震性能評価／東日本旅客鉄道 [正] 大島 博之・浜田 栄治・山田 正人
- I-103 円形鋼管柱を適用した線路上空自由通路の耐震設計—鉄道および道路基準による比較—／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 宮澤 明子・石井 高広・高木 芳光
- I-104 鋼トラス上部工への新たな制震装置の導入について(関越自動車道 片品川橋)／東日本高速道路 [正] 鈴木 雄吾・金田 和男・武田 篤史
- I-105 一定せん断流パネル解析を用いた方杖ラーメン橋隅角部の耐震補強検討／横河ブリッジ [正] 水口 知樹・玉越 隆史・横井 芳輝

#### ■橋梁の耐震(3) / 13:00~14:20 / 竹田 周平(福井工業大学)

- I-106 ダンパーの損傷痕跡から推定される津波による気仙大橋の挙動メカニズム／土木研究所 [正] 中尾 尚史・森屋 圭浩・井上 崇雅
- I-107 津波による損傷を受けた既設道路橋線支の耐力と破壊形態／土木研究所 [正] 森屋 圭浩・中尾 尚史・星隈 順一
- I-108 歌津大橋の水理実験と耐力評価／長大 [正] 虻川 高宏・長谷川 明
- I-109 地震動と津波外力を受ける橋梁構造物の破壊の進展／早稲田大学 [学] 五十嵐 裕哉・安 同祥
- I-110 孤立波が作用する橋台に発生する津波波力の実験的検討／九州工業大学 [学] 濱井 翔太郎・幸左 賢二・佐藤 崇

#### I-3 (一般教育棟E11講義室) / 9月17日(木)

#### ■橋梁の耐震(4) / 9:00~10:20 / 川西 智浩(鉄道総合技術研究所)

- I-111 盛土中橋脚の耐震性能評価に用いる解析手法の比較検討／鉄道総合技術研究所 [正] 酒井 大央・井澤 淳・室野 剛隆
- I-112 杭基礎形式の超連続基礎を有する高架橋における地震時挙動の把握／鉄道総合技術研究所 [正] 田中 浩平・室野 剛隆
- I-113 地震時の桁衝突に伴う橋梁下部工応答特性の解析的検討／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 西城 能利雄・岡田 慎哉・西 弘明
- I-114 補強土橋台の受働抵抗を活用した橋梁の耐震構造計画／鉄道・運輸機構 [正] 米澤 豊司・石井 秀和・菊地 圭介
- I-115 3次元動的解析による橋梁基礎の減衰に関する検討／日中構造研究所 [正] 梁 生鈿・松原 勝己・吉山 博
- I-116 PC斜材付き $\pi$ 型ラーメン橋の耐震照査について／東日本高速道路 [正] 金田 和男・鈴木 雄吾・塩田 英俊
- I-117 橋長の違いがGRS一体橋梁の地震時応答に与える影響の解析的検討／鉄道総合技術研究所 [正] 佐々木 徹也・西岡 英俊・玉井 真一

#### ■橋梁の耐震(5) / 10:40~12:00 / 幸左 賢二(九州工業大学)

- I-118 RC中空断面橋脚の耐震性能に関する実験的検討／高速道路総合技術研究所 [正] 高原 良太・青木 圭一
- I-119 アンボンド補強鉄筋コンクリート橋脚供試体の正負交番載荷実験／土木研究所寒地土木研究所 [正] 佐藤 孝司・岡田 慎哉・西 弘明
- I-120 Evaluation on the Reduction Influence on the Pullout of Longitudinal Bar in a RC Column Based on E-Defense Excitation／九州工業大学 [学] 高 恒・幸左 賢二・佐々木 達生
- I-121 SEISMIC RELIABILITY ASSESSMENT OF A CORRODED RC BRIDGE PIER IN MARINE ENVIRONMENT USING INSPECTION DATA／Waseda University [学] Thanapol Yanweerasak・秋山 充良
- I-122 Seismic performance of slender wall-type pier with Concrete Hinges／Kyoto University [正] Nazeer Rafeeqe Ahmed・高橋 良和・和木 正喜
- I-123 メナーゼヒンジの回転剛性を考慮したロッカー橋脚を有する橋梁の耐震性能検討／ドュー大地 [正] 李 首一・高橋 良和・和木 正喜
- I-124 2011年東北地方太平洋沖地震で被災したRC1層ラーメン高架橋の地震被害とサイト特性を考慮した強震動の関係／早稲田大学 [学] 篠口 冴子・石橋 寛樹・秦 吉弥

#### I-3 (一般教育棟E11講義室) / 9月18日(金)

#### ■橋梁の耐震(6) / 9:00~10:20 / 五十嵐 晃(京都大学)

- I-125 ケーブル併用制震すべりシステムを適用した吊橋各部位の応

- 答周期特性／西日本高速道路エンジニアリング九州 [正] 坂田 裕彦・松田 泰治・今村 壮宏
- I-126 ケーブル併用制震すべりシステムを適用した吊橋の地震時エネルギー／神鋼鋼線工業 [正] 榎 一平・松田 泰治・今村 壮宏
- I-127 既設吊橋の橋軸直角方向に対するレベル2地震時の検討／ドュー大地 [正] 松田 宏・松田 泰治・今村 壮宏
- I-128 水平二方向入力を受ける摩擦振子型免震機構付 RC 橋脚の震動実験／早稲田大学 [学] 服部 琳太郎・石橋 寛樹・秋山 充良
- I-129 免震支承—RC橋脚間の降伏耐力比が免震橋梁の地震応答に及ぼす影響／東北大学 [学] 小野寺 周・松崎 裕・鈴木 基行
- I-130 分散ゴム支承、免震支承、すべり支承、反重力すべり支承の調和入力による応答／オイレス工業 [正] 宇野 裕恵・佐藤 知明・五十嵐 晃

#### ■橋梁の耐震(7) / 10:40~12:00 / 高橋 良和(京都大学)

- I-131 支条件およびウェブギャップの高さが端対傾構を有する桁端部の耐荷性能に及ぼす影響／大阪市立大学 [学] 有山 大地・山口 隆司・松村 政秀
- I-132 斜め方向の荷重に対する鋼鉄製線支の耐荷特性の把握／JR九州コンサルタンツ [正] 山下 健二・和田 一範・池田 学
- I-133 瓦形ゴムシューのストッパー併用時の動的挙動に関する一考察／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 野上 雄太・石橋 忠良・青山 貴洋
- I-134 圧縮応力をパラメータとした瓦形ゴムシューの挙動把握のための実験的検討／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 青山 貴洋・野上 雄太・石橋 忠良
- I-135 免震ゴムとダンパーを組み込んだ橋脚の応答解析／[正] 日比野 広之・鈴木 森晶
- I-136 地震時の損傷を制御する支承サイドブロックのFEM解析による形状検討／[正] 右高 裕二・蔵治 賢太郎・張 広鋒
- I-137 地震時の損傷を制御する支承サイドブロックの開発に関する実験／首都高速道路技術センター [正] 張 広鋒・大住 圭太・蔵治 賢太郎

#### ■耐震設計法(1) / 13:00~14:20 / 上田 恭平(京都大学)

- I-138 固有周期を用いた栈橋の地震被災程度判定手法に関する研究／[学] 小田 隼也・長尾 毅
- I-139 地震被災事例による重力式・矢板式岸壁の現行耐震設計法の検証／国土技術政策総合研究所 [正] 竹信 正寛・宮田 正史・野津 厚
- I-140 パイルベント構造物を対象とした応答変位法の適用性検討／鉄道総合技術研究所 [正] 宇佐美 敦浩・室野 剛隆
- I-141 杭の引抜き降伏に着目した鉄道構造物の非線形解析に関する一考察／JR東日本 [正] 牛木 隆匡・高橋 紗希子・田附 伸一
- I-142 土木と建築の複合地下構造物の地震応答計算の一考察／早稲田大学 [学] 石田 充朗・清宮 理
- I-143 構造物の地震応答における杭基礎諸元の感度分析／パシフィックコンサルタンツ [正] 上原 純・本山 紘希・室野 剛隆

#### ■耐震設計法(2) / 14:40~16:00 / 矢部 正明(長大)

- I-144 地震時における構造物の倒壊に対する危機耐性機構の一考察／埼玉大学 [正] 齊藤 正人・室野 剛隆・本山 紘希
- I-145 危機耐性を高める自重保障構造の提案と成性／ジェイアール総研エンジニアリング [正] 西村 隆義・室野 剛隆・本山 紘希
- I-146 構造全体系としての終局限界の評価に関する数値解析的検討／鉄道総合技術研究所 [正] 和田 一範・室野 剛隆
- I-147 不確定な地震作用下における不均質構造システムの動的信頼性解析／大成建設 [正] 日高 拳・高橋 良和・八木 知己
- I-148 リダンダンシーの違いを考慮した橋梁杭基礎の耐震設計法に関する基礎的研究／早稲田大学 [学] 矢口 昂史・小川 直也・秋山 充良
- I-149 RC橋脚と盛土の地震時復旧性の整合化に関する基礎的研究／東北大学 [正] 松崎 裕・笠原 康平・鈴木 基行
- I-150 旅客・保守施設構造物の設計に関する一考察／JR東日本 [正] 青木 千里・黒田 智也・山田 正人

#### I-4 (一般教育棟D22講義室) / 9月16日(水)

#### ■盛土の耐震 / 9:00~10:20 / 渡辺 和明(大成建設)

- I-151 盛土耐震補強における橋台背面沈下対策／JR東日本 [正] 久須美 賢一・橋内 真太郎・山内 真也



- I-152 深さ方向の液状化強度変化を考慮した液状化対策の設計事例／東日本旅客鉄道〔正〕山内 真也・中村 宏・中塚 博元
- I-153 高速道路盛土の微動測定から推定した振動特性と盛土内水位の関係／芝浦工業大学〔学〕岩瀬 貴弘・紺野 克昭・渡辺 陽太
- I-154 盛土の大地震に対する変形性能照査に関する一試算／エイト日本技術開発〔正〕片根 弘人・金 聲漢・佐々木 秀典
- I-155 地山補強土工法を用いた盛土の地震時挙動に関する模型振動実験／鉄道総合技術研究所〔正〕藤井 公博・中島 進・小湊 祐輝
- I-156 駿河湾地震と東北地方太平洋沖地震を踏まえた盛土のり面の補強対策／中日本高速道路〔正〕長濱 正憲・森山 陽一・緒方 健治

#### ■ダム・タンクの耐震(1) / 10:40～12:00 / 藤田 豊(清水建設)

- I-157 ダムコンクリートの動的破壊特性に関する実験的検討／土木研究所〔正〕藤田 将司・金銅 将史・榎村 康史
- I-158 マルチプルアーチダムの耐震性能の評価法に関する一考察／弘前大学〔F〕有賀 義明・中田 健斗
- I-159 貯水槽の耐震化向上のための制振装置の開発／中央大学〔学〕小野 泰介・井田 剛史・平野 廣和
- I-160 構造形式の異なる三種類の実タンクにおけるバルジング挙動の比較／中央大学〔学〕塩野谷 遼・井田 剛史・平野 廣和
- I-161 矩形水槽の固有振動数の変化に着目した波高抑制手法の提案／森松総合研究所〔正〕青木 大祐・鈴木 森晶・久保田 拓也

#### ■ダム・タンクの耐震(2) / 13:00～14:20 / 有賀 義明(弘前大学)

- I-162 地震応答解析における重力式コンクリートダム堤体横継目モデル化の影響／電力中央研究所〔正〕西内 達雄
- I-163 左右非対称形状を有する重力式コンクリートダムの動的クラック進展解析／清水建設〔正〕玉井 誠司・藤田 豊・新美 勝之
- I-164 重力式コンクリートダムの耐震性能に及ぼす解析モデルの影響／清水建設〔正〕藤田 豊・木全 宏之・堀井 秀之
- I-165 材料物性のばらつきを考慮した台形CSGダムの大規模地震時応答解析／土木研究所〔正〕土田 将己・金銅 将史・榎村 康史

#### I-4 (一般教育棟D22講義室) / 9月17日(木)

#### ■基礎の耐震(1) / 9:00～10:20 / 樋口 俊一(大林組)

- I-166 液状化地盤に建設される橋脚基礎に対する有効応力解析を用いた検討／オリエンタルコンサルタンツ〔正〕久木留貴裕・大竹 省吾・梅林 福太郎
- I-167 ニューマチックケーソン式栈橋のレベル1地震時照査用震度／オリエンタル白石〔正〕大石 雅彦・大内 正敏・長尾 毅
- I-168 大型振動台を用いた杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価(乾燥砂地盤)／阪神高速道路〔正〕曾我 恭臣・澤村 康生・磯部 公一
- I-169 大型振動台を用いた杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価(液状化地盤)／京都大学〔学〕光吉 泰生・澤村 康生・木村 亮
- I-170 大型振動台を用いた杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価(再現解析)／北海道大学〔正〕磯部 公一・杉山 裕樹・篠原 聖二

#### ■基礎の耐震(2) / 10:40～12:00 / 大竹 省吾(オリエンタルコンサルタンツ)

- I-171 2011年東北地方太平洋沖地震における相馬港鋼矢板式岸壁の被災要因に関する数値計算／ニュージェック〔正〕八尾 規子・小濱 英司・楠 謙吾
- I-172 液状化地盤においてシートパイル補強した杭基礎の解析モデル／大林組〔正〕樋口 俊一・喜多 直之・西岡 英俊
- I-173 液状化地盤における既設杭基礎シートパイル補強工法に関する解析的検討／鉄道総合技術研究所〔正〕松浦 光佑・喜多 直之・田中 隆太
- I-174 振動数および振幅を変化させた載荷試験による杭基礎模型の減衰評価(その1 土槽実験)／大林組〔正〕藤井 達・藤森 健史・室野 剛隆
- I-175 振動数および振幅を変化させた載荷試験による杭基礎模型の減衰評価(その2 減衰の試算)／鉄道総合技術研究所〔正〕本山 紘希・室野 剛隆・藤井 達

#### I-4 (一般教育棟D22講義室) / 9月18日(金)

#### ■地中構造物の耐震(1) / 9:00～10:20 / 松本 敏克(ニュージェック)

- I-176 正負交番載荷実験による2ヒンジ式プレキャストアーチカルバートの地震時限界性能に関する検討／土木研究所〔正〕久保田 伸一・篠原 聖二・石田 雅博
- I-177 正負交番載荷実験による3ヒンジ式プレキャストアーチカルバートの地震時限界性能に関する検討／土木研究所〔正〕篠原 聖二・久保田 伸一・石田 雅博
- I-178 動的および静的解析による3ヒンジアーチカルバートの損傷進展過程の検討／京都大学〔正〕澤村 康生・石原 央之・岸田 潔
- I-179 鉄筋コンクリート製ボックスカルバートの動的地震応答変位加振実験／電力中央研究所〔正〕松尾 豊史・原口 和靖・田代 勝浩
- I-180 コンクリート巻き立て管の地震時挙動把握のための実験について／NTTアクセスサービスシステム研究所〔正〕若竹 雅人・田中 宏司・伊藤 陽

#### ■地中構造物の耐震(2) / 10:40～12:00 / 欽田 泰子(神戸大学)

- I-181 断層面の交差位置と変位方向が鉄筋コンクリート製地中構造物の損傷に及ぼす影響／電力中央研究所〔正〕宮川 義範
- I-182 大規模地下浄水池の地震時応答の予測評価に関する一考察／弘前大学〔学〕三浦 千穂・八木橋 怜・有賀 義明
- I-183 ビルの直下に位置する地下鉄の地震時応答に関する基礎的検討／弘前大学〔学〕八木橋 怜・有賀 義明・三浦 千穂
- I-184 箱型構造物への変位照査手法の有効性の検討／〔正〕菊地 慶太・堀見 慎吾・永井 秀樹
- I-185 仮土留めを本体利用した開削トンネルの地震時挙動に関する基礎的検討／ジェイアール東日本コンサルタンツ〔正〕桐生 郷史・井澤 淳・小島 謙一

#### ■地中構造物の耐震(3) / 13:00～14:20 / 濱野 雅裕(エイト日本技術開発)

- I-186 PE管光ファイバセンサを用いた既設ライフライン損傷箇所検知方法に関する研究／摂南大学〔学〕山中 広大・大西 正洋・片桐 信
- I-187 強震時の地盤大変位に対する地中パイプラインの応答特性／熊本高等専門学校〔正〕淵田 邦彦・松川 誠
- I-188 近接するスラストブロックの地震時相対変位に関する研究(地表面不均一)／摂南大学〔学〕川口 雄大・片桐 信・北野 哲司
- I-189 異高型複断面トンネルの結合位置が耐震性能へ与える影響の検討／〔正〕辻 貴大・西垣 祐弥・前川 宏一
- I-190 付属部のある管路の地盤間に働く摩擦力特性に関する実験／神戸大学〔学〕平山 智章・欽田 泰子・澤田 純男
- I-191 地震時における水道配水用ポリエチレン管と地盤との滑りに関する研究／セキスイ管材テクニクス〔正〕西川 源太郎・塩浜 裕一・鈴木 剛史

#### ■地中構造物の耐震(4) / 14:40～16:00 / 中村 晋(日本大学)

- I-192 水平2方向地震動に対する地下構造物の耐震性能評価手法の提案／東北電力〔正〕土田 恭平・伊藤 悟郎・渡辺 伸和
- I-193 水平2方向入力による大深度地中構造物の地震時挙動に関する分析／大成建設〔正〕井上 和真・渡辺 和明
- I-194 地中立体構造物の耐震設計方法に関する一考察／オリエンタルコンサルタンツ〔正〕平塚 昌明・福岡 雅俊・梅林 福太郎
- I-195 開削トンネル部材のせん断破壊による全体系の耐力低下に関する解析的検討／鉄道総合技術研究所〔正〕川西 智浩・室野 剛隆・井澤 淳
- I-196 地下構造物の地震作用直交方向の外壁が層間変形に及ぼす影響／日建設シビル〔正〕西山 誠治・田辺 篤史・青木 佑輔

#### I-5 (一般教育棟D23講義室) / 9月16日(水)

#### ■橋梁床版(1) / 9:00～10:20 / 街道 浩(川田工業)

- I-197 FEM解析による床版上面に開口部を有するUリブ鋼床版の当て板補強効果に関する一考察／大阪市立大学〔学〕高井 俊和・山口 隆司・儀賀 大己
- I-198 橋梁床版取替えにUFC床版を用いた場合の構造影響について／鹿島建設〔正〕藤代 勝・小坂 崇・金治 英貞
- I-199 UFC床版と鋼桁の接合構造に関する基礎的研究／鹿島建設〔正〕一宮 利通・金治 英貞・小坂 崇
- I-200 平板型UFC道路橋梁床版の設計手法に関する検討／阪神高速道路〔正〕小坂 崇・金治 英貞・一宮 利通

I-201 縦置きI形鋼格子床版の設計曲げモーメント式の検討／新日本技研 [正] 赤松 伸祐・川平 英史・石澤 俊希

■橋梁床版(2) /10:40~12:00/久保 圭吾(宮地エンジニアリング)

- I-202 ポリマーセメントモルタルを用いた道路橋RC床版上面の薄層補修に関する検討／太平洋マテリアル [正] 佐竹 紳也・大久保 藤和・杉野 雄亮
- I-203 ポリマーセメントモルタルを用いた床版上面増厚工法の研究／首都高速道路技術センター [正] 青木 聡・蔵治 賢太郎・森田 明男
- I-204 床版取替技術の開発—半断面PcaPC床版—／高速道路総合技術研究所 [正] 青木 圭一・和田 吉憲・三島 康造
- I-205 伸縮継手の段差により発生する荷重変動がRC床版の耐疲労性に及ぼす影響／[学] 佐藤 浩弥・阿部 忠・澤野 利章
- I-206 延長床版システムのすべり面に関する検討／高速道路総合技術研究所 [正] 古谷 嘉康・青木 圭一
- I-207 延長床版システムのすべり面材料としてのゴム板に関する検討／フジエンジニアリング [正] 西芝 貴光・古谷 嘉康・浜 博和

■橋梁床版(3) /13:00~14:20/横山 広(大日本コンサルタント)

- I-208 ホワイトノイズを用いた強制加振試験によるRC床版の非破壊検査／東北大学 [学] 杉山 涼亮・八嶋 宏幸・内藤 英樹
- I-209 鋼板補強された鋼道橋RC床版の健全性点検技術／オリエンタルコンサルタンツ [正] 古賀 秀幸・安倍 敦・内藤 英樹
- I-210 コンクリートの砂利化モデルとRC床版の疲労寿命／ショーボンド建設 [正] 平塚 慶達・前川 宏一
- I-211 CFRP格子筋を配置したRC床版下面増厚補強法におけるS-N曲線式との整合性の検証／日本大学 [学] 永井 幸太・阿部 忠・小森 篤也
- I-212 単径間多主鋼桁橋モデルによるRC床版変形挙動の分析／法政大学 [正] 藤山 知加子・ハツ元 仁
- I-213 格子状に炭素繊維シート接着補強されたRC床版の輪荷重走行下における破壊性状／土木研究所 [正] 村越 潤・田中 良樹・吉田 英二

I-5 (一般教育棟D23講義室) /9月17日(木)

■橋梁一般(施工) /9:00~10:20/佐々木 保隆(横河ブリッジ)

- I-214 鋼異種桁連続工法の構造及び施工法の検討／阪神高速道路 [正] 森田 卓夫・田畑 晶子・壁谷 聡浩
- I-215 小松川ジャンクションにおける既設橋脚のラーメン橋脚化に関する設計／首都高速道路 [正] 神田 信也・松原 拓朗・細谷 英司
- I-216 耐候性鋼用任意着色型及び安定化補助処理の14年目露置試験(着色層:ウレタン樹脂タイプ N橋りょう)／関西ペイント [正] 志村 邦夫・藤原 良憲・香丸 能輝
- I-217 金属粉を含有するシリコーン樹脂防錆塗料を下塗層に適用した重防食塗装の性能評価 第2報 C-5用エポキシ樹脂塗料下塗との付着性評価／シールドテクス [正] 砂田 正明・小林 和夫・鈴木 俊光
- I-218 ワンサイド施工のためのナット回転法による高力ボルトの締付け管理方法／川田工業 [正] 段下 義典・庭山 孝史・田中 一夫
- I-219 連続合成桁におけるコンクリート床版のひび割れ防止対策と有効性について／九鉄工業 [正] 石原 広一

■震害 /10:40~12:00/野口 竜也(鳥取大学)

- I-220 2014年長野県北部の地震での橋梁被害について／土木研究所寒地土木研究所 [正] 佐藤 京・池田 隆明・小長井 一男
- I-221 2014年長野県神城断層地震被災地区における常時微動観測／金沢大学 [学] 棒田 大介・村田 晶・秦 吉弥
- I-222 長野県神城断層地震被災地区における常時微動計測結果について／金沢大学 [正] 村田 晶・牧 加奈子・秦 吉弥
- I-223 2014年長野県神城断層地震における特性化震源モデルの構築とその応用／大阪大学 [正] 秦 吉弥・村田 晶・野津 厚
- I-224 既往の大規模地震における鳴瀬川堤防沿いでの推定地震動と被害率の関係／大阪大学 [学] 湊 文博・秦 吉弥・酒井 久和
- I-225 長野県北部地震における被災宅地危険度判定に基づく宅地被害の分析／千代田コンサルタント [正] 橋本 隆雄
- I-226 直下地震で見られる跳び石現象に関する一考察／明石工業高等専門学校 [学] 長谷川 高輝・浅田 宗磨・石丸 和宏

I-5 (一般教育棟D23講義室) /9月18日(金)

■座屈・耐力(桁) /9:00~10:20/松村 政秀(京都大学)

- I-227 鋼製門型ラーメン橋脚隅角部の応力特性および終局強度／首都大学東京 [学] 若山 萌美・野上 邦栄・藤野 明義
- I-228 有効断面法による鋼I形桁の曲げ耐力評価式に関する一考察／立命館大学 [学] 川田 竜輔・野阪 克義
- I-229 SUS329J3LおよびSM570で構成されるI形断面梁の純曲げ強度特性／長岡工業高等専門学校 [学] 和田 勇輝・宮崎 靖大・奈良 敬
- I-230 曲げを受けるアルミニウム合金桁の耐力／大阪大学 [学] 鳥畑 一博・大倉 一郎
- I-231 セン断を受けるアルミニウム合金桁の耐力／大阪大学 [学] 山中 誠矢・大倉 一郎

■座屈・耐力(柱) /10:40~12:00/奈良 敬(大阪大学)

- I-232 鋼橋に用いる圧縮部材の連成座屈強度に関する海外基準との比較調査／大日本コンサルタント [正] 平山 博・水口 知樹・野上 邦栄
- I-233 鋼橋に用いる無補剛箱形断面部材の連成座屈強度評価法の提案／横河ブリッジホールディングス [正] 池末 和隆・中村 聖三・岸 祐介
- I-234 SUS304溶接箱形柱部材の終局圧縮強度に及ぼす材料特性値の影響／明石工業高等専門学校 [正] 三好 崇夫
- I-235 種々の非比例多軸繰返し負荷を受ける鋼製橋脚の接線塑性構成式による弾塑性座屈解析／大阪大学 [正] 堤 成一郎・初井 秀斗・FINCATO RICCARDO
- I-236 船舶と長大斜張橋の衝突解析における橋梁側衝突部のモデル化の違いが斜張橋の挙動に与える影響／九州大学 [学] 平野 翔也・梶田 幸秀・ハツ元 仁

■座屈・耐力(板) /13:00~14:20/水口 知樹(横河ブリッジ)

- I-237 構成式の構築に向けたSBHS400の引張試験と自由突出板の耐力解析／長岡技術科学大学 [学] 山岸 義之・宮下 剛・大谷 拓矢
- I-238 SBHS500の溶接残留応力の計測と自由突出板の耐力解析／長岡技術科学大学 [正] 宮下 剛・衣川 扶
- I-239 曲げを受ける突起付きアルミニウム合金板の耐力／大阪大学 [学] 西井 智紀・大倉 一郎
- I-240 高強度補剛材で補剛される単リブハイブリッド補剛板の圧縮強度特性／長岡工業高等専門学校 [学] 井比 亨・宮崎 靖大・奈良 敬
- I-241 材料強度のばらつきが板の面内曲げ強度特性に及ぼす影響／[学] 高橋 寛成・宮崎 靖大・阿部 真之介
- I-242 正規確率場に從う板厚分布を持つ矩形板の圧縮耐力特性に与える自己相関距離の影響／岐阜工業高等専門学校 [正] 渡邊 尚彦・須崎 雅人

■座屈・耐力(その他) /14:40~16:00/熊野 拓志(JFEエンジニアリング)

- I-243 新設ラジアルゲートの実測と解析に基づくトラニオンピン近傍脚柱応力の考察／中国電力 [正] 仁科 晴貴・河内 友一・南條 英夫
- I-244 3径間連続補剛桁 超長大吊橋の弾塑性挙動と耐力／首都大学東京 [学] 岩下 慎吾・野上 邦栄
- I-245 補剛箱形断面の鋼部材に対する新たな連成座屈強度評価方法の一検討／首都大学東京 [正] 岸 祐介・片桐 愛理・野上 邦栄
- I-246 鋼鉄線支承のサイドブロック破壊特性に関する実験および解析的検討／東日本旅客鉄道 [正] 平林 雅也・小林 薫・伊東 佑香
- I-247 L字形材をボルト接合した鋼板パネルの強度と変形に関する解析的研究／[学] 藤田 翔吾・松村 政秀・山口 隆司

I-6 (一般教育棟D24講義室) /9月16日(水)

■耐力・変形性能(1) /10:40~12:00/宮川 義範(電力中央研究所)

- I-248 壁柱部材の載荷実験とFEM解析による耐震性能評価／JR東海 [正] 中原 祐介・岩田 秀治・鈴木 亨
- I-249 地震時にRC上部工が損傷した栈橋の耐震性能／港湾空港技術研究所 [正] 大矢 陽介・川端 雄一郎
- I-250 定着方法の異なる丸鋼鉄筋を用いたRC柱の変形性能について／JR東日本 [正] 桑木野 耕介・伊東 典紀・大郷 貴之
- I-251 変形性能が高い部材の耐震性能と固有周期の関係について／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 内田 裕人・平山 訓広・石橋 忠良
- I-252 内巻きスパイラル筋を有する柱の最大耐力以降の変形性能の



- I-253 向上による耐震性能への影響について／ジェイアール東日本  
コンサルタンツ [正] 平山 訓広・内田 裕人・石橋 忠良  
コンクリート部分充填円形断面柱の軸力比と耐震性能の関  
係／豊田工業高等専門学校 [正] 川西 直樹・後藤 芳顕  
I-254 幅厚比やせん断スパン比、材料強度に着目した角形CFT柱  
の力学的特性／東日本旅客鉄道 [正] 井上 佳樹・吉田 一・  
青木 千里

■耐力・変形性能(2) / 13:00~14:20 / 鈴木 俊光(エム・エム ブリッジ)

- I-255 鋼角ストッパー周辺のコンクリートのせん断破壊性状に及  
ぼすストッパーの曲げ変形の影響／鉄道総合技術研究  
所 [正] 轟 俊太郎・岡本 大・進藤 良則  
I-256 ボルト方式桁連結工の静的載荷試験による弾塑性挙動の把握  
／鉄道総合技術研究所 [正] 齊藤 雅充・福本 守・池田 学  
I-257 径厚比パラメータが比較的大きい円形断面鋼製橋脚の耐力  
及び変形性能の評価法／大阪大学 [学] 安積 恭子・小野 潔・  
秋山 充良  
I-258 細長比パラメータが大きい電鍍鋼管の正負交番載荷実験／  
JFEシビル [正] 尾添 仁志・飯島 翔一・河野 哲也  
I-259 細長比パラメータの比較的大きな電鍍鋼管の弾塑性挙動に  
関する解析的検討／大阪大学 [学] 市川 尚樹・小野 潔・  
安積 恭子

I-6 (一般教育棟D24講義室) / 9月17日(木)

■衝撃(1) / 10:40~12:00 / 別府 万寿博(防衛大学校)

- I-260 竜巻飛来物防護ネットの耐貫通性能に関する重錘先端形状  
の影響評価／電力中央研究所 [正] 南波 宏介・白井 孝治・  
坂本 裕子  
I-261 小規模金網を用いた吸収エネルギー向上策の提案／電力中  
央研究所 [正] 白井 孝治・南波 宏介・坂本 裕子  
I-262 落石防護網に使用するひし形金網の静的載荷実験／土木研  
究所寒地土木研究所 [正] 西 弘明・加藤 俊二・今野 久志  
I-263 落石防護網に使用するひし形金網の重錘落下衝撃実験／土  
木研究所寒地土木研究所 [正] 今野 久志・加藤 俊二・西  
弘明  
I-264 金網のエネルギー吸収性能について(その1) / 日鐵住金建  
材 [正] 佐野 翔太郎・堀 謙吾  
I-265 三層緩衝構造を設置した落石防護擁壁の安定照査に関す  
る一検討／構研エンジニアリング [正] 保木 和弘・牛渡 裕  
二・小室 雅人  
I-266 ジオセルを緩衝体とした1/2スケール落石防護擁壁の重錘  
衝突実験／東京インキ [正] 大山 亮貴・小室 雅人・栗橋  
祐介

I-6 (一般教育棟D24講義室) / 9月18日(金)

■衝撃(2) / 9:00~10:20 / 栗橋 祐介(室蘭工業大学)

- I-267 アルミニウム合金押出型材を用いた橋梁用防護柵開発に関  
する研究／名古屋大学 [F] 伊藤 義人・吉野 彰宏・酒見  
真志  
I-268 SPH法を用いた重錘の繰り返し落下衝突に対するRC片持  
ち梁の衝撃応答解析／九州大学 [学] 川井田 健・園田 佳  
巨・奥石 正己  
I-269 砕石緩衝材を設置した実規模落石覆道の耐衝撃挙動に関す  
る衝撃応答解析／北海道開発局 [正] 平田 健朗・小室 雅  
人・山口 悟  
I-270 爆発荷重を受けるRC構造物に対するリスク評価手法に関  
する基礎的検討／防衛大学校 [正] 永田 真・別府 万寿博・  
矢代 晴実  
I-271 A study on flow and impact loading characteristics of  
collapsed soil by Extended DEM／九州大学 [学] 路 馳・  
玉井 宏樹・園田 佳巨  
I-272 杭構造物の衝突による氷板破壊に関するMPS法を用いた  
数値解析的検討／寒地土木研究所 [正] 阿部 孝章・船木  
淳悟

■衝撃(3) / 10:40~12:00 / 牛渡 裕二(構研エンジニアリング)

- I-273 高速衝突を受ける鉄筋モルタル梁の局部破壊メカニズムに  
関する一考察／防衛大学校 [学] 柴田 大希・別府 万寿博  
I-274 高速衝突を受ける繊維補強コンクリート板の局部破壊限界  
板厚の評価法に関する検討／防衛大学校 [学] 上野 裕稔・  
別府 万寿博・小川 敦久  
I-275 剛飛翔体の中速度衝突を受けるコンクリート板の衝撃応答  
に関する実験的研究／防衛大学校 [学] 片岡 新之介・別  
府 万寿博・上野 裕稔

- I-276 AFRPおよびPFRPシートを併用して補強したRC梁の重錘  
落下衝撃実験／室蘭工業大学 [学] 佐藤 元彦・栗橋 祐介・  
三上 浩  
I-277 AFRPシート曲げ補強によるT形PC梁の耐衝撃性向上効果  
／釧路工業高等専門学校 [F] 岸 徳光・栗橋 祐介・今野  
久志  
I-278 AFRPシート下面接着した扁平RC梁の重錘落下衝撃実験  
／室蘭工業大学 [正] 栗橋 祐介・今野 久志・三上 浩  
I-279 扁平RC梁の耐衝撃挙動に及ぼす敷砂緩衝材の影響／西松  
建設 [正] 佐伯 侑亮・今野 久志・栗橋 祐介

■衝撃(4) / 13:00~14:20 / 玉井 宏樹(九州大学)

- I-280 実規模ロックシェット模型の三次元動的骨組解析に関する  
落石荷重モデルの影響／構研エンジニアリング [正] 鈴木  
健太郎・牛渡 裕二・小室 雅人  
I-281 個別要素法解析による応力伝播速度に着目した敷砂緩衝材  
の載荷速度依存性／名古屋工業大学 [学] 内藤 直人・前  
田 健一・奥村 勇太  
I-282 実規模ロックシェット模型の三次元動的骨組解析における  
要素長の影響／構研エンジニアリング [正] 牛渡 裕二・  
川瀬 良司・栗橋 祐介  
I-283 実斜面を想定した緩衝金具を有する落石防護網の静的解析  
法に関する研究／長岡技術科学大学 [学] 内藤 和彦・岩  
崎 英治  
I-284 従来型ポケット式落石防護網の実施例に対する衝撃応答解  
析／金沢大学 [学] 上杉 拓矢・前川 幸次・小野 健弘  
I-285 水平に設置された落石防護網の動的応答性状に関する数値  
シミュレーション／室蘭工業大学 [正] 小室 雅人・西 弘  
明・今野 久志

■衝撃(5) / 14:40~16:00 / 今野 久志(土木研究所 寒地土木研究所)

- I-286 鉄筋腐食により劣化したRC梁部材の耐衝撃性能に関する  
実験的研究／ [学] 桑原 功旺・玉井 宏樹・園田 佳巨  
I-287 凍害劣化したRC梁の耐衝撃挙動／室蘭工業大学 [学] 勝  
見 悠太・水田 真紀・栗橋 祐介  
I-288 地下構造物の耐爆緩衝層におけるEPSの爆発荷重緩衝効果  
に関する研究／防衛大学校 [正] 市野 宏嘉・大野 友則・  
東原 健一  
I-289 H形鋼梁の耐衝撃挙動に関する重錘落下衝撃実験／室蘭工  
業大学 [学] 葛西 勇輝・小室 雅人・栗橋 祐介  
I-290 津波漂流物における衝突力推定に関する検討一気中におけ  
る木材の衝突実験一／電力中央研究所 [正] 高畠 大輔・  
木原 直人・甲斐田 秀樹  
I-291 津波による漂流する大型船舶と長大斜張橋主塔の衝突解析  
による衝突荷重分布の評価／九州大学 [学] 永原 稔之・  
崔 準ホ・ハツ元仁

I-7 (一般教育棟D25講義室) / 9月16日(水)

■耐震実験 / 9:00~10:20 / 伊津野 和行(立命館大学)

- I-292 SBHS400の構成則に関する検討／大阪大学 [学] 山東 寛  
司・小野 潔・山田 信司  
I-293 孤立波性状の津波による橋桁に生じる鉛直作用力特性の  
評価／九州工業大学 [学] 田中 将登・幸左 賢二・佐々木  
達生  
I-294 地盤改良杭によるもたれ壁の耐震補強工法に関する振動台  
実験／ [正] 水野 弘二・藤原 寅士・高崎 秀明  
I-295 損傷したゴムダンパー (HDR-S) の耐震性能の確認試験／  
名古屋高速道路公社 [正] 大門 大・中山 裕昭・水谷 明嗣  
I-296 橋梁上部工への作用津波波力に与える津波及び桁形状の影  
響／高速道路総合技術研究所 [正] 広瀬 泰之・青木 圭一・  
鈴木 俊光  
I-297 飯桁橋に作用する津波波力のVOF法による数値解析的検  
討／エム・エム ブリッジ [正] 鈴木 俊光・青木 圭一・広  
瀬 泰之

■耐震補強(1) / 10:40~12:00 / 豊岡 亮洋(鉄道総合技術研究所)

- I-298 橋台のグラウンドアンカーによる耐震補強／早稲田大  
学 [正] 安 同様・清宮 理  
I-299 ブレーキダンパーによる鉄道高架橋の応答変位抑制対策／  
JR東海 [正] 岩田 秀治・大竹 敏雄・鈴木 享  
I-300 球形貯槽ブレースの耐震補強効果／高圧ガス保安協  
会 [F] 木全 宏之・小山田 賢治・佐野 孝  
I-301 電車線柱の鋼板による補強工法の開発／熊谷組 [正] 大越  
靖広・諏訪 和徳・本田 誠彦  
I-302 鋼材の塑性変形に期待した連結材による斜角桁の回転防止  
対策／東日本旅客鉄道 [正] 梶谷 宜弘・黒田 智也・金子  
達哉

- I-303 漁沿岸壁の耐震補強に関する研究／高知工業高等専門学校〔学〕徳久 貴和・岡林 宏二郎・矢野 翔也  
I-304 インターロッキング機構を利用した組構造壁の耐震性に関する基礎的研究／京都大学〔正〕清野 純史・木村 翔太・古川 愛子

■耐震補強(2) / 13:00~14:20 / 松崎 裕(東北大学)

- I-305 既設フーチングにあと施工定着させたSD490群鉄筋に対する正負交番定着試験／土木研究所〔正〕井上 崇雅・篠原 聖二・星隈 順一  
I-306 無筋橋脚にディンプル鋼管を挿入した場合の補強効果に関する検討／新日鐵住金〔正〕富永 知徳・寺田 春雄・田中 章  
I-307 高強度鉄筋を用いたRC巻立て補強のアンカー定着に関する実験的検討／土木研究所〔正〕末崎 将司・篠原 聖二・星隈 順一  
I-308 脚柱とフーチング間に座屈拘束ダンパーを設置し曲げ補強したRC橋脚の正負交番載荷実験／JFEシビル〔正〕萩原 健一・塩田 啓介・秋山 充良  
I-309 脚柱とフーチング間に座屈拘束ダンパーを設置した既存RC柱の耐震性能評価／早稲田大学〔学〕熊崎 達郎・秋山 充良・塩田 啓介  
I-310 河川内橋梁の耐災害性能向上に向けた新材料による脚柱補強工法の検証／山口大学〔学〕富吉 隆生・堀田 真人・川原 仁志

I-7 (一般教育棟D25講義室) / 9月17日(木)

■維持管理(構造)(4) / 9:00~10:20 / 相川 明(鉄道総合技術研究所)

- I-311 帯板により補強された推進工法用の推進管の補強方法とその効果に関する研究／早稲田大学〔学〕庄司 和真・村川 聖太・井川 秀樹  
I-312 壁石を含むアーチ輪石模型を用いた変形挙動の解明／熊本大学〔学〕林野 将大・山尾 敏孝・小倉 孟  
I-313 長大スパンを想定した石アーチ模型の動的挙動特性の検討／八千代エンジニアリング〔正〕小倉 孟・山尾 敏孝・林野 将大  
I-314 支点移動に着目した石造アーチ橋の構造安定性に関する基礎的研究／福岡大学〔正〕今泉 暁音・坂田 力・水田 洋司  
I-315 はり部材を対象にしたアンカー棒を用いた補修・補強方法の検討／熊本大学〔学〕金子 和明・山尾 敏孝・林野 将大

■維持管理(構造)(5) / 10:40~12:00 / 塩竈 裕三(電力中央研究所)

- I-316 送電鉄塔用鉛ダンパーの履歴特性試験について／東電設計〔正〕山崎 智之・中村 秀治・本郷 榮次郎  
I-317 送電鉄塔用鉛ダンパーの履歴減衰効果について／東電設計〔F〕中村 秀治・山崎 智之・本郷 榮次郎  
I-318 送電用鉄塔の制振ブレース置換における最適化について／東電設計〔正〕大野木 亮太・山崎 智之・平田 雄一  
I-319 変電所鋼構造物の耐震解析システムの開発と課題／東電設計〔正〕栗原 幸也・増子 正貢・山崎 智之  
I-320 高速カメラを活用した送電鉄塔の部材交換箇所特定の試み／九州大学〔正〕辻 徳生・中村 秀治・山崎 智之  
I-321 腐食した鉄塔鋼管部材の耐荷性能に関する基礎的検討／電力中央研究所〔正〕佐藤 雄亮・石川 智巳

I-7 (一般教育棟D25講義室) / 9月18日(金)

■維持管理(構造)(6) / 9:00~10:20 / 川西 直樹(豊田工業高等専門学校)

- I-322 実橋から採取した材片による小型鋼材圧縮試験を用いた耐荷力評価／土木研究センター〔正〕中島 和俊・安波 博道・落合 盛人  
I-323 動的非線形解析による鋼トラス橋の部材破断に伴う動的效果の数値的評価／東日本旅客鉄道〔正〕塚田 健一・齊木 功・岩熊 哲夫  
I-324 少数主桁連続橋のリダンダンシー解析について／熊本高等専門学校〔正〕岩坪 要・寺本 有優美・齊木 功  
I-325 トラス橋の斜材破断が走行車両の振動特性におよぼす影響の数値的検討／筑波大学〔学〕石川 幹生・山本 亨輔  
I-326 非線形有限要素解析による鋼ラングー橋の冗長性評価の試み／東北大学〔正〕齊木 功・川村 航太・岩坪 要  
I-327 中路ローゼ橋の補剛桁中立軸と支承回転中心との偏心が補剛桁端部の軸力および曲げモーメントに与える影響／長崎大学〔学〕小島 孝仁・中村 聖三・奥松 俊博

■維持管理(構造)(7) / 10:40~12:00 / 笠野 英行(日本大学)

- I-328 腐食環境下にあった既設鋼トラス橋圧縮部材の残存耐荷力

- ／JFEエンジニアリング〔正〕栗原 雅和・野上 邦栄・村越 潤  
I-329 断面欠損を有する鋼トラス弦材の圧縮強度に関する載荷試験／土木研究所〔正〕田代 大樹・村越 潤・高橋 実  
I-330 桁端部の腹板に疲労き裂を有する鋼二主桁橋の残存耐荷力に関する研究／大阪工業大学〔正〕林 健治  
I-331 腐食した上路式プレートガーダー橋の桁端支点部の腐食形態と残存耐荷力評価／首都大学東京〔学〕松本 祥吾・野上 邦栄・栗原 雅和  
I-332 腐食により偏って減肉が生じた高力ボルトの残存軸力評価法の検討／木更津工業高等専門学校〔正〕田井 政行・下里 哲弘・有住 康則  
I-333 腐食した桁橋支承部の耐荷力回復を目的とした樹脂材と鉄筋を用いた補修法に関する研究／広島大学〔学〕尾上 紘司・藤井 堅・山田 智之

■維持管理(システム・計画)(1) / 13:00~14:20 / 木村 元哉(西日本旅客鉄道)

- I-334 橋梁維持管理システムへのスーパーDEAの適用に関する研究／北海学園大学〔正〕小幡 卓司  
I-335 RBMを用いた橋梁構造物間の比較に関する研究／IHIインフラシステム〔正〕楊 威・富士 彰夫・戸田 勝哉  
I-336 実橋梁を用いた既存の判定法と構造成能判定法の試行的比較／北海道大学〔学〕高沢 優人・佐藤 靖彦・長谷川 直久  
I-337 長大吊橋における主ケーブル形状管理法の提案／復建調査設計〔正〕梅本 幸男・山下 恭敬・野村 正和  
I-338 点検時の通り抜けが容易となる鋼箱桁中間ダイヤフラム開口寸法の検討／開発技建〔正〕品田 雅人・近藤 治・長井 正嗣

■維持管理(システム・計画)(2) / 14:40~16:00 / 倉田 幸宏(IHIインフラシステム)

- I-339 JR東日本におけるメンテナンスシナリオを活用した鋼橋の維持管理／ジェイアール東日本コンサルタンツ〔正〕杉 政雄・高橋 哲夫・梶谷 宣弘  
I-340 岩手県沿岸部を中心とした道路橋データベースの構築／岩手大学〔学〕千田 昌磨・大西 弘志・岩崎 正二  
I-341 神奈川県内の自治体における橋梁定期点検データ分析／NEXCO東日本〔正〕松本 綾佳・勝地 弘・藤野 陽三  
I-343 地震・活荷重・塩害の影響を受ける道路ネットワーク内橋梁のライフサイクルリスク評価に関する基礎的研究／早稲田大学〔学〕竹本 梨香・神長 悠樹・秋山 充良  
I-344 沈埋トンネルにおける点検ロボットの適用／首都高技術〔正〕多田 恵一・小杉 剛史・鈴木 寛久

I-8 (一般教育棟E21講義室) / 9月16日(水)

■維持管理(構造)(1) / 9:00~10:20 / 宮森 保紀(北見工業大学)

- I-345 実現理論による実橋計測データの振動同定解析結果に対する考察／日本構造橋梁研究所〔正〕小松 正貴・田中 義則・和田 吉憲  
I-346 実測記録に基づくバランスド扁平アーチ構造の振動特性推定／日本大学〔正〕仲村 成貴・山崎 佳樹・関 文夫  
I-347 PC舟形橋梁の振動計測と静たわみ実橋実験／舞鶴工業高等専門学校〔正〕玉田 和也・北山 明生・楠村 幸正  
I-348 主桁ウェブからのブラケット上に設置されたF型情報板支柱の振動特性計測／中央大学(研究当時)〔正〕齋藤 京介・山本 浩司・平野 廣和  
I-349 洋上風力発電設備支持物モニタリングデータとFEM解析による振動特性の把握／TTES〔正〕勝山 真規・菅沼 久忠・小原 良子  
I-350 効率的なサンプリングフィルタを用いた地盤構造の同定／香川大学〔F〕野田 茂・岡崎 真友子・山中 稔

■維持管理(構造)(2) / 10:40~12:00 / 佐伯 昌之(東京理科大学)

- I-351 精密小型加振機を用いた損傷有無判定における基礎的検討／東京理科大学〔学〕奥村 昂史・佐伯 昌之  
I-352 モード特性を利用した梁の曲げ剛性評価手法とその損傷同定への適用に関する基礎的研究／〔学〕金田 泰明・成行 義文・豊崎 裕司  
I-353 部材損傷度に着目したニューラルネットワーク(SOM)を用いた橋梁の損傷同定に関する解析的研究／〔学〕堂ノ本 翔平・山口 隆司・松村 政秀  
I-354 局部加振法のための多質点系モデルを用いた損傷検出評価方法の検討／北見工業大学〔学〕柳原 裕平・三上 修一・山崎 智之  
I-355 コンクリート表面ひび割れ幅からベイズ更新により推定さ



- I-356 れる鉄筋腐食膨張率の検討／京都大学〔学〕辻岡 章雅・平野 裕一・服部 篤史  
腐食ひび割れ発生点を限界状態とした既存RC構造物の耐久信頼性照査に用いる部分係数／早稲田大学〔学〕尾武 佑亮・狩野 淳一・秋山 充良

### ■維持管理(構造)(3) / 13:00~14:20 / 鈴木 啓悟(福井大学)

- I-357 地震損傷に伴うRC部材の振動特性変化の解析的再現に関する試み／電力中央研究所〔正〕永田 聖二・宮川 義範  
I-358 局所支配的Holder指数によるRC橋脚上加速度応答波形からの損傷有無のスクリーニング手法の提案／東京大学〔正〕水谷 司・肥田 隆宏  
I-359 観測データを用いた免震建物の東北地方太平洋沖地震前後における構造特性変化の分析／横浜国立大学〔学〕藤井 浩子・西尾 真由子・藤野 陽三  
I-360 ロングゲージFBGセンサによるRC構造物の損傷指標に関する研究／茨城大学〔学〕和田 拓也・呉 智深・石沢 孝  
I-361 鋼桁の加熱冷却実験を模擬した解析モデルの構築／名古屋大学〔学〕国井 俊輔・北根 安雄・廣畑 幹人  
I-362 地震観測システムを利用した免震支承を有するPC箱桁橋の動特性同定の試み／埼玉大学〔学〕飛田 遼・松本 泰尚

### I-8 (一般教育棟E21講義室) / 9月17日(木)

#### ■疲労(1) / 9:00~10:20 / 石川 敏之(関西大学)

- I-363 低温変態溶材の新設橋への適用性に関する検討(第3報)／新日鐵住金〔正〕安藤 隆一・館石 和雄・細見 直史  
I-364 主板・付加板両端部への低温相変態溶接棒の適用性／芝浦工業大学〔学〕齋藤 史弥・池原 育実・穴見 健吾  
I-365 圧縮残留応力導入による疲労強度改善効果の鋼材強度依存性／名古屋大学〔学〕高松 弘貴・判治 剛・館石 和雄  
I-366 UITによる溶接継手の疲労強度改善効果の推定方法の検討その3／新日鐵住金〔正〕島貫 広志・米澤 隆行・田中 陸人  
I-367 グライNDER処理効果の鋼材強度依存性／芝浦工業大学〔正〕穴見 健吾・富田 美乃里  
I-368 特殊金属皮膜生成技術による溶接継手の疲労強度向上に関する検討／横河ブリッジホールディングス〔正〕曾我 麻衣子・井口 進・清川 昇悟

#### ■疲労(2) / 10:40~12:00 / 穴見 健吾(芝浦工業大学)

- I-369 ルート破壊を対象とした未溶着部の変位による疲労強度評価法／名古屋大学〔F〕館石 和雄・早田 直広・判治 剛  
I-370 ブローホールによる部分溶け込み縦方向溶接継手の疲労強度低下原因の検討／法政大学〔正〕谷口 哲憲・森 猛・村田 匠  
I-371 レーザ・アークハイブリッド溶接を用いた荷重伝達型十字継手の疲労強度／名古屋大学〔学〕本田 直也・館石 和雄・判治 剛  
I-372 板曲げを受ける面外ガセット溶接継手の疲労き裂の発生・進展挙動／法政大学〔学〕木村 直登・森 猛  
I-373 せん断力が反転する応力場にある面外ガセット溶接継手の疲労強度／法政大学〔学〕松井 喜昭・森 猛・平野 秀一  
I-374 付加板が近接する溶接継手の疲労強度／名古屋大学〔学〕加瀬 駿介・館石 和雄・判治 剛  
I-375 垂直補剛材を設置した鋼I桁支承部を対象とした桁疲労試験／三井造船〔正〕内田 大介・森 猛・武下 美那

### I-8 (一般教育棟E21講義室) / 9月18日(金)

#### ■疲労(3) / 9:00~10:20 / 青木 康素(土木研究所)

- I-376 引張荷重を受けて生じた微小き裂へのICR処理の効果／川田工業〔正〕田中 一夫・原 考志・石川 敏之  
I-377 ICR処理された疲労き裂の引張および圧縮荷重下での挙動／関西大学〔正〕石川 敏之・松本 理佐・河野 広隆  
I-378 ICR処理を施した表面き裂の応力拡大係数の評価法／名古屋大学〔正〕清水 優・判治 剛・館石 和雄  
I-379 CFRP板が接着された面外ガセット継手の疲労寿命延命効果／京都大学〔学〕松本 理佐・竹村 学・石川 敏之  
I-380 鋼床板垂直スチフナー溶接部の疲労き裂に対するストップホールの効果／法政大学〔学〕阪間 大介・大住 圭太・森 猛  
I-381 ストップホールで補修した部材の疲労耐久性評価のための疲労強度曲線／首都高速道路技術センター〔正〕大住 圭太・森 猛・阪間 大介

#### ■疲労(4) / 10:40~12:00 / 井口 進(横河ブリッジホールディングス)

- I-382 tructural responses and deck stress distributions of an orthotropic steel deck stiffened with bulb ribs／九州大学〔正〕鄭 映樹・貝沼 重信・塚本 成昭  
I-383 鋼床版縦リブと横リブスリットの溶接部の疲労強度とき裂補修法／名古屋大学〔学〕伊藤 あゆみ・判治 剛・館石 和雄  
I-384 鋼床版デッキプレート・トラフリブ溶接部のデッキ進展き裂を対象とした疲労耐久性に対する車両走行位置の影響／法政大学〔学〕金子 想・森 猛  
I-385 スタッドボルトを用いてあて板したUリブ鋼床版の実物大試験体による静的荷重試験／阪神高速道路〔正〕中井 勉・田畑 晶子・小野 秀一  
I-386 スタッドボルトによりあて板したUリブ鋼床版の輪荷重疲労試験／日本建設機械施工協会〔正〕小野 秀一・渡辺 真至・田畑 晶子  
I-387 渦流探傷技術を用いた鋼床版デッキ貫通き裂検査装置の精度検証／阪神高速技術〔正〕塚本 成昭・勝島 龍郎・杉岡 弘一  
I-388 内亀裂の検出へのフェイズドアレイ超音波探傷法の適用性に関する検討／中日本高速道路〔正〕牧田 通・鈴木 俊光・八木 尚人

#### ■疲労(5) / 13:00~14:20 / 丹波 寛夫(阪神高速道路)

- I-389 熱弾性応力計測に基づく鋼構造のき裂進展性評価／神戸大学〔学〕藤本 泰成・藤城 忠朗・和泉 遊以  
I-390 赤外線サーモグラフィを用いた温度ギャップ計測による亀裂の検出性及びその高精度化に関する検討／滋賀県立大学〔正〕和泉 遊以・溝上 善昭・阪上 隆英  
I-391 赤外線サーモグラフィを用いた温度ギャップ計測における亀裂判別方法に関する検討／神戸大学〔正〕阪上 隆英・和泉 遊以・溝上 善昭  
I-392 既設鋼鉄桁橋の疲労耐久性評価法に関する検討／首都高速道路〔正〕木ノ本 剛・門田 峰典  
I-393 損傷事例に基づく鋼橋の疲労損傷点検シミュレータの開発／東京都市大学〔正〕横山 薫・三木 千壽・小西 拓洋

#### ■疲労(6) / 14:40~16:00 / 小野 秀一(日本建設機械施工協会)

- I-394 破面分析による鋼製伸縮継手の破断原因の推定／阪神高速技術〔正〕勝島 龍郎・塚本 成昭・杉岡 弘一  
I-395 モジュラー型伸縮装置のサポートビーム溶接部の疲労強度／法政大学〔正〕山崎 信宏・森 猛・中平 泰樹  
I-396 鋼製橋脚横梁内支点ダイアフラムに発生した疲労き裂に対する補強構造の疲労試験／首都高速道路〔正〕牧山 大祐・梶原 仁・齋藤 豪  
I-397 東海道新幹線鋼橋の支点部取替工事における上下線連結構の変状発生原因と対策／〔正〕西澤 弘晃  
I-398 Fatigue Cracks in a Concrete-filled Steel Tubular(CFST) Trussed Arch Bridges in China／長崎大学〔学〕王 渠・中村 聖三・奥松 俊博  
I-399 アーチ橋の補剛桁ウエブと横桁フランジ接合部の疲労き裂に行うICR処理／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋〔正〕米村 大和・竹市 雅人

### I-9 (一般教育棟E23講義室) / 9月16日(水)

#### ■維持管理(検査・モニタリング)(1) / 10:40~12:00 / 内田 慎哉(立命館大学)

- I-400 回転式打音検査データを用いたSOM図による健全度評価に関する基礎的検討／九州大学〔学〕二村 俊輔・園田 佳巨  
I-401 AE法によるゴム支承内部の損傷位置標定へ向けた基礎的実験／〔学〕寺村 直人・川崎 佑磨・伊津野 和行  
I-402 超音波板厚測定による道路照明柱基部の簡易な平均板厚評価に関する研究／徳山工業高等専門学校〔学〕光永 知央・海田 辰将・藤井 堅  
I-403 非破壊検査を用いたRC床版における疲労寿命の簡易予測／北見工業大学〔学〕高橋 広平・三上 修一・山崎 智之  
I-404 Lamb波を利用した平板構造物の損傷検出手法に関する研究／京都大学〔学〕増田 景也・古川 愛子・清野 純史  
I-405 地際腐食損傷に対する非接触・非破壊検査の効率化に関する検討―渦電流センサと鋼部材の離開距離が検査精度に及ぼす影響―／東京鐵骨橋梁〔正〕細見 直史・入部 孝夫・貝沼 重信

#### ■維持管理(検査・モニタリング)(2) / 13:00~14:20 / 長山 智則(東京大学)

- I-406 はりの応答データを用いた移動荷重の荷重効果の同定／東京都市大学〔正〕丸山 収・関屋 英彦・小西 拓洋

- I-407 垂直補剛材ひずみによる走行車両の軸重推定／九州工業大学 [正] 山口 栄輝・岐部 正佳・山本 一貴
- I-408 橋梁振動を対象とした二質点同調質量系発電デバイスの実橋への適用／東京工業大学 [学] 竹谷 晃一・佐々木 栄一・長船 寿一
- I-409 橋梁の加速度記録から変位応算出を行う方法／東京都大学 [正] 関屋 英彦・木村 健太郎・三木 千壽
- I-410 橋梁ヘルスマニタリング向けワイアレス時刻同期システムの開発／ [正] 赤井 亮太・西田 秀志・鮫島 裕
- I-411 橋梁モニタリング向け低消費ピエゾ式ひずみセンサの開発／オムロンソーシアルソリューションズ [正] 樋上 智彦・西田 秀志・宮木 理恵

# I-9 (一般教育棟E23講義室) / 9月17日(木)

## ■維持管理(腐食) (1) / 9:00~10:20 / 内田 大介(三井造船)

- I-412 観測に基づく海塩粒子の輸送メカニズムの検討／松江工業高等専門学校 [学] 坪倉 佑太・広瀬 望・武邊 勝道
- I-413 大気腐食環境評価を目的とした数値モデルによる海塩粒子輸送予測の定量評価／松江工業高等専門学校 [正] 広瀬 望・武邊 勝道・大屋 誠
- I-414 ドライガーゼ法とウェットキャンドル法で得られる飛来塩分量の違い／松江工業高等専門学校 [正] 武邊 勝道・安食 正太・大屋 誠
- I-415 気象データを用いた愛知県内における結露評価の試み／名古屋工業大学 [学] 内藤 涼介・永田 和寿・八木 千里
- I-416 塗装鋼板の結露発生現象に関する研究／名古屋工業大学 [学] 堀田 広己・永田 和寿・山口 隆司
- I-417 鋼橋に設置したモニタリング鋼板の腐食生成物層の厚さと平均腐食深さの相関評価／九州大学 [学] 平尾 みなみ・貝沼 重信・今村 壮宏

## ■維持管理(腐食) (2) / 10:40~12:00 / 永田 和寿(名古屋工業大学)

- I-418 荷重作用下の防食塗装鋼板の腐食劣化特性に関する基礎的研究／名古屋大学 [学] 須崎 雅人・廣畑 幹人・伊藤 義人
- I-419 さび中の塩分を除去した塗装さび鋼板の塗膜耐久性評価／鉄道総合技術研究所 [正] 坂本 達朗
- I-420 セロハンテープ試験の画像解析評価と定量的評価の対応に関する検討／エム・エム ブリッジ [正] 鍵村 俊哉・阿部 浩志・小倉 敬史
- I-421 粒子フィルタを用いた橋梁の腐食に対する維持管理計画／岡山大学 [正] 柴田 俊文・石故 有生也・大屋 誠
- I-422 ダム建設により大気マクロ環境が変化した鋼上路トラス橋の部位レベルの腐食性評価／九州大学 [学] 道野 正嗣・貝沼 重信・板井 麻理子
- I-423 大気環境とJISサイクルD腐食促進試験における裸普通鋼材の腐食特性の相関性と腐食促進倍率に関する基礎的研究／九州大学 [学] 小林 淳二・貝沼 重信

# I-9 (一般教育棟E23講義室) / 9月18日(金)

## ■維持管理(腐食) (3) / 9:00~10:20 / 武邊 勝道(松江工業高等専門学校)

- I-424 ロングライフ塗装用鋼板(エコビュー)の10年暴露試験結果／神戸製鋼所 [正] 湯瀬 文雄・松下 政弘・瀬尾 佳孝
- I-425 大気暴露試験の開始時期が裸普通鋼板の腐食挙動に及ぼす影響／九州大学 [学] 郭 小竜・貝沼 重信・小林 淳二
- I-426 37年間海洋環境暴露した溶融アルミニウムめっきの耐食特性／日本溶融アルミニウムめっき協会 [正] 橋本 幹雄・貝沼 重信
- I-427 3%ニッケル高耐候性鋼模擬橋梁体による海浜地区長期曝露結果(第8報)／新日鐵住金 [正] 長澤 慎・藤原 良憲・田中 睦人
- I-428 長崎県瀬戸中央橋におけるワッペン式暴露試験結果／土木研究センター [正] 安波 博道・中島 和俊・加納 勇
- I-429 都道府県を対象とした耐候性鋼橋梁に関するアンケート調査／山口大学 [正] 麻生 稔彦・松隈 駿・山本 恵利華

## ■維持管理(腐食) (4) / 10:40~12:00 / 片山 英資(福岡北九州高速道路公社)

- I-430 既設耐候性鋼橋梁における濡れ時間割合が腐食減耗量に及ぼす影響／川田工業 [正] 長坂 康史・下里 哲弘・竹淵 哲郎
- I-431 イオン透過抵抗法を用いた耐候性鋼橋梁の維持管理技術／日鉄住金防蝕 [正] 今井 篤実・佐野 大樹・野口 成人
- I-432 耐候性鋼橋梁における部分補修塗装後の長期耐久性に関する経年調査／日鉄住金防蝕 [正] 佐野 大樹・今井 篤実・麻生 稔彦

- I-433 画像処理による耐候性鋼表面のさび厚推定に関する研究／長岡技術科学大学(現: 八千代エンジニアリング) [正] 松本 拓也・常前 将大・岩崎 英治
- I-434 炭酸ナトリウムを用いた腐食耐候性鋼材の補修に関する基礎的実験／三井造船鉄構エンジニアリング [正] 成清 允・麻生 稔彦・今井 篤実
- I-435 耐候性鋼橋の試験施工および橋梁全体調査について／木更津工業高等専門学校 [正] 佐藤 恒明・田井 政行・野口 成人

## ■維持管理(腐食) (5) / 13:00~14:20 / 下里 哲弘(琉球大学)

- I-436 レーザーケレン装置による塗装ケレン性能試験／IHI [正] 岩崎 初美・大脇 桂・久住 智勇
- I-437 化学的素地調整が鋼材の表面性状に及ぼす影響に関する基礎的研究／九州大学 [学] 渡邊 亮太・貝沼 重信・塚本 成昭
- I-438 Al-Zn合金鑄造材と繊維シートを用いた腐食鋼部材の大気犠牲陽極防食に関する基礎的研究／九州大学 [学] 藤本 拓史・貝沼 重信・石原 修二
- I-439 腐食した鋼部材の大気犠牲陽極防食技術に関する基礎的研究—鉄さびの還元反応に及ぼす陽極材の影響—／三井造船 [正] 石原 修二・貝沼 重信・内田 大介
- I-440 Al-Zn合金鑄造材と繊維シートを用いた腐食鋼部材の大気犠牲陽極防食技術に関する研究／九州大学 [学] 土橋 洋平・貝沼 重信・石原 修二
- I-441 溶射手法と膜厚の違いが溶射の防食性能に及ぼす影響／長崎大学 [学] 原田 宗育・中村 聖三・村山 康雄

## ■維持管理(腐食) (6) / 14:40~16:00 / 安波 博道(土木研究センター)

- I-442 ステンレス鋼と炭素鋼を突き合せ溶接接合した厚板の異種金属接触腐食に関する実験的研究／長岡工業高等専門学校 [学] 小見 恒介・宮崎 靖大
- I-443 鋼製橋脚における塗膜の健全度調査及び考察／名古屋工業大学 [学] 鞍馬 宏紀・永田 和寿・横井 勝旭
- I-444 明石海峡大橋主塔基礎鋼ケーソンの腐食調査／本州四国連絡高速道路 [正] 大爺 健司・江口 敬一・麓 興一郎
- I-445 防錆キャップの劣化評価方法に関する研究／IHI [正] 岩本 達志・今井 学・清水 隆
- I-446 防食シートの適用性に関する検討／IHI [正] 井合 雄一・今井 学・清水 隆
- I-447 パイプ型落橋防止装置の防食性能に関する研究／MKエンジニアリング [正] 津崎 敦・矢島 卓・嶋田 昇一

# I-10 (一般教育棟D33講義室) / 9月16日(水)

## ■波動 / 10:40~12:00 / 白旗 弘実(東京都市大学)

- I-448 アレイ映像化のための全波形サンプリング処理方式の性能検証／愛媛大学 [学] 泉 英輝・堀口 貴志・中畑 和之
- I-449 動弾性有限積分法を用いた様々な異方性材料中の欠陥に対する弾性波動散乱解析／群馬大学 [学] 森 亜也華・斎藤 隆泰・廣瀬 壮一
- I-450 個別要素法を用いたコンクリート供試体発破実験の再現解析／新潟大学 [学] 齋藤 優・若月 和人・阿部 和久
- I-451 反射・透過係数法を用いた境界要素法による積層構造の弾性波動解析／東京工業大学 [学] 月岡 桂吾・古川 陽・廣瀬 壮一
- I-452 電磁波の反射特性を利用した坑道周辺の飽和度分布の推定／東京工業大学 [学] 高木 勘多・古川 陽・廣瀬 壮一

## ■非破壊評価 / 13:00~14:20 / 山田 真幸(東北工業大学)

- I-453 時間領域差分法を用いた極厚CFRP板中の欠陥に対する弾性波動散乱解析および計測実験／群馬大学 [正] 斎藤 隆泰・下田 瑞斗・森 亜也華
- I-454 表面SH波の適用に基づく鋼コンクリート埋込部の非破壊評価に関する基礎的検討／福井大学 [学] 乙部 裕一・鈴木 啓悟・佐々木 栄一
- I-455 フェーズドアレイ超音波法によるデッキ貫通型き裂の探傷／ [正] 古田 大介・八木 尚人・池上 克則
- I-456 フェーズドアレイ探触子を用いた鋼床版ビード進展疲労き裂の検出／東京都市大学 [正] 白旗 弘実・三木 千壽・上田 竜輝
- I-457 動磁場解析によるパルス渦電流板厚測定法の測定範囲と測定板厚の関係の検討／名古屋大学 [学] 安藤 聡一郎・北根 安雄・伊藤 義人
- I-458 誘導加熱装置を用いたデジタル画像相関法による鋼材の亀裂検知に関する研究／長崎大学 [学] 草野 志俊・出水 享・松田 浩



## I-10 (一般教育棟D33講義室) / 9月17日(木)

## ■振動 / 10:40~12:00 / 渡邊 学歩(山口大学)

- I-459 同橋長異種構造における交通振動による低周波音解析評価 / 京都大学 [学] 幸寺 駿・川谷 充郎・金 哲佑
- I-460 鉄道鋼合成連続桁への衝撃係数の簡易算定法の適用性に関する検討 / 鉄道総合技術研究所 [正] 後藤 恵一・曾我部 正道・下津 達也
- I-461 鉄道PCエクストラードス橋の剛性評価 / 鉄道総合技術研究所 [正] 曾我部 正道・下津 達也・後藤 恵一
- I-462 BRIDGE NATURAL FREQUENCY ESTIMATION BY EXTRACTING THE COMMON VIBRATION COMPONENT FROM THE RESPONSES OF TWO VEHICLES / 東京大学 [正] 長山 智則・Arka Reksowardojo・蘇 迪
- I-463 フローティングスラブ軌道における車両走行シミュレーション / 東京大学 [正] 蘇 迪・新井 進太郎・田中 博文

## I-10 (一般教育棟D33講義室) / 9月18日(金)

## ■液状化 / 9:00~10:20 / 飛田 哲男(京都大学)

- I-464 岸壁・護岸を対象とした地盤固化による低コスト液状化対策技術の遠心模型実験 / 鹿島建設 [正] 北本 幸義・石井 健嗣・小原 隆志
- I-465 岸壁・護岸を対象とした地盤固化による低コスト液状化対策技術の解析的評価 / 鹿島建設 [正] 京川 裕之・大谷 芳輝・鎗田 哲也
- I-466 杭基礎の非線形性を考慮した液状化地盤上にある橋台の地震時応答に関する研究 / 九州大学 [学] 柿永 恭佑・梶田 幸秀・宇野 州彦
- I-467 並行する埋設管の簡便な浮き上がり対策に関する振動台実験 / 関東学院大学 [学] 安田 悟・規矩 大義・山口 恵美
- I-468 薄鋼矢板を用いた戸建住宅の液状化被害軽減工法に関する実験的研究—1/4模型振動実験 矢板ひずみ分布について— / 住友林業 [正] 金子 雅文・安田 進・平出 務
- I-469 東北地方における東日本大震災での河川堤防被災要因の推定手法に関する検討 / 応用地質 [正] タケベ ヲトム・佐々木 康・高田 浩穂

## ■地盤震動(観測) / 10:40~12:00 / 秦 吉弥(大阪大学)

- I-470 関東地方における地震動の地域特性に見られるばらつき / 東電設計 [正] 栗田 哲史・新垣 芳一
- I-471 常時微動観測に基づく小浜平野の地下構造の推定(その2) / 福井大学 [正] 小嶋 啓介・板谷 圭祐
- I-472 微動のアレー観測記録を用いた大崎市古川地区における表層地盤構造の推定 / 東京工業大学 [正] 盛川 仁・満永 仁志・飯山 かほり
- I-473 芝浦工業大学豊洲校舎の基礎スラブ上と支持基盤内の地震記録に対するNIOM解析 / 芝浦工業大学 [正] 紺野 克昭・三浦 太郎・茂木 秀則
- I-474 微動および重力探査による鳥取県智頭地域の地盤構造推定 / 鳥取大学 [正] 野口 竜也・五島 達也・津吉 祐典
- I-475 GNSSデータによる地震時地殻変動のMw、R依存に関する回帰分析 / 東北工業大学 [F] 神山 真・小出 英夫・沢田 康次

## ■地盤震動(解析) / 13:00~14:20 / 坂井 公俊(鉄道総合技術研究所)

- I-476 地盤増幅特性に寄与する地盤震動パラメータの検討 / 東電設計 [正] 新垣 芳一・澤田 純男・後藤 浩之
- I-477 円盤加振による地盤最表層のS波インピーダンス測定手法の開発 / 京都大学 [正] 後藤 浩之・田中 伸明・澤田 純男
- I-478 深層地盤情報を用いた中国地方・四国地方のサイト増幅特性の簡易推定法 / 神戸大学 [学] 加納 嵩士・長尾 毅
- I-479 甲府盆地の3次元地盤構造モデルの構築と地盤震動解析 / 山梨大学 [学] 入原 渉・鈴木 猛康・宮本 崇
- I-480 大規模地盤震動解析を使った都市地震シミュレーション / 理化学研究所 [正] 藤田 航平・市村 強・田中 聖三
- I-481 疑似点震源モデルによるSK-net観測点における高密度強震動シミュレーション / 港湾空港技術研究所 [正] 長坂 陽介・野津 厚・山田 雅行

## ■強震動予測・設計地震動 / 14:40~16:00 / 後藤 浩之(京都大学)

- I-482 ウェーブレット係数の最適化による非線形応答スペクトル適合波形の合成方法 / 鉄道総合技術研究所 [正] 坂井 公俊・室野 剛隆・澤田 純男
- I-483 JS divergenceを用いた構造物の非線形応答値に基づく地震動波形のクラスタリング / 山梨大学 [正] 宮本 崇・本田 利器
- I-484 東京湾周辺における長周期地震動特性評価と地震動算定 /

岐阜大学 [正] 久世 益充・杉戸 真太・中野 克哉

- I-485 地震基盤P波に対する地表S波の振幅比の周波数特性に関する検討 / 鉄道総研(現JR東日本) [正] 宮腰 寛之・津野 靖士
- I-486 累積パワー規準に基づく地震動継続時間に対応する等価振幅レベルについて / 岐阜大学 [学] 高島 拓也・能島 暢昌
- I-487 2014年長野県北部の地震(Mj6.7)の震源のモデル化 / 飛鳥建設 [正] 池田 隆明・釜江 克宏・小長井 一男

## I-11 (一般教育棟D34講義室) / 9月16日(水)

## ■継手(1) / 10:40~12:00 / 南 邦明(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- I-488 板厚19mmの高力ボルト継手の終局挙動に関する実験的研究 / 石川工業高等専門学校 [学] 舟山 耕平・三ツ木 幸子・前田 啓伸
- I-489 板厚28mmの高力ボルト継手の終局挙動に関する実験的研究 / 石川工業高等専門学校 [正] 三ツ木 幸子・舟山 耕平・加古 知也
- I-490 部材長がボルト接合継手を有する部材の耐荷性能に与える影響 / 九州大学 [学] 土屋 羊平・園田 佳巨・玉井 宏樹
- I-491 無塗装の多列厚板高力ボルト摩擦接合継手のすべり挙動に関する実験的検討 / 土木研究所 [正] 石原 大作・村越 潤・澤田 守
- I-492 総すべり挙動に着目した鋼桁高力ボルト摩擦接合継手部の合理化に関する実験的検討 / 大阪市立大学 [学] 森山 仁志・山口 隆司・田畑 晶子
- I-493 新耐力点法によるボルト軸力導入試験(トルク係数値、予備締めの影響) / 神戸大学 [正] 橋本 国太郎・山口 隆司・吉見 正頼

## ■継手(2) / 13:00~14:20 / 橋本 国太郎(神戸大学)

- I-494 過酷な環境下で暴露された高力ボルト摩擦接合継手部の腐食形態に関する研究 / 宮地エンジニアリング [正] 山下 修平・下里 哲弘・有住 康則
- I-495 既設耐候性鋼橋の補修・補強に用いる摩擦接合継手の耐久性 / 鉄道総合技術研究所 [正] 網谷 岳夫・小林 裕介・小野 秀一
- I-496 片面にアルミ溶射を用いた高力ボルト摩擦接合継手のすべり係数に関する実験的研究 / 新日鐵住金 [正] 東 清三郎・高木 優任・山口 隆司
- I-497 片面にアルミ溶射を用いた高力ボルト摩擦接合継手のリラクゼーション特性に関する実験的研究 / JFEエンジニアリング [正] 山階 清永・山口 隆司・高木 優任
- I-498 各種金属溶射を用いた摩擦接合面におけるすべり試験 / 川田工業 [正] 岩井 学・小笠原 照夫・服部 雅史
- I-499 鋳鉄板を用いた高力ボルト摩擦接合継手のすべり試験 / 大阪市立大学 [学] 池田 裕哉・山口 隆司・佐伯 英一郎

## I-11 (一般教育棟D34講義室) / 9月17日(木)

## ■継手(3) / 9:00~10:20 / 一宮 充(横河ブリッジホールディングス)

- I-500 皿型高力ボルトを用いた群ボルト摩擦接合継手のすべり試験 / 横河ブリッジホールディングス [正] 水越 秀和・田畑 晶子・山口 隆司
- I-501 高力ボルト摩擦接合継手に用いる皿型高力ボルトの皿頭開き角度がすべり強度に与える影響 / 阪神高速道路 [正] 藤林 美早・山口 隆司・郎 宇
- I-502 摩擦接合用の高力スタッドボルト(F8T相当)の開発 / 片山ストラテック [正] 奥村 学・彭 雪・石井 博幸
- I-503 高力スタッドボルトを用いた摩擦接合継手のすべり挙動に関する実験的研究 / 片山ストラテック [正] 彭 雪・山口 隆司・石井 博幸
- I-504 部分的に支圧化させた高力ボルト摩擦接合継手の力学的挙動 / 神戸大学 [学] 二宮 僚・橋本 国太郎
- I-505 フランジに引張接合を用いた鋼桁連結部の強度算出法に関する検討 / 京都大学 [学] 辛 浩・鈴木 康夫・杉浦 邦征

## ■継手・接合 / 10:40~12:00 / 田畑 晶子(阪神高速道路)

- I-506 実施工を想定した状況での2段締め高力ボルト摩擦接合継手のすべり試験 / 駒井ハルテック [正] 吉岡 夏樹・峯村 智也・金城 力
- I-507 特殊ナットを用いた2段締め高力ボルト摩擦接合継手の性能確認試験 / 首都高速道路 [正] 峯村 智也
- I-508 特殊ナットを用いた2段締め高力ボルト摩擦接合継手の拡大座金に関する解析的研究 / 大阪市立大学 [学] 金城 力・峯村 智也・山口 隆司



- I-509 腐食環境の鋼鉄道橋に用いられた高力ボルトの残存軸力調査／JR西日本〔正〕坂田 鷹起・木村 元哉
- I-510 スタッドボルト接合の併用による当て板接着鋼板の剥離抑制効果／京都大学〔学〕河本 隆史・石川 敏之・服部 篤史
- I-511 ウェブギャップ板の補修溶接条件に関する検討／首都高速道路技術センター〔正〕平山 繁幸・仲野 孝洋・木ノ本 剛

# I-11 (一般教育棟D34講義室)／9月18日(金)

## ■維持管理(補修補強)(1)／9:00～10:20／宮下 剛(長岡技術科学大学)

- I-512 当て板接合した鋼桁の曲げ耐力に関する実験的検討／パシフィックコンサルタンツ〔正〕山下 夏実・中村 一史・山田 稔
- I-513 プレテンションを導入したCFRP板接着による溶接継手部の疲労き裂の補修に関する検討／首都大学東京〔学〕伊藤 寛弥・向田 大翼・中村 一史
- I-514 CFRP補強した薄肉鋼管の圧縮補強効果について／東レ〔正〕松井 孝洋・松本 幸大・中村 一史
- I-515 CFRP板接着による亀裂部への圧縮プレストレス導入に関する解析的検討／立命館大学〔学〕前川 仁
- I-516 腐食損傷に対するCFRP及び鋼板接着の力学特性／広島大学〔学〕金山 惇志・藤井 堅・堀井 久一
- I-517 現場VaRTM成形法による鋼部材の補修・補強工法に関する基礎的研究／首都大学東京〔学〕近藤 諒翼・中村 一史・松井 孝洋

## ■維持管理(補修補強)(2)／10:40～12:00／小野 潔(早稲田大学)

- I-518 面外方向の水圧を受ける鋼製タンクの炭素繊維シート接着補強に関する実験的検討／首都大学東京〔正〕中村 一史・中村 俊太・松井 孝洋
- I-519 鋼橋における炭素繊維シートを用いた耐震補強工法の基礎研究／〔正〕秀熊 佑哉・宮下 剛・濱 達矢
- I-520 引張を受ける高力ボルト鋼板当て板接合部の荷重伝達機構に関する解析的検討／名古屋工業大学〔学〕小川 麻実・永田 和寿・町田 幸大
- I-521 断面欠損した鋼引張部材の当て板接合による補修方法と性能回復に関する実験的検討／三井住友建設〔正〕米山 洋生・中村 一史・松井 孝洋
- I-522 Uリブ鋼床版のスタッドボルトを用いた補強に用いるあて板の形状改良／大阪市立大学〔学〕儀賀 大己・山口 隆司・田畑 晶子
- I-523 鋼鉄道斜橋のカバープレート取替がその力学的挙動に与える影響に関する基礎的研究／大阪市立大学〔学〕馬場 幸志・山口 隆司・松村 政秀
- I-524 超高強度繊維補強コンクリートを用いた小規模鋼I桁橋への補修・補強解析／大阪市立大学〔学〕黒木 唯真・米丸 諒・角掛 久雄

## ■維持管理(補修補強)(3)／13:00～14:20／高田 佳彦(阪神高速道路)

- I-525 構造ひび割れを受けたRC床版の補修および補強対策の検討／エイト日本技術開発〔正〕篠原 聖治・小野 和行・飯盛 保孝
- I-526 取替用鋼床版のFEM解析を用いた検討／川田工業〔正〕高田 嘉秀・横関 耕一・三木 千壽
- I-527 プリブを有する取替用鋼床版の疲労試験／横河ブリッジホールディングス〔正〕石井 博典・横関 耕一・三木 千壽
- I-528 プリブを有する取替用鋼床版の疲労試験／エム・エム・ブリッジ〔正〕渡邊 俊輔・鈴木 俊光・三木 千壽
- I-529 床版取替えによる鋼橋の耐震レトロフィット／東京都市大学〔学〕葉山 瑞樹・関屋 英彦・横山 薫
- I-530 構造ホットスポット応力疲労評価法の鋼床版構造への適用に関する一考察／新日鐵住金〔正〕横関 耕一・富永 知徳・三木 千壽

## ■維持管理(補修補強)(4)／14:40～16:00／平山 繁幸(首都高速道路技術センター)

- I-531 鋼床版支点部補剛材に生じた亀裂の補修対策検討／本州四国連絡高速道路〔正〕高田 大資・藤城 忠朗・大谷 康史
- I-532 鉄道橋Iビーム桁支点首部の疲労き裂対策／西日本旅客鉄道〔正〕池頭 賢・丹羽 雄一郎・松本 健太郎
- I-533 鉄道橋Iビーム桁支点首部のストップホールに対する片面ICR処理の応力低減効果／レールテック〔正〕松本 健太郎・七村 和明・池頭 賢
- I-534 繰返し荷重下での溶接補修における割れ発生評価法に関する研究／名古屋大学〔正〕判治 剛・長谷川 吉男・館石 和雄
- I-535 支承のあおりを生じた溶接桁端補剛材の疲労き裂発生因子／鉄道総合技術研究所〔正〕吉田 善紀・小林 裕介・小野 秀一

- I-536 アクリル樹脂で炭素繊維成形板を接着した疲労亀裂対策の検討／〔正〕竹村 学・平塚 慶達・石川 敏之

# I-12 (一般教育棟D35講義室)／9月16日(水)

## ■安全性・信頼性(1)／10:40～12:00／中村 孝明(篠塚研究所)

- I-537 性能照査型維持管理法の導入に伴う北陸自動車道の活荷重に関する一検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋〔正〕石川 裕一・橋 吉宏・岩崎 英治
- I-538 腐食した高力ボルト摩擦接合継手部の性能照査／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋〔正〕橋 吉宏・石川 祐一・森山 守
- I-539 高速道路の作用荷重に関する研究／高速道路総合技術研究所〔正〕萩原 直樹・和田 吉憲・青木 圭一
- I-540 subset法を用いた損傷確率評価の精度および効率に関する分析／大成建設〔正〕坂下 克之・畑 明仁・志波 由紀夫
- I-541 地盤物性の空間的不確実性を考慮した地中構造物の地震時応答のばらつきの簡易評価／大成建設〔正〕畑 明仁・坂下 克之

## ■安全性・信頼性(2)／13:00～14:20／北原 武嗣(関東学院大学)

- I-542 橋梁の地震・積雪複合作用に対する破壊確率評価／中央大学〔学〕佐竹 基治・佐藤 尚次
- I-543 広域に散在する構造物の損傷相関の評価手法の検討／篠塚研究所〔正〕望月 智也・中村 孝明
- I-544 南海トラフ地震による三重県沿岸部に架かる橋梁構造物の地震・津波リスク評価に関する基礎的研究／早稲田大学〔学〕磯辺 弘司・秋山 充良・越村 俊一
- I-545 2主開断面主桁を有する連続合成桁橋のリダンダンシー評価／〔学〕仲林 一樹・林 偉偉・依田 照彦

# I-12 (一般教育棟D35講義室)／9月18日(金)

## ■数値解析／9:00～10:20／古川 陽(東京工業大学)

- I-546 解析条件の異なりが延性破壊パラメータ $\chi$ に及ぼす影響の検討／名城大学〔学〕加藤 友哉・賈 良玖・葛 漢彬
- I-547 損傷モデルと塑性モデルを用いたRCはりの3次元破壊シミュレーション／茨城大学〔学〕相馬 悠人・根本 優輝・車谷 麻緒
- I-548 回転円筒内における流水中流木挙動の個別要素法解析／防衛大学校〔学〕立石 龍平・堀口 俊行・香月 智
- I-549 SPH法を用いた河川内橋脚への洪水時の作用外力の評価に関する検討／山口大学〔正〕渡邊 学歩・赤松 ヨシヒサ・入江 貴博
- I-550 支配領域の可変性を考慮した粒子法の地盤大変形問題への適用／清水建設〔正〕桐山 貴俊
- I-551 地震時盛土の引張破壊を考慮した拡張有限要素法によるクラック進展解析／京都大学〔学〕池田 貴昭・後藤 浩之・澤田 純男

## ■免震構造・デバイス／10:40～12:00／牛島 栄(青木あすなろ建設)

- I-552 橋梁模型の振動台実験による片押し型制震デバイスの動的特性の確認／九州大学〔学〕和田 悠佑・山崎 智彦・田中 剛
- I-553 鋼材のせん断破壊を利用したノックオフ機構の性能確認実験／大林組〔正〕武田 篤史・鈴木 雄吾・金田 和男
- I-554 部材破断を伴う構造物の動的解析におけるRayleigh減衰係数の設定方法に関する研究／大阪市立大学〔学〕山本 淳史・山口 隆司・中西 泰之
- I-555 荷重作用下の免震ゴム支承に生じるオゾン劣化き裂およびその補修に関する基礎的研究／名古屋大学〔正〕廣畑 幹人・伊藤 康晃・伊藤 義人
- I-556 経年劣化積層ゴム支承の耐震性能低下原因に関する一考察／阪神高速道路〔正〕林 訓裕・足立 幸郎・五十嵐 晃
- I-557 経年劣化されたゴム支承の終局ひずみの確率分布推定と橋梁の耐震性能評価／埼玉大学〔正〕党 紀・佐藤 拓・五十嵐 晃
- I-558 免震用積層ゴム支承の水平2方向復元力に対応した拡張バイリニアモデルの構築／山梨大学〔学〕小泉 和士・吉田 純司

## ■破壊力学・弾塑性／13:00～14:20／車谷 麻緒(茨城大学)

- I-559 ひずみゲージによる板厚方向に進展する疲労き裂のセンシング／東京都市大学〔学〕岡本 翔太・三木 千壽・関屋 英彦
- I-560 鋼材の破壊じん性についての実験的検討／新日鐵住金〔正〕北 市 さゆり・米澤 隆行・高木 優任
- I-561 鋼部材の地震時脆性破壊発生限界への修正ワイブル応力の適用／東京工業大学〔学〕富永 理史・田村 洋・佐々木 栄一

- I-562 高強度ステンレス鋼へのRamberg-Osgood曲線の適用性の検証／長岡工業高等専門学校 [学] 佐藤 信輔・宮崎 靖大・奈良 敬
- I-563 ウェーブレット変換による道路橋を対象とした回転1自由度系の経年劣化抽出／大阪産業大学 [学] 前川 広基・山下 典彦・宮脇 幸治郎
- I-564 中詰材の材料特性に応じたパイプインパイプの数値解析モデルの構築と曲げ変形挙動の考察／北海道大学 [学] 伊原 かすみ・寺田 豊・蟹江 俊仁

■シェル・骨組構造／14:40～16:00／山田 真幸(東北工業大学)

- I-565 単管とクランプで構成する構造物の可能性について／国土 [正] 筒井 光男・水田 洋司・坂田 力
- I-566 軸方向圧縮力と曲げを受けるアルミ短柱部材の変形挙動と耐荷力について／鹿島建設 [正] 佐々木 菜緒・山尾 敏孝・井上 天
- I-567 接着接合した薄肉鋼管の曲げ強度に関する実験的研究／長岡技術科学大学 [正] 大谷 拓矢・宮下 剛・磯部 公一
- I-568 座屈状態のカーボンナノチューブに生じる波状変形モード解析／北海道大学 [学] 池岡 直哉・小池 育代・佐藤 太裕
- I-569 竹の特異な構造形態に学ぶ円筒体の最適な曲げ抵抗メカニズムについて／北海道大学 [学] 佐藤 諭佳・丸山 俊樹・佐藤 太裕
- I-570 軸対称円柱の弾性解析における力学的境界条件の影響／足利工業大学 [正] 末武 義崇・松村 仁夫・黒井 登起雄

I-13 (一般教育棟E32講義室)／9月16日(水)

■耐風・風工学(1)／9:00～10:20／松宮 央登(電力中央研究所)

- I-571 並列ケーブル中心間隔を変化させたウェイク振動特性の検討／川田工業 [正] 町田 正信・勝地 弘・山田 均
- I-572 平行ケーブルにおける2自由度ウェイク振動の発生機構に関する研究／京都大学 [学] 小川 哲司・八木 知己・有間 将司
- I-573 Hydro-VENUSの倒立振り子に作用する流体力特性／岡山大学 [学] 大熊 広樹・比江島 慎二
- I-574 振り子の流体励起振動のフィードバック制御／岡山大学 [学] 佐々木 拓人・比江島 慎二
- I-575 高速度カメラと3次元運動解析ソフトを用いた実風車ブレードの振動測定／東京理科大学 [学] 河合 康太・新井 那亜・幽谷 栄二郎
- I-576 ソーラーアップドラフト発電の効率化に向けた研究／京都大学 [学] 湯井 大貴・Hadyan Hafizh・白土 博通

■耐風・風工学(2)／10:40～12:00／野田 稔(徳島大学)

- I-577 正方形柱に作用する変動空気力および軸方向相関の迎角による変化／関東学院大学 [正] 中藤 誠二
- I-578 PODとDMDを用いた矩形断面前縁付近の流れに関する考察／京都大学 [学] 塚前 伊久磨・谷口 優佑・河田 祐太郎
- I-579 平板単純梁模型のガスト応答特性の検討／東京理科大学 [学] 山崎 一真・光成 達也・木村 吉郎
- I-580 プラズマアクチュエータを用いた完全剥離型矩形断面における剥離抑制制御／九州工業大学 [学] 玉井 佑典・田川 裕貴・池田 樹
- I-581 トラス橋斜材の3次元弾性模型を用いた自己励起型渦励振の応答特性／九州工業大学 [学] 荒津 樹・有瀬 公貴・原田 健太郎
- I-582 大型パネルで覆われた4主1桁橋の耐風特性／川田テクノロジー [正] 畠中 真一・甲木 里沙・越後 滋
- I-583 横風中を走行する車両に作用する空気力に関する考察／京都大学 [学] 和田 光平・白土 博通・立花 嵩

■耐風・風工学(3)／13:00～14:20／松田 一俊(九州工業大学)

- I-584 着氷雪電線の鉛直1自由度系ギャロッピングにおけるリミットサイクル振幅評価／電力中央研究所 [正] 松宮 央登・西原 崇・八木 知己
- I-585 斜円柱に発生する空力振動を再現するための風洞実験の試み／北海道大学 [学] 那須 桃香・笹川 一磨・木村 吉郎
- I-586 雨なし振動のメカニズム解明を目指した静止斜円柱模型後流側の流れの特性／東京理科大学 [学] 原尾 勇輝・大島 立輝・木村 吉郎
- I-587 淡路島洲本における日最大風速データの正規分布への変換／法政大学 [正] 北川 徹哉
- I-588 洋上風況観測タワーの観測性能／鹿島建設 [正] 大窪 一正・福本 幸成・石原 孟
- I-589 ドップラーライダーを利用した浮体式洋上風況観測システムの開発及び実測による検証／東京大学 [正] 山口 敦・若林 蘭・石原 孟

I-13 (一般教育棟E32講義室)／9月17日(木)

■耐風・風工学(4)／9:00～10:20／木村 吉郎(東京理科大学)

- I-590 塩分を含むミストを利用した橋梁の飛来塩分付着量推定法の改良／日本大学 [正] 長谷部 寛・曾根 瞭平・春木 陽平
- I-591 領域気象モデルによる風況及び飛来塩分の推定／京都大学 [学] 野口 恭平・白土 博通・秦 聡一朗
- I-592 Aerodynamic countermeasure devices to reduce airborne sea salt adhesion on bridge girders／京都大学 [学] Mbithi Michael・八木 知己・杉井 謙一
- I-593 数値流体解析を用いたトルネードシミュレータの再現／徳島大学 [学] 森 一樹・野田 稔・長尾 文明
- I-594 竜巻状流れの可視化に関する研究 その1～LESによる竜巻状流れ場の生成／徳島大学 [学] 八谷 実・野田 稔・西村 公成
- I-595 竜巻状流れの可視化 その2～漏斗雲による竜巻特性推定／徳島大学 [学] 西村 公成・野田 稔・八谷 実

■耐風・風工学(5)／10:40～12:00／八木 知己(京都大学)

- I-596 数値流体解析における静止円柱の表面圧力変動特性／徳島大学 [学] 大西 慎也・野田 稔・長尾 文明
- I-597 数値流体解析を利用した風車後流における乱流特性の解明／東京大学 [学] 吉澤 佑太・石原 孟
- I-598 数値流体解析を用いた隅切り矩形断面の空力特性解析／横浜国立大学 [学] 松島 史弥・勝地 弘・山田 均
- I-599 海上橋建設時に観測された気流傾斜角のCFDによる再現の検討／東京理科大学 [学] 佐々木 伶於・田村 亮・木村 吉郎
- I-600 数値流体解析による突風風洞内の流況に関する検討／徳島大学 [学] 末廣 聖志・野田 稔・長尾 文明

I-13 (一般教育棟E32講義室)／9月18日(金)

■橋梁一般(設計)(1)／9:00～10:20／中島 章典(宇都宮大学)

- I-601 頭付きスタッドを用いた鋼—コンクリート接合部の耐力評価に関する解析的研究／日本橋梁建設協会 [正] 岑山 友紀・楠田 広和・橋 肇
- I-602 頭付きスタッドを用いた鋼—コンクリート接合部の耐力評価に関する一検討／横河ブリッジ [正] 楠田 広和・岑山 友紀・橋 肇
- I-603 都市内橋梁(八田橋)におけるポータルラーメン橋の計画／アンジェロセック [正] 緒方 純二・柿木原 幸司・林 健造
- I-604 変断面を有する鋼・コンクリート複合橋脚の検討／横河ブリッジ [正] 黒野 佳秀・山田 朗史・岩村 和哉
- I-605 阪神高速道路三宮JCTにおける湾岸線を跨ぐ曲線ランプ橋の設計と施工／横河ブリッジ [正] 金澤 宏明・石川 晋介・高田 佳彦

■橋梁一般(設計)(2)／10:40～12:00／江頭 慶三(駒井ハルテック)

- I-606 連続合成桁におけるテンションスティフニング効果の断面設計に与える影響／東京鐵骨橋梁 [正] 大柳 英之・徳力 健・谷口 望
- I-607 連続合成桁の各種ひび割れ幅算定法の比較／新日本技研 [正] 徳力 健・大柳 英之・由井 洋三
- I-608 鋼橋における連続桁中間支座位の設計曲げモーメントに関する検討／ドゥーユー大地 [正] 関 宏一郎・由井 洋三・趙 清
- I-609 連続合成桁の中間支座位(負曲げ区間)の剛性評価に関する検討／由井技術士事務所 [F] 由井 洋三・徳力 健・谷口 望
- I-610 不均等スパンを有する連続合成桁におけるフランジ有効幅算定式の適用性に関する検討／復建エンジニアリング [正] 秋山 慎一郎・藤原 良憲・松山 剛
- I-611 PRC2径間ラーメン橋脚へのSEEDフォーム採用上の留意点／中日本高速道路 [正] 保田 敬一・千川 博之・中村 錦哉

■橋梁一般(設計)(3)／13:00～14:20／奥井 義昭(埼玉大学)

- I-612 維持管理性に配慮した鋼箱桁中間支点上ダイヤフラムの開口形状の検討／阪神高速道路 [正] 杉山 裕樹・石井 博典・長井 正嗣
- I-613 主桁ウェブ変形に対するCFRP補強の効果検証／首都高速道路 [正] 石橋 正博・中村 充・仲野 孝洋
- I-614 熱影響を受けた鋼桁の座屈耐荷力評価／首都高速道路 [正] 中村 充・仲野 孝洋・大住 圭太
- I-615 超長大5径間吊橋の弾塑性挙動と耐荷力特性／首都大学東京 [学] オザワ タケヒト・野上 邦榮・岸 祐介
- I-616 エネルギー基準によるリダンダンシー評価法と塑性化による衝撃特性の変化／岐阜工業高等専門学校 [正] 水野 剛規・後藤 芳顕
- I-617 中央径間長3000mを有する4径間超長大吊橋の耐荷力特性



／日本工営〔正〕藤岡 健祐・野上 邦栄・長井 正嗣

- 橋梁一般(設計)(4)／14:40～16:00／永谷 秀樹(宮地エンジニアリング)
- I-618 鋼道路橋を構成する部材の信頼性バランスに関する考察／荒谷建設コンサルタント(前 国土技術政策総合研究所)〔正〕山崎健次郎・玉越 隆史・白戸 真大

- I-619 道路橋の設計合理化に向けた荷重モデルの検討／中電技術コンサルタント(前 国土技術政策総合研究所)〔正〕川見周平・玉越 隆史・白戸 真大
- I-620 鋼橋の耐火設計における部分安全係数に関する一検討／大阪工業大学〔学〕大岩 司・大山 理・栗
- I-621 ケーブル破断事故による斜張橋の安全性の検討／早稲田大学〔学〕安倍 健登・清宮 理・安 同祥

## 第Ⅱ部門 水理学、水文学、河川工学、水資源工学、港湾工学、海岸工学、海洋工学、環境水理など

### II-1 (環境理工学部棟101講義室)／9月16日(水)

- ダム・貯水池／10:40～12:00／梅田 信(東北大学)
- II-001 コアンダ効果を利用した湧昇流発生法の現地成層・流動条件への適用／東京電機大学〔学〕近藤 秀紀・佐藤 大作・有田 正光
- II-002 天然凝集材を用いた効率的な貯水池濁水処理手法の検討／土木研究所〔正〕本山 健士・石神 孝之・楠見 正之
- II-003 貯水池における連続サイフォン式選択取水設備の取水特性に関する現地観測／鳥取大学〔正〕矢島 啓・八谷 健太・泉谷 隆志
- II-004 三次元貯水池流動シミュレーションの表層水移送装置の組み込みに関する研究／首都大学東京〔学〕上田 博茂・横山 勝英・新谷 哲也
- II-005 山口調整池における連続式空気揚水筒の揚水性能と水循環効果に関する実地調査実験(揚水流量と鉛直水温分布)／大阪電気通信大学〔正〕中田 亮生・中村 淳一・下嶋 みか子
- II-006 潜行吸引式排砂管の塵芥への対応能力に関する基礎的検討／土木研究所〔正〕宮川 仁・石神 孝之・箱石 憲昭

- 湖沼・河口／13:00～14:20／矢島 啓(鳥取大学)
- II-007 海面上昇に伴う小川原湖の水質変化について／東京工業大学〔F〕石川 忠晴・村上 駿・安河内 美咲
- II-008 小川原湖への塩水侵入過程へ北部湖棚が及ぼす影響の数値流動解析による検討／東京工業大学〔正〕中村 恭志・岩田 幸治
- II-009 新堀川における潮汐流動及び水質特性に関する研究／名古屋工業大学〔学〕宇野 裕奎
- II-010 河口水位データの長期解析による河口干潟地形変化の長期トレンド評価／東京理科大学〔正〕大槻 順朗・二瓶 泰雄
- II-011 コムケ湖における融雪期の地下水浸透流が干潟水質に及ぼす影響／北見工業大学〔学〕竹内 友彦・駒井 克昭・中山 恵介

### II-1 (環境理工学部棟101講義室)／9月17日(木)

- 河川堤防(1)／9:00～10:20／早川 博(北見工業大学)
- II-012 水中に投入したブロックの河床での回転運動に関する基礎的な考察／北海道河川財団〔正〕山本 太郎・東海林 勉・飛田 大輔
- II-013 流水中の破堤拡幅防止コンクリートブロックの移動限界予測に対するMPS法の応用／〔正〕船木 淳悟・柿沼 孝治・阿部 孝章
- II-014 堤体材料特性、湿潤状態が破堤過程へ及ぼす影響の実験的検討／名城大学〔正〕溝口 敦子・村井 俊哉・棚橋 巧治
- II-015 実測データベースに基づく河川堤防の越流決壊・破損条件の検討／東京理科大学〔学〕服部 泰士・二瓶 泰雄・大槻 順朗
- II-016 河川堤防の締切工に関する簡易模型実験／〔正〕飛田 大輔・柏谷 和久・柿沼 孝治
- II-017 エネルギー減衰機能に優れた防潮堤の形状に関する模型実験と数値解析による検討／防衛大学校〔正〕多田 毅・林大地・宮田 喜壽

- 河川堤防(2)／10:40～12:00／音田 慎一郎(京都大学)
- II-018 GRS補強土による河川堤防の耐浸透性向上効果の基礎的検討／東京理科大学〔学〕浅野 友里・二瓶 泰雄・森田 麻友
- II-019 GRS河川堤防の耐越流侵食性向上に対する堤体材料・ジオグリッドの効果／東京理科大学〔学〕森田 麻友・倉上 由貴・二瓶 泰雄
- II-020 ジオテキスタイル補強土を用いた耐越流侵食河川堤防の実験的検討／東京理科大学〔学〕倉上 由貴・二瓶 泰雄・菊池 喜昭

- II-021 堤防開削調査で確認されたモグラ穴の特徴と維持管理上の留意点／バシフィックコンサルタンツ〔正〕薄井 隆義・高田 浩穂・高橋 義孝
- II-022 大きな水深で堤防を乗り越える流れに対するGBVC法の適用性／中央大学〔正〕竹村 吉晴・福岡 捷二・諏訪 義雄

### II-1 (環境理工学部棟101講義室)／9月18日(金)

- 魚類／9:00～10:20／鬼束 幸樹(九州工業大学)
- II-023 複数の水制を有する開水路における魚の行動特性について／東洋大学〔学〕菊池 裕太・青木 宗之・福井 吉孝
- II-024 振動流体中の魚の行動特性について／東洋大学〔学〕櫻井 龍太郎・青木 宗之・松木 越
- II-025 神田川の魚類生息環境に及ぼすストレス因子に関する調査研究／早稲田大学〔学〕山内 悠太・仲田 哲也・榊原 豊
- II-026 荒川水系小畔川中流部での底生生物および魚類の生息について／東洋大学〔正〕青木 宗之
- II-027 建設事業に伴う自然環境保全対策種の移植先選定手法の検討／西日本高速道路〔正〕橘 竜瞳・西岡 昌樹・森井 光治
- II-028 高津川掘削に伴う生態系への影響予測について／中国地方整備局 浜田河川国道事務所〔正〕松尾 至哲・中井 喜美男

- 河川生態(1)／10:40～12:00／皆川 朋子(熊本大学)
- II-029 河川底生動物動態モデルの開発／名古屋大学〔学〕溝口 裕太・戸田 祐嗣
- II-030 河川内有機物・有機体中の炭素・窒素安定同位体比を用いた河川環境評価／山口大学〔学〕睦田 昌平・赤松 良久・乾 隆帝
- II-031 一次元河川生態系モデルを用いた堰が河川生態系に及ぼす影響の検討／山口大学〔正〕赤松 良久・永野 博之・上鶴 翔梧
- II-032 水生昆虫に着目した降水現象極端化が河川生態系に与える影響評価手法の開発／土木研究所〔正〕傳田 正利・萱場 祐一
- II-033 河川内の有機物・有機体量とその構成比に関する現地調査／山口大学〔学〕一松 晃弘・赤松 良久・乾 隆帝
- II-034 野外における河床礫の抗力係数測定法の提案と付着藻繁茂による抗力特性の変化／埼玉大学〔学〕坂田 良介・田中 規夫

- 河川生態(2)／13:00～14:20／田中 規夫(埼玉大学)
- II-035 河川堤防に繁茂する特定外来生物(オオキンケイギク)防除の取り組みについて／岡山河川事務所〔正〕武内 慎太郎・園田 敏宏・安達 淳
- II-036 鬼怒川における礫河原保全事業後の植生分布状況に関する基礎的調査／宇都宮大学〔学〕幸村 智史・池田 裕一・飯村 耕介
- II-037 河道位数を用いた日本の河川流域特性に基づく樹林化現象の類型化／芝浦工業大学〔学〕秦 夢露・宮本 仁志
- II-038 西日本におけるヤナギ類の空間分布予測—河川樹林化の適切な管理を目指して—／山口大学〔正〕乾 隆帝・赤松 良久・竹村 紫苑
- II-039 中小河川における河道計画時に利用可能な環境評価ツールの検討／土木研究所〔正〕大石 哲也・高岡 広樹・原田 守啓

- 水質／14:40～16:00／鷺見 哲也(大同大学)
- II-040 河川漂流ゴミ輸送量の新たな自動連続モニタリングシステムの開発と最上川への適用／東京理科大学〔学〕南 まさし・二瓶 泰雄・西島 拓駿
- II-041 未処理水流入吐口へ可動堰導入を考慮した江戸城外濠における栄養塩濃度低減策の検討／法政大学〔学〕奥田 悠暉・亀田 哲平・鈴木 善晴
- II-042 河道内砂州における脱空ポテンシャルの定量化手法に関する



- II-043 研究／名古屋大学 [正] 尾花 まき子・黄 躍滔・辻本 哲郎  
釧路川流域における湿原再生に向けた栄養塩輸送量の評価  
手法に関する研究／北見工業大学 [正] 駒井 克昭・中山  
恵介・河合 守
- II-044 渡良瀬川流域での有機物の発生状況について／足利工業大  
学 [正] 長尾 昌朋・上岡 充男
- II-045 日本における平衡水温の経年変化分析／芝浦工業大学 [正] 宮  
本 仁志・片桐 弘晴・松井 拓也

## II-2 (環境理工学部棟104講義室) / 9月16日(水)

## ■開水路の水理(1) / 9:00~10:20 / 高橋 正行(日本大学)

- II-046 栈粗度乱流場における水面変動の発生過程に関する実験的  
検討／神戸大学 [学] 谷 昂二郎・大上 旭・藤田 一郎
- II-047 ボックスカルバート内の流速分布に対する断面形状の影響  
／日本大学 [学] 小林 泰士・安田 陽一
- II-048 木工沈床群により創出された流れ構造について／名古屋工  
業大学 [学] 佐藤 理佳子
- II-049 わんどの形状と内部地形が流れ構造に及ぼす影響／名古屋  
工業大学 [学] 松浦 愛
- II-050 一様な急勾配水路における定常的な単独の波の形成に関す  
る実験的検討／日本大学 [学] 加藤 拓磨・安田 陽一

## ■開水路の水理(2) / 10:40~12:00 / 内田 龍彦(中央大学)

- II-051 常流中の横越流堰の分配流量および水深間の関係の推定に  
関する実験的検討／日本大学 [学] 細川 康司・安田 陽一
- II-052 階段状水路におけるnonaerated skimming flowのエネル  
ギー／日本大学 [学] 山元 雄生・高橋 正行・大津 岩夫
- II-053 鉛直堰下流側に形成される跳水の流速特性に対する相対落  
差の影響／日本大学 [学] 神戸 基秀・安田 陽一
- II-054 断面河道合流部の流れの現地研究／鹿島建設 [正] 新井  
奈々絵・赤穂 良輔・石川 忠晴
- II-055 堰湛水区間における支川合流部の流れ特性に関する研究／  
明石工業高等専門学校 [学] 高田 翔也・神田 佳一・道奥  
康治
- II-056 三次元流動シミュレーションを用いた感潮河道の分岐合  
流部における流況解析／首都大学東京 [学] 松村 健史・新  
谷 哲也・横山 勝英

## ■河道の水理・流砂 / 13:00~14:20 / 武藤 裕則(徳島大学)

- II-057 トレンチ掘削による河口砂州の浸食促進効果に関する研究  
／明石工業高等専門学校 [学] 越智 尊晴・田中 達也・林  
京介
- II-058 大規模洪水時の河口砂州周辺の三次元流れ場の渦構造とそ  
の解析法の考察／中央大学 [学] 立山 政樹・内田 龍彦・  
福岡 捷二
- II-059 砂州上の常流射流混在流れによる粘着性河岸の侵食に関す  
る実験／宇都宮大学 [学] 泉 祐太・池田 裕一・飯村 耕介
- II-060 足羽川舟着場の土砂堆積抑制に関する模型実験による検討  
／福井工業高等専門学校 [学] 田邊 祐真・田安 正茂・流  
守博
- II-061 浅水方程式の解の不安定条件と転波列性サージ波速に関  
する検討／名城大学 [学] 森川 智仁・新井 宗之・中川 一

## II-2 (環境理工学部棟104講義室) / 9月17日(木)

## ■数値計算 / 9:00~10:20 / 重枝 未玲(九州工業大学)

- II-062 種々の水深積分モデルを用いた湾曲部三次元流れ機構と適  
切な解析法の考察／中央大学 [正] 内田 龍彦・福岡 捷二
- II-063 ラグランジュの方法による1次元不定流の数値計算手法と  
境界条件の検討／中央大学 [学] 小石 一字・成 岱蔚・山  
田 正
- II-064 浅水流型格子ボルツマン法を用いた開水路流れ解析に関す  
る基礎的検討／京都大学 [学] 益井 大樹・音田 慎一郎・  
細田 尚
- II-065 流速分布の変形を考慮した水深積分モデルの適用性に関す  
る基礎的検討／京都大学 [学] 千布 大暉・白井 秀和・細  
田 尚
- II-066 エネルギー式標準逐次計算による準二次元不等流計算法/  
無所属 [正] 馬場 洋二
- II-067 一次元不定流計算の計算精度に関する研究／中央大学 [学] 矢  
本 貴俊・山田 正

## ■水理計測 / 10:40~12:00 / 椿 涼太(広島大学)

- II-068 マルチコプター撮影映像を用いたAerial STIVの開発と  
ADCPによる精度検証／神戸大学 [学] 能登谷 祐一・藤  
田 一郎

- II-069 広頂堰の流量公式の再検討／山口大学 [学] 芹川 知寛・  
羽田野 袈裟義・多田羅 謙治
- II-070 Dynamic Window法による適正な粒度分布作成法に関する  
研究／埼玉大学 [学] 山岸 玄弥・八木澤 順治・田中 規夫
- II-071 動的な光切断法を用いた河床波形成過程における水位・河床  
位の計測／新潟大学 [正] 星野 剛・安田 浩保
- II-072 STIV解析における適切な解析時間に関する検討／神戸大  
学 [学] 建口 沙彩・藤田 一郎
- II-073 H-ADCPを用いた網走川大曲堰における通過流量の算出/  
北開水工コンサルタント [正] 井上 和哉・渡邊 康玄・西  
村 弘之

## II-2 (環境理工学部棟104講義室) / 9月18日(金)

## ■植生水理 / 9:00~10:20 / 清水 義彦(群馬大学)

- II-074 礫床2列蛇行河川における流況に植物群落が与える影響に  
関する基礎的実験的研究／宇都宮大学 [学] 木原 健貴・  
池田 裕一・飯村 耕介
- II-075 水没する植生が河床材料の移動限界に及ぼす影響に関する  
実験的研究／広島大学 [学] 地曳 海渡・河原 能久
- II-076 砂州への種子定着特性と植生分布が河床変動の応答に与え  
る影響／東北大学 [学] 内田 典子・久加 朋子・木村 一郎
- II-077 剛な植生モデル内の底面流速分布と底面粗度境界層に関す  
る考察／建設技術研究所 [正] 水野 寛太・溝口 敦子
- II-078 高木群落における組織的乱流構造の発生に関する基礎的実験  
的研究／宇都宮大学 [正] 池田 裕一・菅沼 幹・飯村 耕介
- II-079 洪水水位を効率的に低減する河道内樹木群の伐採手法に関  
する検討／建設技術研究所 [正] 宮崎 節夫・佐々木 良浩・  
高橋 芳成

## ■流砂 / 10:40~12:00 / 山本 太郎(北海道河川財団)

- II-080 水流中における異なる形状と大きさを有する石礫の移動機  
構／中央大学 [学] 高嶺 裕也・福岡 捷二・福田 朝生
- II-081 粒度幅の極端に広い材料により構成された河床の動的平衡  
状態の鉛直構造／早稲田大学 [学] 鎌田 遼・関根 正人・  
平松 裕基
- II-082 pick-up rateとstep lengthに及ぼす粒子形状の影響／中央  
大学 [学] 田所 弾・福岡 捷二
- II-083 隣接した粘土層の存在が砂斜面の表面浸食に及ぼす影響/  
早稲田大学 [学] 佐野 正太・関根 正人・石川 学
- II-084 粘土河床の浸食プロセスとこれに及ぼす砂礫の流送の影響  
／早稲田大学 [正] 関根 正人
- II-085 含水比及び細砂含有率が粘性土の移動限界に与える影響/  
埼玉大学 [正] 八木澤 順治

## ■流砂・河床変動 / 13:00~14:20 / 福田 朝生(中央大学)

- II-086 二次流強度を考慮した河川蛇行の発達に関する一次元モデ  
ル計算／東京建設コンサルタント [正] 松延 和彦・石川  
忠晴・武藤 靖秀
- II-087 外岸に緩傾斜河岸を有する湾曲水路における底面流速解析  
法の適用性／中央大学 [学] 笹木 拓真・福岡 捷二・内田  
龍彦
- II-088 混合粒径の自由砂州条件における砂州内部の鉛直分級につ  
いて／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 矢野 雅昭・渡邊  
康玄・平井 康幸
- II-089 河床材料の空隙率および交換層厚変化を考慮した河床変動  
モデルの開発／土木研究所 [正] 石神 孝之・坂野 章・中  
西 哲
- II-090 互層構造を有する筑後川感潮域における洪水時の河床変動  
機構／[学] 金子 祐・上村 雅文・福岡 捷二
- II-091 上流端の給砂条件変化に伴う河床変動の伝播過程に関する  
数値実験／東京理科大学 [学] 吉森 佑介・二瓶 泰雄・大  
槻 順朗

## ■河床形態 / 14:40~16:00 / 泉 典洋(北海道大学)

- II-092 大きな川幅水深比における中規模河床波の動的平衡状態に  
ついて／新潟大学 [学] 五十嵐 拓実・安田 浩保
- II-093 流路幅の縦断方向の周期的な広狭が中規模河床波の形成に  
与える影響について／新潟大学 [正] 安田 浩保・星野 剛・  
五十嵐 拓実
- II-094 中小河川における洪水時の河床形態と河道景観との関係につ  
いて／土木研究所 [正] 高岡 広樹・大石 哲也・原田 守啓
- II-095 黒部川の既設縦工群を活用した交互砂州河道の回復に関す  
る研究／中央大学 [学] 加藤 翔吾・越野 正史・福岡 捷二
- II-096 米代川における河道掘削後の堆砂メカニズムについて／パ  
シフィックコンサルタンツ [正] 堀合 孝博・松田 和人・  
吉武 央気

- II-097 取水用砂堰の繰返し崩壊による低水路幅縮小とその軽減策に関する研究／中央大学 [正] ゴトウ タカヒサ・福岡 捷二・舩田 直樹

II-3 (環境理工学部棟105講義室) / 9月16日(水)

■発電 / 10:40~12:00 / 小林 智尚(岐阜大学)

- II-098 河川下降風による風力発電ポテンシャルの評価／岐阜大学 [正] 吉野 純・伊藤 寛・飯田 潤士  
II-099 気象庁降雨予測を適用した発電ダムの運用高度化に関する基礎検討／開発設計コンサルタント [正] 金子 茉莉・松原 隆之・土田 和稔  
II-100 阿武川ダムフラッシュ放流の見直しによる水力発電増強に関する研究／山口大学 [正] 三石 真也・前中 遼・今村 能之  
II-101 進化計算に基づく海流発電タービンの最適配置／産業技術総合研究所 [正] 竿本 英貴・片桐 淳  
II-102 沿い波型遊水室内の浮体上下動を利用する波力発電について／山口大学 [学] 長瀬 吉行・羽田野 袈裟義・pallav koirala  
II-103 波力発電堤体の性能向上に関する実験的研究／大阪市立大学 [学] 植嶋 大地・森本 真司・重松 孝昌

■大気陸面 / 13:00~14:20 / 稲垣 厚至(東京工業大学)

- II-104 土壌水分観測情報を用いた平滑化手法の陸面過程モデルへの導入／京都大学 [学] 野田 貴頌・萬 和明・立川 康人  
II-105 ステレオ画像を用いた街路樹の高さ・位置同定アルゴリズムの検討／東京理科大学 [学] 田中 俊洋・仲吉 信人  
II-106 都市熱環境評価のための温熱感マッピングツールの開発／東京理科大学 [学] 酒井 遼・仲吉 信人・二瓶 泰雄  
II-107 四万十市高温化の原因解明に向けた微気象解析／東京理科大学 [学] 伊藤 淳史・仲吉 信人・山城 拓登  
II-108 ポリビア・熱帯水河群における融解特性評価／東北大学 [学] 吉澤 一樹・朝岡 良浩・風間 聡  
II-109 気象要素と融雪出水の関連性評価／東北大学 [学] 高雷・風間 聡・朝岡 良浩

II-3 (環境理工学部棟105講義室) / 9月17日(木)

■構造物の水理・機能(1) / 9:00~10:20 / 大本 照憲(熊本大学)

- II-110 ジェットポンプ式流動装置混合管内の流動特性に与えるノズル口径の影響／呉工業高等専門学校 [正] 黒川 岳司・大塚 龍・小谷 拓弥  
II-111 向い合う2本の流入管の両側段差を考慮した3方向接合円形落差マンホールのエネルギー損失特性／松江工業高等専門学校 [学] 小川 恭佑・山根 匠馬・荒尾 慎司  
II-112 駅舎の上屋に設置された谷樋の排水機能に関する実験的検討／日本大学 [学] 西井 俊・安田 陽一  
II-113 運動量の定理に基づく刃形堰の完全越流の水理検討／建設技術研究所 [正] 多田羅 謙治・羽田野 袈裟義・芹川 知寛  
II-114 スルース・ゲート下流側に形成される潜り跳水の流量係数に関する実験的検討／日本大学 [学] 富田 麻理子・安田 陽一  
II-115 潜り跳水中の偏向流れの制御に関する実験的検討／日本大学 [学] 豊田 健治・安田 陽一

■構造物の水理・機能(2) / 10:40~12:00 / 大槻 順朗(東京理科大学)

- II-116 スリットえん堤下流側の石組み連続帯工による減勢機能の実験的検討／日本大学 [学] 高原 遼・安田 陽一  
II-117 治山えん堤における掘り込み型減勢池下流側の連続帯工設置区間での流速の減衰状況／日本大学 [学] 長沢 研作・安田 陽一  
II-118 低落差部に設置する緩傾斜型連続石組み帯工群の提案とその実験的検討／日本大学 [学] 平岡 大貴・安田 陽一  
II-119 石狩川流域におけるシロザケの遡上速度／土木研究所寒地土木研究所 [正] 林田 寿文・有賀 誠・渡邊 和好  
II-120 階段式魚道での礫堆積による流況変化と魚類の行動特性／東洋大学 [学] 向井 健朗・青木 宗之  
II-121 宮中取水ダムせせらぎ魚道の新設と順応的管理について／東日本旅客鉄道 [正] 竹内 洋介・橋本 拓・森山 泰明

II-3 (環境理工学部棟105講義室) / 9月18日(金)

■海岸港湾構造物 / 9:00~10:20 / 津田 宗男(東亜建設工業)

- II-122 上部斜面堤ケーソンの規則波下における動揺特性に関する一考察／名古屋大学 [学] 山本 勘太・中村 友昭・水谷 法美

- II-123 ハネ部を有する防波堤の消波ブロックの安定特性に関する実験的研究／玉野総合コンサルタント [正] 森川 高德・小椋 進・浅倉 弘敏  
II-124 重力式防波堤の微小変形解析と大変形解析／ [正] 瀬戸口 修造・曾根 照人・楠 謙吾  
II-125 軟弱地盤における長尺自立矢板式土留壁の動態観測結果について／中国地方整備局 [正] 北浦 直子・安達 崇・末本 浩二  
II-126 変位緩衝孔によるGCP施工時変位低減対策の試験施工／鹿島建設 [正] 峯尾 昌裕・山中 宏之  
II-127 マリーナ等におけるプレジャーボート用浮桟橋の設計手法について／大林組 [正] 佐村 維要・高岩 千人・小田 健次

■水生生物 / 10:40~12:00 / 田中 陽二(東京都市大学)

- II-128 大島干潟整備におけるアサリの育成に配慮した施工と環境改善効果／ [正] 濱野 吉章  
II-129 夷隅川河口干潟におけるコメツキガニの生態と環境要因との関係に関する研究／日本大学 [学] 井馬 史博・落合 実・中村 倫明  
II-130 沿岸域における生物生息場環境評価のためのテッポウエビ類パルス数の分布調査／明石工業高等専門学校 [学] 嘉村 優輝・渡部 守義  
II-131 七里長浜港周辺における生物相の特徴について／復建技術コンサルタント [正] 山本 和司・佐藤 高広・小田桐 勝則  
II-132 台風による移植サンゴの物理的攪乱要因の考察と対応策の検討／エコー沖縄環境部 [正] 岩村 俊平・片山 理恵・高橋 由浩  
II-133 英虞湾におけるコアモの株移植実験／大成建設 [正] 高山 百合子・前川 行幸・片倉 徳男

■内湾環境・生態系 / 13:00~14:20 / 田井 明(九州大学)

- II-134 GPSフロート調査に基づく最上川における漂流ゴミ挙動の検討／東京理科大学 [学] 船本 優月・二瓶 泰雄・南 まさし  
II-135 東京湾における大粒子に吸着したダイオキシン類の海底への堆積に関するモデル化／日本大学 [学] 伊藤 駿・落合 実・中村 倫明  
II-136 水俣湾における海水水中の懸濁態水銀と浮遊懸濁物の粒度分布との関係について／九州大学 [学] 松本 賢・Fathya Edis・矢野 真一郎  
II-137 北部有明海における出水による塩淡成層の消長過程における物理環境の変化に関する現地調査／九州大学 [学] 北川 洋平・矢野 真一郎・田井 明  
II-138 広島湾の物質循環メカニズム解明のための定点連続観測の提案／中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所 [正] 重光 孝美・首藤 啓・山本 裕規  
II-139 伊勢湾における年齢による海水交換特性と貧酸素水塊の形成に関する考察／東京都市大学 [学] 池田 香澄・田中 陽二

■沿岸域の流れ / 14:40~16:00 / 二瓶 泰雄(東京理科大学)

- II-140 可搬型多項目水質計による西表島北西部の塩分・水温・DO観測／ [正] 村上 智一・北 恵伍・吉野 純  
II-141 全球を対象とした平均海面と半日周期潮汐振幅の長期変化特性について／九州大学 [学] 田中 香・田井 明  
II-142 オホーツク海における流水移動ベクトル推定手法に関する検討／北見工業大学 [学] 佐野 史弥・中山 恵介・館山 一孝  
II-143 浅水方程式に基づくSPH法と沿岸域流動場への適用／九州大学 [学] 森本 陽介・田井 明  
II-144 多点連続観測データに基づく諫早湾の流動構造の検討／九州大学 [学] 大庭 卓也・田井 明・矢野 真一郎  
II-145 諫早湾干拓締切堤による鉛直混合能の変化が有明海の塩淡成層構造に与えた影響の数値解析による検討／九州大学 [正] 矢野 真一郎・西村 圭右・Camilla Ranrund

II-4 (環境理工学部棟201講義室) / 9月16日(水)

■津波被害予測(1) / 10:40~12:00 / 信岡 尚道(茨城大学)

- II-146 津波伝播特性と小規模の津波シミュレーションを利用した沿岸の早期津波予測／鉄道総合技術研究所 [正] 津野 靖士・藤原 了・是永 眞理子  
II-147 Numerical Simulation of Tsunami in Kamaishi City caused by 2011 Tohoku Earthquake／岡山大学 [正] 赤穂 良輔・石川 忠晴・張 秋松  
II-148 高詳細な地殻変動シミュレーションを用いた津波波高推定手法の基礎的検討／東京大学 [学] 縣 亮一郎・市村 強・平原 和朗  
II-149 津波により漂流する船舶群の数値計算と各種パラメータの感度分析／防衛大学校 [学] heo song・鳴原 良典・多田 毅



- II-150 津波漂流物衝突時の簡易耐力照査とその数値解析／大成建設 [正] 小尾 博俊  
 II-151 宮崎平野における津波災害履歴調査の必要性／復建調査設計 [正] 高田 圭太・市原 季彦・福田 直三

#### ■津波被害予測(2) / 13:00~14:20 / 鳴原 良典(防衛大学校)

- II-152 津波遡上の最大水位に河川流量が与える影響に関する実験／国土技術政策総合研究所 [正] 中村 賢人・森 啓年・鈴木 宏幸  
 II-153 河川湾曲部を遡上する津波特性に関する実験的検討／土木研究所 [正] 坂野 章・石神 孝之・箱石 憲昭  
 II-154 CIP法と非線形分散長波式による津波河川遡上シミュレーションモデルの開発／防災技術コンサルタント [正] 千田 健一・岩間 俊二・館澤 寛  
 II-155 非静水圧準三次元解析法による津波河川遡上・氾濫流解析の検討／中央大学 [学] 松井 大生・内田 龍彦・中村 賢人  
 II-156 数値計算を用いた巨大大津波に対する海岸堤防と海岸林の組み合わせによる減災効果の検討／茨城大学 [正] 信岡 尚道・三石 盛裕・椎名 啓  
 II-157 海岸林と防潮堤の位置関係が津波遡上の減災効果に与える影響に関する実験／宇都宮大学 [正] 飯村 耕介・内山 雄輝・池田 裕一

#### II-4 (環境理工学部棟201講義室) / 9月17日(木)

##### ■漂砂・飛砂・底泥 / 9:00~10:20 / 趙 容恒(名古屋大学)

- II-158 尾道糸崎港における航路泊地の埋没原因について／中国地方整備局 [正] 仲濱 弘平・中川 康之・大川 衛人  
 II-159 内湾浅海域における懸濁物質濃度の変動特性について／九州大学 [学] 吉武 竜馬・押川 英夫・田井 明  
 II-160 風作用下におけるフレア型護岸の越波および飛沫輸送特性について／宮崎大学 [学] 杉本 直弥・都地 亮博・村上 啓介  
 II-161 越波飛沫の計測法について／九州大学 [学] 仲村 渉・山城 賢・横田 雅紀  
 II-162 関門航路門司港地区におけるサンドウェーブの発達特性に関する研究／九州大学 [学] 八尋 蓮・山城 賢・橋本 典明  
 II-163 岩手県大槌町浪板海岸における冬季の漂砂動態に関する現地調査／埼玉大学 [学] 小野 翔太郎・八木澤 順治・板橋 直樹

##### ■高波・高潮 / 10:40~12:00 / 山城 賢(九州大学)

- II-164 日本海沿岸域におけるうねり性波浪の発生予測に関する研究／金沢大学 [学] 小久保 元貴・斎藤 武久・間瀬 肇  
 II-165 Kuバンドレーダーによる海面観測一波高および海面高さの推定／気象工学研究所 [正] 吉田 翔・大平 貴裕・岡田 澄哉  
 II-166 沿岸域に襲来する長周期波と台風パラメタの関係に関する一考察／大成建設 [正] 羽角 華奈子・織田 幸伸  
 II-167 高解像度台風・高潮結合モデルによる台風1330号の災害外力に関する再現実験／岐阜大学 [学] 豊田 将也・吉野 純・小林 智尚  
 II-168 五島・田ノ浦瀬戸における潮流の流れ場での波浪の特性／東亜建設工業 [正] 津田 宗男・倉原 義之介・高島 尚吾  
 II-169 不規則波実験による傾斜護岸への波の代表打ち上げ高さに関する一検討／東北工業大学 [学] 斎藤 裕平・高橋 敏彦・相原 昭洋

#### II-4 (環境理工学部棟201講義室) / 9月18日(金)

##### ■津波と構造物(1) / 9:00~10:20 / 松本 朗(不動テトラ)

- II-170 3次元津波シミュレーションによる橋梁の津波被害予測／三菱重工業 [正] 四條 利久磨・藤田 豊・鈴木 俊光  
 II-171 橋梁に作用する津波波力低減対策に関する実験的研究／三菱重工業 [正] 藤田 豊・四條 利久磨・鈴木 俊光  
 II-172 粒子法によるマルチスケール津波解析法を用いた橋梁流失シミュレーション／九州大学 [学] 宮川 欣也・浅井 光輝  
 II-173 水管橋に作用する流体力に関する一考察／京都大学 [学] 栗山 透・米山 望  
 II-174 津波遡上時に地上配管設備に発生する反力・応力の算定／JFEエンジニアリング [正] 田中 俊哉・真弓 敏行・濱中 亮  
 II-175 津波により取放水路天端に作用する圧力の再現解析／大成建設 [正] 高島 知行・織田 幸伸・伊藤 一教

##### ■津波と構造物(2) / 10:40~12:00 / 有光 剛(関西電力)

- II-176 津波越流時における新しい防波堤港内側補強工法の安定性／日建工学 [正] 松下 紘資・金子 靖祐・藤瀬 晋也

- II-177 防波堤の越流津波対策としてのパラベット形状に関する数値計算による考察／東洋建設 [正] 小竹 康夫・松村 章子  
 II-178 イスパッシュ式の導出過程について／不動テトラ [正] 松本 朗・三井 順・半沢 稔  
 II-179 津波に対する防波堤背後の消波ブロックの滑動抵抗の検討／不動テトラ [正] 三井 順・丸山 草平・松本 朗  
 II-180 安定化ISPH法による津波時堤崩壊メカニズム解明に向けた基礎検討／九州大学 [学] 野上 智隆・浅井 光輝・有川 太郎  
 II-181 津波の越流により形成される海岸堤防裏法尻の流動場に関する数値解析／名古屋大学 [正] 趙 容恒・日比野 加奈・中村 友昭

##### ■津波と構造物(3) / 13:00~14:20 / 小竹 康夫(東洋建設)

- II-182 陸上設置型浮体式防潮堤の地震による傾斜に対応した起立性能確保の検討／四国地方整備局高松港湾空港技術調査事務所 [正] 竹田 晃・富本 正・有川 太郎  
 II-183 長径間型フラップゲート式防潮堤の津波応答特性／日立造船 [正] 木村 雄一郎・平野 瑞樹・水谷 法美  
 II-184 東北地方太平洋沖地震津波による陸間等の被災と更新・維持補修における課題の整理／ [正] 浅井 正  
 II-185 水路模型実験における堤防越流量の減少に効果的な多重防御構造の検討／埼玉大学 [学] 五十嵐 善哉・田中 規夫  
 II-186 海岸堤防裏法尻の洗掘孔の津波流速低減効果に関する水理実験／東北大学 [学] 金子 祐人・三戸部 佑太・田中 仁  
 II-187 津波越流に対する2重鋼矢板堤防の津波減勢効果に関する実験的検証／新日鐵住金 [正] 乙志 和孝・黒澤 辰昭・戸田 和秀

##### ■津波と構造物(4) / 14:40~16:00 / 関 克己(中央大学)

- II-188 津波浸水解析における波力評価式の適用に関する一考察／大成建設 [正] 織田 幸伸・大野 剛  
 II-189 多柱構造物の各構面に作用する津波波力の一検討／鹿島建設 [正] 末長 清也・池谷 毅・岩前 伸幸  
 II-190 VOF法による海岸堤防に作用する衝撃砕波力に関する再現解析／農研機構 農村工学研究所 [正] 三島 尚人・松島 健一・桐 博英  
 II-191 越流津波で被災した従来型式の海岸堤防の水理破壊実験と対策の考え方／農研機構農村工学研究所 [正] 松島 健一・三島 尚人・中 達雄  
 II-192 段波波力による堤防の損傷メカニズムと粘り強い工夫に関する実験的研究／竹中土木 [正] 藤井 義文・松島 健一・三島 尚人  
 II-193 低密度ポリエチレン被覆鉄線の海洋環境下での適用性について／トワロン [正] 福島 和喜・福手 勤・藤本 和隆

#### II-5 (環境理工学部棟202講義室) / 9月16日(水)

##### ■降水(1) / 10:40~12:00 / 瀬戸 心太(長崎大学)

- II-194 ゲリラ豪雨のタマゴにおける渦管構造の解析／京都大学 [学] 佐藤 悠人・中北 英一・山口 弘誠  
 II-195 SOMを用いたクラスター解析による局地的豪雨の発生・発達リスクに関する研究／法政大学 [学] 三村 昂大・中根 武志・鈴木 善晴  
 II-196 フェイズドアレイレーダーデータとX-RAINとの関係性把握への取り組み／パシフィックコンサルタンツ [正] 橋本 健・細見 寛・高松 宏行  
 II-197 ベトナム カウ川流域における人工衛星観測降雨と地上観測降雨の関係／中央大学 [学] 嶋田 嵩弘・銭 潮潮・山田 正  
 II-198 XRAINによる降雨データを用いた東京都心部のリアルタイム浸水予報に向けた試み／早稲田大学 [学] 関根 貴広・関根 正人・古木 雄  
 II-199 複数の小河川を対象とするX-MPレーダー降雨量を入力としたセル分布型流出モデルによる流出計算／山梨大学 [正] 佐野 哲也・末次 忠司・Indri Hapsari Ratih

##### ■降水(2) / 13:00~14:20 / 吉野 純(岐阜大学)

- II-200 空間解像度がWRFの局地的豪雨の再現性に与える影響—2014年8月広島豪雨を対象として—／広島大学 [学] 北 真人・河原 能久・椿 涼太  
 II-201 2014年8月広島土砂災害をもたらした線状降水系に関する再現計算／広島工業大学 [正] 田中 健路・福田 恵里子  
 II-202 豪雨抑制を目的とした積雲発生初期のシーディングにおける有効性・信頼性に関する数値実験／法政大学 [学] 八木 柊一朗・鈴木 善晴・横山 一博  
 II-203 高解像度領域気候モデルによる中部地域における局地的豪雨の温暖化影響評価／岐阜大学 [学] 林 光太郎・吉野 純・小林 智尚



- II-204 首都圏における都市内構造の経年変化が短期的な降水特性に与える影響に関する数値実験／法政大学〔学〕小山 隼平・石綿 勇人・鈴木 善晴

II-5 (環境理工学部棟202講義室) / 9月17日(木)

■流域管理 / 9:00~10:20 / 相馬 一義(山梨大学)

- II-205 災害リスクの不確実性に対する統合洪水管理に関する考察／土木研究所〔正〕村瀬 勝彦  
II-206 作物成長と流水管理を考慮した分布型水循環モデルの開発とチャオプラー川流域への適用／京都大学〔学〕山本 晃輔・萬 和明・立川 康人  
II-207 日本域を対象とした作物生産管理のための水稻成長モデルの開発／〔学〕宮田 悠佑・吉弘 昌史・堀 智晴  
II-208 アンサンブル水文予測情報を考慮したダム利水操作の効果分析手法の検討／京都大学〔学〕得津 萌佳・野原 大督・堀 智晴  
II-209 樋井川流域を対象とした流域治水の取り組みについて／福岡大学〔正〕浜田 晃規・渡辺 亮一・山崎 惟義  
II-210 香川県の地下水流動に関する解析的検討／大成建設〔正〕八木 啓介・丸井 敦尚・山田 佳裕

■土砂管理 / 10:40~12:00 / 中津川 誠(室蘭工業大学)

- II-211 高エネルギー吸収型防護柵による土砂流捕提事例の検証／高速道路総合技術研究所〔正〕永田 政司・田山 聡・安藤 伸  
II-212 戦略的な調整池堆積土砂撤去方法の検討／東日本旅客鉄道〔正〕木伏 宏俊・小野 桂寿・池田 泰博  
II-213 ゲート付き流水型ダムとゲートレス流水型ダムにおける土砂の連続性に関する基礎的検討／土木研究所〔正〕宮脇 千晴・宮川 仁・本山 健士  
II-214 LiDARデータを用いた崩壊土砂の滑動距離推定と地形の影響に関する考察／土木研究所〔正〕泉山 寛明・清水 武志・石塚 忠範  
II-215 流域水循環に基づいた土壌水分量の定量化による斜面災害リスクの評価／室蘭工業大学〔学〕宮崎 嵩之・中津川 誠・川村 志麻  
II-216 災害時における天然ダムの緊急排水技術の開発／大林組〔正〕柴田 昌輝・森田 晃司・佐藤 つとむ

II-5 (環境理工学部棟202講義室) / 9月18日(金)

■流出・洪水(1) / 9:00~10:20 / 小林 健一郎(神戸大学)

- II-217 洪水氾濫計算の縮約可能性の検証／京都大学〔正〕市川 温  
II-218 総降雨量と降雨継続時間の関連を考慮した総合確率法の改良／〔学〕田中 智大・立川 康人・椎葉 充晴  
II-219 多数の出水を対象とする貯留関数式の最適定数に関する一考察／明星大学〔正〕藤村 和正・井芹 慶彦・鼎 信次郎  
II-220 流域の湿潤状態を考慮した洪水流出計算の汎用性向上の研究／室蘭工業大学〔学〕谷口 陽子・中津川 誠・白谷 友秀  
II-221 太田川水系根谷川における平成26年8月20日広島豪雨の流量検証／中国地方整備局〔正〕大賀 祥一  
II-222 熱帯泥炭湿地林域における地下水流動解析〜インドネシア・中央カリマンタン州を対象として〜／京都大学〔学〕神田 亜希子・城戸 由能・峠 嘉哉

■流出・洪水(2) / 10:40~12:00 / 馬籠 純(山梨大学)

- II-223 分布型降雨流出・氾濫モデルを用いた神戸市京橋ポンプ場流域における浸水シミュレーション／神戸大学〔学〕西岡 誠悟・小林 健一郎・藤田 一郎  
II-224 石神井川を対象とした豪雨時の浸水数値予測／早稲田大学〔学〕小林 香野・関根 正人・神山 宙大  
II-225 肱川におけるリアルタイム浸水状況確認システムの構築／日本工営〔正〕浜田 秀敬・山下 大輔・宮川 健  
II-226 伊勢湾台風の擬似温暖化シミュレーションデータを用いた河川流量の評価／京都大学〔学〕宮脇 航平・立川 康人・市川 温  
II-227 分布型降雨流出・氾濫モデルによるメコン川流域大規模洪水の再現／神戸大学〔学〕井上 将徳・小林 健一郎・小寺 昭彦  
II-228 フィリピン・アゴス川流域における河川改修が洪水氾濫に伴う農作物被害減少に及ぼす効果／名古屋大学〔正〕田代 喬・北野 哲司・Tabuzo Leoncio Tibar Jr.

■水災害・防災(1) / 13:00~14:20 / 伊藤 弘之(国土技術政策総合研究所)

- II-229 歴史的遺構を活用した百間川分流部の改築計画／〔正〕田熊 英子・児子 真也・天野 順次  
II-230 斐伊川放水路の治水上の特長と分流実績の報告／中国地方整備局出雲河川事務所〔正〕鈴置 真央・舩田 直樹・浜田 健一  
II-231 模型実験とシミュレーションを併用した遊水地事業のコスト縮減／建設技術研究所〔正〕松本 良一・井本 憲也・宮田 昇平  
II-232 流木発生ポテンシャルに基づく花月川流域における橋梁の相対的流木リスク評価の試み／九州大学〔学〕土橋 将太・矢野 真一郎・堂園 俊多  
II-233 定常・非定常流における流木群の衝突力に関する基礎実験／埼玉大学〔学〕宮原 海・田中 規夫  
II-234 物体に作用する流体力の示力線の利用法／防衛大学校〔正〕大井 邦昭・林 建二郎・多田 毅

■水災害・防災(2) / 14:40~16:00 / 牛山 素行(静岡大学)

- II-235 水害避難時の歩行速度に対する周辺環境影響に関する実験的検討／東京理科大学〔学〕水野 力斗・二瓶 泰雄  
II-236 自治体防災に関する一考察―豪雨災害をめぐる行政と市民のリスクコミュニケーションを中心に―／〔正〕田村 恭士  
II-237 地域継続計画(DCP)と連携した大規模水害対策ワークショップにおける主体関与度把握に関する一考察―防災へのU理論、ラポールの適用―／いであ〔正〕佐藤 英治・澤田 晃二・澤田 俊明  
II-238 広島市における都市再編と治水方策を踏まえた水害脆弱性の変化の分析／広島大学〔学〕速見 直紀・椿 涼太・河原 能久  
II-239 洪水常襲地帯における洪水災害対応シナリオ作成手法の提案―フィリピン共和国パンパング川流域での取り組み―／土木研究所〔正〕大原 美保・SHRESTHA Badri Bhakta・南雲 直子  
II-240 津波浸水エリアにおける保育所の防災対策の実態調査／徳島大学〔正〕鳥庭 康代・中野 晋・三上 卓

## 第Ⅲ部門

土質力学、基礎工学、岩盤工学、土地地質、地盤環境工学など

III-1 (工学部1号館第1講義室) / 9月16日(水)

■土質安定処理(1) / 10:40~12:00 / 齋藤 禎二郎(西松建設)

- III-001 阿多火砕物を起源とするしらす及び廃石膏ボードを有効利用するための基礎的研究について／鹿児島大学〔学〕杉元 良成・三隅 浩二・福永 隆之  
III-002 泥炭を対象とした電気伝導度によるウレアーゼ活性の推定について／土木研究所寒地土木研究所〔正〕佐藤 厚子・川崎 了・畠 俊郎  
III-003 無機系廃棄物を原料とした水硬性固化材の遅延性能／国立明石工業高等専門学校〔学〕中瀬 悠也・稻積 真哉・新坂 孝志  
III-004 高含水粘性土における選別補助材の無機母材検討／鹿島建設〔正〕大橋 麻衣子・田中 真弓・間宮 尚

- III-005 放射能汚染水を遮蔽するためのゼオライト吸着層及びベントナイト遮水層の配合検討／鹿島建設〔正〕佐藤 毅・伊藤 圭二郎・川端 淳一

■土質安定処理(2) / 13:00~14:20 / 三隅 浩二(鹿児島大学)

- III-006 ほぐし造粒技術の実規模レベルでの適用性／横浜国立大学〔学〕富吉 俊介・山内 裕元・和栗 成樹  
III-007 固化改良底泥土(砕・転圧盛土工法)の初期固化・築堤過程における温度環境特性／フジタ〔正〕北島 明・福島 伸二・谷 茂  
III-008 搬水材を用いた安定処理土の強度特性／鹿島建設〔正〕三上 大道・北本 幸義・岡本 道孝  
III-009 PS灰系土質改良材で改良した建設発生土の締固め特性／九州産業大学〔正〕林 泰弘・松尾 雄治・江淵 昇

- Ⅲ-010 短繊維混合固化処理土の強度・靱性および吸水膨張特性／金沢大学〔学〕山栗 祐樹・重松 宏明・西田 大晃  
Ⅲ-011 短繊維混合補強土の締固め度と強度特性(その2)／西松建設〔正〕平野 孝行・吉田 直人・土橋 聖賢

## Ⅲ-1 (工学部1号館第1講義室)／9月17日(木)

## ■土質安定処理(3)／9:00～10:20／並河 努(芝浦工業大学)

- Ⅲ-012 凝結促進剤を併用した深層混合処理工法用遅延剤の開発／〔正〕小川 翔平・野田 泰史  
Ⅲ-013 まさ土を原料土として火山灰質粘性土を調整泥水に用いた流動化処理土の適用性／日本大学〔正〕古河 幸雄  
Ⅲ-014 高炉水砕スラグの強度特性に及ぼす粒子破碎および自然砂混合の影響／九州大学〔学〕坂田 智美・石藏 良平・安福 規之  
Ⅲ-015 潜在水硬性による水砕スラグの微視的観察／横浜国立大学〔学〕石野 守・菊本 統  
Ⅲ-016 海砂混合による高炉水砕スラグの強度発現および水和反応の進行抑制効果／山口大学〔学〕中村 奨哉・松田 博・原 弘行

## ■土質安定処理(4)／10:40～12:00／足立 有史(安藤・間)

- Ⅲ-017 セメント改良土の繰返し凍結融解作用による強度零下の定量的把握／八戸工業大学〔学〕遠藤 啓吾・千葉 悟・小山 直輝  
Ⅲ-018 曲げ試験によるセメント改良土の破壊エネルギーの評価／芝浦工業大学〔正〕並河 努・深谷 健  
Ⅲ-019 セメント系固化材を用いた改良体の長期安定性に関する研究―材齢5年結果報告(2)―／セメント協会〔正〕野田 潤一・清田 正人・森川 嘉之  
Ⅲ-020 固化処理土の破碎粒子を突き固めた際の土質特性の変化／五洋建設〔正〕新舎 博・高田 直和・島畑 孝志  
Ⅲ-021 石灰安定処理土の定圧一面せん断における強度特性／石川工業高等専門学校〔学〕出村 隆能・重松 宏明・山岸 恒介  
Ⅲ-022 海水環境下におけるセメント処理土の劣化の進行に及ぼす温度の影響／山口大学〔正〕原 弘行・末次 大輔・松田 博

## Ⅲ-1 (工学部1号館第1講義室)／9月18日(金)

## ■地盤改良(1)／9:00～10:20／竹内 秀克(不動テトラ)

- Ⅲ-023 懸濁型浸透固化処理工法の薬液浸透距離と改良強度の関係／八戸工業大学〔正〕橋詰 豊・小山 直輝・金子 賢治  
Ⅲ-024 薬液改良体のP波・S波速度の経時変化について／東京都立大学〔学〕上村 健太郎・末政 直見・佐々木 隆光  
Ⅲ-025 脈状地盤改良による液状化対策工法の提案／鉄道総合技術研究所〔正〕井澤 淳・上田 恭平・小島 謙一  
Ⅲ-026 脈状改良地盤の現場試験施工と品質確認手法に関する検討／東日本旅客鉄道〔正〕細井 学・藤原 寅士良・井澤 淳  
Ⅲ-027 押し広げ解析を用いた脈状地盤改良工法の締固め効果に関する検討／鉄道総合技術研究所〔正〕上田 恭平・井澤 淳・小島 謙一  
Ⅲ-028 有効応力解析による脈状地盤改良工法の液状化対策効果の検討／鉄道総合研究所〔正〕荒木 豪・上田 恭平・井澤 淳

## ■地盤改良(2)／10:40～12:00／中澤 博志(防災科学技術研究所)

- Ⅲ-029 砕石パイルに関する模型載荷実験／〔学〕松野 遼太郎・末政 直見・堀田 誠  
Ⅲ-030 圧入による密度増加に物理特性が及ぼす影響 ―その2―／関東学院大学〔正〕山口 恵美・大林 淳・原田 健二  
Ⅲ-031 締固め砂杭工法によるN値増加に関する一考察／不動テトラ〔正〕原田 健二・大林 淳・矢部 浩史  
Ⅲ-032 ディープ・バイブロ工法による砂質土地盤の締固め効果についての一考察／安藤ハザマ〔正〕足立 有史・永井 裕之・篠井 隆之  
Ⅲ-033 LIQCAを用いた防潮堤に対する地盤改良補強効果の確認事例／西松建設〔正〕齋藤 慎二郎・奥野 喜久・加藤 亮輔

## ■地盤改良(3)／13:00～14:20／永尾 浩一(佐藤工業技術研究所)

- Ⅲ-034 大規模地震時における道路盛土の液状化対策検討／オリエンタルコンサルタンツ〔正〕吉田 賢史  
Ⅲ-035 高速道路盛土基礎地盤への空気注入不飽和化工法適用性検討(その5)現場実験結果と気液二相流解析の比較／不動テトラ〔正〕矢部 浩史・山根 信幸・大石 雅彦  
Ⅲ-036 高速道路基礎地盤への空気注入不飽和化工法適用性検討(その6)事後調査と適用性検討のまとめ／西日本高速道路〔正〕内田 純二・藤井 直・藤原 斉郁

- Ⅲ-037 不飽和化改良地盤におけるコーン打撃時の過剰間隙水圧発生に関する模型実験／防災科学技術研究所〔正〕中澤 博志・永尾 浩一・高木 俊男  
Ⅲ-038 薬液注入改良地盤の弱材令時からの電気伝導特性／奥村組〔正〕清水 智明・蛭子 清二・西村 和夫  
Ⅲ-039 超音波土中水分・水位測定システムによる自然斜面水分動態監視／立命館大学〔正〕平岡 伸隆・中野 峻也・田中 克彦

## ■地盤改良(4)／14:40～16:00／新舎 博(五洋建設)

- Ⅲ-040 山形盆地に堆積する泥炭性軟弱地盤への真空圧密工法の試験施工／ダイヤコンサルタント〔正〕谷口 雄太・高坂 敏明・佐藤 春夫  
Ⅲ-041 山形盆地に堆積する泥炭性軟弱地盤への真空圧密工法の挙動予測／ダイヤコンサルタント〔正〕高坂 敏明・谷口 雄太・佐藤 春夫  
Ⅲ-042 高有機質土地盤上の盛土による周辺地盤変状と真空圧密工法の改良効果／大林組〔正〕佐々木 徹・加藤 真司・稲荷 優太郎  
Ⅲ-043 有限要素法による真空圧密工法の沈下挙動予測とその評価～その1:解析編～／清水建設〔正〕河田 雅也・小林 勝・山田 典弘  
Ⅲ-044 有限要素法による真空圧密工法の沈下挙動予測とその評価～その2:検証編～／清水建設〔正〕山田 典弘・小林 勝・河田 雅也  
Ⅲ-045 低改良率地盤改良における改良径の影響について／土木研究所〔正〕近藤 益央・宮武 裕昭

## Ⅲ-2 (工学部1号館第2講義室)／9月16日(水)

## ■岩の工学的性質／9:00～10:20／清水 隆文(宇都宮大学)

- Ⅲ-046 格子ばね解析法による弾性体解析におけるばね係数値の設定と検討／鳥取大学〔学〕三橋 大地・文村 賢一・西村 強  
Ⅲ-047 単一不連続面を含む石膏供試体の圧縮破壊挙動と3次元格子ばね解析／鳥取大学〔学〕伊東 浩介・西村 強・文村 賢一  
Ⅲ-048 氷点下における支笏溶結凝灰岩の力学的挙動／西松建設〔正〕三井 善孝・児玉 淳一・原 翔平  
Ⅲ-049 ジョイント要素を用いた不連続性岩盤の解析的検討／構造計画研究所〔正〕三橋 祐太・内山 不二男・橋本 学  
Ⅲ-050 クローバークランプを用いた粒状体解析手法による硬岩モデルの圧縮・引張特性／山口大学〔学〕坂本 隆・中島 伸一郎・清水 則一  
Ⅲ-051 各種泥岩のスレーキング特性把握にむけた新たな試験方法の提案／名古屋大学〔学〕倭 大史・中野 正樹・酒井 崇之  
Ⅲ-052 ハンドヘルド蛍光X線分析装置による岩石材料の風化変質度の判定について／大成建設〔正〕市来 孝志・山上 順民・藤原 靖

## ■シールドトンネル(1)／10:40～12:00／杉本 光隆(長岡技術科学大学)

- Ⅲ-053 軟弱粘土地盤における補助工法を用いた大断面刃口式矩形推進／大成建設〔正〕青木 孝平・飯村 英之  
Ⅲ-054 地下鉄構造物を最小離隔2.2mで下越しする大断面シールドトンネルの掘進管理／大阪市交通局〔正〕島 拓造・南川 真介・西木 大道  
Ⅲ-055 本線シールド急曲線から横坑切り抜けによる分岐シールド施工について／西松建設〔正〕鳴原 秀樹  
Ⅲ-056 シールドトンネルの点検結果に基づく変状の実態に関する一考察／土木研究所〔正〕森本 智・日下 敦・石村 利明  
Ⅲ-057 リング継手に適用するSB継手の改良(免震機能・せん断補強)／メトロ開発〔正〕水上 博之・藤本 育雄・田中 篤史  
Ⅲ-058 セグメント模型と載荷装置の試作／労働安全衛生総合研究所〔正〕吉川 直孝・堀 智仁・豊澤 康男

## ■シールドトンネル(2)／13:00～14:20／高松 伸行(東急建設)

- Ⅲ-059 地上部開削時の影響を考慮したトンネル覆工の解析手法の検討／首都大学東京〔学〕板場 建太・岡野 輝之・土門 剛  
Ⅲ-060 TRT手法によるシールドマシンの切羽前方探査の検証試験／鹿島建設〔正〕升元 一彦・栗原 啓丞・松下 智昭  
Ⅲ-061 シールド泥水を用いた地下空洞充填材の充填性の検証／飛鳥建設〔F〕川端 康夫・松原 利之・望月 泰彦  
Ⅲ-062 泥水式シールド一体型脱酸素浄化技術における微細粒分の分離について／清水建設〔正〕毛利 光男・設楽 和彦・石鍋 誠一  
Ⅲ-063 天然鉱物系凝集固化剤による凝集沈殿性能と砒素の溶出特性／大成建設〔正〕川又 睦・赤塚 真依子・忠野 祐介  
Ⅲ-064 泥土圧シールドでの自然由来砒素含有土の酸化不溶化の検討／鹿島建設〔正〕伊藤 圭二郎・佐藤 毅・川端 淳一



## Ⅲ-2 (工学部1号館第2講義室) / 9月17日(木)

### ■土壌地下水汚染(1) / 9:00~10:20 / 稲垣 由紀子(土木研究所)

- Ⅲ-065 ノンコアボーリングを用いた地山の重金属類事前予測法—試料の重金属溶出における影響要因に関する検討—/西松建設 [正] 山崎 将義・山下 雅之・石渡 寛之
- Ⅲ-066 ノンコア削孔スライムを用いた切羽前方重金属予測技術に関する考察/大林組 [正] 奥澤 康一・桑原 徹・三浦 俊彦
- Ⅲ-067 アースドリル工法における安定液の重金属吸着能の検証/長谷工コーポレーション [正] 中村 光男・足立 達彦・久保 博
- Ⅲ-068 上向流カラム通水試験のカラム径が溶出挙動に及ぼす影響/福岡大学 [正] 藤川 拓朗・佐藤 研一・古賀 千佳嗣
- Ⅲ-069 不均質透水場における溶質のマクロ分散現象とスケール依存性の定量化/神戸大学 [学] 倉澤 智樹・井上 一哉・藤原 隆之

### ■土壌地下水汚染(2) / 10:40~12:00 / 藤川 拓朗(福岡大学)

- Ⅲ-070 自然由来砒素汚染土の分級点の違いによる土壤溶出量の比較/大成建設 [正] 赤塚 真依子・川又 睦・根岸 昌範
- Ⅲ-071 自然由来砒素含有土の保管方法および溶出試験条件が溶出挙動に及ぼす影響/大成建設 [正] 海野 円・根岸 昌範・高畑 陽
- Ⅲ-072 掘削ざりからのほう素およびセレンの溶出挙動について/大成建設 [正] 根岸 昌範・太田 綾子・高畑 陽
- Ⅲ-073 浄化用鉄粉の砒素吸着能回復手法に関する基礎的検討/大成建設 [正] 太田 綾子・海野 円・根岸 昌範
- Ⅲ-074 地下水に流入した物質の移行状況に関する土槽実験/土木研究所 [正] 稲垣 由紀子・加藤 俊二・佐々木 哲也
- Ⅲ-075 地盤の浸透特性に基づく放射性物質の地盤内挙動について/ [学] 上山 遼路・稻積 真哉・中岸 良裕

## Ⅲ-2 (工学部1号館第2講義室) / 9月18日(金)

### ■地下空洞と地下構造物(1) / 9:00~10:20 / 宇田川 義夫(フジタ)

- Ⅲ-076 粒度分布形状と外力条件に着目した管渠周辺の地盤の陥没挙動/名古屋工業大学 [学] 新井 拓弥・前田 健一・近藤 明彦
- Ⅲ-077 地盤の飽和度に着目した管渠周りの空洞の安定性/名古屋工業大学 [学] 佐藤 弘瑛・前田 健一・近藤 明彦
- Ⅲ-078 繰返し浸透場における樋門周辺地盤の劣化に関する三次元模型実験/ [学] 劉 天明・小高 猛司・崔 瑛
- Ⅲ-079 拘束管の外水圧による座屈原因の究明に関する実験的研究/日本工営 [正] 劉 翠平・王 劍宏・奥田 一馬
- Ⅲ-080 樋門周辺堤防の抜け上がり量とゆるみ分布状況の検討/土木研究所 [正] 吉田 直人・平林 学・石原 雅規
- Ⅲ-081 ソリッド要素を用いた埋設パイプラインの変形解析手法の検討/ [正] 藤田 周亮・北野 哲司・野中 俊宏

### ■地下空洞と地下構造物(2) / 10:40~12:00 / 前田 健一(名古屋工業大学)

- Ⅲ-082 空洞充填工法における充填材の材料に関する研究/飛鳥建設 [正] 宮沢 義博・杉浦 乾郎・坂本 昭夫
- Ⅲ-083 地下構造物周辺岩盤におけるグラウチング調査・設計・施工システムの構築/安藤ハザマ [正] 宇津木 慎司・中谷 匡志・澤田 純之
- Ⅲ-084 沿岸都市部津波シミュレーションに基づく地下シェルターの可能性の検討/長崎大学 [学] 田中 栄一・蔭 宇静・石田 純平
- Ⅲ-085 小規模線路下横断構造物の設計標準化に関する一考察/東日本旅客鉄道 [正] 小澤 裕・高橋 紗希子・田附 伸一
- Ⅲ-086 「ハーモニカ工法+アンダーピニング工法」による京葉JCT・Dランプの施工(その1) / 東日本高速道路 [正] 門間 正拳・志田 智之・川島 広志

### ■維持・補修(1) / 13:00~14:20 / 足立 雅樹(みらい建設工業)

- Ⅲ-087 樋門等河川構造物周辺堤防における抜上り形状と築堤履歴、空洞の関係/土木研究所 [正] 平林 学・石原 雅規・吉田 直人
- Ⅲ-088 樋門等河川構造物周辺堤防における抜上り量と地盤条件、空洞の関係/土木研究所 [正] 石原 雅規・平林 学・吉田 直人
- Ⅲ-089 吹付工の背面侵入水への巻込処理の効果に関する検討/土木研究所 [正] 加藤 俊二・佐々木 哲也・梶取 真一
- Ⅲ-090 東北地方の高速道路に施工されたグラウンドアンカーの健全度調査について/ネクスコ・エンジニアリング東北 [正] 澤野 幸輝・高梨 俊行・松崎 孝汰

- Ⅲ-091 アンカー荷重と温度との相関を用いたグラウンドアンカー施工後の初期荷重低下の評価/三重大学 [正] 酒井 俊典・常川 善弘・阪口 和之

### ■維持・補修(2) / 14:40~16:00 / 鈴木 雅行(安藤・間)

- Ⅲ-092 トンネル定期点検の支援技術としての走行型計測システムの活用/パシフィックコンサルタンツ [正] 重田 佳幸・齋藤 優貴・田近 宏則
- Ⅲ-093 走行型計測による覆工巻厚・空洞探査技術の開発/パシフィックコンサルタンツ [正] 山本 秀樹・重田 佳幸・北澤 隆一
- Ⅲ-094 走行型計測技術を用いたトンネル点検の効率化の検討/パシフィックコンサルタンツ [正] 駒村 一弥・山本 秀樹・重田 佳幸
- Ⅲ-095 鉄道トンネルの維持管理に関する一考察—トンネル特別全般検査の所要時間に関する実態調査—/JR東日本 [正] 吉野 尚人・鈴木 尊・齋藤 貴

## Ⅲ-3 (工学部1号館第3講義室) / 9月16日(水)

### ■締固め・施工機械・他 / 9:00~10:20 / 森 芳徳(土木研究所)

- Ⅲ-096 締固め施工における密度と強度の関係について/土木研究所 [正] 橋本 毅・茂木 正晴・藤野 健一
- Ⅲ-097 X線CTスキャンから得た締固め砂質土の空隙分布と飽和透水係数の相関/北見工業大学 [学] 三鍋 佑季・川尻 峻三・川口 貴之
- Ⅲ-098 締固めエネルギーの変化が飽和度に及ぼす影響/安藤ハザマ [正] ナガイ ヒロユキ・三反畑 勇
- Ⅲ-099 砂質土の粒子破碎が締固め特性に及ぼす影響/松江工業高等専門学校 [正] 河原 莊一郎・因幡 健太
- Ⅲ-100 最終処分場建設工事における造成工の課題とその対策/鹿島建設 [正] 小澤 一喜・石田 貴顕・加藤 政彦
- Ⅲ-101 線路下横断構造物における広幅角形鋼製エレメントの機械化施工/JR東日本 [正] 金子 恵介・本田 諭・斉藤 啓
- Ⅲ-102 逆T型擁壁の内部摩擦角に着目した背面土圧の評価について/大成建設 [正] 佐藤 貴紀・美齊津 宏史・坂田 賢亮

### ■トンネル(1) / 10:40~12:00 / 鈴木 仁志(佐藤工業)

- Ⅲ-103 北海道新幹線におけるトンネル凍害対策(断熱材厚さの検討)について/鉄道・運輸機構 [正] 鳥井 宏之・米澤 豊司・南 邦明
- Ⅲ-104 北海道新幹線におけるトンネル凍害対策(断熱材施工延長の検討)について/パシフィックコンサルタンツ [正] 前田 洗樹・南 邦明・鳥井 宏之
- Ⅲ-105 非開削工法による近接構造物への影響に関する一考察/東日本旅客鉄道 [正] 吉井 恭一朗・本田 諭・糸井 博之
- Ⅲ-106 泥質岩を掘削対象としたトンネルの変状と岩石の吸水膨張特性/鉄道総合技術研究所 [正] 川越 健・赤澤 正彦・上野 光
- Ⅲ-107 TBM機械データと山はねの関係—マレーシア パハン・セランゴール導水トンネル—/清水建設 [正] 水戸 聡・松本 高之・河田 孝志
- Ⅲ-108 巨礫混じり砂質地山にトンネル掘削解析した際の地山物性に関する基礎的研究/山口大学 [学] 酒井 大輔・岡崎 泰幸・熊坂 博夫

### ■トンネル(2) / 13:00~14:20 / 重田 佳幸(パシフィックコンサルタンツ)

- Ⅲ-109 鉛直荷重作用時の山岳トンネル覆工の挙動に関する実験的考察/土木研究所 [正] 河田 皓介・日下 敦・砂金 伸治
- Ⅲ-110 ボルト接合された箱形ルーフ管に関する曲げ試験 その1—実験的検討—/鉄道総合技術研究所 [正] 中村 智哉・富樫 陽太・岡野 法之
- Ⅲ-111 ボルト接合された箱形ルーフ管に関する曲げ試験 その2—数値解析—/鉄道総合技術研究所 [正] 富樫 陽太・中村 智哉・岡野 法之
- Ⅲ-112 山岳単線トンネルの裏込め注入に関する基礎的研究/鉄道総合技術研究所 [正] 野城 一栄・石川 達也
- Ⅲ-113 ドーナツ型TBMの掘削に関する研究—コンクリート供試体による掘削実験の考察—/株木建設 [正] 武田 光雄・株木 康吉・小山 幸則
- Ⅲ-114 覆工コンクリート施工時の型枠存置期間が初期ひび割れ発生に与える影響に関する検討/鹿島建設 [正] 村上 浩次・玉村 公児・手塚 康成



## Ⅲ-3 (工学部1号館第3講義室) / 9月17日(木)

## ■トンネル(3) / 9:00~10:20 / 日下 敦(土木研究所)

- Ⅲ-115 大変形追従型ロックボルトの引抜き特性に関する考察／ケー・エフ・シー [正] 井本 厚・横尾 敦・小泉 悠
- Ⅲ-116 山岳トンネルのインバート変状に着目した地山評価と対応策／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 齊藤 道真・秋田 勝次・蓼沼 慶正
- Ⅲ-117 膨張性地山における盤ぶくれに対応したインバート設計に関する検討／パシフィックコンサルタンツ [正] 畠山 幸佑・齊藤 道真・渡辺 和之
- Ⅲ-118 インバート部の変状発生に関する基礎的実験／鉄道・運輸機構 [正] 渡辺 和之・水谷 哲也・野城 一栄
- Ⅲ-119 施工時および完成後のインバート部の変状発生に関する数値解析／鉄道総合技術研究所 [正] 嶋本 敬介・野城 一栄・小野 謹一郎
- Ⅲ-120 開削トンネル大規模拡張時の新旧接合構造に関する一考察／中央復建コンサルタンツ [正] 坂田 智基・仲山 貴司・牛田 貴士

## ■トンネル(4) / 10:40~12:00 / 砂金 伸治(土木研究所)

- Ⅲ-121 山岳トンネルにおける切羽前方湧水予測技術／大林組 [正] 桑原 徹・奥澤 康一・浅野 文典
- Ⅲ-122 高水圧トンネルを安全に施工するための水抜き工の設計法の提案／鹿島建設 [正] 小泉 悠・川端 淳一・升元 一彦
- Ⅲ-123 注入式フォアボーリングの効果に関する解析的検討／大成建設 [正] 坂井 一雄・青木 智幸・小池 真史
- Ⅲ-124 超長尺先進ボーリングを用いた穿孔振動探査法による切羽前方探査結果の検証／大成建設 [正] 山上 順民・市来 孝志・青木 智幸
- Ⅲ-125 阪神高速道路大和川線開削トンネルの構造目地における温度伸縮挙動の測定／阪神高速道路 [正] 高田 佳彦・谷口 祥基
- Ⅲ-126 山岳トンネルの設計施工における地山等級判定について—岩盤の弾性波速度と準岩盤強度の関係—／深田地質研究所 [F] 亀村 勝美

## Ⅲ-3 (工学部1号館第3講義室) / 9月18日(金)

## ■トンネル(5) / 9:00~10:20 / 小泉 直人(佐藤工業)

- Ⅲ-127 トンネル掘削時の発破振動を利用した切羽前方地山予測の取り組み／飛鳥建設 [正] 兼松 亮・藤本 克郎・宇都宮 基宏
- Ⅲ-128 TRT探査による地上からの地質構造評価の適用／鹿島建設 [正] 松下 智昭・升元 一彦・長田 昌彦
- Ⅲ-129 アップホール法速度検層による切羽前方地山調査の適用について／戸田建設 [正] 法橋 亮・関根 一郎・石垣 和明
- Ⅲ-130 極端に厳しい地山条件における許容土被り高さの検討／山口大学 [学] 佐々木 亨・森本 真吾・進士 正人
- Ⅲ-131 工業用内視鏡を利用した切羽前方可視化技術の開発／戸田建設 [正] 関根 一郎・小林 由委・法橋 亮
- Ⅲ-132 2ヒンジプレキャストアーチカルバートの強地震時における損傷形態に関する振動実験／京都大学 [学] 松下 麗菜・澤村 康生・岸田 潔

## ■トンネル(6) / 10:40~12:00 / 木村 定雄(金沢工業大学)

- Ⅲ-133 山岳トンネルにおける地質リスク事象と地質要因に関する分析／フジタ [正] 宇田川 義夫
- Ⅲ-134 新幹線におけるトンネル振動予測に関する研究(その1)／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 山崎 貴之・高野 裕輔・津野 究
- Ⅲ-135 新幹線におけるトンネル振動予測に関する研究(その2)／鉄道総合技術研究所 [正] 津野 究・伊積 康彦・横山 秀史
- Ⅲ-136 トンネル耐震性向上のためのFRPグリッドを用いた覆工内面補強効果の評価／長崎大学 [正] 李 博・蔣 宇静・大嶺 聖
- Ⅲ-137 トンネル切羽安定対策工へのSPH法解析の適用に関する一考察／ケー・エフ・シー [正] 松尾 勉・森 邦夫・平岡 伸隆
- Ⅲ-138 高付着型鋼管の盤ぶくれ対策工への適用とその効果に関する解析的検討／ケー・エフ・シー [正] 岡部 正・松尾 勉・山本 拓治
- Ⅲ-139 ミニボアホールレーダの開発と地下水挙動の3次元評価への試み／鹿島建設 [正] 栗原 啓丞・升元 一彦

## ■トンネル(7) / 13:00~14:20 / 田近 宏則(パシフィックコンサルタンツ)

- Ⅲ-140 傾斜基盤層上に埋設されたPCaボックスカルバートの可とう間隔をパラメータとした動的挙動解析／災害科学研究所 [正] 林 健二・松井 保・中谷 郁夫

- Ⅲ-141 カルバート盛土抗口部におけるカルバート縦断方向の地震時挙動に関する遠心模型実験／京都大学 [学] 宮崎 祐輔・澤村 康生・岸田 潔
- Ⅲ-142 模型実験と数値解析を用いた切羽形状の安定性に関する比較検討／首都大学東京 [学] 住田 亮介・土門 剛・西村 和夫
- Ⅲ-143 防水型トンネルの覆工構造に関する設計事例の分析／土木研究所 [正] 淡路 勲太・砂金 伸治・日下 敦
- Ⅲ-144 地山特性曲線を定量的に評価するための解析的検討／大林組 [正] 中岡 健一・畑 浩二・木山 英郎
- Ⅲ-145 小土かぶり大断面めがねトンネルにおける数値解析による掘削工法の比較検討／大成建設 [正] 池田 哲也・西谷 友幸・岡嶋 和義

## ■トンネル(8) / 14:40~16:00 / 西村 強(鳥取大学)

- Ⅲ-146 地山条件の違いによる曲面切羽の安定性に関する数値解析／首都大学東京 [学] 富樫 真美・土門 剛・西村 和夫
- Ⅲ-147 道路トンネルの点検結果にもとづく変状の進行に関する一考察／土木研究所 [正] 笹田 俊之・砂金 伸治・石村 利明
- Ⅲ-148 トンネル掘削による地すべり斜面の変位挙動のメカニズムの考察(その5)／山口大学 [学] 市原 翔・藤本 崇人・中島 伸一郎
- Ⅲ-149 トンネル先進導坑の効果に関する数値解析による一考察／大成建設 [正] 市田 雄行・小原 伸高
- Ⅲ-150 トンネル掘削における早期閉合および断面形状に関する一考察／大成建設 [正] 長田 翔平・市田 雄行・小原 伸高
- Ⅲ-151 初生的な地盤変位により覆工変状が生じたトンネルの安全対策について／日本工営 [正] 中島 美千代・堅田 憲司・中西 敏夫

## Ⅲ-4 (工学部1号館第4講義室) / 9月16日(水)

## ■透水・浸透(1) / 9:00~10:20 / 高坂 信章(清水建設)

- Ⅲ-152 ベントナイト混合砂の堤体法面被覆材としての適用性の検討(その2)／名城大学 [学] 竹内 啓介・小高 猛司・崔 瑛
- Ⅲ-153 メタンハイドレート生産障害対策のための目詰まり機構と加振による透水性改善の検討／鹿島建設 [正] 海老 剛行・露木 健一郎・藤田 雄一
- Ⅲ-154 堆積岩とベントナイト混合土における再冠水時の飽和移行過程／岡山大学 [正] 小松 満・榊 利博
- Ⅲ-155 メスリシスター法による砂とベントナイトから構成される二層構造の吸水特性—中間貯蔵施設の遮水工設計を想定して—／早稲田大学 [学] 浦田 智仁・小峯 秀雄
- Ⅲ-156 亀裂交差部での流れの非線形特性に関する考察／[学] 梶原 志保・蔣 宇静・大嶺 聖
- Ⅲ-157 坑道埋戻し材の密度管理への誘電水分センサーの適用予備試験／Nagra [正] 榊 利博・真田 祐幸・大貫 賢二

## ■透水・浸透(2) / 10:40~12:00 / 小峯 秀雄(早稲田大学)

- Ⅲ-158 粘土の圧縮性と透水性に及ぼす圧縮方向と排水方向の影響／呉工業高等専門学校 [学] 坂田 将大・森脇 武夫
- Ⅲ-159 浸透流による地盤内細粒分の移動現象の観察／熊本大学 [正] 佐藤 宇紘・土野 陸・高野 大樹
- Ⅲ-160 スライム化した水酸化鉄に対する抗菌性能を持つ暗渠パイプの付着軽減効果／北見工業大学 [正] 川口 貴之・中村 大・川尻 峻三
- Ⅲ-161 熊本地下水涵養源白川中流域における大津菊陽立野湧水源評価手法の検討／大成ジオテック [正] 福田 光治・林 豊・栗木 徳明
- Ⅲ-162 高粘性流体注入による割れ目の特性評価方法の原位置試験による検討(その2)／電力中央研究所 [正] 長谷川 琢磨・田中 靖治・後藤 和幸
- Ⅲ-163 地下構造物の幅と地下水流動方向を考慮した地下水流動阻害影響の評価／清水建設 [正] 高坂 信章

## ■透水・浸透(3) / 13:00~14:20 / 森脇 武夫(呉工業高等専門学校)

- Ⅲ-164 水質分析によるダム基礎グラウチングの長期的劣化に関する基礎的検討／土木研究所 [正] 佐藤 弘行
- Ⅲ-165 透水性基礎地盤のバイピングに起因する堤体崩壊に関する模型実験／名城大学 [正] 崔 瑛・小高 猛司・李 圭太
- Ⅲ-166 ダムのグラウチング技術を用いた山岳トンネルの湧水処理確認試験／熊谷組 [正] 古田島 信義・鈴木 雅文・宮本 裕二
- Ⅲ-167 砕石堅排水工の排水効果に関する模型実験／高速道路総合技術研究所 [正] 安部 哲生・藤岡 一頼・濱田 泰治
- Ⅲ-168 モンゴル・ツォクトオボーにおける観測結果を用いた体積含水率の挙動に関する検討／鳥取大学 [学] 友行 功美・中村 公一

- Ⅲ-169 多種センサー・モニタリングによる降雨強度の違いにおける実堤防内浸潤挙動／名古屋工業大学〔学〕齊藤 啓・前田 健一・李 兆卿
- Ⅲ-170 フィルダムの堤体改修における透水異方性問題／フジタ〔F〕福島 伸二・北島 明

#### Ⅲ-4 (工学部1号館第4講義室)／9月17日(木)

##### ■透水・浸透(4)／9:00～10:20／笹倉 剛(鹿島建設)

- Ⅲ-171 津波越流時のケーソン天端流速とマウンド内流速に関する遠心模型実験／東洋建設〔正〕宮本 順司・鶴ヶ崎 和博・中瀬 仁
- Ⅲ-172 盛土材料の保水性が降雨時の盛土安定に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所〔正〕佐藤 武斗・島田 貴文・松丸 貴樹
- Ⅲ-173 キャピラリーバリアの影響因子とメカニズムに関する実験的研究／京都大学〔学〕澤田 茉伊・三村 衛・吉村 貢
- Ⅲ-174 河川堤防の進行性破壊に関する模型実験における進行速度と破壊過程／土木研究所〔正〕秋場 俊一・吉田 直人・石原 雅規
- Ⅲ-175 連続群論による相似変換を用いた堤防内の浸潤面に関する非線形偏微分拡散方程式の解析手法の提案／中央大学〔学〕劉佳・山田 正
- Ⅲ-176 不飽和豊浦砂のせん断帯内部における微視的な間隙水分布変化の観察／京都大学〔学〕久泉 友二・木戸 隆之祐・肥後 陽介

##### ■透水・浸透(5)／10:40～12:00／佐々木 哲也(土木研究所)

- Ⅲ-177 揚水注水一体型井戸の適用性に関する数値解析的基礎検討／鹿島建設〔F〕笹倉 剛・上本 勝広・中島 悠介
- Ⅲ-178 地盤中の蒸発過程の評価／関西大学〔学〕劉 冰・小林 晃・塚田 泰博
- Ⅲ-179 河川堤防の浸透に対する安全性の照査基準について／京都大学〔F〕岡 二三生
- Ⅲ-180 深度300mと500mにおける割れ目の分布特性の違いが地下水流動特性に与える影響に関する研究(その1) 一全体概要一／日本原子力研究開発機構〔正〕尾上 博則・三枝 博光・岩崎 理代
- Ⅲ-181 深度300mと500mにおける割れ目の分布特性の違いが地下水流動特性に与える影響に関する研究(その2) 一割れ目の分布特性の比較一／ダイヤコンサルタント〔正〕細谷 真一・鈴木 一成・石橋 正祐紀
- Ⅲ-182 深度300mと500mにおける割れ目の分布特性の違いが地下水流動特性に与える影響に関する研究(その3) 一地下水流動解析および粒子追跡線解析結果の比較一／鹿島建設〔正〕渥美 博行・岩野 圭太・瀬尾 昭治

#### Ⅲ-4 (工学部1号館第4講義室)／9月18日(金)

##### ■廃棄物／9:00～10:20／小澤 一喜(鹿島建設)

- Ⅲ-183 再生石膏を用いた無機系および高分子凝集剤併用による建設発生土の沈殿特性／〔学〕井上 雄貴・赤木 寛一・檜垣 隼也
- Ⅲ-184 廃棄物埋立地における常時微動測定および表面波探査による廃棄物層厚の推定／香川大学〔正〕山中 稔・八村 智明・高見 成一
- Ⅲ-185 海面廃棄物処分場における拡散・分散を考慮した有害物質の漏出挙動評価／明石工業高等専門学校〔学〕関谷 美里・眞鍋 磨弥・稲積 真哉
- Ⅲ-186 花崗岩風化残積土の分取工程で発生した細粒分泥水の粒状固化処理／九州産業大学〔正〕松尾 雄治・林 泰弘・吉田 一彦
- Ⅲ-187 攪拌による室内エージング処理過程を経た製鋼スラグのpH低減効果の確認／大分工業高等専門学校〔正〕佐野 博昭・麻生 更紗・山田 幹雄
- Ⅲ-188 ヒートポンプを用いた建設汚泥の真空脱水技術／鹿島建設〔正〕石井 健嗣・吉迫 和生・間宮 尚

##### ■不飽和土／10:40～12:00／酒匂 一成(鹿児島大学)

- Ⅲ-189 飽和度変化に着目した不飽和砂の動的挙動評価に関する実験的研究／山梨大学〔学〕藤森 弘晃・荒木 功平・後藤 聡
- Ⅲ-190 B値が異なる三軸砂供試体の非排水せん断挙動／名古屋大学〔正〕吉川 高広・野田 利弘・中井 健太郎
- Ⅲ-191 積雪地域の盛土内地下水挙動に関する再現解析／鉄道総合技術研究所〔正〕湯浅 友輝・高柳 剛・佐藤 亮太
- Ⅲ-192 排水及び吸水過程における不飽和砂の局所的飽和度の分布／京都大学〔学〕木戸 隆之祐・肥後 陽介

- Ⅲ-193 X線CT画像解析による砂の水分保持特性の評価／熊本大学〔学〕塩田 絵里加・棕木 俊文・吉永 徹
- Ⅲ-194 注水圧力制御による原位置不飽和透水試験法／奥村組〔正〕森田 修二・今泉 和俊・三澤 孝史

##### ■リサイクル／13:00～14:20／ハザリカ ヘマンタ(九州大学)

- Ⅲ-195 製鋼スラグを混合した関東ロームの力学および膨張特性／日本大学〔正〕山中 光一・峯岸 邦夫・吉澤 千秋
- Ⅲ-196 一般廃棄物焼却主灰のエージング日数が力学特性に及ぼす影響／福岡大学〔学〕平川 裕也・佐藤 研一・藤川 拓朗
- Ⅲ-197 硫酸塩を用いた乾湿繰返し試験による石炭灰混合材料の耐久性評価／福岡大学〔学〕梅田 真志・佐藤 ケンイチ・藤川 拓朗
- Ⅲ-198 粒径の異なるタイヤチップのせん断特性について／山口大学〔学〕湖山 美怜・兵動 正幸・中田 幸男
- Ⅲ-199 緑化基盤材に竹チップを混合した生育基盤の力学特性／東洋大学〔F〕石田 哲朗・川又 由暉・増尾 諒祐
- Ⅲ-200 高含水比粘性土の地盤改良に用いる竹チップの吸水特性／福岡大学〔正〕古賀 千佳嗣・佐藤 研一・藤川 拓朗
- Ⅲ-201 腐朽を考慮した竹チップ混合固化処理土の強度特性／福岡大学〔学〕米丸 佳克・古賀 新太郎・佐藤 研一

##### ■洗掘・浸食／14:40～16:00／藤澤 和謙(京都大学)

- Ⅲ-202 越流・浸透流を考慮した捨石マウンドの安定性に関する水理模型実験／九州大学〔学〕井上 翔太・笠間 清伸・善 功企
- Ⅲ-203 不飽和地盤表層からの浸透に伴う間隙空気圧に着目した洗掘現象／名古屋工業大学〔学〕山口 敦志・松田 達也・前田 健一
- Ⅲ-204 鉄道護岸の効率的な維持管理手法に関する検討／鉄道総合技術研究所〔正〕獅子目 修一・中島 進・篠田 昌弘
- Ⅲ-205 砕・転圧土の耐侵食性能について／フジタ技術センター〔正〕堀田 崇由・北島 明
- Ⅲ-206 波の繰返し作用による明出しの再現実験装置の試作／日本大学〔正〕熊野 直子・八倉 周平・園川 友梨
- Ⅲ-207 アップサイクルブロックによる盛土の耐侵食効果に関する越流実験／大阪大学〔学〕植田 裕也・常田 賢一・嶋川 純平

#### Ⅲ-5 (工学部1号館第5講義室)／9月16日(水)

##### ■斜面(1)／9:00～10:20／藤本 哲生(エイト日本技術開発)

- Ⅲ-208 現地モニタリングに基づいた道路規制基準の検討／神戸大学〔学〕渡邊 義裕・藤本 将光・小山 倫史
- Ⅲ-209 管理段階で発生した地すべりに対する高速道路の車線運用～地すべり変位抑制と車線の段階的な開放～／ネクスコ東日本エンジニアリング〔正〕西村 光司・長尾 和之・天野 淨行
- Ⅲ-210 雨量通行規制における雨量観測体制に関する基礎的研究／神戸市立工業高等専門学校〔正〕鳥居 宣之・小野 泰東
- Ⅲ-211 急傾斜斜面に対するGPS変位計測システムの適用事例(その3)／山口大学〔学〕林 佑一郎・古山 陽太・中島 伸一郎
- Ⅲ-212 のり面表層における体積含水率の挙動について／西日本高速道路エンジニアリング関西〔正〕上出 定幸・小泉 圭吾・藤原 優
- Ⅲ-213 ブロック崩壊実験における崩壊ブロック内の空隙形成に関する考察／明石工業高等専門学校〔正〕鍋島 康之・田中 佑弥
- Ⅲ-214 地山補強土工法「ラディッシュアンカー工法」の硬質地盤への適用／ライト工業〔正〕別府 正顕・蓮香 朋宏・館山 勝

##### ■斜面(2)／10:40～12:00／吉田 郁政(東京都市大学)

- Ⅲ-215 個別要素法(DEM)による地震時盛土崩壊形状の検討／鹿島建設〔正〕宇津野 衛・馬場 達也・平田 正憲
- Ⅲ-216 岩塊の斜面衝突時の速度変化に関する室内模型実験とその数値解析一岩石平板の場合一／鳥取大学〔学〕北迫 勝也・河野 勝宣・池添 保雄
- Ⅲ-217 岩塊の斜面衝突時の速度変化に関する室内模型実験一粒状土斜面の場合一／アサヒコンサルタント〔正〕土田 章仁・北迫 勝也・河野 勝宣
- Ⅲ-218 混合ガウスモデルによる落石危険度評価のための基礎検討／東京都市大学〔学〕青山 嵩・吉田 郁政・中村 晋
- Ⅲ-219 質点系解析による簡易な落石シミュレーションの基礎研究／東京都市大学〔学〕鈴木 嶺太・吉田 郁政・中村 晋
- Ⅲ-220 ラフ集合を用いた道路斜面における危険度評価手法の提案／岡山理科大学〔学〕澤 夏起・佐藤 文晴
- Ⅲ-221 斜面防災対策における高周波弾性波法の適用に関する一考察／ダイヤコンサルタント〔正〕永井 哲夫・北澤 浩二・稲垣 晴紀



- 斜面(3) / 13:00~14:20 / 鳥居 宣之(神戸市立工業高等専門学校)
- III-222 積雪地域の切土のり面における地下水位挙動／鉄道総合技術研究所 [正] 高柳 剛・宮下 優也・佐藤 亮太
- III-223 覆土した盛土の法尻崩壊時の安定に関する実大試験／新日鉄住金エンジニアリング [正] 澤石 正道・和田 昌敏・菅野 浩樹
- III-224 模型散水実験による斜面への雨水浸透特性の変化に関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 渡邊 諭・阪東 聖人・湯浅 友輝
- III-225 国道沿い斜面を対象とした数値解析と実効雨量を組み合わせた雨量通行規制基準の提案／関西大学 [正] 小山 倫史・藤本 将光・徳永 博
- III-226 タンクモデル法と剛背性有限要素法を組み合わせた斜面安定解析手法について／早稲田大学 [学] 安藤 悠・須田 健太郎・小西 真治
- III-227 災害予測のための無線監視システムを活用した雨量観測結果の評価／西日本高速道路 [正] 藤原 優・竹本 将・殿垣 内 正人

## III-5 (工学部1号館第5講義室) / 9月17日(木)

- 斜面(4) / 9:00~10:20 / 若松 加寿江(関東学院大学)
- III-228 浅野川豪雨災害における広域斜面の崩壊ハザードマップと防災課題について(広域斜面その1) / [正] 西野 尚志・川村 國夫・橋本 隆司
- III-229 一級河川手取川中流域右岸集落の広域斜面崩壊危険度マップ作成(広域斜面その2) / 日本海コンサルタント [正] 荒木 龍介・田中 誠司・川村 國夫
- III-230 集中豪雨災害に伴う広域斜面崩壊時の危険度判定マップの適用性および避難行動への支援に関する考察(広域斜面その3) / [正] 東 寛和・川村 國夫・小間井 孝吉
- III-231 局所的集中豪雨を誘因とする源頭部斜面崩壊・影響領域広域推定支援策／東京理科大学 [F] 小島 尚人・渡部 匠・関根 亮
- III-232 航空レーザ測量データに基づいたラプラシアンによる斜面変状の定量的評価／岡山理科大学 [正] 佐藤 丈晴・森 由希奈・中島 翔吾
- III-233 融雪水に起因するのり面の危険度評価を目的とした現地調査／鉄道総合技術研究所 [正] 宮下 優也・高柳 剛・太田 直之
- III-234 平成26年豪雨での土砂流入時におけるため池の被災実態／農研機構 [正] 正田 大輔・吉迫 宏・井上 敬資

- 斜面(5) / 10:40~12:00 / 小野 祐輔(鳥取大学)
- III-235 斜面の地震時残留変位量の崩壊方位に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 篠田 昌弘
- III-236 キャピラリーバリアののり面への適用性に関する研究 / [学] 小橋 俊也・小泉 圭吾・小田 和広
- III-237 強度特性が異なる落石防護土堤の衝撃変形挙動に関するDEM解析／名古屋工業大学 [学] 奥村 勇太・前田 健一・内藤 直人
- III-238 MPMを用いた土砂の挙動と衝突荷重の再現解析／鉄道総合技術研究所 [正] 阿部 慶太・獅子目 修一・中村 晋
- III-239 不連続変形法を用いた地震時崩壊土石の運動挙動に関する解析／九州大学 [学] 松村 賢・陳 光斉
- III-240 レーザードップラー振動計による不安定岩塊模型の振動計測実験—実岩石模型を用いた基礎的実験—／応用地質 [正] 斎藤 秀樹・上半 文昭・箕浦 慎太郎

## III-5 (工学部1号館第5講義室) / 9月18日(金)

- 斜面(6) / 9:00~10:20 / 蔡 飛(群馬大学)
- III-241 平成26年8月広島土砂災害における阿武の里団地内の被害について／呉工業高等専門学校 [学] 岩井 鉄平・森脇 武夫・加納 誠二
- III-242 平成26年広島土砂災害の発生原因に関する一考察／神戸大学 [学] 鹿瀬 一希・森脇 武夫・加納 誠二
- III-243 仙台市の被災造成宅地の被害要因分析・復旧対策検討の事例及び今後の課題／パシフィックコンサルタンツ [正] 門田 浩一・本橋 あずさ
- III-244 仙台市の被災造成宅地における動的有効応力解析手法を用いた地すべりの変形被害メカニズムの一考察／パシフィックコンサルタンツ [正] 本橋 あずさ・門田 浩一
- III-245 2011年東北地方太平洋沖地震における丘陵地造成宅地の水道施設被害の分析／復建技術コンサルタント [正] 佐藤 真吾・山口 秀平・南 陽介

- III-246 道路盛土に敷設した排水性補強材の安全率改善効果について／九州大学 [学] 中村 大樹・笠間 清伸・浜崎 智洋

- 試験法・調査法(1) / 10:40~12:00 / 小高 猛司(名城大学)
- III-247 3次元地中レーダ探査とMMSの融合システムによる河川堤防の概略調査／パシフィックコンサルタンツ [正] 若狭 愛・館川 逸朗・島山 直樹
- III-248 時間依存性の劣化を伴う岩石の評価方法に関する検討例／土木研究所寒地土木研究所 [正] 岡崎 健治・伊東 佳彦・丹羽 廣海
- III-249 模型地盤用小型動的貫入試験機の開発／東京都市大学 [学] 田中 和穂・松野 遼太郎・末政 直見
- III-250 施工中の斜面における浅い部分のせん断ひずみの計測／東京都市大学 [学] 渡田 洋介・末政 直見・玉手 聡
- III-251 土の凍結膨張における熱流直交方向の発生応力測定装置の開発／北海道大学 [学] 天沼 雅香子・赤川 敏・蟹江 俊仁
- III-252 混合ハイブリッドFEMを適用した熱伝導・熱応力連成解析の基礎的研究／北海道大学 [学] 工藤 史登・蟹江 俊仁・神谷 遼多

- 試験法・調査法(2) / 13:00~14:20 / 伊藤 和也(東京都市大学)
- III-253 弾塑性論と吸水軟化試験による砂質土の強度定数に関する考察／名城大学 [正] 小高 猛司・崔 瑛・李 圭太
- III-254 砂質堤防土の強度定数評価に及ぼす供試体再構成と凍結過程の影響(その2) / 名城大学 [学] 武 楊・小高 猛司・崔 瑛
- III-255 傾斜計計測値の温度補正方法に関する検討／鳥取大学 [正] 中村 公一・島内 哲哉・小野 和行
- III-256 三軸圧力室内に組み込んだ非排水一面せん断試験機の開発／国土防災技術 [正] 長谷川 陽一・柴崎 達也・眞弓 孝之
- III-257 高知高専型一面せん断試験機による中・低応力域での定体積試験法の開発／[正] 土居 翔太・岡林 宏二郎・門田 綾乃
- III-258 真空圧を負荷した超軟弱粘土地盤のNktの調査例／日建設計シビル [正] 片桐 雅明・中道 正人・河野 正文

- 試験法・調査法(3) / 14:40~16:00 / 中村 公一(鳥取大学)
- III-259 ボーリング作業の見える化技術／応用地質 [正] 谷川 正志・山本 幸源
- III-260 電気比抵抗コーンによる河川堤防地盤の電気比抵抗の深度分布／ソイルアンドロックエンジニアリング [正] 吉村 貢・三村 衛・宇野 匡範
- III-261 人工干潟浚渫粘土地盤への簡易微動アレイ探査の適用性／五洋建設 [正] 奥田 一弘・渡部 要一・堤 彩人
- III-262 放射性廃棄物処分場の砂・ベントナイト混合土への小型変水位透水試験の現場適用性の検討／戸田建設 [正] 関口 高志・松本 駿・小峯 秀雄
- III-263 ラジオアイソトープコーン貫入試験による土の湿潤密度測定と細粒分含有率の推定／ソイルアンドロックエンジニアリング [正] 後藤 政昭・吉村 貢・重富 正幸
- III-264 熱伝導による原位置含水比測定法の検討／東京都市大学 [学] 石垣 拓也・末政 直見

## III-6 (工学部1号館第6講義室) / 9月16日(水)

- 凍結・凍土(1) / 9:00~10:20 / 川口 貴之(北見工業大学)
- III-265 凍土方式遮水壁実証事業の概要—凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その1)—／鹿島建設 [正] 江崎 太一・高村 尚・瀬尾 昭治
- III-266 小規模凍土方式遮水壁実証試験における地盤凍結特性凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その2) / 鹿島建設 [正] 吉田 輝・永谷 英基・佐藤 一成
- III-267 小規模凍土方式遮水壁実証試験における凍結特性(複列配置部)及び遮水性・凍結膨張特性 凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その3) / 鹿島建設 [正] 照井 秀幸・永谷 英基・吉田 輝
- III-268 小規模凍土方式遮水壁の地盤凍結特性に関する解析的評価 凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その4) / 鹿島建設 [正] 田部井 和人・並川 正・森川 誠司
- III-269 凍土方式遮水壁の長期対応技術凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その5) / 鹿島建設 [正] 山本 正嗣・中嶋 陽一・和田 忠輔
- III-270 凍土方式遮水壁の光ファイバ式温度計による地中温度計測 凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その6) / 鹿島建設 [正] 永谷 英基・山口 功・吉田 輝



■凍結・凍土(2) / 10:40~12:00 / 伊藤 譲(摂南大学)

- III-271 凍結管の埋設物貫通設置技術 凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その7) / 鹿島建設 [正] 松本 清治郎・木田 博光・中嶋 陽一
- III-272 長大凍土方式遮水壁による地下水堰きあがりを考慮したモックアップ試験凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その8) / 鹿島建設 [正] 佐藤 一成・吉田 輝・高村 尚
- III-273 地下水流を考慮した凍土方式遮水壁の閉合に係る解析的評価凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その9) / 鹿島建設 [正] 並川 正・森川 誠司・吉田 輝
- III-274 地下水位コントロールのための注水特性評価—凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その10) — / 鹿島建設 [正] 岩野 圭太・瀬尾 昭治・川端 淳一
- III-275 注水井戸の逆洗浄と目詰まり物質に関する検討—凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(その11) — / 鹿島建設 [正] 瀬尾 昭治・岩野 圭太・川端 淳一
- III-276 凍土壁造成における限界流速に関する基礎的実験・解析 / 北海道大学 [学] 山添 稜也・石川 達也・伊藤 譲

■凍結・凍土(3) / 13:00~14:20 / 佐藤 厚子(土木研究所 寒地土木研究所)

- III-277 寒冷地における水道管周辺地盤の温度分布と鉛直土圧 / 北見工業大学 [学] 鈴木 信太郎・川口 貴之・中村 大地
- III-278 地盤凍結工法における凍土形成過程の予測解析手法の検討 / 清水建設 [正] 米山 一幸
- III-279 飽和凍土の透水係数の温度依存性 / 苫小牧高専 [正] 所哲也・石川 達也・赤川 敏
- III-280 凍土の変形係数推定に用いる真ひずみ率のひずみ速度依存性 / 精研 [正] 大石 雅人・上田 保司
- III-281 飽和細粒土の凍結融解前後におけるアイスレンズ面方向の透水係数変化に関する実験 / 奥村組 [正] 廣瀬 剛・伊藤 譲・石川 達也
- III-282 気液混合流体による地盤凍結工法の開発(その1:小規模土槽における基礎実験) / ケミカルグラウト [正] 塩屋 祐太・相馬 啓
- III-283 気液混合流体による地盤凍結工法の開発(その2:模擬地盤における実証実験) / ケミカルグラウト [正] 相馬 啓・塩屋 祐太

III-6 (工学部1号館第6講義室) / 9月17日(木)

■数値解析(1) / 9:00~10:20 / 金田 一広(竹中工務店)

- III-284 点源による注水孔の簡易モデルにおける要素ライブラリの拡充 / 清水建設 [正] 山田 俊子・櫻井 英行・鈴木 誠
- III-285 2次元平面FEMを用いたSCP打設時の変位緩衝孔周辺の挙動解析事例 / パシフィックコンサルタンツ [正] 宗片 渉・館川 逸朗・平野 由之
- III-286 特殊土嚢を用いた軟弱地盤上の試験盛土に関するFEM試験 / パシフィックコンサルタンツ [正] 館川 逸朗・嶋田 宏・野本 太
- III-287 粘質土壌における亀裂進展シュミレーション / 琉球大学 [学] 崎山 将・広瀬 孝三郎・松原 仁
- III-288 不飽和砂の間隙水分布と熱伝導特性に関する研究 / 岡山大学 [学] 岩崎 佳介・木本 和志

■数値解析(2) / 10:40~12:00 / 石丸 真(電力中央研究所)

- III-289 NMM-DDAによる擁壁転倒時の土圧問題の解析 / 京都大学 [学] 川上 紘平・橋本 涼太・三村 衛
- III-290 砂地盤に構築した泥水掘削溝隅角部の安定性に関する研究 / [学] 安佐伊 弘貴・齋藤 邦夫・石井 武司
- III-291 流動化処理土の流動性評価に対するMPS法の適用性 / 明石工業高等専門学校 [学] 金子 将己・稲積 真哉・重松 祐司
- III-292 MEMSセンサ・ネットワークを用いた地盤挙動モニタリングの研究 / 岡山大学 [学] 秦野 佑也・西山 哲・岩崎 佳介

III-6 (工学部1号館第6講義室) / 9月18日(金)

■土の動的性質 / 9:00~10:20 / 原田 健二(不動テトラ)

- III-293 液状化判定に用いる液状化抵抗比に関する一考察—埋立て地盤のP波速度 $V_p$ と間隙水圧係数 $B$ 値— / 応用地質 [正] 澤田 俊一
- III-294 消散エネルギーに着目した複数回液状化試験結果の分析 / 東京大学 [F] 古関 潤一・WAHYUDY SETO・青柳 悠大

- III-295 複数回液状化試験における消散エネルギーの正負の効果に着目した分析 / 東京大学 [学] 青柳 悠大・古関 潤一・WAHYUDY SETO
- III-296 二つの大震災時の地震波形による液状化試験 / 東京電機大学 [学] 垂水 秀樹・安田 進・石川 敬祐
- III-297 長期圧密された浦安砂の繰返し非排水三軸試験結果 / 東京電機大学 [学] 武田 陽・安田 進・石川 敬祐
- III-298 非排水繰返し載荷を受けた砂質土 / 粘性土の圧縮特性の把握 / 名古屋大学 [学] 潮崎 彰太・中井 健太郎・野田 利弘
- III-299 溶解スラグと砂の液状化特性の違いについて / 明星大学 [正] 矢島 寿一・渡邊 大樹

■土の物理化学的性質・特殊土 / 10:40~12:00 / 片岡 紗都紀(神戸大学)

- III-300 モンゴル南部の砂漠化防止を目的とした緑化土質材料の化学特性の調査 / 九州大学 [正] 古川 全太郎・安福 規之・大嶺 聖
- III-301 燃料デブリ取出しを想定した重泥水の放射線遮蔽特性の評価 / 早稲田大学 [学] 齋藤 祐磨・小峯 秀雄・成島 誠一
- III-302 スレーキング性材料を用いた盛土の性能向上 / 五洋建設 [正] 秋本 哲平・河村 健輔・木井 敦夫
- III-303 メタンハイドレート生産時の地層変形に関する有限要素法解析 / 清水建設 [F] 萩迫 栄治・西尾 伸也・傳田 篤
- III-304 CO<sub>2</sub>ハイドレート含有砂供試体の非排水三軸圧縮特性 / 京都大学 [学] 小西 陽太・岩井 裕正・木元 小百合
- III-305 弾粘塑性構成式を用いたCO<sub>2</sub>ハイドレート含有砂供試体の三軸圧縮試験の再現 / 名古屋工業大学 [正] 岩井 裕正・木元 小百合・小西 陽太
- III-306 2014年御嶽山の噴火により発生した火山灰の物理的性質 / 信州大学 [正] 河村 隆・外谷 憲之

■土留め / 13:00~14:20 / 古関 潤一(東京大学)

- III-307 地震変形後の荷重および損傷を考慮した栈橋の模型振動実験 / 港湾空港技術研究所 [正] 小濱 英司・寺田 竜士・宇野 州彦
- III-308 鋼矢板の引抜きに伴う地盤変状に関する遠心模型実験(その1) / 信州大学 [正] 梅崎 健夫・河村 隆・鶴ヶ崎 和博
- III-309 大規模開削工事における土留め工の合理化 / 鹿島建設 [正] 前田 祐助・渡辺 真介・戸川 敬
- III-310 狭隘箇所における既設石積み壁の耐震補強に関する模型振動台実験 / 鉄道総合技術研究所 [正] 中島 進・島田 貴文・谷 賢俊
- III-311 狭隘箇所における既設石積み壁の耐震補強に関する検証解析 / 鉄道総合技術研究所 [正] 島田 貴文・中島 進・藤原 寅士良

■土圧・他 / 14:40~16:00 / 小濱 英司(港湾空港技術研究所)

- III-312 桁質量の異なる橋台における耐震補強効果の実験的検討 / 東日本旅客鉄道 [正] 池本 宏文・高崎 秀明
- III-313 1G場振動台を用いた増し杭された群杭基礎のフーチング接合条件の検討 / 京都大学 [学] 平田 望・寺本 俊太郎・白石 将大
- III-314 動的遠心力模型実験装置の開発並びに振動土圧に関する基礎的研究 / 高知工業高等専門学校 [学] 橋田 賢治・岡林 宏二郎・伊藤 輝
- III-315 関東地震における鉄道盛土の被害要因の検証 / 東日本旅客鉄道 [正] 中村 貴志・藤原 寅士良・谷口 善則
- III-316 液状化地盤—堤体—貯水の相互作用に伴うアースダムの破壊形態 / 農研機構 農村工学研究所 [正] 林田 洋一・増川 晋・田頭 秀和
- III-317 指定円弧と任意円弧によるNewmark法および渡辺馬場法の最大すべり変形量の比較 / 土木研究所 [正] 藤川 祥・佐藤 弘行・榎村 康史
- III-318 繰返し三軸試験と修正ニューマーク法を用いた地震時の斜面崩壊規模の評価 / 東日本旅客鉄道 [正] 関 慎幸・舟木 源尚・三平 伸吾

III-7 (工学部1号館大講義室) / 9月16日(水)

■地盤の動的挙動(1) / 9:00~10:20 / 飛田 哲男(京都大学)

- III-319 長大切土法面におけるリバウンド特性の把握 / 大成建設 [正] 足立 健・石井 保・溝口 純也
- III-320 大歪みを受けた薬液注入改良土のせん断強度について / 五洋建設 [正] 林 健太郎・秋本 哲平
- III-321 多方向繰返しせん断を受けた粘性土の沈下予測に関する基礎的研究 / 山口大学 [学] 園山 修平・松田 博・原 弘行
- III-322 インドネシア国ブンカリス島における泥炭地盤崩壊の実態 / 山口大学 [学] 渡部 剛・Muhammad Haidar・鈴木 素之

- Ⅲ-323 マンホールの液状化時安定性向上を目指した均等重量化工法の適用性／芝浦工業大学 [正] 岡本 敏郎・種田 智恵  
Ⅲ-324 埋立地盤における地下水位の時間変化と液状化被害／東京電機大学 [F] 安田 進・石川 敬祐・橋本 隆雄  
Ⅲ-325 電子地盤図を用いた浦安市の液状化判定によるPL値と地表面沈下量の関係／東京電機大学 [正] 石川 敬祐・安田 進

#### ■地盤の動的挙動(2) / 10:40～12:00 / 上野 一彦(五洋建設)

- Ⅲ-326 ジオテキスタイル拘束土壁工法の耐震特性に関する振動台実験／福井大学 [正] 伊藤 雅基・小嶋 啓介・伊藤 修二  
Ⅲ-327 格子状改良・排水工法による液状化対策効果についての解析的検討(その1) —2次元有効応力解析による遠心模型実験の再現解析—／西松建設 [正] 土屋 光弘・佐藤 靖彦・蔡 飛  
Ⅲ-328 格子状改良・排水工法による液状化対策効果についての解析的検討(その2) —3次元有効応力解析による遠心模型実験の再現解析—／群馬大学 [学] 芦澤 拓八・蔡 飛・齋藤 禎二郎  
Ⅲ-329 格子状改良・排水工法による液状化対策効果についての解析的検討(その3) —2次元および3次元解析による比較検討—／西松建設 [F] 佐藤 靖彦・平野 孝行・蔡 飛  
Ⅲ-330 格子状改良に関する非液状化層と格子間隔を変化させた数値解析／竹中土木 [正] 東中 邦夫・今井 政之・金田 一広  
Ⅲ-331 液状化層の上層に非液状化層を有する格子状地盤改良の格子間隔の影響について／竹中工務店 [正] 金田 一広・今井 政之・東中 邦夫

#### ■地盤の動的挙動(3) / 13:00～14:20 / 石川 敬祐(東京電機大学)

- Ⅲ-332 過剰間隙水圧消散工法におけるドレーン打設間隔の設計手法に関する解析的研究／五洋建設 [正] 安藤 有司・熊谷 隆宏・岡岡 良介  
Ⅲ-333 側方境界が直接基礎構造物の沈下や傾斜に与える影響に関する実験／東京電機大学 [学] 小泉 卓也・安田 進・石川 敬祐  
Ⅲ-334 地震後の過剰間隙水圧消散に伴う液状化地盤の剛性変化に関する一考察／大成建設 [正] 宇野 浩樹・忠野 祐介・立石 章  
Ⅲ-335 液状化層厚の空間分布を考慮した有効応力解析による地盤変状評価／東京大学 [正] 松丸 貴樹・佐藤 武斗・工藤 敦弘  
Ⅲ-336 南海トラフ地震を想定した河川堤防の変形解析／名城大学 [学] 高木 竜二・李 圭太・小高 猛司  
Ⅲ-337 盛土の地震時残留変位に及ぼす設計地震動の影響／西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 三好 忠和・常田 賢一

#### Ⅲ-7 (工学部1号館大講義室) / 9月17日(木)

#### ■地盤の動的挙動(5) / 9:00～10:20 / 福武 毅芳(清水建設)

- Ⅲ-338 傾斜地盤におけるメタンハイドレート産出過程を想定した地震時の動的解析／京都大学 [学] 赤木 俊文・木元 小百合  
Ⅲ-339 軟弱粘性土地盤上の河川堤防築堤に伴う閉封飽和域の形成とその地震応答解析／名古屋大学 [正] 中井 健太郎・野田 利弘・吉川 高広  
Ⅲ-340 地震時の鋼矢板と蛇籠による防波堤補強効果に及ぼす矢板長の影響／名古屋大学 [学] 服部 達哉・山田 正太郎・野田 利弘  
Ⅲ-341 液状化した地盤の揺動による水道管被害に地震動が与える影響の検討／東京電機大学 [学] 浦野 倫宏・安田 進・石川 敬祐  
Ⅲ-342 局所刺激係数による土構造物—地盤系の各固有振動モードの揺れやすさの評価／名古屋大学 [正] 山田 正太郎・野田 利弘・後藤 敬彦  
Ⅲ-343 地表面地震動の推定精度向上のための動的変形特性試験実施層の定量的判定法／ [正] 石川 太郎・坂井 公俊・上田 恭平

#### ■地盤の動的挙動(4) / 10:40～12:00 / 規矩 大義(関東学院大学)

- Ⅲ-344 上載荷重がある不飽和化液状化対策の有効応力解析／大林組 [正] 伊藤 浩二・江尻 譲嗣  
Ⅲ-345 鉋さい堆積場のレベル2地震動に対する耐震設計に関する研究(その1) —鉋さい堆積場におけるセメント改良の強度発現特性—／大成建設 [正] 千野 カズヒコ・広重 敬嗣・立石 章  
Ⅲ-346 鉋さい堆積場のレベル2地震動に対する耐震設計に関する研究(その2) —格子状地盤改良の剛性のばらつきが液状化抑制効果に及ぼす影響—／大成建設 [正] 広重 敬嗣・畑明仁・立石 章  
Ⅲ-347 鉋さい堆積場のレベル2地震動に対する耐震設計に関する

- 研究(その3) —2次元・3次元地震応答解析による地震時挙動の評価—／大成建設 [正] 原 祐介・広重 敬嗣・立石 章  
Ⅲ-348 鋼材の終局状態に基づく岸壁耐震検討その1—鋼部材の非線形特性の検討—／日建設シビル [正] 道谷 梓・伊勢 典央・妙中 真治  
Ⅲ-349 鋼材の終局状態に基づく岸壁耐震検討その2—FLIPによる耐震検討—／新日鐵住金 [正] 伊勢 典央・妙中 真治・加藤 卓彦

#### Ⅲ-7 (工学部1号館大講義室) / 9月18日(金)

#### ■補強土(1) / 9:00～10:20 / 峯岸 邦夫(日本大学)

- Ⅲ-350 現場条件を考慮した災害復旧技術に関する動的遠心実験(その1) / 土木研究所 [正] 森 芳徳・久保 哲也・宮武 裕昭  
Ⅲ-351 現場条件を考慮した災害復旧技術に関する動的遠心実験(その2) / 土木研究所 [正] 久保 哲也・森 芳徳・宮武 裕昭  
Ⅲ-352 繊維—粒子複合材料における構成材料の応力・ひずみ関係の関連性／九州大学 [学] 宮本 慎太郎・安福 規之・石藏 良平  
Ⅲ-353 ジオシンセティックス補強土一体橋梁橋台の水平載荷試験／農研機構 農村工学研究所 [正] 川邊 翔平・深津 圭佑  
Ⅲ-354 チェーンを補強材に用いた補強土壁の耐震性に関する動的遠心模型実験／京都大学 [学] 灰藤 晋輔・澤村 康生・北村 明洋  
Ⅲ-355 補強土壁の変状事例による劣化シナリオの適用性の検討／土木研究所 [正] 志村 直紀・藤田 智弘・久保 哲也

#### ■補強土(2) / 10:40～12:00 / 平川 大貴(中央大学)

- Ⅲ-356 補強材連結部破断を検知する手法の確立に向けた実大補強土壁の振動計測／土木研究所地質・地盤研究グループ施工技術チーム [正] 藤田 智弘・志村 直紀・久保 哲也  
Ⅲ-357 補強土壁の維持管理手法開発に関する共同研究の概要／土木研究所地質・地盤研究グループ施工技術チーム [正] 宮武 裕昭・森 芳徳・藤田 智弘  
Ⅲ-358 透水性ブロック舗装に用いるジオシンセティックスの耐久性性能の検討／日本大学 [学] 長谷川 圭介・峯岸 邦夫・山中 光一  
Ⅲ-359 背面地盤材料の材料特性が異なる補強土壁の遠心模型実験／土木研究所 [正] 佐々木 哲也・荒木 裕行・石原 雅規  
Ⅲ-360 補強土壁の耐震性に与える背面地盤材料特性の影響／土木研究所 [正] 荒木 裕行・石原 雅規・梶取 真一  
Ⅲ-361 ジオセルを用いた防潮堤の津波水理実験／八戸工業大学 [学] 小山 直輝・橋詰 豊・金子 賢治

#### ■補強土(3) / 13:00～14:20 / 橋本 聖(土木研究所)

- Ⅲ-362 受圧板を用いた地山補強土工における地震時補強材力に関する考察／香川高専 [学] 角野 充・小竹 望・香澤 武  
Ⅲ-363 円筒金網とチェーンを用いた補強盛土のモデル化と地震時挙動解析／京都大学 [学] 關 健宏・肥後 陽介・木村 亮  
Ⅲ-364 温度・載荷速度条件が引張変形に伴うHDPEジオグリッドの微細構造変化に及ぼす影響／防衛大学校 [学] 小林 昂平・宮田 喜壽・平川 大貴  
Ⅲ-365 透水性舗装用多層構造ジオシンセティックスの耐久性性能および通水性能の評価／日本大学 [学] 小高 秀登・峯岸 邦夫・山中 光一  
Ⅲ-366 既設道路盛土の繰返し注入型地山補強土工法による耐震補強事例／ライト工業 [正] 歳藤 修一・川添 英生・澁谷 啓  
Ⅲ-367 補強盛土一体橋梁の耐津波性に关する一考察 / [正] 進藤 良則・米澤 豊司・山崎 貴之

#### ■補強土(4) / 14:40～16:00 / 川邊 翔平(農村工学研究所)

- Ⅲ-368 切土補強土擁壁の地震時補強効果に関する振動実験／鉄道・運輸機構 [正] 高野 裕輔・青木 一二三・工藤 敦弘  
Ⅲ-369 逆解析による切土補強土擁壁の補強効果に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 長尾 洋太・工藤 敦弘・渡辺 健治  
Ⅲ-370 勾配の異なる切土補強土擁壁の地震時残留変位量に関する信頼性解析／鉄道総合技術研究所 [正] 工藤 敦弘・渡辺 健治・長尾 洋太  
Ⅲ-371 SDPR工法による高速道路盛土の補強対策事例について／ドゥーユー大地 [正] 松川 耕治・浜崎 智洋・水田 富久  
Ⅲ-372 薬液改良体に注入速度と浸透距離が及ぼす影響の把握／東京都市大学 [学] 滝浦 駿介・末政 直晃・吉野 広汰  
Ⅲ-373 温度条件の異なるアンカー式補強材の引抜き試験／土木研究所寒地土木研究所 [正] 橋本 聖・山梨 高裕・林 宏親



## ■圧縮・圧密 / 10:40~12:00 / 杉山 太宏(東海大学)

- Ⅲ-374 センタードレーン工による水位変化を考慮した泥炭性軟弱地盤上盛土の沈下解析 / 土木研究所寒地土木研究所 [正] 山本正彦・山梨 高裕・橋本 聖
- Ⅲ-375 自然堆積粘土の圧密挙動に及ぼす繰返し荷重の影響に関する実験的研究 / 岡山大学 [学] 津國 遼太郎・森脇 武夫
- Ⅲ-376 真空圧密要素実験における負圧伝播過程の解析 / 五洋建設 [正] 熊谷 隆宏・新舎 博・堤 彩人
- Ⅲ-377 圧密特性の表し方の違いによる浚渫粘土の自重圧密計算の比較 / 神戸市 [正] 岡田 広久・大島 昭彦
- Ⅲ-378 自然粘性土地盤に対する攪乱・減容化工法による発生する沈下ポテンシャルの検証 / 東亜建設工業 [正] 田中 洋輔・御手洗 義夫・木内 大介
- Ⅲ-379 非着底型地盤改良体と粘土の界面強度に着目した改良地盤の沈下挙動の解析 / 九州大学 [学] 有間 航・石蔵 良平・安福 規之
- Ⅲ-380 浚渫粘土インターロッキングブロックの荷重伝搬特性 / [学] 堂本 佳世・笠間 清伸・平澤 充成

## ■地盤の応力と変形 / 13:00~14:20 / 大向 直樹(応用地質)

- Ⅲ-381 粘性土地盤の遠心荷重逆断層模型実験 / [学] 久保田 正志・山口 和樹・小山 直輝
- Ⅲ-382 大型三軸試験による実河川礫質堤防土の強度特性の評価 / 名城大学 [学] 田村 太郎・小高 猛司・崔 瑛
- Ⅲ-383 盛土の近接施工に対する三次元FEMの適用事例 / ワールド測量設計 [正] 花本 孝一郎・汪 発武・岡田 健
- Ⅲ-384 三次元弾粘塑性有限要素解析による粘土地盤の地盤内応力について / 京都大学 [学] 元宗 美郷・三村 衛・肥後 陽介
- Ⅲ-385 上総層固結シルトを対象とした大深度地盤のFEMによる施工時挙動予測 / 大林組 [正] 中道 洋平・杉江 茂彦・鈴木 和明
- Ⅲ-386 粒状要素法による粘性土地盤の遠心荷重逆断層模型実験の再現シミュレーション / 電源開発 [正] 森 貴寛・東 健一・金子 賢治

## ■粘土の変形強度 / 9:00~10:20 / 木元 小百合(京都大学)

- Ⅲ-387 ベンセン断試験における非排水せん断強さの新たな推定方法の提案(その1) / 北見工業大学 [正] 川尻 峻三・田中 政典・平林 弘
- Ⅲ-388 ベンセン断試験における非排水せん断強さの新たな推定方法の提案(その2) / 東亜建設工業 [正] 平林 弘・田中 政典・川尻 峻三
- Ⅲ-389 一面せん断試験による汽水成粘性土の変形特性 / 東亜建設工業 [正] 西田 浩太・平林 弘・田中 洋行
- Ⅲ-390 中空ねじり試験機を用いた遮水地盤材料のせん断変形後の水平方向透水係数についての研究 / 広島大学 [学] 片山 遥平・許 博皓・土田 孝
- Ⅲ-391 千葉県浦安市沖積粘土層の物理・化学性質の経時変化と鋭敏性の成因の検討 / 大阪市立大学 [正] 大島 昭彦・山田 卓・久保田 耕司
- Ⅲ-392 マッドペーストにおける乾燥収縮亀裂のフラクタル解析 / 琉球大学 [学] 広瀬 孝三郎・松原 仁

## ■安全性・信頼性 / 10:40~12:00 / 大竹 雄(新潟大学)

- Ⅲ-393 堤体材料の空間的不均質性と系の挙動に関する検討(ため池を例に) / 群馬大学 [学] 佐竹 亮一郎・若井 明彦・古谷 元
- Ⅲ-394 スペクトル確率有限要素法の地盤変形問題への適用 / 大成建設 [正] 堀田 渉・畑 明仁・渡辺 和明
- Ⅲ-395 クリギング法による地盤調査結果の空間分布予測 / 国立明石工業高等専門学校 [学] 浦上 滉平・稲積 真哉・大北 耕三
- Ⅲ-396 佐野市を対象とする自然災害リスクを考慮する土地評価 / 東京都市大学 [学] 鈴木 直人・末政 直見
- Ⅲ-397 情報の価値VoIを用いた追加観測点の最適2次元配置 / 東京都市大学 [学] 杉山 舜・吉田 郁政
- Ⅲ-398 ため池の地震時および豪雨時の総合リスク評価 / 岡山大学 [正] 西村 伸一・古宅 瑞穂・柴田 俊文
- Ⅲ-399 高精度数値標高データを用いた三次元地形モデルの構築と斜面安定評価への適用 / 長崎大学 [学] 郭 雪寧・蔣 宇静・李 博

## ■基礎工(1) / 9:00~10:20 / 西岡 英俊(鉄道総合技術研究所)

- Ⅲ-400 既設送電用鉄塔基礎の引揚げ試験 / アイテックコンサルタント [正] 茂木 浩二・加藤 厚志・松野 賢太郎
- Ⅲ-401 簡易基礎(T-Root工法)の支持力と杭応力 / [正] 中西 誉・玉嶋 克彦・大塚 久哲
- Ⅲ-402 鋼管矢板基礎による耐震補強の三次元解析 / 八千代エンジニアリング [正] 松浦 康博・永富 大亮
- Ⅲ-403 スカート・サクシオン基礎の引抜き抵抗に及ぼす載荷速度の影響(その1:大型土槽実験) / 大林組 [正] 粕谷 悠紀・伊藤 政人・増井 直樹
- Ⅲ-404 スカート・サクシオン基礎の引抜き抵抗に及ぼす載荷速度の影響(その2:FEM解析) / 大林組 [正] 伊藤 政人・増井 直樹・粕谷 悠紀
- Ⅲ-405 富岡製糸場東置蔵所の基礎と建物の変形 / 防衛大学校 [正] 正垣 孝晴・中川原 雄太・藤井 幸泰
- Ⅲ-406 固化処理土の水平抵抗力に関する遠心模型実験 / 五洋建設 [正] 堤 彩人・新舎 博・菊池 喜昭

## ■基礎工(2) / 10:40~12:00 / 稲積 真哉(明石工業高等専門学校)

- Ⅲ-407 圧入式オープンケーソンにおける沈下支障時の対策事例 / 鴻池組 [正] 秋田 満留・山内 佳樹・大森 達彦
- Ⅲ-408 地山補強材による橋台耐震補強工法の提案と実験的検討 / 西日本旅客鉄道 [正] 土井 達也・山田 孝弘・佐名川 太亮
- Ⅲ-409 地山補強材による橋台耐震補強工法の提案と実験的検討(その2) / 鉄道総合技術研究所 [正] 佐名川 太亮・西岡 英俊・山田 孝弘
- Ⅲ-410 鉄道交差部における道路橋橋脚基礎の計画 / JR東日本 [正] 沢目 潤也・鈴木 啓晋
- Ⅲ-411 洪積砂層の地盤反力係数における圧力およびせん断応力依存性 / 首都高速道路 [正] 加藤 瑞穂・内海 和仁・小宅 知行
- Ⅲ-412 杭頭非接合基礎の実験と解析 / 大林組 [正] 永禮 大・永井 秀樹・樋口 俊一
- Ⅲ-413 硬質粘性土地盤でのニューマチックケーソン工法における刃先貫入特性に関する模型実験 / 安藤ハザマ [正] 粥川 幸司・宮脇 卓哉・名倉 浩

## ■杭(1) / 13:00~14:20 / 溜 幸生(東電設計)

- Ⅲ-414 不完全支持杭および支持杭の鉛直支持機構に関する数値解析的検討 / 京都大学 [正] 寺本 俊太郎・木村 亮
- Ⅲ-415 ソイルセメントH形鋼杭の付着特性に関する研究 / 大林組 [正] 渡邊 康司・古賀 翔平・山本 忠久
- Ⅲ-416 ソイルセメントH形鋼杭の荷重-変位関係に関する検討 / 大林組 [正] 古賀 翔平・渡邊 康司・山本 忠久
- Ⅲ-417 硬質発泡ウレタンを用いた杭状地盤改良工法の開発 / 東京都市大学 [学] 石川 喜章・末政 直見・田中 剛
- Ⅲ-418 高支持力杭を用いたPCLNG貯槽基礎の水張試験における沈下予測と実測結果 / 大成建設 [正] 木村 利秀・小林 祐樹・落合 智子
- Ⅲ-419 水中導棒を使用した海上鋼管杭打設工の施工実績 / 鹿島建設 [正] 鎌田 俊彦・十河 浩・宮成 和典
- Ⅲ-420 のり面補強における抑止工の耐震設計について / ジェイ・アル東日本コンサルタンツ [正] 田中 祐二・栗山 道夫・山内 真也

## ■杭(2) / 14:40~16:00 / 宇野 州彦(五洋建設)

- Ⅲ-421 杭相対剛性および地盤修復性に関する基礎の実験 / 土木研究所寒地土木研究所 [正] 富澤 幸一・三浦 清一
- Ⅲ-422 地盤変状の影響を受ける斜面上の道路橋の杭基礎に関する遠心模型実験 / 土木研究所 [正] 遠藤 繁人・真弓 英大・谷本 俊輔
- Ⅲ-423 杭の先端支持力と注入時間に関する実験的研究 / 東日本旅客鉄道 [正] 大島 竜二・高崎 秀明・池本 宏文
- Ⅲ-424 低温LPGタンクの水張試験における基礎の沈下予測 / 大林組 [正] 永井 秀樹・工藤 恭平・永礼 大
- Ⅲ-425 熊本高架3次仮線の鋼管柱を用いた仮線(在来線)施工事例 / 九鉄工業 [正] 日高 達也・上地 慶作
- Ⅲ-426 ムアリングドルフィンを超長尺鋼管杭打設 / 鹿島建設 [正] 伊東 知哉・井藤 金満・黒原 創
- Ⅲ-427 フーチングを有しない多柱式ラーメン構造の性能検証法「地盤パネの特性」 / オリエンタルコンサルタンツ [正] 大森 貴行・飯島 翔一・河野 哲也



## 第IV部門

土木計画、地域都市計画、国土計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、景観・デザイン、土木史、測量など

## IV-1 (農学部1号館第1講義室) / 9月16日(水)

## ■景観特性・デザイン / 10:40~12:00 / 石橋 知也(福岡大学)

- IV-001 夜間景観の距離感に関する研究 / 玉野総合コンサルタント [正] 堤 博紀・田中 一成・吉川 眞
- IV-002 わが国のウォーターフロントにおける水面夜景の演出に関する研究—明治期から昭和初期にみる浮世絵版画の水面形態別にみた構図の特徴— / 日本大学 [学] 稲葉 諒介・岡田 智秀・横内 憲久
- IV-003 中小河川における景観の情調の導出について / 土木研究所 [正] 鶴田 舞・萱場 祐一
- IV-004 百間川河口水門増築事業の竣工(江戸から昭和・平成の河口水門掘り込み)について / [正] 大塚 尚志・兒子 真也
- IV-005 農村景観保全のための「コンパクトファーム」の提案と実現化方策に関する研究—現行法制度分析および行政ヒアリングを通じて— / 日本大学 [学] 小泉 雄大・横内 憲久・岡田 智秀
- IV-006 住戸の表に設置される鉢植えが多すぎる場合のシグナル—住民の地域コミュニティとの関係を測る指標となり得るか— / 佛教大学 [正] 水上 象吾

## ■景観評価・分析 / 13:00~14:20 / 高尾 忠志(九州大学)

- IV-007 地熱発電所の景観評価と印象評価の関係性に関する一考察 / 香川高等専門学校 [学] 岡田 加奈子・今岡 芳子
- IV-008 河川空間の樹林等の維持管理における景観評価手法の活用 / 土木研究所 寒地土木研究所 [正] 柏谷 和久・藤浪 武史・岩田 圭佑
- IV-009 街路景観の定量的把握による地区イメージの抽出 / 大阪工業大学 [学] 伊藤 潤・田中 一成・吉川 眞
- IV-010 神戸・北野界隈におけるソーシャルメディアを活用した地域景観分析 / 奈良県庁 [正] 仲谷 恭平・吉川 眞・田中 一成
- IV-011 ソーシャルメディアを用いた駅周辺環境の分析 / 大阪工業大学 [学] 三井 佑真・吉川 眞・田中 一成
- IV-012 大阪・梅田地区における緑環境の景観分析 / パスコ [正] 村野 大智・吉川 眞・田中 一成

## IV-1 (農学部1号館第1講義室) / 9月17日(木)

## ■物流 / 10:40~12:00 / 石黒 一彦(神戸大学)

- IV-013 駅前広場における荷捌き処理の実態に関する基礎的研究 / 日本大学 [学] 森田 翔・大沢 昌玄・広川 卓也
- IV-014 中国における医療物流のビジネスモデル考察 / ロジデザイン [正] 田中 純夫
- IV-015 社会基盤としての貨物鉄道についての一考察 / JR貨物 [正] 小出 裕之・角田 仁・厲 国権
- IV-016 我が国と中国中部地域との国際フェリー・RORO船貨物流動に関わるロジックモデルの構築 / 国土技術政策総合研究所 [正] 佐々木 友子・渡部 富博
- IV-017 国際海上輸送費用の低減による輸入品の国内流通価格の変化率の算出方法に関する一考察 / セントラルコンサルタント [正] 伊東 弘人・渡部 富博

## IV-1 (農学部1号館第1講義室) / 9月18日(金)

## ■インフラ評価 / 9:00~10:20 / 柳秀 秀樹(東京大学)

- IV-018 経済成長とインフラの整備水準の関連性に関する国際比較研究 / 京都大学 [学] 田中 謙士朗・神田 佑亮・藤井 聡
- IV-019 交通機関選択時の「質」に関する一考察—北陸新幹線VS航空— / 金沢大学 [学] 南 貴大・杉田 亘・玉森 祐矢
- IV-020 交通・立地統合均衡モデルによる金沢山側環状道路の便益評価分析 / 金沢大学 [学] 大澤 脩司・中山 晶一郎・高山 純一
- IV-021 地域鉄道における持続的経営に関する研究 / パシフィックコンサルタンツ [正] 越野 隆夫・KAWAI EIJI

## ■土木史(1) / 10:40~12:00 / 知野 泰明(日本大学)

- IV-022 空間情報技術を活用した讃岐・高松の変遷景観把握 / [正] 高橋 良尚・吉川 眞・田中 一成
- IV-023 絵図を用いた歴史的景観の復元 / 大阪工業大学 [学] 中司 絵介・吉川 眞・田中 一成
- IV-024 「土木デジタルアーカイブス」利活用促進に向けた課題の検討 / 北海道教育大学 [正] 今 尚之・原口 征人
- IV-025 土木の貴重映像を残す重要さと課題 / 全国建設研修センター [正] 榊山 清人

- IV-026 未公開資料の鉄道唱歌を基軸とした地方都市の地域活性化に向けた検討—『烏寶線鉄道唱歌』の解明と近代後期以降の地域様態の把握を中心として— / 足利工業大学 [学] 布施 和也・福島 二郎・藤井 啓太
- IV-027 東京都内における土木遺産の現状に関する分析 / 日本大学 [学] 上田 真生・藤枝 正樹・森谷 文暁

## ■土木史(2) / 13:00~14:20 / 林 倫子(立命館大学)

- IV-028 本宮堰堤の歴史的・文化的価値について / 富山県 [正] 尾定 琢・椎葉 秀作・高畑 裕介
- IV-029 稼動下にある土木遺産の評価に関する調査—清洲橋・永代橋を対象として— / 日本大学 [学] 藤枝 正樹・上田 真生・五十畑 弘
- IV-030 高速道路の環境対策史(山陽自動車道 玉島—早島・岡山) / 日特建設 [F] 中村 眞
- IV-031 浦上川の河川改修の歴史 / 長崎大学 [F] 高橋 和雄
- IV-032 原初「倭のクニ」は朝鮮半島の北から南迄の大部分を支配していた。その後、倭政権は高句麗・新羅等との戦禍から抜け出て日本列島に進出した。 / 井上達明建築事務所 [正] 井上 達明

## ■地域環境 / 14:40~16:00 / 仲吉 信人(東京理科大学)

- IV-033 クロマツ海岸林の生育評価に関する衛星データの活用 / 日本大学 [学] 中村 佳佑・青山 定敬・岩下 圭之
- IV-034 定点観測地点から内挿した空間情報による習志野市の熱環境評価 / 日本大学 [学] 清水 晴希・朝香 智仁・岩下 圭之
- IV-035 土地被覆の規模と構成比に着目した透水面分布の空間分析 / 摂南大学 [学] 松田 拓也・熊谷 樹一郎・植松 恒
- IV-036 広域的視点での植生分布の空間特性の変遷について / 摂南大学 [学] 松田 優花・熊谷 樹一郎・植松 恒
- IV-037 透水面の広域分析における水域の影響について / 摂南大学 [学] 岩田 健太郎・熊谷 樹一郎・植松 恒

## IV-2 (農学部1号館第3講義室) / 9月16日(水)

## ■防災計画(1) / 9:00~10:20 / 松丸 亮(東洋大学)

- IV-038 我が国の自然災害に対するリスク指標Gross National Safety for natural disasters (GNS) の開発 / 横浜国立大学 [学] 下野 勘智・菊本 統・伊藤 和也
- IV-039 甚大な災害時に情報がないことから得られる情報 / 大阪産業大学 [正] 藤長 愛一郎・佐々木 哲男
- IV-040 衛星利用型地形社会モデルによる鎌倉の津波人命リスクの評価と対策 / 遠感環境モニター [正] 金子 大二郎
- IV-041 東京都低平地における水害時の危険度評価と区域の分類 / 中央大学 [学] 高梨 太郎・佐藤 尚次
- IV-042 大規模水害時を想定した避難者配分計画に関する研究 / 愛知工業大学 [学] 原田 明日香・小池 則満
- IV-043 ワイブル分布による被災者数のベイズ推定 / 神戸大学 [学] 小谷 稔・飯塚 敦・河井 克之

## ■防災計画(2) / 10:40~12:00 / 松田 曜子(関西学院大学)

- IV-044 江の島・片瀬海岸・鶴沼地区来訪者の津波防災意識について / 東洋大学 [正] 松丸 亮・川口 竜馬
- IV-045 水害時における避難行動要支援者支援に関する分析—萩市須佐地区を対象として— / 琉球大学 [学] 峰 翔太・神谷 大介・赤松 良久
- IV-046 暴風雪災害における住民の防災意識とリスクコミュニケーションに関する研究 / 北見工業大学 [学] 山越 一輝・高橋 清・萩原 亨
- IV-047 地方紙に着目した非豪雪地域における2014年2月豪雪の社会的影響の分類とその特徴 / 山梨大学 [学] 坂口 和則・秦 泰範
- IV-048 東京都内における鉄道の自然災害に対する脆弱性の検討 / 中央大学 [学] 金子 貴裕・佐藤 尚次
- IV-049 災害時要配慮者を考慮した土砂災害避難計画の検討 / オリエンタルコンサルタンツ [正] 木村 美瑛子・中尾 毅

## ■防災計画(3) / 13:00~14:20 / 藤生 慎(金沢大学)

- IV-050 津波被災経験地住民と津波被災危機地住民の津波防災意識の比較—インドネシア国アチェ州および西ジャワ州における検証— / 山口大学 [学] 池田 誠・朝位 孝二
- IV-051 多様な地域的価値を育む海岸防災施設のあり方に関する研究—「広村堤防」と広川町住民との関わりからみた津波防災活動に着目して— / 日本大学 [学] 鴨 諸一・横内 憲久・岡田 智秀

- IV-052 ソフト対策を組み込んだ大規模地震時の食品製造企業の  
フォルトツリー作成に関する研究／東京海上日動リスク  
コンサルティング [正] 津田 喜裕・矢代 晴実・鳥澤 一晃
- IV-053 移動速度のばらつきを考慮した津波被災人口の評価方法に  
関する研究／[正] 藤田 謙一・矢代 晴実
- IV-054 東北地方太平洋沖地震が福島県の道路網へ及ぼした影響の  
分析／東北工業大学 [学] 村井 貞規
- IV-055 建築構造モデルの物性値の不確定性が応答に及ぼす影響の  
評価手法に関する研究／東京工業大学 [正] 飯山 かほり・  
細 政貴・盛川 仁

#### IV-2 (農学部1号館第3講義室) / 9月17日(木)

##### ■交通流・交通制御(1) / 9:00~10:20 / 西内 裕品(長岡技術科学大学)

- IV-056 携帯プローブデータを用いた国道53号津島交差点付近におけ  
る交通特性分析／中国地方整備局岡山国道事務所 [正] 山下  
英夫
- IV-057 都市間高速道路におけるBluetooth通信を活用した工事渋  
滞時の所要時間情報の試験提供／西日本高速道路 [正] 松  
下 剛・吉田 正紀・谷 和博
- IV-058 高速道路のサグ部等における速度回復情報提供の渋滞緩和  
効果について／東日本高速道路 [正] 原山 哲郎・出澤 勝  
男・後藤 誠
- IV-059 ビデオ観測データに基づく高速道路単路部の車線利用率偏  
在要因の考察／芝浦工業大学 [学] 山口 恭平・清田 裕太  
郎・野中 康弘
- IV-060 路線バスの到着遅延分布の形状に着目した時間信頼性評価  
／芝浦工業大学 [学] 小山 真弘・岩倉 成志・柳下 浩
- IV-061 運転整理ルールを内生化した列車遅延連鎖シミュレーショ  
ンの開発／芝浦工業大学 [学] 小林 渉・川村 孝太郎・岩  
倉 成志

##### ■交通流・交通制御(2) / 10:40~12:00 / 大橋 幸子(国土技術政策 総合研究所)

- IV-062 ドライビングシミュレーションを用いた信号情報提供シス  
テム導入による追従車の挙動分析／名城大学 [学] 彭 冠  
露・松本 幸正
- IV-063 ラウンドアバウト流入部における道路交通法改正前後での  
車両挙動分析／名古屋工業大学 [学] 安田 宗一郎・鈴木  
弘司
- IV-064 ラウンドアバウトにおける時間帯別の車両走行挙動の分析  
／立命館大学 [正] 小川 圭一・廣瀬 航平
- IV-065 路上駐車規制の実効性に関する実証研究／北海学園大  
学 [正] 堂柿 栄輔・梶田 佳孝・築瀬 範彦
- IV-066 ライジングボードの利用可能性に関する研究／横浜国立  
大学 [学] 寺嶋 修平・中村 文彦・田中 伸治
- IV-067 道路空間デザインがドライバーの協調行動に及ぼす影響に関  
する研究／京都大学 [学] 中山 昂彦・宮川 愛由・藤井 聡

#### IV-2 (農学部1号館第3講義室) / 9月18日(金)

##### ■測量・リモートセンシング(1) / 9:00~10:20 / 小西 智久(広島工 業大学)

- IV-068 高分解能衛星WorldView-3を用いた都市内緑地公園に対す  
る画像セグメンテーションの比較検討／日本大学 [学] 高  
岩 直彰・羽柴 秀樹
- IV-069 Worldview3 衛星による都市域土地被覆の画像判読特性の  
初期的検討／[学] 村本 準・羽柴 秀樹
- IV-070 新世代静止気象衛星が観測した地球表面温度について／日  
本大学 [正] 杉村 俊郎・内田 裕貴・村井 渉
- IV-071 多偏波SAR画像を用いた都市密度の推定と多都市間での  
比較／京都大学 [正] 須崎 純一・岸本 将明

##### ■測量・リモートセンシング(2) / 10:40~12:00 / 杉村 俊郎(日本大学)

- IV-072 三河港におけるGNSS測量による検潮所の高さ管理と平均  
海面水位の変動特性について／玉野総合コンサルタン  
ト [正] 近藤 泰徳・鈴木 信昭・石黒 武文
- IV-073 観測測位データのカルマンフィルタ処理による適応評価／  
大成建設 [正] 近藤 高弘・川手 伸哉
- IV-074 「新技術を活用した構造物周辺堤防における抜上がり量の  
計測試験について」／パスコ [正] 中川 玉美・高田 浩穂・  
安部 徹
- IV-075 吾嬬橋の3Dレーザスキャナによる鋼材端部計測の精度検  
証に関する一検討／関東測量 [正] 大橋 祥子・濱本 朋久・  
小林 雅人
- IV-076 デジタルカメラと画像処理技術を活用した土木構造物の変

- 位計測システムの研究／JR東海 [正] 大野 雄史・加藤 信  
二郎・衣笠 貢司
- IV-077 写真測量、屋上GNSS基準点測量および屋上TS細部測量に  
よる高精度3D都市モデル／中央工学校 [正] 久保寺 貴  
彦・那須 充・草野 克己

##### ■測量・リモートセンシング(3) / 13:00~14:20 / 中西 航(東京大学)

- IV-078 地球観測衛星データを用いた広島土砂災害対応について／  
広島工業大学 [正] 小西 智久・菅 雄三・平原 直晃
- IV-079 航空レーザ測量データを活用した土砂災害調査に関する研  
究／広島工業大学 [学] 平原 直晃・菅 雄三・小西 智久
- IV-080 地球観測衛星データを用いた土地被覆変化検出に関する研  
究／広島工業大学 [学] 平尾 裕斗・菅 雄三・小西 智久
- IV-081 損壊家屋解体願出申請から見た震災復興について／秋元技  
術コンサルタンツ [正] 阿部 和正・今西 肇
- IV-082 空中写真測量とナローマルチ測定の合成による三次元構造モ  
デルの作成／関東地方整備局 東京湾口航路事務所 [正] 内  
川 直洋・野口 孝俊・津口 雅彦

##### ■公共交通 / 14:40~16:00 / 福本 雅之(豊田都市交通研究所)

- IV-083 広島市内の路面電車の速達性に関する研究／広島工業大  
学 [正] 大東 延幸・小川 裕介
- IV-084 過疎地域におけるモビリティ確保に関する研究—栃木県那  
珂川町・茂木町を例として—／足利工業大学 [学] 松山  
将之・築瀬 範彦・藤島 博英
- IV-085 正確なバス停アクセス距離データを用いたバス需要推定手  
法の提案／芝浦工業大学 [学] 田中 寛朗・遠藤 玲・岡本  
和樹
- IV-086 コミュニティバス利用者の情報取得環境とバス情報に対す  
るニーズの把握／名城大学 [学] 石川 雄己・松本 幸正
- IV-087 バス停・トリップ特性に着目したコミュニティバス利用者  
数の変化要因の分析／名城大学 [学] 伊藤 真章・松本 ユ  
キマサ
- IV-088 コミュニティバス路線網の維持における住民の主体的関与  
の意向分析／大阪市立大学 [学] 沢田 有美恵・倉嶋 祐介・  
内田 敬

#### IV-3 (農学部1号館第4講義室) / 9月16日(水)

##### ■住民参加・パブリックインボルブメント / 10:40~12:00 / 長曾我部 まどか(和歌山大学)

- IV-089 住民参加の梯子に見る住民参加のプロセス／関西大  
学 [学] 北村 良太・北詰 恵一
- IV-090 京都市東山区における自主防災組織の役割と実働に関する  
研究／京都大学 [学] 大道 一歩・小山 真紀・清野 純史
- IV-091 継続的なまちづくり活動に向けた「参加の動機」が組織運営  
に与える影響—活動者の観点に基づく分析—／西部技術コ  
ンサルタント [正] 田邊 信男・氏原 岳人・阿部 宏史
- IV-092 建設産業と地域を繋ぐ広報紙発行の取り組み／エコロジ  
サイエンス [正] 樋口 勲・瀬戸 民枝・丸山 賢
- IV-093 政策情報の物語化が受け手の態度変容に与える効果に関す  
る実証的研究／京都大学 [学] 高橋 祐貴・川端 祐一郎・  
宮川 愛由
- IV-094 地域交通づくりの実践課程におけるモビリティグループの  
考察／兵庫県立福祉のまちづくり研究所 [正] 北川 博巳

##### ■鉄道計画 / 13:00~14:20 / 寺部 慎太郎(東京理科大学)

- IV-095 ホーチミ都市鉄道1号線軌道設計検討業務／日本線路技  
術 [正] 小山 寿一・齊藤 秀・間宮 秀士
- IV-096 線路の接続計画ならびに分岐器挿入における計画及び実績  
／東日本旅客鉄道 [正] 成瀬 大祐・旦代 雅人
- IV-097 嵯峨野線 京都・丹波口間新駅設置／JR西日本 [正] 濱上  
洋平・松尾 優・岡田 亮兵
- IV-098 JR横須賀線武蔵小杉新駅開業による鉄道利用の変化に関す  
る一考察／JR東日本 [正] 鈴木 僚・森 敬芳・竹内 美礼
- IV-099 駅設備計画検討支援システムの活用／鉄道建設・運輸施設  
整備支援機構 [正] 小森谷 隆・内田 雅洋・落合 弘明
- IV-100 武蔵野線北朝霞駅の混雑緩和対策について／JR東日本 [正] 伊  
藤 祐二・齋藤 秀行・細川 紀夫

#### IV-3 (農学部1号館第4講義室) / 9月17日(木)

##### ■観光・中心市街地活性化 / 10:40~12:00 / 長田 哲平(宇都宮大学)

- IV-101 都市再生整備計画における観光関連目標指標の達成度把握  
及び計画事業の効果分析／法政大学 [学] 外村 剛久・宮  
下 清栄



- IV-102 我が国におけるWi-Fiの整備実態に関する一考察—主要な空港・港・観光地・ターミナル駅を対象として—／金沢大学 [正] 藤生 慎・大澤 脩司・中山 品一郎
- IV-103 住民意識調査に基づく買い物支援策導入による中心市街地への影響に関する分析／和歌山工業高等専門学校 [正] 櫻井 祥之・伊勢 昇・湊 絵美
- IV-104 首都圏における駅商業施設の実態と分析／東京都市大学 [学] 中村 大紀・中村 隆司
- IV-105 ぐんま“まちづくり”ビジョンの策定と都市計画区域マスタープランの改訂による持続可能なまちづくりへの転換について／群馬県 [正] 高田 直樹・中島 聡

### IV-3 (農学部1号館第4講義室) / 9月18日(金)

#### ■都市・地域計画 / 9:00~10:20 / 瀬谷 創 (広島大学)

- IV-106 空き家分布の広域把握を前提としたライフラインデータと地理空間データとの空間解析の試み／摂南大学 [学] 黒田 佳郎・熊谷 樹一郎
- IV-107 マイクロジオデータを用いた各種生活基盤施設の消失予測と将来居住困難地域の分布推定／東京大学 [正] 秋山 祐樹・柴崎 亮介
- IV-108 東京大都市圏における政策区域と人口動向—自然増減と社会増減に着目して—／東京都市大学 [学] 渡邊 賢太郎・中村 隆司
- IV-109 土地区画整理事業の小規模化と公共用地創出状況に関する研究／日本大学 [正] 大沢 昌玄・岸井 隆幸
- IV-110 建物マイクロデータを用いた施設への生活利便性アクセシビリティ評価／名城大学 [学] 鈴木 宏幸・鈴木 温
- IV-111 立地適正化計画策定に向けた生活利便性・安全性・都市経営の地区間・地区内比較に関する基礎的研究／九州大学 [学] 豊田 航太郎・加知 範康・塚原 健一

#### ■歩行者・自転車交通 / 10:40~12:00 / 中村 一樹 (香川大学)

- IV-112 ゲームフィケーションを導入した交通行動変容アプリの開発と試行／熊本大学 [学] 中嶋 諒太・佐藤 貴大・円山 琢也
- IV-113 公共地下空間における歩行者行動／オオバ大阪支店 [正] 松尾 佳津史・田中 一成・吉川 眞
- IV-114 Social Force Modelを用いたセグウェイ挙動の再現に関する基礎的研究／長岡技術科学大学 [正] 西内 裕晶・佐野 可寸志・加藤 凜
- IV-115 大阪市における自転車走行環境とルート選択／大阪工業大

学 [学] 灘 弘貴・田中 一成・吉川 眞

- IV-116 自転車運転者の違反実態と個人属性の関連分析—東京都世田谷区の生活道路を対象として—／国士舘大学 [学] 山下 浩一朗・寺内 義典・稲垣 具志
- IV-117 自転車の安全利用条例の策定状況／岩手県立大学 [F] 元田 良孝・宇佐美 誠史

#### ■交通安全 (1) / 13:00~14:20 / 松下 剛 (西日本高速道路)

- IV-118 高速道路における自動二輪車事故の要因分析／名古屋工業大学 [学] 今田 和喜・鈴木 弘司・荻野 弘
- IV-119 視覚誘導の特殊路面標示による速度抑制効果について／NEXCO西日本 [正] 天雲 宏樹・中井 拓郎・中村 真幸
- IV-120 生理指標を用いたドライバーのカーブ曲線における心理的負担の計測と安全性の検討／東京都市大学 [学] 奥田 知貴
- IV-121 道路トンネルの火災時における足下灯の避難誘導効果／土木研究所 [正] 石村 利明・砂金 伸治・森本 智
- IV-122 大型車両への警告効果を高めたランブルストリップスの開発／土木研究所寒地土木研究所 [正] 高田 哲哉・平澤 匡介・石田 樹
- IV-123 画像解析技術を用いた交通規制安全管理システムの構築実験／ケー・エフ・シー [正] 道上 剛幸・羽馬 徹・岩谷 一郎

#### ■交通安全 (2) / 14:40~16:00 / 吉城 秀治 (福岡大学)

- IV-124 生活道路におけるハンプ等の速度抑制対策の効果的な表示内容に関する調査／国土技術政策総合研究所 [正] 大橋 幸子・鬼塚 大輔・稲野 茂
- IV-125 ハンプの設置間隔の違いにおける利用者意識に関する一考察／国際航業 [正] 鬼塚 大輔・大橋 幸子・稲野 茂
- IV-126 冬期道路の吹雪危険度評価技術に関する研究 (3) —吹雪時における視程障害への沿道環境条件の影響について—／土木研究所寒地土木研究所 [正] 武知 洋太・松澤 勝・伊東 靖彦
- IV-127 運転免許非保有者の交通規則・交通マナーの知識量に関する基礎的研究—高専生を事例に—／呉工業高等専門学校 [学] 西岡 恵里奈・山岡 俊一・佐賀野 健
- IV-128 地域特性による自動車運転免許返納の要因と意識構造に関する研究／豊田工業高等専門学校 [正] 野田 宏治・山岡 俊一・大森 峰輝
- IV-129 地方都市における運転免許返納意向に対する公共交通割引特典の影響分析／和歌山工業高等専門学校 [学] 反田 吉紀・伊勢 昇・櫻井 祥之

## 第V部門

土木材料、舗装工学、コンクリート工学、コンクリート構造、木材工学など

### V-1 (文法経講義棟11番講義室) / 9月16日(水)

#### ■ひび割れ (1) / 9:00~10:20 / 細田 暁 (横浜国立大学)

- V-001 地下トンネルのひび割れ漏水における注入補修材料の充填性に関する実験的検証／NTT [正] 石川 琢也・川端 一嘉・出口 大志
- V-002 ひび割れ注入に用いるエポキシ樹脂の耐久性評価／コニシ浦和研究所 [正] 尾藤 陽介・堀井 久一
- V-003 自己治癒によるひずみ硬化型セメント複合材料のひび割れ閉塞の観測／東京都市大学 [学] 渡邊 和貴・栗原 哲彦
- V-004 凝結遅延モルタルの流動性に関する検討を用いたひび割れ抑制手法の実構造物における施工実験／鹿島建設 [正] 小林 聖・佐野 忍・坂田 昇
- V-005 維持管理現場から診たコンクリート／西日本高速道路 [正] 鈴木 廣治・丸 章夫

#### ■ひび割れ (2) / 10:40~12:00 / 西岡 真帆 (清水建設)

- V-006 膨張材を添加した低熱高炉セメントと鉛直パイプクーリングの水門構造物への適用／奥村組 [F] 東 邦和・塚本 耕治・森田 修二
- V-007 鉄道ラーメン高架橋の初期ひび割れに関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 笠 裕一郎・藤岡 慶祐・田所 敏弥
- V-008 トンネル覆工コンクリートの初期ひび割れ抑制に関する検討／大成建設 [正] 武田 均・白井 達哉・村田 裕志
- V-009 水門床版コンクリート (躯体厚3m) の水平パイプクーリングの効果／奥村組 [正] 山田 浩平・齋藤 隆弘・小原 昭彦
- V-010 温度ひび割れ抑制が可能な型枠と養生方法に関する研究／東日本旅客鉄道 [正] 谷村 将規・石山 大祐・西脇 敬一

#### ■ひび割れ (3) / 13:00~14:20 / 溝渕 利明 (法政大学)

- V-011 格子等価連続体モデルLECOMを使用した鉄筋拘束試験体の解析／オリエンタル白石 [正] 原 健悟・齋藤 幸治・石川 靖晃
- V-012 マルチスケール統合モデルによる覆工コンクリートの若材齢ひび割れ解析と影響因子の定量評価／東京大学 [正] 田辺 詩織・石田 哲也・土屋 智史
- V-013 損傷モデルを用いたコンクリート中の物質移動解析手法の開発とその性能評価／茨城大学 [正] 車谷 麻緒・小林 賢司・岡崎 慎一郎
- V-014 コンクリート構造物におけるひび割れ中のキャピテーションエロージョンの検知／東京工業大学 [学] 大塚 邦朗・千々和 伸浩・岩波 光保
- V-015 ASRが生じたコンクリートの空間的ひび割れ状態の把握に関する基礎的研究／神戸大学 [学] 星野 翔太郎・三木 朋広

### V-1 (文法経講義棟11番講義室) / 9月17日(木)

#### ■構造設計 (1) / 9:00~10:20 / 村田 裕志 (大成建設)

- V-016 鉄道RC高架橋の設計標準化に関する検討および考察／東日本旅客鉄道 [正] 阿部 紗希子・田附 伸一・岩田 道敏
- V-017 コンクリート道路橋における部分係数設計法の適用に向けた抵抗係数に関する一検討／土木研究所 [正] 林 克弘・和田 圭仙・石田 雅博
- V-018 斜角を有する河川橋りょうの中間橋脚断面力に関する一考察／東日本旅客鉄道 [正] 堀内 俊輔・田附 伸一



- V-019 ウェブ構造及び断面構造が異なる主桁が接合するPRC箱桁橋の柱頭部横桁の設計／大成建設 [正] 細谷 学・長尾 賢二・福田 雅人
- V-020 1・2期線一体の基礎を有するラーメン橋における2期線の計画と設計／東日本高速道路 [正] 宇山 友理・東田 典雅・齋藤 宏

■構造設計(2) / 10:40~12:00 / 牧 剛史(埼玉大学)

- V-021 PRC桁を用いた補強盛土一体橋梁の常時および地震時応答に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 古屋 卓稔・下津 達也・轟 俊太郎
- V-022 背割り式ラーメン高架橋の解析モデルに関する一考察／北武コンサルタント [正] 京田 英宏・渡辺 忠朋
- V-023 背割り式ラーメン高架橋の隣接ブロックの影響評価に関する一考察／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 友竹 幸治・栗原 啓之・井口 重信
- V-024 鋼製セグメントとRC躯体接合部を想定したフランジを有する孔あき鋼板ジベルのせん断実験／首都高速道路 [正] 副島 直史・吉武 謙二・仲山 賢司
- V-025 鋼製セグメントとRC躯体接合部を想定したフランジを有する孔あき鋼板ジベルの引張実験／清水建設 [正] 仲山 賢司・副島 直史・吉武 謙二
- V-026 鋼製セグメントとRC躯体接合部を想定したフランジを有する孔あき鋼板ジベルの曲げ試験／清水建設 [正] 波多野 正邦・副島 直史・吉武 謙二

V-1 (文法経講義棟11番講義室) / 9月18日(金)

■構造物調査・診断(1) / 9:00~10:20 / 田中 秀治(ウエスコ)

- V-027 デジタル画像によるコンクリート構造物のひび割れ自動抽出技術の開発／首都高技術 [正] 佐藤 久・早坂 洋平・永見 武司
- V-028 近接目視の相当するインフラ構造物の外観劣化情報の取得法の開発／長崎大学 [学] 小宮 允人・木本 啓介・西川 貴文
- V-029 無指向型アレリアンテナを用いた電磁波レーダ法による鉄筋再構成／愛媛大学 [学] 岸岡 大樹・中畑 和之・清 良平
- V-030 コンクリート構造物の打音解析に基づくトンネル調査／首都高技術 [正] 窪田 裕一・由井 稔也・叶 嘉星
- V-031 回転式点検打音診断支援システムの開発／ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 阿部 浩樹・上市 市蔵・川名 康夫
- V-032 表面吸水試験装置と目視評価を用いた既存コンクリート構造物の表層品質調査／長岡工業高等専門学校 [学] 品川 彰・井林 康

■構造物調査・診断(2) / 10:40~12:00 / 鈴木 雅博(ピーエス三菱)

- V-033 多配列地中探査レーダによる中空床版橋ボイド上面かぶりの状況把握／西日本高速道路 [正] 加藤 寛之・上田 憲寿・徳永 賢児
- V-034 PC橋梁桁の健全性1次診断方法としての弾性波速度測定／大進コンサルタント [正] 炭谷 浩一・岩野 聡史・山下 健太郎
- V-035 コア削孔を用いた内部ひずみ測定手法のRC部材への適用に関する検討／三井住友建設 [正] 佐橋 宗明・小林 勇佑・伊藤 始
- V-036 PCシースを透過および反射した弾性波の周波数特性に関する検討／京都大学 [学] 山口 紘平・大島 義信・河野 広隆
- V-037 MFLによるPC鋼材破断NDTの適用に関する実験検討／高速道路総合技術研究所 [正] 宮永 憲一・萩原 直樹・青木 圭一

■構造物調査・診断(3)・品質管理・検査(1) / 13:00~14:20 / 濱田 譲(ジェイアール西日本コンサルタンツ)

- V-038 既設橋梁のフォーミングコンクリート健全性調査／首都高速道路 [正] 松崎 久倫・市川 衡・兼丸 隆裕
- V-039 経年80年の鉄道高架橋におけるコンクリート品質に関する一考察／JR東日本 [正] 高山 充直・井口 重信・松田 芳範
- V-040 RC床版上面の損傷予測に向けた非破壊検査結果と実損傷の相関について／東日本高速道路 [正] 村山 陽・藤井 直己
- V-041 水分供給がかぶりコンクリートのはく離・はく落に与える影響に関する調査報告／東急建設 [正] 前原 聡・鈴木 将充・早川 健司
- V-042 寒中コンクリートを対象とした品質確保の取組／八戸工業大学 [学] 川邊 清伸・阿波 稔・迫井 裕樹
- V-043 経年10数年のコンクリート鉄道高架橋における受け入れ時の単位水量試験の有無と中性化深さに関する考察／東日本旅客鉄道 [正] 松田 康紀・井口 重信・松田 芳範

■品質管理・検査(2) / 14:40~16:00 / 竹田 宣典(大林組)

- V-044 散水処理前後の導電率によるコンクリート表層品質評価のフィジビリティスタディ／東北大学 [正] 皆川 浩・久田 真・田中 博一
- V-045 セメント種の異なるコンクリートの表層品質評価に関する各手法の比較／広島大学 [学] 森 優太・山中 翔太・半井 健一郎
- V-046 コンクリートの透気性・吸水性および空隙構造に与える乾風の影響／東京大学 [学] 鎌田 知久・酒井 雄也・岸 利治
- V-047 コンクリート表層の透気係数と施工条件等の関係性／飛鳥建設 [正] 寺澤 正人・植島 修・川里 麻莉子
- V-048 実構造物の建設現場から採取したコンクリートの最大4年半までの長さ変化に関する一考察／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 山下 修史・小林 薫・平林 雅也
- V-049 コンクリート構造物に生じた豆板の内部確認手法の検討／東日本旅客鉄道 [正] 佐々木 尚美・小林 薫・半井 健一郎

V-2 (文法経講義棟10番講義室) / 9月16日(水)

■塩害(1) / 9:00~10:20 / 高谷 哲(京都大学)

- V-050 海洋構造物における透気係数と塩化物イオン実効拡散係数との関連性に関する基礎的研究／福岡大学 [学] 三浦 明・金堀 雄伍・西嶋 大貴
- V-051 塩化ナトリウム水溶液にコンクリート供試体を浸漬させた場合と浸漬および乾燥を繰り返した場合における塩化物イオンの浸透深さ比較試験／ゼニス羽田 [正] 二見 豪・小林 薫・平林 雅也
- V-052 移流拡散方程式を用いたコンクリート表層部への塩分侵入における乾湿繰り返しの影響の評価／京都大学 [学] 三歩一 奏人・安 琳・野口 恭平
- V-053 塩分がコンクリートの水分平衡特性に及ぼす影響の検討／長岡技術科学大学 [学] 原田 健二・下村 匠
- V-054 凍結防止剤が散布される環境下におけるコンクリート供試体の曝露試験結果／九州大学 [学] 高出 惇也・佐川 康貴・浜崎 智洋
- V-055 耐塩害・高耐久性混和材を用いたコンクリートの塩化物浸透抵抗性／宇部興産 [正] 石田 剛朗・大和 功一郎・山地 功二

■塩害(2) / 10:40~12:00 / 宮本 慎太郎(東北大学)

- V-056 初期高温履歴を与えたコンクリートの塩化物イオン浸透に関する実験的検討／長崎大学 [正] 佐々木 謙二・片山 強・原田 哲夫
- V-057 乾湿繰り返し試験における水分の移流が塩化物イオンの浸透特性に及ぼす影響／鹿児島大学 [学] 福重 耕平・山口 明伸・武若 耕司
- V-058 空気閉塞性や含水状態が塩化物イオン浸透性状に与える影響に関する研究／福岡大学 [学] 金堀 雄伍・植原 弘貴・添田 政司
- V-059 高炉セメント及びフライアッシュを使用したコンクリートの遮塩性能に関する研究／JR東日本 [正] 小林 寿子・塩田 彩夏・上浦 健司
- V-060 海洋環境下に暴露したCaO・2Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>混和材混合コンクリートの塩害抵抗性に関する基礎的研究／鹿児島大学 [学] 坂井 公輔・武若 耕司・山口 明伸
- V-061 混和材種類と複数の養生方法を組み合わせたモルタル供試体の塩分浸透露試験／東京大学 [正] 高橋 佑弥・小柳 翔平・石田 哲也

■塩害(3) / 13:00~14:20 / 林 和彦(香川高等専門学校)

- V-062 海洋環境下に30年間暴露したPCT桁の塩分浸透と鉄筋腐食／ピーエス三菱 [正] 青山 敏幸・岩本 靖・山田 雅彦
- V-063 直交ひび割れを有するモルタルのひび割れからの塩分浸透／日本大学 [正] 齊藤 準平・下邊 悟
- V-064 腐食ひび割れ発生限界腐食量に関する研究／大成建設 [正] 堀口 賢一・丸屋 剛
- V-065 コンクリート中鉄筋の腐食速度とターフェル勾配の関係に関する検討／日本防蝕工業 [正] 竹子 賢士郎・山本 悟・高谷 哲
- V-066 塩害劣化を受けたRC部材の等価耐力の評価手法／香川大学 [学] 山下 泰輔・松島 学・松田 耕作

V-2 (文法経講義棟10番講義室) / 9月17日(木)

■塩害(4) / 9:00~10:20 / 丸屋 剛(大成建設)

- V-067 飛来塩分計測における各種薄型材料の塩分吸着特性／弘前

- V-068 大学 [正] 上原子 晶久・須藤 航太・滝田 真直  
蛍光X線を用いた簡易的な塩化物イオン濃度の測定方法の提案／香川高等専門学校 [正] 林 和彦・井上 翼・林 詳悟
- V-069 コンクリートの塩害に及ぼす凍害の影響に関する道路橋調査／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 川村 浩二・遠藤 裕文・島多 昭典
- V-070 コンクリート表面の含有塩分量C0調査方法の提案／アール・アンド・エー [正] 風間 洋・富山 潤・下地 建
- V-071 モルタル板供試体による凍結防止剤由来の飛散塩分量の評価／東日本高速道路 [正] 山口 恭平・皆川 浩・上原子 晶久

#### ■クリープ・収縮／10:40～12:00／大野 俊夫(鹿島建設)

- V-072 収縮および強度発現性状が異なる高強度RCはりのせん断破壊挙動／東京工業大学 [学] 中村 麻美・松本 浩嗣・二羽 淳一郎
- V-073 軽量骨材および膨張材によるコンクリートの収縮低減効果に関する検討／太平洋セメント [正] 杉山 彰徳・小山 健司・今田 康一
- V-074 高炉セメントを用いたコンクリートの収縮クリープ特性に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 鬼頭 直希・渡辺 健・大野 又稔
- V-075 示差熱重量分析による粗骨材の乾燥収縮率の推定法／フジ技術センター [正] 藤倉 裕介
- V-076 PC有ヒンジ箱桁橋の長期たわみ解析の精度検証／建設技術研究所 [正] 光川 直宏・山崎 祐貴子・福島 誉央
- V-077 ラインセンサタイプ全視野ひずみ計測装置を用いたコンクリート断面内の乾燥収縮ひずみ評価／太平洋セメント [正] 畠田 聖史・兵頭 彦次・落合 昂雄

#### V-2 (文法経講義棟10番講義室)／9月18日(金)

#### ■鋼材腐食(1)／9:00～10:20／加藤 絵万(港湾空港技術研究所)

- V-078 鉄筋の腐食によるコンクリートのひび割れを模擬したRC部材の中心圧縮性状／筑波大学 [学] 藻川 哲平・墨野倉 駿・村井 凌
- V-079 鉄筋の腐食を模擬したRC短部材の中心圧縮試験における3次元画像解析の適用／鉄道総合技術研究所 [正] 大屋戸 理明・金久保 利之・八十島 章
- V-080 載荷速度の違いによる促進腐食PC鋼線の力学的性能と破壊性能／神戸大学 [学] 古川 篤史・森川 英典・美濃 智広
- V-081 補修したプレテンションPC部材の構造性能評価／長岡技術科学大学 [学] 番場 俊介・田中 泰司・下村 匠
- V-082 圧縮鉄筋の腐食によるコンクリートひび割れを模擬したRC梁部材の構造性能／筑波大学 [学] 村井 凌・墨野倉 駿・藻川 哲平
- V-083 通信用管路の腐食状況とMH内環境との関係性に関する調査／日本電信電話 [正] 伊藤 陽・若竹 雅人・田中 宏司

#### ■鋼材腐食(2)／10:40～12:00／審良 善和(鹿児島大学)

- V-084 応力負荷を受けたステンレス鉄筋の模擬溶液中における腐食特性の解明／金沢工業大学 [学] 中島 朋子・宮里 心一
- V-085 施工後9年目を迎える遮蔽型マクロセル腐食対策の効果検証／フジエンジニアリング [正] 梨本 竜太郎・神野 真一朗・宮里 心一
- V-086 断面修復後のマクロセル腐食が鉄筋の腐食速度に与える影響／[学] 井関 宏崇・吉田 隆浩・高谷 哲
- V-087 コンクリート中の溶融亜鉛めっき鉄筋の非破壊診断法に関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 飯島 亨・坂本 誠也・盛永 康文
- V-088 コンクリート中の溶融亜鉛めっき鉄筋の腐食挙動について／那須電機鉄工 [正] 坂本 誠也・盛永 康文・猪砂 利次
- V-089 電気化学的評価による亜硝酸塩の防錆性能に関する基礎的研究／[学] 西嶋 大貴・添田 政司・植原 弘貴

#### ■鋼材腐食(3)・防食(1)／13:00～14:20／山口 明伸(鹿児島大学)

- V-090 耐候性鋼材の曝露試験の年変動の影響とその補正に関する検討／長岡技術科学大学 [学] 中嶋 龍一郎・岩崎 英治・恩田 駿秀
- V-091 実橋曝露試験による凍結防止剤の飛散と鋼橋の腐食に関する調査研究／長岡技術科学大学 [学] 多和田 寛・岩崎 英治・中嶋 龍一郎
- V-092 鋼橋桁端部に施したアルミニウムマグネシウム合金溶射の追跡調査報告／西日本高速道路 [正] 松井 隆行・元井 邦彦・武藤 和好
- V-093 金属溶射の複合サイクル促進試験による耐久性一クロスカットの影響試験／高速道路総合技術研究所 [正] 服部 雅史

- V-094 塩水浸漬・乾燥繰り返しによる鉄筋防錆の基礎実験／寒地土木研究所 [正] 清野 昌貴・島多 昭典・内藤 勲
- V-095 塗替え塗装の耐久性に及ぼす水性塗膜はく離剤の影響評価／JFEエンジニアリング [正] 北川 尚男・貝沼 重信・小林 淳二

#### ■防食(2)／14:40～16:00／山本 誠(住友大阪セメント)

- V-096 ソーラーパネルを用いた間欠通電方式による電気防食の検討／ショーボンド建設 [正] 三村 典正・太田 翔・黒川 公人
- V-097 水掛かり部に電気防食工法を適用する場合の対策方法検討／ショーボンド建設 [正] 黒川 公人・三村 典正・二本 有一
- V-098 コンクリート中鉄筋の電気防食時の腐食速度に関する検討／ナカボーテック [正] 大谷 俊介・吉田 隆浩・蝦名 仁美
- V-099 中性化と内的塩害で複合劣化したRC構造物への流電陽極法の適用／西日本旅客鉄道 [正] 吉田 隆浩・常守 洋・小 城 守
- V-100 貼付け型モルタル極板の繰返し載荷試験による防食に対する影響／保全技術 [正] 大久保 謙治・鹿島 篤志・三村 典正
- V-101 27年経過した実港湾鋼構造物におけるモルタル被覆工法の防食効果／[正] 山本 幸治・山路 徹・与那嶺 一秀

#### V-3 (文法経講義棟12番講義室)／9月16日(水)

#### ■耐震補強／9:00～10:20／仁平 達也(鉄道総合技術研究所)

- V-102 耐震補強鋼材の嵌合式接合部における合理化に関する解析／前橋工科大学 [F] 岡野 素之・多賀 翔一
- V-103 交番載荷荷重により損傷した丸鋼を用いたRC柱の補修効果に関する実験結果／JR東日本 [正] 伊東 典紀・大郷 貴之
- V-104 材料特性の異なるアンボンド型SFRC柱の繰返し二軸曲げ変形特性に関する実験的研究／中部大学 [学] 近藤 貴紀・亀田 好洋・水野 英二
- V-105 鉄筋を柱外周に配置して耐震補強を行った実物大RC柱の変形性能／東日本旅客鉄道 [正] 丸山 哲郎・醍醐 宏治・大郷 貴之
- V-106 高靱性セメント・高強度鉄筋を用いたRC橋脚の変形挙動解析／九州工業大学 [学] 溝上 瑛亮・幸左 賢二・佐藤 崇
- V-107 高強度コンクリートパネルと高強度繊維補強モルタルを用いて補強したRC柱の破壊性状に関する実験的検討／東急建設 [正] 笠倉 亮太・鈴木 将充・黒岩 俊之

#### ■耐震(1)／10:40～12:00／瀧口 将志(九州旅客鉄道)

- V-108 鉄筋コンクリート柱梁接合部を模擬したL形試験体の載荷試験／JR東日本 [正] 石山 大祐・岡司 英明・渡部 太郎
- V-109 梁高を縮小した高架橋の梁柱接合部における構造性能確認実験／JR東日本 [正] 岡司 英明・渡部 太郎
- V-110 超高強度繊維補強コンクリートを用いた高耐震性RC橋脚の耐久性／鹿児島建設 [正] 河野 哲也・曾我部 直樹・玉野 慶吾
- V-111 軸方向鉄筋の座屈およびコンクリートの繰返し劣化特性を考慮したRC柱の変形挙動解析／日中コンサルタント [正] 川瀬 瞳・亀田 好洋・近藤 貴紀
- V-112 座屈する異形鉄筋の圧縮応力一歪関係の提案／筑波大学 [学] 墨野倉 駿・金久保 利之・八十島 章
- V-113 UFC製PCa型枠の座屈抑制効果に関する一考察／鹿児島建設 [正] 玉野 慶吾・曾我部 直樹・山野 慎一

#### ■耐震(2)／13:00～14:20／築島 大輔(東日本旅客鉄道)

- V-114 無筋コンクリート橋脚の打継目性状に関する基礎的検討／西日本旅客鉄道 [正] 坂岡 和寛・土井 達也・大江 崇元
- V-115 NMMによる打継目を有する無筋コンクリート橋脚の地震応答解析／京都大学 [学] 橋本 涼太・小山 倫史・坂岡 和寛
- V-116 コンクリート構造物における打継ぎ面の処理方法の相違が界面強度へ及ぼす影響／立命館大学 [学] 石田 拓也・井上 幸一・渡部 健
- V-117 せん断スパン比が小さいRC柱の正負交番載荷試験／東日本旅客鉄道 [正] 醍醐 宏治・水野 光一朗・小林 将志
- V-118 後施工プレート定着型せん断補強鉄筋と高伸度繊維シートによるRC柱部材の耐震補強／大成建設 [正] 鈴木 三馨・武田 均・岡本 修一
- V-119 鋼板巻立て補強柱内部の鉄筋腐食状況／西日本旅客鉄道 [正] 上田 知保理・吉田 隆浩・荒巻 智

#### V-3 (文法経講義棟12番講義室)／9月17日(木)

#### ■振動／9:00～10:20／水谷 司(東京大学)

- V-120 鉄道RCラーメン高架橋の動的応答に荷重移動速度が及ぼ



- V-121 す影響の検討／法政大学〔学〕山口 大地・藤山 知加子  
GRS一体橋梁の列車通行時の桁たわみ挙動について／鉄道総合技術研究所〔正〕小林 克哉・西岡 英俊・佐々木 徹也
- V-122 広幅員一面吊り長大エクストラード橋の並列ケーブルの制振対策／大成建設〔正〕新庄 皓平・細谷 学・白土 博通
- V-123 広幅員一面吊り長大エクストラード橋における並列ケーブルの空力振動特性と制振に関する検討／京都大学〔学〕荒木 伸哉・白土 博通・八木 知己

■新材料・新工法(構造)／10:40～12:00／滝本 和志(清水建設)

- V-124 エポキシ樹脂被覆高強度PC鋼材に対するVSL工法定着システムの開発／大成建設〔正〕京田 康宏・細谷 学・弓家 猛
- V-125 テーパー型ナットをPC鋼棒定着体としたあと施工アンカー工法に関する検討／東日本旅客鉄道〔F〕小林 薫・平林 雅也
- V-126 接着剤および炭素繊維を適用したブラケット構造の曲げ接着強度の既設コンクリートの強度の影響／京都大学〔学〕川崎 敏嗣・山下 亮・山本 貴士
- V-127 ポリウレタ樹脂を併用した炭素繊維シートによるせん断補強実験／矢作建設工業〔正〕武藤 裕久・野村 敬之・熊谷 紳一郎
- V-128 斜め削孔により定着されたSD490の定着特性について／福山大学〔正〕宮内 克之・下枝 博之・三島 弘敬
- V-129 分割練混ぜが再生骨材コンクリートの強度及びそのバラツキに与える影響／IHI基礎技術研究所〔正〕木作 友亮・戸田 勝哉・伊藤 祐二

V-3 (文法経講義棟12番講義室)／9月18日(金)

■疲労・衝撃／9:00～10:20／藤山 知加子(法政大学)

- V-130 疲労後に凍害を与えて複合劣化させたRCはり部材の耐荷性能／土木研究所〔正〕林田 宏・佐藤 靖彦
- V-131 実交通状態と輪荷重走行試験条件との違いに着目したRC床版の疲労解析／東京大学〔学〕丸野 幹人・前川 宏一
- V-132 疲労とASRの相互作用が道路橋RC床版の耐疲労性に及ぼす影響／日本大学〔学〕前島 拓・子田 康弘・岩城 一郎
- V-133 若材齢時におけるセメントアスファルトモルタル系補修材の動的荷重下の力学特性／鉄道総合技術研究所〔正〕谷川 光・高橋 貴蔵・桃谷 尚嗣
- V-134 輪荷重の繰返し載荷を受けたRC床版の耐力に関する検討／北武コンサルタント〔正〕坂口 淳一・土屋 智史・渡辺 忠朋
- V-135 異形鉄筋の低応力疲労引抜け破壊に及ぼす水の供給の影響／東京大学〔学〕山口 寛史・長井 宏平・松本 浩嗣

■補修・補強(構造)(1)／10:40～12:00／千々和 伸浩(東京工業大学)

- V-136 RCラーメン橋脚の外ケーブルの再補強／首都高速道路〔正〕中村 司・中村 充
- V-137 主桁間隔の狭い鉄道PCI形桁に適用する外ケーブル定着体の実験的検討／西日本旅客鉄道〔正〕湯淺 康史・森川 英典・福田 圭祐
- V-138 鋼管単柱鉄塔と場所打ち杭の定着に関する模型実験／東電設計〔正〕玉置 久也・岡田 浩士・田邊 成
- V-139 打継目を有する低鉄筋比RCはりを対象としたPCM吹付け工法による曲げおよびせん断補強効果／九州大学〔学〕金丸 亜紀・山下 翔真・日野 伸一
- V-140 床版縦目地接合方法の開発／オリエンタル白石〔正〕安田 聖晃・原 健悟・荒木 茂

■補修・補強(構造)(2)／13:00～14:20／上原子 晶久(弘前大学)

- V-141 断面修復厚さがRC部材の破壊性状に及ぼす影響／北海道大学〔学〕柳沼 喜大・佐藤 靖彦・太田 哲司
- V-142 展張格子鋼板筋を用いたRCはりの増厚補強法における補強効果の検証／日本大学〔学〕高木 智子・阿部 忠・塩田 啓介
- V-143 2タイトの鋼板格子筋を用いたRCはりの増厚補強効果／JFEシビル〔正〕吉岡 泰邦・阿部 忠・塩田 啓介
- V-144 高耐久性レジンコンクリートパネルを用いた既設RCはりの曲げ補強効果／九州大学〔学〕岡本 拓也・日野 伸一・本松 崇
- V-145 道路橋コンクリート床版の補修方法が再劣化に及ぼす影響／東北学院大学〔学〕佐藤 陽介・武田 三弘・千葉 洋
- V-146 断面補修後に再劣化したRCはりの点検と耐荷力特性に関する検討／東北大学〔学〕諸橋 拓実・安部 誠司・高田 瞬

■補修・補強(構造)(3)／14:40～16:00／岩波 光保(東京工業大学)

- V-147 繊維シートによって巻立て補強されたRCはりの点検技術

- V-148 橋梁上部構造の拡幅に伴う橋脚横梁の改築と補強／鹿島建設〔正〕山崎 大介・内村 祥史・北村 将太郎
- V-149 地震により損傷した壁部材の応急復旧後の力学的性状／フジタ〔正〕平野 勝識・笹谷 輝勝・後藤 隆臣
- V-150 部材外周を一組のねじふし鉄筋で補強した梁の静的単調曲げ載荷試験／JR東日本〔正〕中村 真二・ヴニャットリン・渡部 太一郎
- V-151 部材外周を複数組のねじふし鉄筋で補強した梁の静的単調曲げ載荷試験／東日本旅客鉄道〔正〕ヴニャットリン・中村 真二・渡部 太一郎
- V-152 斜め引張破壊型RC梁へのDFRCCによるせん断補強実験／大阪市立大学〔学〕大宅 慧・角掛 久雄・久保 英之

V-4 (文法経講義棟14番講義室)／9月16日(水)

■プレストレストコンクリート(1)／9:00～10:20／田中 泰司(東京大学)

- V-153 躯体の一部を先行構築して押出し架設する長大エクストラード橋柱頭部の設計／大成建設〔正〕長尾 賢二・細谷 学・福田 雅人
- V-154 固定支間長の長いPRC多径間連続ラーメン2主版桁橋の構造検討／川田建設〔正〕石橋 亜希子・福田 雅人・村上 賢二
- V-155 メナーゼヒンジを有するPCプレテンション方式13径間連結T桁橋の連結部構造／西日本高速道路〔正〕野田 翼・三田 健大・大久保 孝
- V-156 PC橋の架設時応力の評価における格子モデルの適用性の検討／三井住友建設〔正〕狩野 武・玉越 隆史・水田 崇志
- V-157 格子モデルを用いたPC橋の解析方法に関する一考察／オリエンタルコンサルタンツ〔正〕原田 健彦・岡田 昌之・玉越 隆史

■プレストレストコンクリート(2)／10:40～12:00／青木 圭一(高速道路総合技術研究所)

- V-158 張出し架設で施工中のPC箱桁橋のひずみ計測／川田建設〔正〕中山 良直・林 克弘・石田 雅博
- V-159 固定支保工分割架設で施工中のPC箱桁橋のひずみ計測／元土木研究所〔正〕石井 豪・和田 圭仙・中山 良直
- V-160 光ファイバーを用いたPC鋼より線の緊張力計測／鹿島建設〔正〕横田 祐起・大窪 一正・今井 道男
- V-161 プレストレス量の異なるPC梁における曲げひび割れ挙動と弾性波伝播速度の関係／木更津高専〔正〕石井 建樹・田井 政行・藤ノ木 ひかる
- V-162 高次振動法によるPCケーブルの張力測定／川田建設〔正〕小林 太之・金崎 孝行・小林 大助

■プレストレストコンクリート(3)／13:00～14:20／松本 浩嗣(東京大学)

- V-163 付着型高強度ECFストランドの性能確認試験／神鋼鋼線工業〔正〕細居 清剛・上井 宏記・野田 一成
- V-164 プレテンション桁での仮設PC鋼材配置による鉛直方向クリープ変形抑制方法／三井住友建設〔正〕竹之井 勇・高島 知之
- V-165 スターラップ間隔が持続荷重作用下RC供試体の載荷軸直角方向変形に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所〔正〕大野 又稔・渡辺 健・岡本 大
- V-166 PC鋼材の腐食を生じたプレテンションPC部材の持続荷重下でのたわみ挙動／京都大学〔学〕大島 翔平・宮川 豊章・山本 貴士
- V-167 経年PCまくらぎの耐荷力低下に関する検討／鉄道総合技術研究所〔正〕箕浦 慎太郎・渡辺 勉・曾我部 正道
- V-168 高強度プレストレストコンクリートボールの経年劣化に関する調査研究／九州高圧コンクリート工業〔正〕船本 憲治

V-4 (文法経講義棟14番講義室)／9月17日(木)

■プレキャストコンクリート／9:00～10:20／志道 昭郎(ピーエス三菱)

- V-169 モルタル充填式鉄筋継手を用いたカルバートの継手性能(その1:実験的研究)／ジオスター〔正〕下中村 圭太・藤原 慎八・久保田 伸一
- V-170 モルタル充填式鉄筋継手を用いたカルバートの継手性能(その2:解析評価)／ジオスター〔正〕藤原 慎八・下中村 圭太・久保田 伸一
- V-171 頂版変形ボックスカルバートの有用性に関する考察—ヘキサカルバート／技研〔正〕後藤 琢磨・鷲尾 晴実・長谷川 明
- V-172 PC部材と現場打ち部材の接合部のヒンジ挙動に関する検討／名古屋大学〔学〕大野 優華・大菅 崇之・有田 淳一
- V-173 PC圧着工法によるプレキャストコンクリート部材の力学



- 的性状に関する研究／ヤマックス [正] 松本 康資・日野 伸一・渡邊 允弘  
 V-174 有機繊維を用いた埋設型枠の性能と適用事例／鹿島建設 [正] 本田 智昭・大井 篤・阿部 高

■プレキャストコンクリート／コンクリート製品／10:40～12:00／  
 加藤 卓也(ピーエス三菱)

- V-175 早期脱型するコンクリート製品の膨張材の影響／鶴見コンクリート [正] 丸山 貴吉・柄澤 英明・福室 順也  
 V-176 C-S-H系早強剤を添加したセメントペーストの水和発熱速度に及ぼす温度の影響／東海大学 [学] 佐々木 駿・小山 広光・上村 将吾  
 V-177 フライアッシュを混和したコンクリートの耐凍害性に及ぼす蒸気養生履歴の影響／日本大学 [学] 先名 陵・梅村 靖弘・佐藤 正己  
 V-178 C-S-H系早強剤によるフライアッシュセメントB種を使用したコンクリートの強度発現性／BASFジャパン [正] 作 榮 二郎・井元 晴丈・馬場 勇介  
 V-179 PRC構造のコンクリート柱(電車線路用)の実物大振動台試験／東日本旅客鉄道 [正] 佐々木 崇人・松田 康紀・築嶋 大輔

V-4 (文法経講義棟14番講義室)／9月18日(金)

■付着・定着・継手(1)／9:00～10:20／岡本 大(鉄道総合技術研究所)

- V-180 寒冷条件に置かれる接着系あと施工アンカーの引張耐力の評価／北海道大学 [正] 佐原 愛士・佐藤 靖彦・高橋 宗臣  
 V-181 ひび割れを導入したコンクリートに対するあと施工アンカーの耐力評価のための試験方法／日本ヒルティ [正] 石原 力也・国枝 稔・川口 潤  
 V-182 接着系あと施工アンカーの長期持続荷重特性に関する実験的検討／JR東日本 [正] 井口 重信・大野 貴信・岩崎 和明  
 V-183 接着系あと施工アンカーの引抜き耐力に与える打設角度及び充填率の影響／東日本旅客鉄道 [正] 大澤 章吾・井口 重信・内藤 圭祐  
 V-184 接着系あと施工アンカーの疲労荷重特性に関する実験的検討／JR東日本 [正] 菅原 寛文・井口 重信・廣田 元嗣  
 V-185 PC鋼棒をあと施工定着する構造における引抜き実験／極東興和 [正] 三本 竜彦・三原 孝文・榊 卓也

■付着・定着・継手(2)／10:40～12:00／佐藤 靖彦(北海道大学)

- V-186 あと施工アンカーの性能確認のための実験的研究／高速道路総合技術研究所 [正] 西田 宏司  
 V-187 水酸化カルウム水溶液中における接着系あと施工アンカーの劣化挙動の検討／土木研究所 [正] 富山 慎仁・西崎 到  
 V-188 接着系あと施工アンカーの耐アルカリ性に関する実験的検討／JR東日本 [正] 内藤 圭祐・井口 重信・山田 宣彦  
 V-189 接着系あと施工アンカーの耐アルカリ性に関する試験方法に関する実験的検討／東日本旅客鉄道 [正] 勝山 なつ季・井口 重信・内藤 圭祐

■付着・定着・継手(3)／13:00～14:20／三木 朋広(神戸大学)

- V-190 高強度・太径鉄筋を用いたプレート定着型鉄筋の軸方向定着性能／大成建設 [正] 布川 哲也・真柴 浩・畑 明仁  
 V-191 半楕円形状の拡径加工した鉄筋を用いた鉄筋継手の静的曲げ試験／IHIインフラ建設 [正] 高木 祐介・廣井 幸夫・中村 定明  
 V-192 LNG地上式タンク向けTヘッド工法鉄筋の低温性能確認試験／清水建設 [正] 池田 昇平・伊藤 暁・小谷 龍矢  
 V-193 腐食したPC鋼より線とコンクリートの付着特性に関する検討／京都大学 [学] 長谷川 達彦・宮川 豊章・山本 貴士  
 V-194 連続パサルト繊維複合ロッドの付着性能に関する解明／茨城大学 [学] TRAN VAN THAI・呉 智深・MAHAMAD FAKHRUR REZUAN  
 V-195 定着体を設けた2柱1杭構造の交番載荷試験による破壊形態の検討／東日本旅客鉄道 [正] 諏訪 嵩人・小林 寿子・上 浦 健司

■付着・定着・継手(4)／14:40～16:00／松本 浩嗣(東京大学)

- V-196 主鉄筋の定着に機械式定着を用いた隅角部の性能評価／鹿島建設 [正] 古市 耕輔・後藤 隆臣・桑野 淳  
 V-197 鉄筋コンクリート柱梁ト形接合部の定着方法の影響に関する数値解析的研究／[学] 北川 晴之・鬼頭 宏明  
 V-198 RCボックスカルバート隅角部の配筋合理化に関する実験的研究／大成建設 [正] 村田 裕志・武田 均  
 V-199 機械式継手を塑性ヒンジ部内の同一断面に配置した実大壁部材の力学的性状／東京鉄鋼土木 [正] 小倉 貴裕・後藤 隆臣・平野 勝識

- V-200 高強度主鉄筋を機械式継手で塑性ヒンジ部内の同一断面で接合した壁部材の力学的性状／東京鉄鋼 [正] 後藤 隆臣・小倉 貴裕・平野 勝識  
 V-201 機械式継手を塑性ヒンジ部内の同一断面に配置する工法へのSD490の適用性／フジタ [正] 笹谷 輝勝・後藤 隆臣・小倉 貴裕

V-5 (文法経講義棟19番講義室)／9月16日(水)

■フレッシュコンクリート(1)／9:00～10:20／宮原 茂禎(大成建設)

- V-202 試料の採取時期がブリーディングおよび凝結特性に及ぼす影響／大林組 [F] 近松 竜一  
 V-203 ブリーディングが低水セメント比のモルタルの若材齢における体積変化に及ぼす影響／金沢大学 [学] 山崎 健仁・五十嵐 心一  
 V-204 打込みや締固め方法の違いがブリーディングの発生に及ぼす影響に関する実験的検討／東亜建設工業 [正] 田中 亮一・花岡 大伸・福手 勤  
 V-205 振動条件下でのブリーディング水の発生に関する検討／福岡大学 [学] 測上 翔平・橋本 紳一郎・伊達 重之  
 V-206 非鉄スラグ細骨材を混合したコンクリートの材料分離抵抗性に関する実験的検討／徳島大学 [学] 岡 友貴・橋本 親典・渡邊 健  
 V-207 加振下での間隙通過性と型枠内での鉄筋通過挙動の関係に関する検討／清水建設 [正] 浦野 真次・高橋 圭一・根本 浩史

■フレッシュコンクリート(2)／10:40～12:00／浦野 真次(清水建設)

- V-208 粉体の違いがフレッシュモルタルのレオロジー特性に及ぼす影響に関する一考察／BASFジャパン [正] 大野 誠彦・岸 利治  
 V-209 モルタルのフロー値が静置・振動下におけるレオロジー特性に与える影響／東海大学 [学] 齋藤 拓弥・藤倉 裕介・橋本 紳一郎  
 V-210 モルタルの充填性能に静置・振動下のレオロジー特性が及ぼす影響／東海大学 [学] 中嶋 望・齋藤 拓弥・藤倉 裕介  
 V-211 タンピング試験による重量コンクリートの施工性能評価に関する一検討／徳島大学 [学] 山田 悠二・橋本 親典・渡邊 健  
 V-212 パサルト繊維を用いた短繊維補強コンクリートの流動性に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所 [正] 仁平 達也・田中 章・田中 徹

■ポンプ圧送／13:00～14:20／橋本 親典(徳島大学)

- V-213 鉛直打降し時の材料分離を低減する方法に関する実験的研究／大成建設 [正] 府川 徹・坂本 淳・丸屋 剛  
 V-214 振動加速度の計測によるコンクリートの圧送性の評価～加速度の値を指標とした圧送性評価～／福岡大学 [学] 平川 恭奨・橋本 紳一郎・南 浩輔  
 V-215 振動加速度の計測によるコンクリートの圧送性の評価～加速度のピーク値と周波数を指標とした圧送性評価～／福岡大学 [正] 橋本 紳一郎・平川 恭奨・南 浩輔  
 V-216 振動加速度の計測によるコンクリートの圧送性の評価～振動加速度計と検知管を用いたコンクリートの圧送性評価～／前田建設工業 [正] 中島 良光・南 浩輔・橋本 紳一郎  
 V-217 振動加速度の計測によるコンクリートの圧送性の評価～振動圧電素子を用いたセンサによるコンクリートの圧送性評価～／前田建設工業 [正] 南 浩輔・中島 良光・橋本 紳一郎

V-5 (文法経講義棟19番講義室)／9月17日(木)

■締固め／9:00～10:20／三田 勝也(東京理科大学)

- V-218 異なる周波数のバイブレータを用いたかぶりコンクリートの品質改善の検証／芝浦工業大学 [学] 太田 真帆・八木 勝之・小野寺 三男  
 V-219 ハンチの品質を確保するためのコンクリート締固め方法に関する基礎実験／鹿島建設 [正] 高木 英知・林 大介・横関 康祐  
 V-220 コンクリートの振動締固めが硬化後の気泡分布に及ぼす影響に関する基礎実験／鹿島建設 [正] 池田 真理子・林 大介・橋本 学  
 V-221 加速度計を用いたコンクリート締固め振動の計測／鹿島建設 [正] 露木 健一郎・林 大介・高木 英知  
 V-222 配合が異なるコンクリートの締固め特性に及ぼす鉄筋配置の影響／首都大学東京 [学] 永山 剛・宇治 公隆・上野 敦

■製造・施工／10:40～12:00／谷口 秀明(三井住友建設)

- V-223 湿潤養生条件の影響に及ぼす各種影響要因に関する研究／石川工業高等専門学校 [正] 富田 充宏・熱野 皓己・福留 和人
- V-224 水分供給・逸散および水和解析による養生条件の影響評価に関する研究／安藤ハザマ [正] 野間 康隆・岸 亨祐・福留 和人
- V-225 水平打継面における処理方法の違いが表面形状および付着強度に及ぼす影響／長岡技術科学大学 [学] 二本柳 拓・下村 匠・関 健吾
- V-226 締固め時間や配筋の有無がかぶりコンクリートの品質に与える影響／東京理科大学 [学] 西村 和朗・加藤 佳孝・三田 勝也
- V-227 傾斜があるコンクリート基礎壁面における表面気泡低減効果の検証／五洋建設 [正] 前田 智之・原田 沙里・棚瀬 富弘
- V-228 タングステン製コンクリートミキサ羽根による練り混ぜ性能への寄与／鹿島建設 [正] 戸澤 清浩・大内 齊・岡山 誠

V-5 (文法経講義棟19番講義室)／9月18日(金)

■リサイクル／9:00～10:20／江口 康平(東京理科大学)

- V-229 ギ酸溶解で回収した再生骨材の物性値の変化／東京都市大学 [学] 小川 智彦・栗原 哲彦
- V-230 クリンカー骨材を用いたモルタルの自己治癒性能を中心とした硬化性状に関する研究／宇都宮大学 [学] 根本 雅俊・藤原 浩己・丸岡 正和
- V-231 10年経過した再生粗骨材コンクリートを用いた観察用擁壁のコア抜き調査結果／近畿大学 [正] 麓 隆行・角掛 久雄・鈴木 宏信
- V-232 戻りコンクリートから製造した乾燥スラッジ微粉末を用いた親杭横矢板壁用セメントベントナイト液への有効利用について／三和石産 [正] 大川 憲・宮本 勇馬・青木 真一
- V-233 がれき残渣を骨材として用いたモルタルの安定性／東北大学 [正] 山口 潤・皆川 浩・宮本 慎太郎
- V-234 非鉄スラグ細骨材およびフライアッシュを混和したコンクリートのフレッシュ性状に関する検討／金沢大学 [学] 市原 鴻・久保 善司

■エコ・緑化コンクリート／ライフサイクル(LCC・LCA)／サステナビリティ／10:40～12:00／黒岩 義仁(三菱マテリアル)

- V-235 歩道舗装ブロックの温度特性に関する基礎的検討／首都大学東京 [学] 市川 直樹・上野 敦・宇治 公隆
- V-236 ポーラスコンクリートの空隙構造が水質浄化機能に及ぼす影響／立命館大学 [学] 安部 良介・中新弥・谷貝 有紀
- V-237 環境配慮コンクリートのアルカリ溶出について／大成建設 [正] 大脇 英司・岡本 礼子・宮原 茂樹
- V-238 高炉セメントB種に早強ポルトランドセメントを混合したセメントの諸性状およびCO<sub>2</sub>排出量／トクヤマ [正] 新見 龍男・加藤 弘義・中村 明則
- V-239 廃棄物の資源化を示す環境指標に関する考察—廃棄物・副産物の分類に関する検討—／太平洋セメント [正] 久保田 修・河合 研至・星野 清一
- V-240 建設産業における会社の特性がCSR報告態勢に及ぼす影響／北海道大学 [学] 佐々木 敏樹・Henry Michael

■高流動コンクリート／13:00～14:20／柳井 修司(鹿島建設)

- V-241 連行空気泡を用いた摩擦緩和による硬質砂岩砕砂の自己充填コンクリートへの適用／高知工科大学 [学] 和田 浩輝・大内 雅博
- V-242 海水・海砂を用いた自己充填型コンクリートへのフラッシュの適用性／東洋建設 [正] 竹中 寛・末岡 英二・羽淵 貴士
- V-243 フレッシュコンクリートの流動評価に関する一考察／日本大学 [学] 佐久間 翔平・伊藤 義也・山口 晋
- V-244 流動化剤(増粘剤一液タイプ)を用いたコンクリートの施工性能に関する検討／飛鳥建設 [正] 川里 麻莉子・植島 修・寺澤 正人
- V-245 既設床版直下の高流動コンクリートによる逆打ち試験／大成建設 [正] 鶴田 直樹・渡辺 典男・齋藤 力哉
- V-246 供用中の駅改良工事における高流動コンクリートの適用／鹿島建設 [正] 安田 哲朗・番 敦・青木 康治

■水中コンクリート／14:40～16:00／羽淵 貴士(東亜建設工業)

- V-247 長時間流動性を保持する水中不分散性コンクリートの開発／安藤ハザマ [正] 澤田 純之・村上 祐治・堤 知明
- V-248 シラスコンクリートを用いた水中コンクリートに関する基礎的検討／鹿児島大学 [学] 大園 理貴・武若 耕司・山口 明伸

- V-249 水中不分散性コンクリートの性能向上に関する基礎的検討／太平洋マテリアル [正] 長塩 靖祐・末岡 英二・竹中 寛
- V-250 高密度スラグ骨材を用いた水中不分散性コンクリートのポンプ圧送による水中施工実験／東洋建設 [正] 森田 浩史・竹中 寛・末岡 英二
- V-251 水中不分散性重量コンクリートの配合検討／大林組 [正] 田上 優介・川口 英司・上垣 義明

V-6 (文法経講義棟17番講義室)／9月16日(水)

■舗装材料(1)／9:00～10:20／岩間 将彦(NIPPO)

- V-252 既設グースアスファルト混合物への熱影響検討／首都高速道路 [正] 足助 優二・蒲 和也・井田 達郎
- V-253 グースアスファルト混合物の耐久性向上に関する検討／阪神高速道路 [正] 篠田 隆作・小坂 崇・久利 良夫
- V-254 保水性舗装を応用した虫除け機能を有する舗装の適用性に関する研究／大成ロテック [正] 青木 政樹・細川 博貴・橋本 道明
- V-255 瀝青安定処理路盤のひび割れ抵抗性とその改善に関する研究／長岡技術科学大学 [正] 高橋 修・畑山 惇
- V-256 中温化アスファルト混合物製造時の燃料消費量の削減効果／大成ロテック [正] 加納 孝志・新田 弘之・川上 篤史
- V-257 還元糖によるコンクリート破砕材の六価クロム溶出抑制効果に関する研究／前田道路 [正] 新井田 良一・新田 弘之・西崎 到

■舗装材料(2)／10:40～12:00／東本 栄(大林道路)

- V-258 DSRおよびMSCR試験による中温化アスファルトの性状評価に対する一考察／土木研究所 [正] 辻本 陽子・新田 弘之・西崎 到
- V-259 アスファルトバインダの劣化条件の違いによる性状変化に関する研究／中央大学 [学] 有坂 勇作・前川 亮太・平戸 利明
- V-260 亜臨界水を抽出溶媒とした環境調和型アスファルト抽出試験に関する研究／日本大学 [学] 赤津 恵吾・秋葉 正一・加納 陽輔
- V-261 DSRを用いた長期供用劣化したアスファルトの性状評価結果／東亜道路工業 [正] 小林 真依・村山 雅人・平戸 利明
- V-262 長期供用したアスファルトの組成に変化に関する一検討／東亜道路工業 [正] 設楽 直柔・村山 雅人・平戸 利明
- V-263 SMA混合物における骨材の剥脱飛散抵抗性に関する一検討／ニチレキ 技術研究所 [正] 大嶋 麻奈未・丸山 陽・西田 麻美

■舗装材料(3)／13:00～14:20／高橋 修(長岡技術科学大学)

- V-264 損傷対策型小粒径ポーラスアスファルト混合物の性能と品質規格／首都高速道路 [正] 蔵治 賢太郎・横島 健太
- V-265 長寿命ポーラスアスファルト混合物の開発／前田道路 [正] 谷口 博・黒田 康照・川上 篤史
- V-266 高耐久型橋面排水性舗装の耐久性能評価／阪神高速道路 [正] 石井 亜也加・岡本 信也・木下 孝樹
- V-267 ポーラスアスファルト混合物用バインダの骨材飛散抵抗性を評価する手法の検討／ニチレキ技術研究所 [正] 細木 渉・丸山 陽・寺澤 太一
- V-268 歩道用開粒度アスファルト混合物へのカーボンブラックの適用性—試験練りによる添加量の検討と紫外線劣化性状の評価—／土木研究所 [正] 佐々木 巖・新田 弘之・西崎 到
- V-269 各種耐水性評価方法によるアスファルト混合物の耐水性評価／港湾空港技術研究所 [正] 河村 直哉・森川 嘉之

V-6 (文法経講義棟17番講義室)／9月17日(木)

■新材料・新工法(材料)(1)／9:00～10:20／伊達 重之(東海大学)

- V-270 EVOLUTION OF MICROSTRUCTURE IN MORTARS CONTAINING SUPERABSORBENT POLYMERS DURING THE PERIOD OF INITIAL EXPANSION／金沢大学 [学] 胡 巧英・五十嵐 心一
- V-271 ジオポリマーモルタルの化学的浸食に対する抵抗性／九州工業大学 [学] 深野 雄三・日比野 誠・合田 寛基
- V-272 FAベースのジオポリマーの高温抵抗性に及ぼすアルカリ溶液の種類の影響／大分工業高等専門学校 [正] 一宮 一夫・原田 耕司・津郷 俊二
- V-273 ジオポリマー硬化体のH<sup>+</sup>交換処理粉体によるアルカリシリカ反応の抑制／鉄道総合技術研究所 [正] 佐藤 隆恒・上原 元樹
- V-274 ジオポリマー硬化体の作製法および配合と諸性質／鉄道総



- V-275 合技術研究所 [正] 上原 元樹・南 浩輔・梶田 秀幸  
繊維補強ジオポリマー短まくらぎの実用化に向けた試作  
／ [正] 東原 実・大木 信洋・佐藤 隆恒

- 新材料・新工法(材料)(2) / 10:40～12:00 / 杉橋 直行(清水建設)  
V-276 排水・湿潤連続養生における給水方法の改良に関する検討  
／大成建設 [正] 白井 達哉・奥村 敏弘・坂本 淳  
V-277 コンクリート基礎構造物における熱可塑性樹脂シートによ  
る養生効果／鹿島建設 [正] 坂井 吾郎・温品 達也・藤岡  
彩永佳  
V-278 熱可塑性樹脂シートを用いた水分逸散防止養生による塩分  
浸透抑制効果／鹿島建設 [正] 石井 明俊・渡邊 賢三・温  
品 達也  
V-279 熱可塑性樹脂シート養生による型枠近傍のブリーディング抑  
制機構／東京大学 [学] 細井 雄介・石田 哲也・温品 達也  
V-280 セメントの種類が異なる実規模試験体による熱可塑性樹脂  
シートを用いた養生効果の検討／東京大学 [正] 石田 哲  
也・坂田 昇・藤岡 彩永佳  
V-281 異なる物質透過性試験を用いた熱可塑性樹脂シートの養生  
効果に関する検討／鹿島建設 [正] 藤岡 彩永佳・温品 達  
也・村田 和也

#### V-6 (文法経講義棟17番講義室) / 9月18日(金)

- 新材料・新工法(材料)(3) / 9:00～10:20 / 橋本 紳一郎(福岡大学)  
V-282 超撥水機構を有する型枠を用いたコンクリートの表面気泡  
の抑制効果／清水建設 [正] 依田 侑也・黒田 泰弘・根本  
浩史  
V-283 超撥水機構を有する型枠の材質と勾配がコンクリートの表  
面気泡におよぼす影響／清水建設 [正] 御領園 悠司・前  
田 敏也・辻埜 真人  
V-284 超撥水機構を有する型枠を用いた小型モックアップと試験  
施工／清水建設 [正] 北澤 良平・宮田 佳和・黒田 泰弘  
V-285 ラテックス改質速硬コンクリートの基礎物性／太平洋マテ  
リアル [正] 郭 度連・森山 守・山中 俊幸  
V-286 ラテックス改質速硬コンクリートの耐久性評価／太平洋マ  
テリアル [正] 山中 俊幸・郭 度連・森山 守  
V-287 ラテックス改質速硬コンクリートの物質移動特性に関する  
基礎的研究／宮崎大学 [正] 李 春鶴・塩崎 弘治・郭 度連

- 新材料・新工法(材料)(4) / 10:40～12:00 / 郭 度連(太平洋マテ  
リアル)  
V-288 熱可塑性樹脂シートを用いた養生による橋梁フーチングの品  
質向上／鹿島建設 [正] 村田 和也・渡邊 賢三・温品 達也  
V-289 熱可塑性樹脂シートによる型枠取外し直後の水分逸散防止  
の効果／鹿島建設 [正] 渡邊 賢三・温品 達也・坂井 吾郎  
V-290 熱可塑性樹脂シートを用いた養生がコンクリートの凍結融  
解抵抗性に与える影響／鹿島建設 [F] 坂田 昇・温品 達  
也・渡邊 賢三  
V-291 熱可塑性樹脂シートを用いた養生が早強コンクリートに与え  
る影響／鹿島建設 [正] 温品 達也・渡邊 賢三・村田 和也  
V-292 高温養生を行った常温硬化型UFCの強度特性について／  
大林組 [正] 平田 隆洋・石関 嘉一・桐山 宏和  
V-293 耐久性向上養生剤および高分子系浸透防水材を塗布したコ  
ンクリートの養生効果について／飛鳥建設 [正] 笠井 和  
弘・寺澤 正人・榎島 修

- 新材料・新工法(材料)(5) / 13:00～14:20 / 高井 伸一郎(村本建設)  
V-294 凝結遅延モルタルの流動性向上に関する検討／鹿島建  
設 [正] 池松 建治・小林 聖・園田 佳巨  
V-295 凝結遅延モルタルの打継ぎ部における付着性能に関する検  
討／鹿島建設 [正] 佐野 忍・小林 聖・園田 佳巨  
V-296 橋梁桁端部における水切り材の適用に関する一考察／ネク  
スコ・エンジニアリング東北 [正] 羽柴 俊明・早坂 洋平  
V-297 FRP製車両用通路の設計とモニタリング／パシフィックコ  
ンサルタント [正] 小沼 恵太郎・西田 雅之・江口 修二  
V-298 フライアッシュセメントにメタカオリン含有人工ボゾラン  
を混合したコンクリートの海洋環境下での耐久性に関する  
基礎的検討／鹿児島大学 [学] Bui Quang Hao・武若 耕  
司・山口 明伸  
V-299 メタカオリン含有人工ボゾランを使用したコンクリートの  
中性化抵抗性に関する基礎的研究／鹿児島大学 [学] 畠中  
優成・ブイキヤン ハオ・武若 耕司

- 新材料・新工法(材料)(6) / 14:40～16:00 / 宇野 洋志城(佐藤工業)  
V-300 無機質セメント結晶増殖材を塗布したコンクリートのひび  
割れ透水性に関する実験／日本ザイベックス [正] 木村

- 哲・清水 太一郎・伊藤 義也  
V-301 内部撥水性を有するセメント系材料の開発／埼玉大学 [学] 古  
田 悠佳・榮 堯・浅本 晋吾  
V-302 複数種の補強繊維を使用した軽量セラミックスの強度特性  
について／カナフレックスコーポレーション [正] 横江  
勇・河野 純子・宮崎 健次朗  
V-303 圧縮強度460N/mm<sup>2</sup>を発現する超高強度セメント硬化体の  
開発／太平洋セメント [正] 中山 莉沙・河野 克哉・多田  
克彦  
V-304 短繊維補強コンクリートの部分打ちによる剥落防止工法に  
関する検討／大成建設 [正] 梁 俊・丸屋 剛・坂本 淳  
V-305 イースト菌によるコンクリートひび割れ補修に関する研究  
／埼玉大学 [学] 房 捷・睦好 宏史・ルアン ヤオ

#### V-7 (文法経講義棟15番講義室) / 9月16日(水)

- 維持・修繕(舗装)(1) / 9:00～10:20 / 江向 俊文(前田道路技術研  
究所)  
V-306 新名神高速道路の舗装損傷に関する開削調査結果／西日本  
高速道路 [正] 浜根 方希・洲崎 尚樹・英 恵司  
V-307 高速道路舗装における「強い道づくり(舗装編)」について／  
西日本高速道路 [正] 出雲 真仁・松本 大二郎・中村 和博  
V-308 地下水位が繰返し載荷下のアスファルト舗装各層の弾性係  
数の挙動に与える影響／土木研究所 [正] 渡邊 一弘・堀  
内 智司・久保 和幸  
V-309 小型FWD試験を利用したアスファルト舗装の弾性係数の  
推定／早稲田大学 [正] 小林 尚登・赤木 寛一

- 維持・修繕(舗装)(2) / 10:40～12:00 / 遠藤 桂(日本道路)  
V-310 速硬性混和材を用いた床版補修を伴う舗装補修工事の施工  
事例／福田道路 [正] 北添 慎吾・郭 度連  
V-311 高機能舗装用クラックシール材の開発／西日本高速道  
路 [正] 大原 基憲・足立 明良・本松 資朗  
V-312 高機能舗装用ポットホール補修材の開発／昭和瀝青工業  
技術センター [正] 上坂 憲一・大原 基憲・本松 資朗  
V-313 中温化技術を用いた厚層施工の検討／NEXCO西日本 [正] 澤  
井 良兼・入星 昇  
V-314 全天候型常温温材の開発／ [正] 浅倉 正勝・小野 洋・酒  
井 宏和  
V-315 アスファルト舗装切断水の水質特性と凝集による改質効果  
／ [学] 松本 亜里紗・山口 裕央・星野 繁文

- 維持・修繕(舗装)(3) / 13:00～14:20 / 佐藤 正和(東日本高速道路)  
V-316 東京国際空港国際線エプロン半たわみ舗装のひび割れ防止  
対策／大成建設 [正] 大塚 徳之・天野 喜勝・神谷 誠  
V-317 現場採取コアを用いた長期供用の橋面舗装の基層アスファ  
ルト混合物の劣化状況の評価／神戸大学 [学] 谷 俊平・  
篠田 隆作・久利 良夫  
V-318 現場採取コアを用いた累積輪数の異なる橋面舗装の基層ア  
スファルト混合物の劣化評価／神戸大学 [正] 吉田 信之・  
篠田 隆作・横田 慎也  
V-319 長期熱劣化させたアスファルト混合物の室内劣化評価に関  
する検討／鹿島道路 [正] 神下 竜三・横田 慎也・鎌田 修  
V-320 滑走路舗装における劣化予測モデルの構築／東京都市大  
学 [学] 秋元 宏仁・末政 直晃  
V-321 コンクリート舗装の健全度評価手法に関する検証について  
／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 日東  
義仁・森下 由也

#### V-7 (文法経講義棟15番講義室) / 9月17日(木)

- 構造評価(舗装)(1) / 9:00～10:20 / 久利 良夫(阪神高速道路)  
V-322 動的たわみ計測装置(Moving Wheel Deflectometer)の開  
発と舗装の健全度評価に関する研究(その1)／東京農業大  
学 [正] 竹内 康・川名 太・渡辺 晃志  
V-323 動的たわみ測定装置(Moving Wheel Deflectometer)の開  
発と舗装の健全度評価に関する研究(その2)／東京農業大  
学 [正] 川名 太・竹内 康・松井 邦人  
V-324 動的たわみ計測装置(Moving Wheel Deflectometer)の開  
発と舗装の健全度評価に関する研究 ～一般道での試験結  
果～／東京農業大学 [学] 渡辺 晃志・竹内 康・川名 太  
V-325 固体・流体モデルと均質化法を用いたFWD動的解析にお  
ける粘弾性パラメータの影響に関する検討／中央大  
学 [学] 伊藤 一希・前川 亮太・姫野 賢治  
V-326 小型FWDにおける圧力紙による接地圧測定／日本貨物鉄  
道 [正] 湯浅 昭・上浦 正樹



■構造評価(舗装)(2) / 10:40~12:00 / 中原 大磯(日本道路)

- V-327 インターロッキングブロック舗装における排水条件とたわみの関係 / 太平洋セメント [正] 松本 健一・梶尾 聡・中村 浩章
- V-328 車両走行箇所に大版コンクリートブロックを適用するための載荷試験結果 / 鹿島道路 [正] 加形 護・須田 重雄・唐澤 明彦
- V-329 コンポジット舗装におけるAS中間層が耐久性に及ぼす検証 / 西日本高速道路 [正] 洲崎 尚樹・竹津 ひとみ・本松 資朗
- V-330 東京国際空港国際線エプロン 走行する航空機によりコンクリート舗装に発生する応力測定 / 大成建設 [正] 伊藤 友一・大塚 徳之・天野 喜勝
- V-331 空港を対象とした永久舗装の検討 / 港湾空港総合技術センター [正] 大木 秀雄・菅野 真弘・八谷 好高

V-7 (文法経講義棟15番講義室) / 9月18日(金)

■路面評価(1) / 9:00~10:20 / 亀山 修一(北海道科学大学)

- V-332 16種類の歩行者系舗装に関するすべりと筋電位の評価 / 東亜道路工業 [正] 谷知 尚之・多田 悟士・鬼塚 信弘
- V-333 歩行者系舗装の硬さと筋電位に関する一検討 / 東亜道路工業 [正] 野尻 大祐・多田 悟士・鬼塚 信弘
- V-334 歩行者系舗装の性能の違いが人の筋活動に与える影響とデータの再現性 / 木更津工業高等専門学校 [学] 神田 夕葵・鬼塚 信弘・沢口 義人
- V-335 脈波計測に基づく路面評価を対象とした生体疲労関連指標の検討 / 北見工業大学 [正] 富山 和也・川村 彰・岩本 惇志
- V-336 乗り心地に関する脳波を用いた主観的評価 / 中央大学 [学] 伊東 希典・前川 亮太・姫野 賢治

■路面評価(2) / 10:40~12:00 / 藤原 栄吾(土木研究所)

- V-337 路面の段差形状と車体の振動に関するシミュレーション / 中央大学 [学] 小島 斗輝生・姫野 賢治・高橋 茂樹
- V-338 建設工事におけるIRIの適用性について / 高速道路総合技術研究所 [正] 江口 利幸・田中 裕士
- V-339 IRI共通試験における基準プロファイルの測定方法について / NIPPO [正] 中村 博康・富山 和也・渡邊 一弘
- V-340 EVALUATION OF ROAD ROUGHNESS BY USE OF TWO EFFICIENT ROAD PROFILERS / 北見工業大学 [学] ABULIZI NUERAIHEMATIJIANG・川村 彰・富山 和也
- V-341 貨物に対する高速道路の平坦性診断の検討 / アクト・ファクトリー [F] 山本 武夫・幸園 尚登

■路面評価(3) / 13:00~14:20 / 平川 一成(土木研究所)

- V-342 舗装路面の止水性能の評価に向けた現場透気試験の改良 / 東亜道路工業 [正] 松葉 直博・塚本 真也・渡邊 一弘
- V-343 路面性状測定劣化進行度から推定する深層部健全度評価手法の一考察 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 高井 健志・中村 康広・山田 雄太
- V-344 路面画像撮影車による簡易な路面性状調査技術の検討 / ニチレキ [正] 牧田 哲也・渡邊 一弘
- V-345 道路下に形成された空洞と路面の変形機構と抑制に関する検討 / 日本工営 [正] 太田 敬一
- V-346 路面ひび割れ画像の一致性に関する客観的評価手法の比較 / 中央大学 [学] 須藤 大仁・前川 亮太・姫野 賢治

■路面評価(4) / 14:40~16:00 / 安倍 隆二(土木研究所)

- V-347 コンクリート床版面の詳細な高さ測定例 / 東亜道路工業 [正] 塚本 真也・増戸 洋幸・大西 玲
- V-348 自転車道を対象とした走行時の振動応答による舗装路面の簡易な状態評価 / 東京大学 [学] 山口 貴浩
- V-349 歩行者系舗装の勾配部のすべり抵抗に関する検討 / 土木研究所 [正] 川上 篤史・久保 和幸・小野田 光之
- V-350 積雪凍結路および未舗装路に生じる凹凸路面の発生機構に関する基礎的研究 / 北海道大学 [学] 横見瀬 大地・佐藤 太裕・蟹江 俊仁
- V-351 国道8号福井県内区間における路線滑り評価に関する一考察 / 福井大学 [正] 寺崎 寛章・齊田 光・伊藤 雅基

V-8 (文法経講義棟13番講義室) / 9月16日(水)

■温度応力(1) / 9:00~10:20 / 石川 靖晃(名城大学)

- V-352 早強セメントを用いた膨張コンクリートの温度応力低減効果 / 太平洋セメント [正] 三谷 裕二・大野 拓也・谷村 充
- V-353 低発熱型高炉セメントB種を用いたコンクリートに関する

- 一実験 / 西日本高速道路 [正] 山本 泰造・大城 壮司・岩井 久
- V-354 鉄筋配置による初期ひび割れ幅の低減効果に関する検討 / 鉄道総合技術研究所 [正] 藤岡 慶祐・笠 裕一郎・田所 敏弥
- V-355 長大エクストラードズ橋の大断面柱頭部における温度ひび割れ対策について / 大成建設 [正] 金田 貴洋・細谷 学・福田 雅人
- V-356 凝結遅延モルタルを用いたひび割れ抑制手法に関する施工実験の再現解析 / 九州大学 [正] 玉井 宏樹・園田 佳巨・佐川 康貴

■温度応力(2) / 10:40~12:00 / 渡邊 弘子(月の泉技術士事務所)

- V-357 水冷式パイプクーリングの施工に関する報告 / 川田建設 [正] 有賀 瞬・前本 将志・千竈 康士郎
- V-358 ヒートパイプを用いたパイプクーリングの1次元要素を用いた解析 / 鉄建建設 [正] 伊吹 真一・柳 博文・吉川 信二郎
- V-359 トップヒート型ヒートパイプを用いたクーリング工法に関する解析的検討 / 前田建設工業 [正] 平川 彩織・笹倉 伸晃・田中 麻穂
- V-360 直結系軌道用コンクリート道床の設計に用いる温度変化の影響の特性値に関する検討 / 鉄道総合技術研究所 [正] 測上 翔太・高橋 貴蔵・桃谷 尚嗣
- V-361 精度を向上した温度応力解析によるひび割れ指数とひび割れ発生確率の関係 / 鹿島建設 [正] 関 健吾・横関 康祐・藤岡 彩永佳

■セメント系舗装 / 13:00~14:20 / 梶尾 聡(太平洋セメント)

- V-362 ショットプラストを用いた粗面処理工における投射材の寸法効果 / 高速道路総合技術研究所 [正] 中村 和博・俵積 田 仁志・今野 孝
- V-363 IDAY PAVEにおけるFWD試験結果および考察 / 住友大坂セメント [正] 竹津 ひとみ・小林 哲夫・佐々木 徹
- V-364 各種粗骨材を用いた舗装コンクリートの耐摩耗性に関する検討 / 日本道路 [正] 常松 直志・森濱 和正・勝畑 敏幸
- V-365 東広島県道路自動車道におけるコンクリート舗装長寿命化検討の中間報告 / 中国地方整備局広島国道事務所 [正] 佐々部 智文
- V-366 積雪寒冷地におけるコンクリート舗装に関する一検討 / 土木研究所寒地土木研究所 [正] 上野 千草・安倍 隆二・木村 孝司
- V-367 路面下空洞を有するコンクリート舗装の構造性能に関する解析的検討 / 太平洋セメント [正] 岸良 竜・石田 征男・亀山 修一

V-8 (文法経講義棟13番講義室) / 9月17日(木)

■リサイクル(舗装) / 9:00~10:20 / 加納 陽輔(日本大学)

- V-368 フライアッシュコンクリート舗装から試製したリサイクルセメントの物性評価 / 山口大学 [学] 牛尾 祐大・吉武 勇・石田 剛朗
- V-369 積雪寒冷地における他産業再生資材の適用性の検討について / 土木研究所 寒地土木研究所 [正] 大山 健太郎・安倍 隆二・木村 孝司
- V-370 高針入度のアスファルトを用いた再生アスファルト混合物の適用性に関する検討 / 土木研究所 道路技術研究グループ [正] 平川 一成・寺田 剛・佐々木 巖
- V-371 廃タイヤ焼却灰配合アスファルト混合物の材料特性 / 福岡大学 [学] ニシ ショウタロウ・佐藤 研一・藤川 拓朗

■アスファルト系舗装 / 10:40~12:00 / 鈴木 徹(大林道路)

- V-372 海外舗装工事にみるセメント安定処理路盤の課題と対策 / JICA [F] 古木 守靖・渡邊 亮平・清野 繁
- V-373 ねじれ抵抗性改善型ポリマー改質アスファルトの評価方法に関する検討 / 大有建設 [正] 今井 宏樹・後藤 浩二
- V-374 作業性評価試験に基づくフォームドアスファルトの性状評価に関する一考察 / 前田道路 [正] 清水 泰成・江向 俊文・小林 真之
- V-375 滑剤系中温化剤による高機能Ⅱ型用混合物のダレ量低減効果に関する研究 / [正] 立花 徳啓・遠藤 桂
- V-376 高機能舗装Ⅰ型混合物における品質評価手法の検証 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 竹内 弘幸・阿部 徳男・橋場 幸彦
- V-377 北海道型SMAのきめ深さと転圧方法の関係 / 北海道科学大学 [正] 亀山 修一・斎藤 昌之・長屋 弘司

## V-8 (文法経講義棟13番講義室) / 9月18日(金)

## ■舗装一般 / 9:00~10:20 / 川上 篤史(土木研究所)

- V-378 冬期路面対策としてのすべり止め材散布が粗面系舗装の性能に与える影響に関する室内試験 / 土木研究所 寒地土木研究所 [正] 田中 俊輔・木村 たかし・高橋 尚人
- V-379 たわみ性を有するセメントモルタルを利用した道路の段差抑制工法 / 世紀東急工業 [正] 白濱 幸則・中嶋 毅・廣藤 典弘
- V-380 床版面の形状の違いがアスファルト混合物との接着性に与える影響 / 鹿島道路 [正] 横田 慎也・久利 良夫・篠田 隆作
- V-381 寒冷地空港におけるプリスタリング発生要因に関する一考察 / 土木研究所寒地土木研究所 [正] 安倍 隆二・木村 孝司・上野 千草
- V-382 トンネル内コンクリート舗装の補修実態とダイヤモンドグラインディング工法による湿潤路面・凍結路面の摩擦抵抗改善効果について / 土木研究所 [正] 井谷 雅司・上野 千草・丸山 記美雄
- V-383 反転排水性舗装の検討と施工に関する報告 / 首都高速道路 [正] 東和田 真之・北島 基彦・鶴見 信義

## ■木材利用(1) / 10:40~12:00 / 千田 知弘(福岡大学)

- V-384 二階建て集合住宅の丸太打設液状化対策事例における炭素貯蔵量 / 飛鳥建設 [正] 村田 拓海・沼田 淳紀・三輪 滋
- V-385 木質バイオマスのエネルギー利用 / 安藤ハザマ [正] 池田 穰
- V-386 木材の含水率とピロディン打込み深さの関係 / 港湾空港技術研究所 [正] 山田 昌郎・森 満範
- V-387 17年経過したボルジョイント型木製トラス歩道橋の健全度調査 / 金沢工業大学 [F] 本田 秀行・篠原 己観郎

## ■木材利用(2) / 13:00~14:20 / 原 忠(高知大学)

- V-388 アカネ材を用いた軟弱粘性土地盤対策事例 / 飛鳥建設 [正] 沼田 淳紀・筒井 雅行・三輪 滋
- V-389 アカネ材、皮付き材、種々の劣化対策材を用いた丸太打設液状化対策 / 飛鳥建設 [F] 三輪 滋・沼田 淳紀・村田 拓海
- V-390 丸太打設による既設戸建て住宅の液状化対策の数値解析による検討 / 飛鳥建設 [正] 筒井 雅行・三輪 滋・沼田 淳紀
- V-391 性能照査型設計法に適した木材のせん断破壊標準試験法に関するFEM解析 / 金沢工業大学 [学] 篠原 己観郎・本田 秀行・千田 知弘
- V-392 高耐久性と低コストを実現できるクリーク木杭橋工の設計と施工 / 福岡大学 [正] 渡辺 浩・野田 龍・森竹 巧

## ■木材・木質材料 / 14:40~16:00 / 山田 昌郎(港湾空港技術研究所)

- V-393 CLTを用いた既設橋梁の床版取替えに関する一考察 / 服部エンジニア [正] 荒木 昇吾・佐々木 貴信・林 知行
- V-394 FEMによるCLTの曲げ・せん断挙動に関する基礎的研究 / 福岡大学 [正] 千田 知弘・渡辺 浩・村田 忠
- V-395 CLTを用いた短支間木橋の開発(3) / 秋田県立大学 [正] 中村 昇
- V-396 熊本県荒瀬ダム撤去工事に伴う出土木の調査研究(その1 調査地点の概要と健全度評価) / 高知大学 [正] 原 忠・三村 佳織・加藤 英雄
- V-397 熊本県荒瀬ダム撤去工事に伴う出土木の調査研究(その2 縦圧縮強度特性) / 高知大学 [正] 三村 佳織・原 忠・加藤 英雄
- V-398 熊本県荒瀬ダム撤去工事に伴う出土木の調査研究(その3 曲げ強度特性) / 森林総合研究所 [正] 加藤 英雄・原 忠・平田 晃久

## V-9 (文法経講義棟20番講義室) / 9月16日(水)

## ■劣化予測 / 9:00~10:20 / 古賀 裕久(土木研究所 つくば中央研究所)

- V-399 GISを用いたコンクリート構造部の塩害被害予測法の提案 / 芝浦工業大学 [学] 石田 博貴・伊代田 岳史・安納 住子
- V-400 RC部材内に生じる鉄筋腐食分布の確率・統計的表現とその構造性能評価に関する基礎的研究 / 早稲田大学 [学] 櫻井 絢子・宮本 祥平・秋山 充良
- V-401 異なる環境に10年間曝露したコンクリートの中性化の進行と気象条件との関係 / 東北大学 [学] 倉田 和英・宮本 慎太郎・皆川 浩
- V-402 溶脱に伴う硬化セメントペーストの拡散係数変化に関する検討(その1) —セメント硬化体の溶脱試験手法の検討— / 原子力環境整備促進・資金管理センター [正] 林 大介・芳賀 和子・柴田 真仁
- V-403 溶脱に伴う硬化セメントペーストの拡散係数変化に関する検討(その2) —混合セメント硬化体の溶脱試験手法の検討

— / 太平洋コンサルタント [正] 柴田 真仁・芳賀 和子・林 大介

V-404 溶脱に伴う硬化セメントペーストの拡散係数変化に関する検討(その3) —予測モデルに関する検討— / 太平洋コンサルタント [正] 芳賀 和子・胡桃澤 清文・柴田 真仁

## ■維持管理(1) / 10:40~12:00 / 花井 拓(本州四国連絡高速道路)

- V-405 コンクリート床版におけるポットホール発生量と各種要因の影響 / ネクスコ・エンジニアリング東北 [正] 早坂 洋平・山口 恭平・宮本 慎太郎
- V-406 塩害により撤去されたPCT 桁の載荷試験と維持管理法の提案 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 有馬 直秀・石川 裕一・森山 守
- V-407 橋梁遊間部の狭隙空間に置ける塩化物イオン量測定試料の採取について / ケミカル工事 プロジェクト推進室 [正] 加納 淳郎・國川 正勝・飯東 義夫
- V-408 樋門樋管の点検調査データによるコンクリート劣化傾向の分析について / 建設環境研究所 [正] 阿部 幸雄・高田 浩穂・石川 雅美
- V-409 振動試験に基づくコンクリート水路の点検技術の開発 / 東北大学 [学] 五十嵐 亜季・杉山 涼亮・内藤 英樹
- V-410 樋門コンクリートの凍害劣化点検手法に関する研究 / 土木研究所 寒地土木研究所 [正] 島多 昭典・内藤 勲

## ■維持管理(2) / 13:00~14:20 / 島多 昭典(土木研究所)

- V-411 PRC単純T桁の固有振動数に対するひび割れの影響 / 東日本旅客鉄道 [正] 内田 雅人・築嶋 大輔・水谷 司
- V-412 光ファイバセンサを用いた鋼材の腐食検知に関する研究 / 太平洋セメント [正] 早野 博幸・井坂 幸俊・江里口 玲
- V-413 叩落し後のマクロセル対策工の効果をモニタリングするための埋設センサの開発 / 金沢工業大学 [学] 田中 祐貴・宮里 心一・畑中 達郎
- V-414 鋼板巻立て補強したRC柱の腐食による耐力低下の可能性に関する基礎的検討 / 岐阜大学 [学] 加藤 貴裕・国枝 稔・澤田 敏幸
- V-415 剥落コンクリート衝突時の危険度判定に関する実験的研究 / 東京工業大学 [学] 西脇 雅裕・千々和 伸浩・岩波 光保
- V-416 引抜成形FRP材の疲労特性 / 本州四国連絡高速道路 [正] 楠原 栄樹・山根 彰

## V-9 (文法経講義棟20番講義室) / 9月17日(木)

## ■非破壊試験法(1) / 9:00~10:20 / 内田 慎哉(立命館大学)

- V-417 超音波非破壊検査による覆工コンクリート内部亀裂厚さおよび深度の検知精度 / 明石工業高等専門学校 [学] 松本 俊範・鍋島 康之・神田 文義
- V-418 メゾスケール構造に着目したコンクリート中の超音波伝搬特性に関する考察 / 愛媛大学 [正] 中畑 和之・平岡 拓也・金井 淳
- V-419 高速道路橋床版の交通荷重を用いたAEモニタリング / 東芝 [正] 高峯 英文・渡部 一雄・大原 基憲
- V-420 RC中の鉄筋腐食開始時期に起因するAE特性の把握に関する研究 / 立命館大学 [正] 川崎 佑磨・権納 拓央・伊津野 和行
- V-421 異方性材料を対象としたAEトモグラフィ法の開発 / 日本大学 [正] 小林 義和・塩谷 智基
- V-422 ひび割れコンクリートの局所損傷がAE発生挙動に及ぼす影響評価 / 新潟大学 [正] 鈴木 哲也・塩谷 智基

## ■非破壊試験法(2) / 10:40~12:00 / 大野 健太郎(首都大学東京)

- V-423 円柱供試体の弾性波速度測定に及ぼす供試体の細長比の影響 / 東洋計測リサーチ [正] 山下 健太郎・境 友昭・池端 宏太
- V-424 Q値を用いたコンクリート部材の健全性評価に関する実験的検討 / 徳島大学 [正] 渡邊 健・山口 喜堂・塩谷 智基
- V-425 衝撃弾性波法による鋼板接着補強されたRC床版内部のひび割れ損傷の非破壊評価手法 / 大阪大学 [学] 石田 卓也・鎌田 敏郎・内田 慎哉
- V-426 多点同時測定によるコンクリート構造物の剥離探査 / [正] 島田 浩司・石垣 享一・高橋 賢治
- V-427 接着系と施工アンカーを対象とした衝撃応答に基づく接着材充填状況の非破壊評価手法 / 大坂大学 [学] 林本 和也・内田 慎哉・鎌田 敏郎
- V-428 衝撃弾性波法によるアンカーボルトの付着状況の評価方法の検討 / リック [正] 岩野 聡史・柳内 睦人・實藤 大夫



V-9 (文法経講義棟20番講義室) / 9月18日(金)

■非破壊試験法(3) / 9:00~10:20 / 細野 宏巳(三井住友建設)

- V-429 種々の弾性波パラメータによるグラウト充填度評価 / 京都大学 [正] 中山 宏・大澤 智・塩谷 智基
- V-430 音響伝達関数を用いたPCグラウト部分未充填部の検出方法に関する基礎的検討 / 大阪大学 [学] ハットリ シンイチ・鎌田 敏郎・内田 慎哉
- V-431 伝搬距離の異なる複数の音響伝達関数を用いたPCグラウト充填状況の非破壊評価手法 / 大阪大学 [学] 朝倉 馨・鎌田 敏郎・服部 晋一
- V-432 PC鋼材に生じる張力の非破壊評価のための正帰還自己発振回路を有する磁気センサーの研究 / 神鋼鋼線工業 [正] 荒木 茂・内田 慎哉・松橋 貴次
- V-433 電磁パルス法に基づく接着系あと施工アンカー固着部の接着剤充填状況の非破壊評価手法 / 立命館大学 [学] 木村 貴圭・内田 慎哉・鎌田 敏郎
- V-434 電磁パルス法によるアンカーボルト固着部の非破壊評価手法における加振メカニズムに関する一考察 / 西日本高速道路 [正] 宮田 弘和・内田 慎哉・鎌田 敏郎

■非破壊試験法(4) / 10:40~12:00 / 阿波 稔(八戸工業大学)

- V-435 ボックスカルパートおよび附属試験体における表層品質測定 / 広島大学 [正] 半井 健一郎・森 優太・舌間 孝一郎
- V-436 群馬県における新設コンクリート構造物の表層品質調査 / 前橋工科大学 [正] 舌間 孝一郎・半井 健一郎・山田 真次
- V-437 コンクリート構造物の鉛直面における散水時の水の流下現象による表層品質の簡易評価 / 鉄道総合技術研究所 [正] 西尾 壮平・上田 洋・岸 利治
- V-438 赤外線法によるコンクリート片のはく落予測手法に基づく点検計画の提案 / 西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 林 詳悟・橋本 和明・明石 行雄
- V-439 打音法に用いるハンマーの重量が評価結果に与える影響について / 佐藤工業 [正] 歌川 紀之・北川 真也・木村 定雄
- V-440 pHに着目したモルタル中への劣化因子浸透深さ推定に関する実験的検討 / 東京理科大学 [正] 江口 康平・加藤 佳孝・菊地原 潤一

■非破壊試験法(5) / 13:00~14:20 / 江里口 玲(太平洋セメント)

- V-441 チタンワイヤセンサーによるコンクリート中の鉄筋の簡易腐食診断への適用性 / 金沢大学 [学] 杉浦 尚樹・青山 敏幸・石井 浩司
- V-442 二電極法により測定されるモルタルの電気抵抗に関する基礎的研究 / 大阪大学 [学] 福上 大貴・内田 慎哉・鎌田 敏郎
- V-443 セパレータを考慮した漏洩磁束法による鉄筋破断診断に関する研究 / 京都大学 [学] 永瀬 繁幸・井上 丈揮・寺澤 広基
- V-444 中性子準弾性散乱を利用したセメントの硬化過程における結合水の割合と圧縮強度の関係 / 茨城大学 [学] 当銘 葵・沼尾 達弥・木村 亨
- V-445 中性子準弾性散乱を利用したセメントの硬化過程における結合水の割合と細孔径分布の関係 / 茨城大学 [正] 沼尾 達弥・当銘 葵・木村 亨
- V-446 中性子ラジオグラフィを用いた多孔質材料内の含有水分量の定量化手法 / 茨城大学 [学] 小沼 遥佑・沼尾 達弥・木村 亨

■評価・試験方法 / 14:40~16:00 / 浅本 晋吾(埼玉大学)

- V-447 コンクリート表面保護工に用いる樹脂系表面被覆材の剥離抵抗性評価方法の検討 / 京都大学 [正] 平野 裕一・堀井 久一・山本 貴士
- V-448 画像処理による打継処理の評価システムの開発 / 鹿島建設 [正] 藤田 雄一・今井 道男・曾我部 直樹
- V-449 透気試験とX線造影撮影法によるコンクリートの品質評価に関する研究 / 東北学院大学 [学] 軍司 翔太・武田 三弘・湯川 宗吉
- V-450 孔内局部載荷試験によるレンガの物性評価に関する研究 / 川崎地質 [正] 皿井 剛典・澤口 啓希・野口 孝俊
- V-451 偏心軸引張力を作用させた両引き試験による劣化RC梁の付着評価 / 土木研究所 [正] 水田 真紀・野々村 佳哲・嶋田 久俊
- V-452 セメントペーストキャッピングの有効性と適用限界 / 足利工業大学 [正] 松村 仁夫・黒井 登起雄

V-10 (文法経講義棟22番講義室) / 9月16日(水)

■物性(1) / 9:00~10:20 / 青木 優介(木更津工業高等専門学校)

- V-453 コンクリートに対する尿素の利用法に関する検討 / 阿南工

- V-454 業高等専門学校 [正] 堀井 克章・天羽 智大・板東 一敬  
プレストレスの有無がコンクリート表面の吸水膨張に与える影響の基礎的検討 / 東京工業大学 [学] 早坂 駿太郎・岩波 光保・千々和 伸浩
- V-455 イオン交換樹脂を混和したPCグラウトの性能に関する研究 / 埼玉大学 [正] 礪 堯・睦好 宏史・真田 修
- V-456 コンクリートの破壊エネルギー試験における破断形状と破壊エネルギーの関係 / 首都大学東京 [学] 板東 真輝・大野 健太郎・宇治 公隆
- V-457 直接引張強度および割裂引張強度によるひび割れ予測に関する一考察 / 法政大学 [正] 新井 淳一・仙場 亮太・溝瀨 利明
- V-458 ひび割れ予測に用いるヤング係数の実験的検討 / 呉工業高等専門学校 [学] 山田 浩司・三村 陽一・堀口 至

■物性(2) / 10:40~12:00 / 岡崎 慎一郎(港湾空港技術研究所)

- V-459 高炉スラグ微粉末3000の置換率を変えたコンクリートに関する一実験 / 日鉄住金高炉セメント [正] 岩井 久・大塚 勇介・前田 悦孝
- V-460 高炉セメントB種コンクリートの塩分浸透抵抗性に対する高温履歴の影響 / 広島大学 [正] 小川 由布子・村岸 祐輔・藤山 堯大
- V-461 RCD用コンクリートに用いる中庸熟フライアッシュセメントの熱特性に関する一考察 / 麻生セメント [正] 前田 禎夫・取達 剛・竹内 康秀
- V-462 温度環境の異なる地点に暴露したフライアッシュコンクリートの比抵抗の経年変化 / 電源開発 [正] 今岡 トモタケ・鷲尾 朝昭・石川 嘉崇
- V-463 フライアッシュをセメントで置換したモルタルのオートクレーブ養生による圧縮強度特性 / 日本大学 [学] 樋口 貴泰・鶴澤 正美・井手野下 俊明
- V-464 海水中で材齢28日まで養生を施したセメント硬化体の水和物の組成に関する基礎的検討 / 東北大学 [学] 幸田 圭司・宮本 慎太郎・皆川 浩
- V-465 エコセメントと混和材の混合粉体を結合材とした硬化体の基礎特性に関する検討 / 首都大学東京 [学] 飯塚 亮太・上野 敦・石田 征男

■物性(3) / 13:00~14:20 / 伊代田 岳史(芝浦工業大学)

- V-466 若材齢時におけるセメント硬化体の水分状態予測モデル / 千葉工業大学 [学] 茂木 弥・内海 秀幸
- V-467 セメント硬化体内部水分の潜熱評価に関する研究 / 千葉工業大学 [学] 長沼 直人・内海 秀幸
- V-468 モルタル供試体の吸水による水分移動予測に関する基礎的研究 / 東京理科大学 [学] 池田 伊輝・加藤 佳孝・千葉 俊也
- V-469 フライアッシュコンクリートの性能向上を目的とした力学的及び熱的特性 / 法政大学 [学] 面来 洋児・伊藤 均・溝瀨 利明
- V-470 水蒸気吸脱着試験と水銀圧入法によるセメント系硬化体の空隙構造の評価 / 新潟大学 [学] 須藤 俊幸・佐伯 竜彦・斎藤 豪
- V-471 低水結合材比モルタルの圧縮強度増進性状と温度時間関数の適用について / 大成建設 [正] 木ノ村 幸士・石田 哲也

V-10 (文法経講義棟22番講義室) / 9月17日(木)

■骨材(1) / 9:00~10:20 / 麓 隆行(近畿大学)

- V-472 砕砂を用いたモルタルの流動性に及ぼす砕石粉の影響 / 首都大学東京 [学] 内田 早紀・上野 敦・宇治 公隆
- V-473 モルタル中の骨材が気泡の空間分布のランダム性に与える影響 / 金沢大学 [学] 室谷 卓実・五十嵐 心一
- V-474 粗骨材種がコンクリートの乾燥収縮に与える影響に関する研究 / 元名古屋工業大学 [学] 加藤 清孝・梅原 秀哲・吉田 亮
- V-475 コンクリートの弾性変形挙動における粗骨材のひずみ挙動に関する研究 / 摂南大学 [学] 檜田 篤志・熊野 知司・藤原 正佑
- V-476 仮設バラスト表面に付着した粉塵による圧縮強度への影響評価 / 日本線路技術 [正] 齊藤 秀・森田 義人・中野 祥輝
- V-477 セメントクリンカー骨材を用いたモルタルの塩化物イオン浸透抵抗性 / [学] 稲田 晴香・宮本 慎太郎・皆川 浩

■骨材(2) / 10:40~12:00 / 上野 敦(首都大学東京)

- V-478 粒度調整による銅スラグの品質改善に関する研究 / 岡山大学 [学] 堀 水紀・藤井 隆史・綾野 克紀
- V-479 銅スラグ細骨材を使用したコンクリートの諸特性に関する調査 / 三菱マテリアル [正] 木村 祥平・黒岩 義人・美坂 剛



- V-480 建設汚泥固化物と銅スラグを細骨材に一部置換したコンクリートの諸性状／高知工業高等専門学校〔学〕芝 卓思・横井 克則・三岩 敬孝
- V-481 コンクリート工場排水へ浸漬した一般廃棄物溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの圧縮強度に及ぼす影響／茨城大学〔正〕木村 亨・沼尾 達弥・城所 朋輝
- V-482 フェロニッケルスラグ骨材を用いたコンクリートのフレッシュ性状に関する研究／愛知工業大学〔正〕呉 承寧・長瀧 重義・栗栖 一之

#### V-10 (文法経講義棟22番講義室)／9月18日(金)

##### ■混和材(1)／9:00～10:20／佐川 康貴(九州大学)

- V-483 中庸熱セメントと高炉スラグ微粉末の混合比を変えたペーストの水和反応に関する研究／清水建設〔正〕矢ノ倉 ひろみ・名倉 健二・杉橋 直行
- V-484 高炉スラグ微粉末を大量使用した環境配慮コンクリートの湿潤養生／大成建設〔正〕宮原 茂禎・荻野 正貴・岡本 礼子
- V-485 中庸熱ポルトランドセメントをベースとするスラグ混和コンクリートの諸物性／太平洋セメント〔正〕森 寛晃・東洋輔・谷村 充
- V-486 高炉スラグ微粉末高含有コンクリートの温度特性に関する検討／戸田建設〔正〕土師 康一・田中 徹・佐藤 幸三
- V-487 高炉スラグ微粉末高含有コンクリートの強度と耐久性に着目した湿潤養生期間／西松建設〔正〕椎名 貴快・田中 徹・中村 英佑
- V-488 早強セメントを用いた膨張コンクリートの強度・膨張特性に及ぼす養生温度の影響／太平洋セメント〔正〕大野 拓也・三谷 裕二・谷村 充

##### ■混和材(2)／10:40～12:00／福留 和人(石川工業高等専門学校)

- V-489 空気量を小さく設定したフライアッシュコンクリートの耐久性／徳島大学〔学〕福富 隼人・横井 克則・三岩 敬孝
- V-490 分級フライアッシュコンクリートの強度発現と微視的内部組織の形成過程／金沢大学〔学〕菊地 弘紀・猪股 亮太・山戸 博晃
- V-491 分級フライアッシュを使用したコンクリートの初期強度発現性／金沢大学〔学〕猪股 亮太・参納 千夏男・蟹谷 真生
- V-492 フライアッシュと膨張材を併用したコンクリートの拘束膨張特性／太平洋マテリアル〔正〕竹下 永造・長塩 靖祐
- V-493 改質フライアッシュを用いたコンクリートのフレッシュ性状に関する一考察／ゼロテクノ四国〔正〕近藤 昭彦・濱田 英樹・室野井 敏之
- V-494 フライアッシュのボゾラン反応に及ぼす熱養生の影響／日本大学〔学〕荒川 理加・佐藤 正己・小泉 公志郎

##### ■混和材(3)／13:00～14:20／小川 由布子(広島大学)

- V-495 環境負荷低減を目指した硬化体の強度発現特性と強度発現に対する微量セメントの影響／電源開発〔正〕石川 嘉崇・鷲尾 朝昭・今岡 知武
- V-496 低炭素型のコンクリートの温度ひび割れ抵抗性に関する検討／前田建設工業〔正〕白根 勇二・宮原 茂禎・中村 英佑
- V-497 低炭素型のコンクリートの収縮特性／大成建設〔正〕荻野 正貴・大脇 英司・白根 勇二
- V-498 各種アルカリ刺激材を用いた環境負荷低減コンクリートの諸性状に関する研究／宇都宮大学〔学〕吉川 幸毅・藤原 浩巳・丸岡 正知
- V-499 屋外・室内・土中・促進環境における混和材を用いたコンクリート・モルタルの中性化進行／土木研究所〔正〕中村 英佑・石井 豪・渡辺 博志
- V-500 サンゴ再生に用いるモルタル基盤の電気抵抗性の評価に関する基礎的研究／関西大学〔学〕平井 孝明・鶴田 浩章・高橋 智幸

##### ■混和材(4)／14:40～16:00／大内 雅博(高知工科大学)

- V-501 亜硝酸カルシウムによるコンクリートの中性化抑制効果に関する一考察／立命館大学〔学〕田口 壮年・岡本 享久・須藤 裕司
- V-502 新規の高性能減水剤による黒ずみ抑制のメカニズムの検討／BASFジャパン〔正〕佐藤 勝太・小山 広光・大野 誠彦
- V-503 プリーディング低減性能を有する新規AE減水剤高機能タイプの基本特性／BASFジャパン〔正〕勝畑 敏幸・本田 亮・山崎 達平
- V-504 プリーディング低減性能を有する新規AE減水剤高機能タイプのプリーディング低減効果／BASFジャパン〔正〕本田 亮・勝畑 敏幸・小泉 信一
- V-505 高炉セメントを使用したコンクリートの強度発現性に及ぼ

すC-S-H系早強剤の効果／BASFジャパン〔正〕井元 晴文・花房 賢治・小泉 信一

V-506 金属石鹸を混入したモルタルの物理的特性／明石工業高等専門学校〔F〕武田 字浦・山川 駿・澁谷 卓

#### V-11 (文法経講義棟24番講義室)／9月16日(水)

##### ■耐久性一般(1)／9:00～10:20／小林 孝一(岐阜大学)

- V-507 コンクリート下水管路の劣化調査 その1.管路内表面水の分析／日本建築総合試験所〔正〕中山 健一・吉田 夏樹・山中 明彦
- V-508 コンクリート下水管路の劣化調査 その2.管路内から採取したコアの分析／日本建築総合試験所〔正〕吉田 夏樹・中山 健一・山中 明彦
- V-509 生物活性炭吸着池を模擬した曝露実験槽に3年間浸漬したモルタル供試体の変状／シニエイマスター〔正〕庭林 雄二・大野 健太郎・細谷 昌平
- V-510 中性化・塩化物イオン浸透性および時間依存性変形に高炉スラグ微粉末および高炉スラグ細骨材が与える影響／岡山大学〔学〕白川 輝・藤井 隆史・森 雅聡
- V-511 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートへの水分浸透に関する検討／鉄道総合技術研究所〔正〕鈴木 浩明・上田 洋
- V-512 混和材種類および追加養生が蒸気養生モルタルの強度と耐久性に及ぼす影響／太平洋セメント〔正〕東 洋輔・森 寛晃・多田 克彦

##### ■耐久性一般(2)／10:40～12:00／田中 博一(清水建設)

- V-513 表面改質剤を施したコンクリートの性能評価に関する基礎的研究／オリエンタル白石〔正〕俵 道和・福山 純平・李 春鶴
- V-514 表面改質剤を塗布したコンクリートの物質移動特性についての基礎的研究／宮崎大学〔学〕福山 純平・李 春鶴・郭 渡連
- V-515 シラン・シロキサン系表面含浸材を用いたコンクリートの積雪寒冷環境下における長期耐久性に関する研究／鹿島建設〔正〕室野井 敏之・林 大介・橋本 学
- V-516 シラン系表面含浸材の含浸深さと吸水抑止効果に関する基礎的研究／関西大学〔正〕上田 尚史・北野 雄紀・鶴田 浩章
- V-517 エトリンガイト遅延生成における混和材の影響に関する研究／埼玉大学〔学〕村野 耕基・嘉数 孝志・蔵重 勲
- V-518 ASR劣化したPC桁供試体の緊張力および変形挙動の評価／九州工業大学〔学〕上園 祐太・幸左 賢二・上原 伸郎

##### ■耐久性一般(3)／13:00～14:20／山本 武志(電力中央研究所)

- V-519 骨材および骨材界面領域がCa溶脱性状に及ぼす影響の解析的評価／名古屋大学〔正〕三浦 泰人・佐藤 靖彦・中村 光塩の種類と濃度がモルタル表面での塩分吸収に及ぼす影響／金沢工業大学〔学〕八木 一樹・宮里 心一
- V-520 骨材の有無が物質浸透性に与える影響／芝浦工業大学〔学〕本名 英理香・中田 康喜・伊代田 岳史
- V-521 脱型後の養生が表層コンクリートの細孔構造に及ぼす影響／首都大学東京〔学〕小池 悠介・宇治 公隆・上野 敦
- V-522 真空脱水工法によるかりコンクリートの緻密化について／清水建設〔正〕齊藤 亮介・高橋 圭一・田中 博一
- V-523 コンクリート構造物の透気性に着目した品質検査手法の検討／西日本高速道路エンジニアリング関西〔正〕山口 大樹・湯浅 利幸

#### V-11 (文法経講義棟24番講義室)／9月17日(木)

##### ■耐久性一般(4)・耐火性／9:00～10:20／小澤 満津雄(群馬大学)

- V-525 白華によるコンクリートデザインの耐候性／〔F〕岡本 享久・松下 泰之・川崎 佑磨
- V-526 吹き付けコンクリートが岩盤に及ぼすアルカリ影響分析／電力中央研究所〔正〕山本 武志・大山 隆弘
- V-527 営業線における経年PCまぐらぎの摩耗性状に関する研究／鉄道総合技術研究所〔正〕渡辺 勉・箕浦 慎太郎・鈴木 大輔
- V-528 トンネル用吹付け耐火被覆材の押し抜き試験によるはく落防止性能の実験的検証／太平洋マテリアル〔正〕谷辺 徹・鎌田 亮太
- V-529 高温の熱履歴が建設材料に及ぼす影響について／福島工業高等専門学校〔正〕林 久資・緑川 猛彦・大山 理
- V-530 火害を受けたコンクリートの水中再養生効果の非破壊試験による評価／北海道大学〔学〕網本 明洋・森本 純平・Henry Michael

■特殊コンクリート／10:40～12:00／吉田 克弥(日本シーカ)

- V-531 骨材にサンゴを用いた特殊コンクリートの製造／鹿島建設 [正] 今村 福一・中山 勝義・西上 悟史
- V-532 骨材にサンゴを用いた特殊コンクリートの施工実績／鹿島建設 [正] 林 亮佑・中山 勝義・西上 悟史
- V-533 海洋環境に暴露した重量コンクリートの耐久性に関する検討／太平洋セメント [正] 野崎 隆人・肥後 康秀・杉山 彰徳
- V-534 海水練りセメント硬化体の初期強度増進効果に関する実験的検討／五洋建設 [正] 酒井 貴洋・馬場 勇介・田中 亮一
- V-535 海洋環境に暴露した重量コンクリートのすり減り抵抗性に関する検討／太平洋セメント [正] 肥後 康秀・山路 徹・杉山 彰徳
- V-536 急結性を有する可塑性グラウトの温度条件の違いがフレッシュ性状に与える影響に関する検討／鹿島建設 [正] 橋本 学・串橋 巧・室野井 敏之

V-11 (文法経講義棟24番講義室)／9月18日(金)

■アルカリシリカ反応(1)／9:00～10:20／黒田 保(鳥取大学)

- V-537 鉄筋破断の生じたASR供試体のひび割れ状況／九州工業大学 [学] 益田 紘孝・幸左 賢二・上原 伸郎
- V-538 富山産河川砂利のアルカリシリカ反応性と外来塩分環境下でのASR劣化橋梁の特徴／金沢大学 [学] 津田 誠・麻田 正弘・鳥居 和之
- V-539 梁部にASR劣化が生じた橋脚のフーチング調査／阪神高速道路 [正] 佐藤 彰紀・辻村 政夫・坂本 直太
- V-540 ASRによる損傷をうけたフーチングの暴露試験／土木研究所 [正] 真弓 英大・七澤 利明・河野 哲也
- V-541 北陸地方の既設コンクリート構造物から採取したコアの強度・変位性状／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 加賀谷 悦子・青山 實伸

■アルカリシリカ反応(2)／10:40～12:00／上田 隆雄(徳島大学)

- V-542 高炉スラグ微粉末を混入したコンクリートのASR膨張に与える促進養生条件の影響／鳥取大学 [学] 中島 俊介・黒田 保・吉野 公
- V-543 練混ぜ水に海水を使用したコンクリートのアルカリ骨材反応性／大林組 [正] 片野 啓三郎・竹田 宣典
- V-544 西船場JCT改築事業における既設ASR橋脚の拡幅設計／阪神高速道路 [正] 堀岡 良則・小林 寛・杉山 裕樹
- V-545 SIMULATIONS FOR DEFORMATION BEHAVIOR OF STRUCTURES DUE TO ASR／九州工業大学 [学] 鄭 玉龍・幸左 賢二・上原 伸郎
- V-546 ASR劣化を生じたプレテンションPC梁の持続荷重作用下のたわみ挙動／京都大学 [学] 西田 峻・大鳥 翔平・山本 貴士

■アルカリシリカ反応(3)／13:00～14:20／久保 善司(金沢大学)

- V-547 遅延膨張性細骨材に対するコンクリートプリズムを用いたASR加速試験の適応性に関する研究／琉球大学 [正] 富山 潤・藍檀 オメル・亀川 裕也
- V-548 共通試験結果に基づくコンクリートプリズムを用いたASR加速試験方法に関する考察／九州大学 [正] 佐川 康貴・山田 一夫・合田 寛基
- V-549 二重着色法(ゲルステイン法)によるASRの判定および進行程度の推定／M・T技研 [正] 嶋瀬 敬祐・山川 博樹・川村 満紀
- V-550 近赤外分光法によるコンクリートのASR評価に関する検討／徳島大学 [正] 上田 隆雄・萩原 達朗・山本 晃臣
- V-551 表面保護工によるコンクリート内部水分量の変化／本州四国連絡高速道路 [正] 大塚 雅裕・楠原 栄樹・山根 彰

■凍害／14:40～16:00／徳重 英信(秋田大学)

- V-552 コンクリートのスケーリング劣化に関する要因感度解析／神戸市立工業高等専門学校 [正] 高科 豊
- V-553 表面養生剤がダムコンクリートの耐凍害性に与える影響／高知工業高等専門学校 [学] 畑中 大地・横井 克則・佐藤 英明
- V-554 耐凍害性フライアッシュスランブコンクリートの適用／名工建設 [正] 金谷 義則
- V-555 モルタル小片試験体を用いた細骨材の耐凍害性の評価に関する研究／岡山大学 [学] 中溝 翔・森 雅聡・藤井 隆史
- V-556 収縮低減剤および気泡組織の品質が耐凍害性に影響を及ぼす要因の検討その1 概要および硬化コンクリートの基礎的性状／フローリック [正] 松沢 友弘・西 祐宜・鳴海 玲子
- V-557 収縮低減剤および気泡組織の品質が耐凍害性に影響を及ぼす要因の検討その2 凍結融解挙動に及ぼす影響因子の抽出

と劣化抑制方法の一考察／フローリック [正] 西 祐宜・松沢 友弘・鳴海 玲子

V-12 (文法経講義棟26番講義室)／9月16日(水)

■副産物利用・再生材料(1)／9:00～10:20／楠 貞則(西日本技術開発)

- V-558 フライアッシュ洗浄技術によるコンクリートのワーカビリティ改善効果について／中国電力 [正] 松尾 暢・江木 俊雄・福本 直
- V-559 フライアッシュの品質と加熱養生条件がジオポリマーモルタルの強度に与える影響／九州大学 [学] 太田 周・佐川 康貴・原田 耕司
- V-560 単位量150kg/m<sup>3</sup>以上のフライアッシュを混入した廃品ボールを原コンクリートとする再生骨材コンクリートの諸特性の検討／徳島大学 [学] 青江 匡剛・橋本 親典・渡辺 健
- V-561 木質系バイオマスボイラー燃焼灰の特性とその有効活用に関する基礎的検討／鹿児島大学 [学] 村田 純孝・下酢尾 和馬・山口 明伸
- V-562 改質フライアッシュを用いたコンクリートの硬化性状に関する一考察／住友共同電力 [正] 濱田 英樹・近藤 昭彦・室野井 敏之
- V-563 廃棄コンクリートのAE剤使用の有無を判定方法する簡易な試験方法の開発／徳島大学 [学] 平田 大希・橋本 親典・渡辺 健

■副産物利用・再生材料(2)／10:40～12:00／半井 健一郎(広島大学)

- V-564 IGCCスラグを細骨材として用いたコンクリートの配合と性質に関する検討／大林組 [F] 竹田 宣典・赤津 英一・坂本 康一
- V-565 砕石粉によるごみ溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの性状改善／豊田工業高等専門学校 [正] 河野 伊知郎・須田 裕哉・山本 貴正
- V-566 強制炭酸化を行った再生骨材が乾燥収縮と凍結融解に及ぼす影響／芝浦工業大学 [学] 伊藤 孝文・松田 信広・柳澤 晃大
- V-567 牡蠣殻細骨材の内部養生効果に関する基礎的実験／呉工業高等専門学校 [正] 堀口 至・三村 陽一
- V-568 海水練り鉄鋼スラグ水和固化体の舗装への適用／大林組 [F] 新村 亮・松本 伸・片野 啓三郎
- V-569 複合サイクル材料を用いたモルタルの性能評価／宮崎大学 [学] 長納 央樹・李 春鶴・亀井 健史

■補修・補強(材料)(3)／13:00～14:20／遠藤 裕丈(土木研究所 寒地土木研究所)

- V-582 シラン系表面含浸材を塗布したコンクリートの水分透散性能／神戸大学 [学] 川合 将斗・中島 朗博・森川 英典
- V-583 2年間相当の紫外線照射がシラン系含浸材による物質透過遮断性に及ぼす影響／金沢工業大学 [学] 宮崎 悠太・宮里 心一
- V-584 シラン系表面含浸材の繰返し塗布によるコンクリートの凍・塩害抑制効果の持続性について／大同塗料 [正] 水谷 真也・仲本 善彦・河西 悠介
- V-585 けい酸塩系表面含浸材のCa系補助材による性能向上に関する実験的研究／岐阜大学 [正] 小林 孝一・岡島 広樹・浅野 達夫
- V-586 併用型表面含浸材の塗布量最適化および浸透性に関する実験的検討／東洋大学 [学] 石川 健児・福手 勤・酒井 貴洋
- V-587 シラン系表面含浸材により改質されたコンクリート表層部の塩化物イオン拡散係数の推定／金沢工業大学 [学] 吉谷 拓磨・宮里 心一・花岡 大伸

V-12 (文法経講義棟26番講義室)／9月17日(木)

■補修・補強(材料)(2)／9:00～10:20／鶴田 浩章(関西大学)

- V-576 シラン系表面含浸材の浸透性の効率的な管理方法に関する基礎的研究／寒地土木研究所 [正] 遠藤 裕丈・島多 昭典・林 大介
- V-577 施工方向が表面含浸工の品質に与える影響／JR西日本 [正] 鈴木 佑典・宮島 英樹・大江 崇元
- V-578 反応型けい酸塩系表面含浸材の種類判定試験方法の改善とこれに基づく性能評価結果について／鹿児島大学 [学] 畑野 貴洋・田所 翔・武若 耕司
- V-579 けい酸塩系表面含浸材の種類判定試験における溶解条件の影響／金沢工業大学 [正] 大嶋 俊一・佐藤 遥・西野 英哉
- V-580 超速硬高靱性コンクリートの配合検討／大林組 [正] 富井 孝喜・青木 茂・古川 祐介



- V-581 超速硬コンクリートの材料特性／トクヤマ [正] 古城 誠・青木 茂・富井 孝喜

■補修・補強(材料)(1) / 10:40~12:00 / 皆川 浩(東北大学)

- V-570 ひび割れ補修したコンクリートの透水試験／電力中央研究所 [正] 大塚 拓・松尾 豊史・松村 卓郎  
V-571 コンクリート補修材料のX線CTによる内部観察／土木研究所 [正] 櫻庭 浩樹・熊谷 慎祐・内藤 勲  
V-572 コンクリートのひび割れ注入前後のX線CTによる内部観察／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 内藤 勲・櫻庭 浩樹・熊谷 慎祐  
V-573 浸透系エポキシ樹脂の床版防水への適用効果に関する実験的検討／日本国土開発 [正] 山内 匡・子田 康弘・亀井 雅大  
V-574 自己治癒材料を用いた新たな箱型トンネル漏水補修工法の検討／東京地下鉄 [正] 諸橋 由治・安 台浩・橋本 達朗  
V-575 新潟地震・震災復旧後50年を経過した「昭和大桥」の追跡調査報告／ショーボンド建設 [正] 山崎 大輔・片山 真文・丸山 久一

V-12 (文法経講義棟26番講義室) / 9月18日(金)

■補修・補強(材料)(4) / 9:00~10:20 / 末岡 英二(東洋建設)

- V-588 供試体の形状や寸法が断面修復材の圧縮強度に及ぼす影響／土木研究所 [正] 川上 明大・片平 博・渡辺 博志  
V-589 環境温度と養生日数が断面修復材の強度に与える影響／土木研究所 [正] 片平 博・渡辺 博志  
V-590 エポキシ樹脂の塗布による断面修復後のマクロセル腐食対策／金沢工業大学 [学] 畑中 達郎・宮里 心一  
V-591 超高強度繊維補強モルタルを用いた断面修復部のマクロセル腐食抑制および一体性向上に関する検討／東亜建設工業 [正] ムッサガルバサーイ ズルカネル・花岡 大伸・國枝 稔  
V-592 界面活性剤系プライマーの付着特性に関する検討／太平洋マテリアル [正] 丸田 浩・浜中 昭徳・長井 義徳  
V-593 界面活性作用に着目した打継ぎプライマーの検討／太平洋マテリアル [正] 浜中 昭徳・丸田 浩

■補修・補強(材料)(5) / 10:40~12:00 / 山本 貴士(京都大学)

- V-594 工期短縮に寄与する鋼板巻立て工法における速硬軽量無収縮グラウトの開発／清水建設 [正] 吉田 匠吾・藤田 輝男・久保 昌史  
V-595 CFRPグリッドPCM吹付け工法による既設RC部材のせん断補強効果／九州大学 [学] 郭 瑞・日野 伸一・山口 浩平  
V-596 CFRP格子筋と吹付けモルタルによるRC梁のせん断補強に関する基礎的実験とモデル化／首都東京大学 [学] チャン ヴズン・宇治 公隆・上野 敦  
V-597 先貼BFRPシートを設置したコンクリートに対するBFRPロッドの付着強さの評価／名城大学 [正] 岩下 健太郎・八木 洋介・吉田 光秀  
V-598 中拘束された柱・はりモデルの超高強度コンクリート使用による耐力と破壊特性／浅野工学専門学校 [正] 殿廣 泰史・加藤 直樹・加藤 清志  
V-599 複数のリチウム塩を組み合わせた電解液の電気浸透性と電気化学的補修に関する検討／電気化学工業 [正] 七澤 章・梶山 璃奈・上田 隆雄

■補修・補強(材料)(6) / 13:00~14:20 / 江良 和徳(極東興和)

- V-600 仕上げ補助剤を塗布したポリマーセメントモルタルの表面強度および耐久性に関する検討／太平洋マテリアル [正] 杉野 雄亮・佐竹 紳也・大久保 藤和  
V-601 防錆材混入モルタルに含まれる亜硝酸イオンの浸透性について／ネクスコエンジニアリング新潟 [正] 野上 克宏・東田 典雅・小川 正幸  
V-602 補修剤に含有する亜硝酸イオンの溶脱と浸透に関する研究／北見工業大学 [正] 井上 真澄・野田 亮佑・崔 希燮  
V-603 各種混和材料を用いたポリマーセメントモルタルの耐久性の検討／高知工業高等専門学校 [学] 中平 直樹・横井 克則・谷田 雄麻  
V-604 塩分吸着剤を配合した防錆材の塩害抑制効果試験／ジェイアル総研エンジニアリング [正] 鈴木 昭仁・水野 清・立松 英信  
V-605 塩分吸着剤を混入したエポキシ樹脂の塩分吸着効果の検証／日本国土開発 [正] 千賀 年浩・山内 匡・横山 大輝

■補修・補強(材料)(7) / 14:40~16:00 / 谷村 充(太平洋セメント)

- V-606 低温環境と基材の品質が表面被覆材の膨れと接着性に及ぼす影響／土木研究所 [正] 熊谷 慎祐・櫻庭 浩樹・宮田 敦士

- V-607 アクリルゴムを用いたコンクリート表面被覆材のひび割れ部視認性に関する一考察／駒井ハルテック [正] 岡田 幸児・橋 肇・鮎川 儀宏  
V-608 ひび割れからアルカリ水供給を受けるコンクリート表面被覆材の付着劣化に関する検討／神戸大学 [学] 井場 健太・川島 洋平・森川 英典  
V-609 可塑性注入材のプレミックス化／熊谷組 [正] 森 康雄・平林 守・畑山 駿  
V-610 都市鉄道のカルバートトンネルを対象とした断面修復工法の開発／飛鳥建設 [正] 平間 昭信・福井 賢一郎・川端 康夫  
V-611 浸透型破砕剤の開発について／東北電力 [正] 成田 健・川守田 猛

V-13 (文法経講義棟25番講義室) / 9月16日(水)

■短繊維補強コンクリート(構造)(1) / 9:00~10:20 / 伊藤 始(富山県立大学)

- V-612 超高強度繊維補強コンクリート梁部材の曲げ引張強度分布／大林組 [正] 佐々木 一成・野村 敏雄・大久保 仁人  
V-613 UFC梁の繊維分布と曲げ強度／岐阜大学 [学] 大久保 仁人・国枝 稔・佐々木 一成  
V-614 超高強度材料を使用したRC柱部材の繰返し載荷実験による耐荷力および損傷状況／九州大学 [学] 牟田 諒平・服部 匡洋・野澤 忠明  
V-615 短繊維補強コンクリートの補強効果の実験的評価／ [学] 森 亮太・国枝 稔  
V-616 粗骨材の混入がHPFRCCはりのせん断挙動に及ぼす影響に関する実験的研究／関西大学 [学] 藤村 将治・川本 敦司・上田 尚史

■短繊維補強コンクリート(構造)(2) / 10:40~12:00 / 栗橋 祐介(室蘭工業大学)

- V-617 中速度衝突を受けるUFCパネルの耐衝撃性に関する実験的研究／大成建設 [正] 武者 浩透・別府 万寿博・柴田 大希  
V-618 メゾスケール解析による高速衝突を受ける繊維補強セメント複合材料板の局部破壊挙動評価／名古屋大学 [学] 岡崎 宗一郎・山本 佳士・別府 万寿博  
V-619 有機繊維を混入した超高強度繊維補強コンクリートにおける疲労特性／立命館大学 [学] 小川 真生・志村 彩・岡本 享久  
V-620 超高強度材料を使用したRC橋脚の骨格曲線の精度向上に関する考察／九州大学 [学] 服部 匡洋・崔 準ホ・牟田 諒平  
V-621 高靱性セメントを使用した橋脚柱の損傷形態評価／九州工業大学 [学] 山之内 俊樹・幸左 賢二・佐藤 崇  
V-622 Estimation of Flexural Post Cracking Behavior of SFRC Beams using X-ray Photograms / 早稲田大学 [学] Lim Sopokhem・岡本 健弘・秋山 充良

■連続繊維補強コンクリート(構造) / 13:00~14:20 / 服部 尚道(東急建設)

- V-623 スtrandシート補強RC梁の曲げ挙動に与えるコンクリート強度の影響について／北海学園大学 [正] 高橋 義裕・小林 朗・荒添 正棋  
V-624 ポリウレア樹脂変形層を用いて炭素繊維シート補強したRC梁のせん断補強実験／新日鉄住金マテリアルズ [正] 荒添 正棋・小林 朗・高橋 義裕  
V-625 連続繊維補強材の使用に関する基礎的検討／大林組 [正] 海野 貴裕・武田 篤史・野村 敏雄  
V-626 AFRP 板水中接着工法で曲げおよびせん断補強したRC梁の耐荷性能向上効果／大成建設 [正] 杉本 成司・栗橋 祐介・三上 浩  
V-627 FRPグリッドによる水路トンネル耐震補強における押抜き試験結果／新日鉄住金マテリアルズ [正] 立石 晶洋・安藤 昌文・島田 晃成

V-13 (文法経講義棟25番講義室) / 9月17日(木)

■短繊維補強コンクリート(材料)(1) / 9:00~10:20 / 石関 嘉一(大林組)

- V-628 PVA繊維混入によるセメント系補修材の複合的自己治癒の性能評価に関する基礎的研究／北見工業大学 [正] 崔 希燮・井上 真澄・芳賀 匠  
V-629 ポリプロピレン短繊維を用いたコンクリートの凍結融解抵抗性について／広島工業大学 [F] 十河 茂幸・佐川 俊之・中田 凌輔  
V-630 コンクリート中でのポリプロピレン短繊維の経年変化調査／萩原工業 [正] 室賀 陽一郎・森宗 義和・大島 章弘



- V-631 高温暴露が短繊維補強セメント系材料の力学的性質に及ぼす影響／金沢工業大学 [学] 岩井 雅紀・宮里 心一
- V-632 パサルト繊維を用いたFRCCの基本特性に関する基礎的研究／大阪市立大学 [学] 盛岡 諒平・藤原 資也・角掛 久雄
- V-633 パサルト繊維の硬化したセメント中の引抜き特性に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所 [正] 田中 章・仁平 達也・田中 徹

■短繊維補強コンクリート(材料)(2) / 10:40~12:00 / 国枝 稔(岐阜大学)

- V-634 高軸圧縮力を受ける高強度コンクリートをを用いたRC柱の水平交番載荷実験／JR東日本 [正] 川合 裕太・岡司 英明・渡部 太一郎
- V-635 海水作用を受ける超高強度繊維補強コンクリートの初期ひび割れが曲げ特性に及ぼす影響／太平洋セメント [正] 河野 克哉・川口 哲生・中山 莉沙
- V-636 軸方向補強鋼材を内部に配置した超高強度繊維補強コンクリートに発生する収縮応力／太平洋コンサルタント [正] 川口 哲生・河野 克哉
- V-637 コンクリート表面における混入鋼繊維の腐食発生機構に関する一考察／北海道大学 [学] 上松 瀬 慈・横田 弘・橋本 勝文
- V-638 超高強度繊維補強コンクリートの目粗し方法について／宇部興産 [正] 吉田 浩一郎・玉滝 浩司・石関 嘉一
- V-639 常温硬化型UFCによる耐摩耗部材の製造／宇部興産 [正] 玉滝 浩司・藤野 由隆・石関 嘉一

V-13 (文法経講義棟25番講義室) / 9月18日(金)

■破壊力学 / 9:00~10:20 / 上田 尚史(関西大学)

- V-640 初期ひび割れを有するコンクリートの圧縮強度・圧縮破壊エネルギーに関する実験的検討／名古屋大学 [学] 南里 卓洗・中村 光・三浦 泰人
- V-641 切欠きはりのリガメント部におけるASRによるひび割れの状態が引張軟化挙動に与える影響／神戸大学 [学] 塚原 宏樹・三木 朋宏
- V-642 PCマクラギ支持部材の形状を変化させた構造に対する載荷試験／JR東日本 [正] 本田 頼則・渡部 太一郎
- V-643 一軸圧縮力を受ける欠陥を有する石膏板のひび割れ発生・進展に関する実験及び解析／長崎大学 [学] 博多屋 智志・松田 浩・森田 千尋

■曲げ・せん断・ねじり(1) / 10:40~12:00 / 渡辺 健(鉄道総合技術研究所)

- V-644 繰り返し曲げを受ける鉄筋コンクリート柱の変形特性に関する実験的研究／豊橋市 [学] 亀田 好洋・水野 英二
- V-645 鉄筋コンクリートはりの曲げじん性能評価解析における収束・発散と曲げ崩壊／清水建設 [正] 長谷川 俊昭
- V-646 幾何学的非線形性を考慮した3次元RBSMによるコンクリートのせん断軟化・膨張挙動の評価／名古屋大学 [学] 伊佐 治 優・山本 佳士・中村 光
- V-647 せん断補強鉄筋を有するRCはりのせん断耐荷機構に関する基礎的研究／関西大学 [学] 児玉 圭・上田 尚史
- V-648 軸方向力が作用するRCはり部材のせん断耐力評価における可変角トラス理論の適用／大阪工業大学 [正] 三方 康弘・井上 晋
- V-649 曲げ・せん断とねじりを同時に受けるRC部材の耐力力とかぶりの破壊性状／立命館大学 [学] 柳田 龍平・近藤 克紀・岡本 享久

■せん断・ねじり(2) / 13:00~14:20 / 山本 佳士(名古屋大学)

- V-650 せん断補強されていない鉄筋コンクリートはりのせん断疲労耐荷挙動に及ぼす軸方向圧縮鉄筋に沿うひび割れの影響／東京工業大学 [学] 山田 雄太・千々和 伸浩・岩波 光保
- V-651 桁端部のウェブに水平ひび割れを模擬したPC桁供試体の耐荷性能に関する実験的研究／土木研究所 [正] 関口 斉治・石田 雅博・和田 圭仙
- V-652 セラミック製定着体を用いた後施工せん断補強における補強鉄筋先端の位置について／カジマ・リノベイト [正] 島村 純平・豊田 要・玉野 慶吾
- V-653 両端に機械式定着具を有したPC鋼棒によるせん断補強効果／大林組 [正] 田中 浩一・江尻 譲嗣

■せん断・ねじり(3) / 14:40~16:00 / 三方 康弘(大阪工業大学)

- V-654 高引張強度領域を配置したRC梁のせん断破壊経路と既往せん断評価式による検討／JR東日本 [正] 伊藤 隼人・小林 薫・佐々木 尚美
- V-655 過鉄筋コンクリート中空断面部材の最大ねじり耐力の評価／立命館大学 [学] 近藤 克紀・柳田 龍平・岡本 享久
- V-656 モルタル充填式継手を有するRCはりのせん断性状に及ぼす集約配筋の影響／東京工業大学 [学] 安田 瑛紀・松本 浩嗣・二羽 淳一郎
- V-657 補強盛土一体橋りょうの長スパン化に向けたPC-T形桁とRC橋台の接合構造の検討／鉄道・運輸機構 [正] 井上 翔・轟 俊太郎・玉井 真一

## 第Ⅵ部門

建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・調達、施工技术、環境影響対応技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメントなど

VI-1 (一般教育棟B11講義室) / 9月16日(水)

■測量・計測(1) / 9:00~10:20 / 片山 政弘(熊谷組)

- VI-001 弾性波の振幅減衰トモグラフィを用いた地下流体のモニタリング手法の開発／JFEシビル [正] 田子 彰大・榊原 淳一・高梨 将
- VI-002 距離画像センサを用いたトンネル断面測定方法の現場検証／飛鳥建設 [正] 松元 和伸・松田 浩朗・宇都宮 基宏
- VI-003 連続ベルトコンベア監視における光切断法の適応性における研究／大成建設 [正] 高橋 要・青木 浩章・片山 三郎
- VI-004 MMS (Mobile Mapping System)の鉄道への適用に関する基礎技術の開発／JR西日本 [正] 新名 恭仁・今西 進也・桶谷 栄一
- VI-005 モバイルマッピングシステムにおける標定点用反射板のサイズの検討／日本大学 [学] 岡本 直樹・佐田 達典・池田 隆博
- VI-006 基準点を必要としない計測機器による3次元施設マッピング／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 長谷部 国彦・吉田 勝恒・阿部 洋祐

■測量・計測(2) / 10:40~12:00 / 杉浦 伸哉(大林組)

- VI-007 UAV空中写真による造成施工現場の三次元データを用いた差分解析／奥村組 [正] 五十嵐 善一・浦本 洋市・矢尾 板 啓
- VI-008 造成工事の出来形・土量管理に適用する3次元計測技術の比較検討／安藤ハザマ [正] 黒台 昌弘・澤 正樹・小川 満

- VI-009 地上型3Dレーザースキャナーの遠隔制御による自動計測システムの構築／フィールドテック [正] 村山 盛行・福森 秀晃・清水 哲也
- VI-010 統合型UAV災害調査システムその(1) 一自律航行型無人ヘリ(RMAX G1)地形計測・調査支援システム／中電技術コンサルタント [正] 荒木 義則・岡本 修・高田 知典
- VI-011 統合型UAV災害調査システム その(2) マルチロータ型小型UAVを用いた無線センサ地山動態監視・通信システム／茨城工業高等専門学校 [正] 岡本 修・荒木 義則・高田 義則
- VI-012 普及型UAVを用いた3次元地形測量／大成建設 [正] 江田 正敏・栗原 庸聡・津川 恵介

■測量・計測(3) / 各種・基礎 / 13:00~14:20 / 長澤 正明(清水建設)

- VI-013 Arduinoを用いたセンサクラウドシステムの試行／五洋建設 [正] 山中 哲志・石田 仁
- VI-014 ステレオ写真測量による明治期のコンクリート骨材量の推定／関東地方整備局 [正] 野口 孝俊・内川 直洋・津口 雅彦
- VI-015 長尺鋼管矢板の圧入対策と杭載荷試験による支持力確認／西松建設 [正] 藤原 基博・谷川 潤・土屋 光弘
- VI-016 場所打ち杭施工時の近接杭支持層防護・孔壁防護の施工実績～鋼管圧入工法(ケコム工法)と高圧噴射攪拌工法(ジェットクリート工法)の適用／鹿島建設 [正] 伊藤 弘之・山道 芳徳・田中 誠
- VI-017 三宝ジャンクションにおける阪神高速4号湾岸線高架下での杭基礎の施工／阪神高速道路 [正] 北村 将太郎・田島 祐介・山崎 大介

- VI-018 通電によるメガソーラー基礎杭の支持性能向上に関する実験的検討／大林組 [正] 玉井 礼子・山本 悟・三浦 国春

# VI-1 (一般教育棟B11講義室) / 9月17日(木)

## ■ダム(1) / 9:00~10:20 / 長谷川 悦央(清水建設)

- VI-019 RCD工法に用いる岩着コンクリートの開発その(3) / 鹿島建設 [正] 上田 翔・鴨打 章・山口 嘉一  
VI-020 RCD工法に用いる岩着コンクリートの開発 その(1)超硬練りコンクリートの配合に関する検討／鹿島建設 [正] 取違 剛・鴨打 章・山口 嘉一  
VI-021 RCD工法に用いる岩着コンクリートの開発 その(2)超硬練りコンクリートの河床岩着部への適用性検討／鹿島建設 [正] 菅井 貴洋・鴨打 章・山口 嘉一  
VI-022 巡航RCD工法における端部法面締固めの合理化に関する検討／鹿島建設 [正] 田頭 唯人・鴨打 章・林 健二  
VI-023 インクライン式ベルトコンベヤを使用した巡航RCD工法の適用実績／鹿島建設 [正] 大橋 宜明・林 健二・青野 隆  
VI-024 ダムコンクリート締固め管理システム／鹿島建設 [正] 人見 志郎・高野 昌弘・奈須野 恭伸

## ■ダム(2) / 10:40~12:00 / 坂詰 俊介(大林組)

- VI-025 CSGの引張破壊特性に関する検討(その4) / 土木研究所 [正] 矢田 一也・金銅 将史・小堀 俊秀  
VI-026 荒瀬ダムの監査廊のプレキャスト工法／前田建設工業 [正] 岩田 龍明・赤坂 雄司  
VI-027 ダム解体工事における発破工法適用について／フジタ [正] 宮地 利宗・桑本 卓・野間 卓志  
VI-028 画像粒度モニタリングによるCSG材破砕製造時の施工管理実績／鹿島建設 [正] 小林 弘明・品川 敬・藤崎 勝利  
VI-029 供用中ダムに近接する堤体基礎部岩盤掘削に伴う発破振動管理／鹿島建設 [正] 森 孝之・白川 豪人・岡田 武文  
VI-030 小規模ダムにおけるプレキャスト型枠の採用／熊谷組 [正] 小林 太・江上 良二・稲田 健一

# VI-1 (一般教育棟B11講義室) / 9月18日(金)

## ■ダム(3) / 9:00~10:20 / 黒木 博(大成建設)

- VI-031 プレキャスト工法で構築したフィルダム監査廊の計測結果／前田建設工業 [正] 赤坂 雄司・岩田 龍明  
VI-032 ミキサ負荷電力量によるダムコンクリートフレッシュ性状の全量管理に関する検討／鹿島建設 [正] 安田 和弘・大内 斉・岡山 誠  
VI-033 整流板下部における充填コンクリートの施工実績／鹿島建設 [正] 藤野 賢一・金戸 崇史・安田 和弘  
VI-034 運搬中のダムコンクリート温度上昇に関する一考察／熊谷組 [正] 江上 良二・小林 太・奥良 祐司  
VI-035 ダム越冬面への富配合コンクリート適用による品質向上について／鹿島建設 [正] 松本 孝矢・大内 斉・岡山 誠  
VI-036 農業用アースダムの越冬期におけるリニューアル工事／大林組 [正] 西村 貴志・藤原 宗一・玉田 信二

## ■ダム(4) / 10:40~12:00 / 江上 良二(熊谷組)

- VI-037 打球探査法を用いた基礎岩盤面の岩級評価／鹿島建設 [正] 尾口 佳丈・山脇 健治・木澤 智也  
VI-038 深水路のコンクリート表面チッピング機械の開発／安藤ハザマ [正] 天明 敏行・小山 正人・副島 幸也  
VI-039 徳富ダム建設工事の基礎処理工における3次元モデルの活用／西松建設 [正] 小野 雄司・尾川 知之  
VI-040 ダム改造における大水深下での堤体不陸整正の機械化施工／鹿島建設 [正] 川中 薫・白川 豪人・岡田 武文  
VI-041 大径間ケーブルクレーン計画時の課題と対策について／鹿島建設 [正] 林 健二・青野 隆・大林 信彦  
VI-042 ロープロファイル型コンクリート製造設備の適用実績／鹿島建設 [正] 松本 信也・林 健二・青野 隆

## ■建設ロボット / 13:00~14:20 / 池松 建治(鹿島建設)

- VI-043 地域の災害復旧に貢献した無人化施工技術／大成建設 [正] 山岡 尊則・青木 浩章・天野 健次  
VI-044 次世代無人化施工システムの開発～ステレオカメラを用いた建機搭載センサ～／大成建設 [正] 片山 三郎・宮崎 裕道・青木 浩章  
VI-045 次世代無人化施工システムの開発～油圧ショベル装着ジャイアントブレードによる自律割岩作業～／大成建設 [正] 青木 浩章・宮崎 裕道・片山 三郎  
VI-046 多重機を使用した長距離無人化施工における無線LANの

- 活用／熊谷組 [正] 飛鳥馬 翼・北原 成郎・岡本 仁  
VI-047 インバート支保工設置ロボットの開発と導入／清水建設 [正] 藤井 攻・藤内 隆  
VI-048 建設機械の搭乗操作と遠隔操作における作業時間の実態について／土木研究所 [正] 茂木 正晴・藤野 健一・西山 章彦

## ■自動化システム / 14:40~16:00 / 歌川 紀之(佐藤工業)

- VI-049 自動注排水システムを用いた防波堤ケーソン据付／みらい建設工業 [正] 石原 慎太郎・山田 敏久・富岡 良光  
VI-050 振動ローラの自動転圧システムの開発—RCDダム施工での試験適用／鹿島建設 [正] 浜本 研一・大塩 真・三浦 悟  
VI-051 ブルドーザの自動撤出しシステムの開発／鹿島建設 [正] 黒沼 出・片村 立太・小熊 正  
VI-052 品質管理試験・環境測定に伴う帳票作成の自動化システムの開発／大成建設 [正] 栗原 庸聡・江田 正敏・石田 桂子  
VI-053 品質管理試験・環境測定に伴う帳票作成の自動化システムの開発／大成建設 [正] 石田 桂子・江田 正敏・栗原 庸聡  
VI-054 Robo-Shot (ロボショット)の試験施工報告／ライト工業 [正] 坂下 悟・田力 則実

# VI-2 (一般教育棟A21講義室) / 9月16日(水)

## ■シールドトンネル(1) / 9:00~10:20 / 金田 則夫(熊谷組)

- VI-055 シールドマシン用ビットの超硬チップ破損に関する実験的評価方法の一考察／丸和技研 [正] 佐々木 誠・嘉屋 文隆・森田 泰司  
VI-056 耐衝撃性を考慮したカッタービットの開発—多層チップビットの静的荷重実験—／大成建設 [正] 森田 泰司・佐々木 誠・嘉屋 文隆  
VI-057 既設杭の掘削に向けた切削ビットの開発／清水建設 [正] 大塚 寿貴・前田 俊宏・吉澤 尚志  
VI-058 高耐久性カッタービットの開発(その1) —3Dプリンタを用いたカッタービット開発手法の研究—／奥村組 [正] 川嶋 英介・木下 茂樹・星 智久  
VI-059 硬質砂礫地盤におけるシールドカッタービットの摩耗予測に関する基礎的研究／大林組 [正] 山元 寛哲・野口 宏治・辻本 康平

## ■シールドトンネル(2) / 10:40~12:00 / 小坂 琢郎(鹿島建設)

- VI-060 攪拌条件を考慮したチャンバー内塑性流動性評価方法(その1) —様々な攪拌条件と土圧変動との関係について—／清水建設 [正] 中谷 篤史・杉山 博一・原 忠  
VI-061 攪拌条件を考慮したチャンバー内塑性流動性評価方法(その2) —実機での評価方法に関する検討—／清水建設 [正] 杉山 博一・岩井 俊之・原 忠  
VI-062 チャンバー内攪拌シミュレーションへのMPS解析の適用性／清水建設 [正] 小瀧 伸也・高梨 和光・杉山 博一  
VI-063 硬質粘性土における泥土圧シールドの施工実績／西松建設 [正] 金子 博己・佐屋 裕之・辻 圭宏  
VI-064 泥水式シールド工法における重金属汚染土浄化システムの開発 その1—特殊鉄粉による高比重泥水中での重金属吸着試験—／戸田建設 [正] 中山 卓人・小林 修・田中 徹  
VI-065 泥水式シールド工法における重金属汚染土浄化システムの開発 その2—高比重泥水からの特殊鉄粉分級試験—／戸田建設 [正] 小林 修・中山 卓人・市川 政美

## ■シールドトンネル(3) / 13:00~14:20 / 室谷 耕輔(中央復建コンサルタンツ)

- VI-066 高強度耐火セグメントの実用化について～試し練り～／大成建設 [正] 川島 広志・門間 正拳・堀口 賢一  
VI-067 高強度耐火セグメントの実用化について～耐火性能基礎試験～／大成建設 [正] 澤上 晋・門間 正拳・馬場 重彰  
VI-068 耐火対策と剥落防止の2種類の有機繊維を混入したRCセグメントの耐火性能—東京外かく環状道路 本線トンネル(南行) 東名北工事 耐火実験報告(その1) —／鹿島建設 [正] 樽谷 早智子・斉藤 啓之・田中 明  
VI-069 RCセグメントの火災時における付属物周りの温度上昇特性と火災後の曲げ耐力—東京外かく環状道路 本線トンネル(南行) 東名北工事 耐火実験報告(その2) —／鹿島建設 [正] 新井 崇裕・斉藤 啓之・松原 仁  
VI-070 大断面シールドトンネルへのSUリジッド継手(M30タイプ)の適用検討／清水建設 [正] 丑屋 智志・入田 健一郎・原 忠



VI-2 (一般教育棟A21講義室) / 9月17日(木)

- シールドトンネル(4) / 9:00~10:20 / 水原 勝由(地域環境地盤研究所)
- VI-071 狭隘な河川下におけるH&Vシールドによるスパイラル掘進の計画 / 清水建設 [正] 安井 克豊・菅野 美喜雄・田中 翔真
- VI-072 軟弱地盤におけるコンパクトシールド工法の急曲線施工 / 西松建設 [正] 北本 正弘
- VI-073 都心部での非開削切掘り工法における支保工の挙動再現に関する検討 / 長岡工業高等専門学校 [学] 松本 拓未・岩波 基
- VI-074 小竹向原・千川間連絡線設置工事における縦長複合円形断面を有するシールドトンネルの施工結果について / 東京地下鉄 [正] 大槻 あや・沼田 敦・長谷 篤
- VI-075 鉄道構造物構築におけるハローモニカ工法の施工実績 / 大成建設 [正] 坂巻 直紀・上坂 龍平・宮本 優一
- VI-076 DO-Jet施工、急曲線、親子分離等の複合機能を搭載したシールド施工 / 鹿島建設 [正] 大瀧 真道・久本 洋二

- シールドトンネル(5) / 10:40~12:00 / 新井 泰(東京地下鉄)
- VI-077 清水共同溝設置工事—4における重要構造物対策 その(1) / 前田建設工業 [正] 鈴木 哲太郎・宮澤 昌弘・織田 孝之
- VI-078 清水共同溝設置工事—4における重要構造物対策 その(2) / 前田建設工業 [正] 浅井 秀明・林 太将・寅岡 千丈
- VI-079 鉄道営業線直下における大断面シールド掘進施工実績 / 鹿島建設 [正] 紀伊 吉隆・渡辺 真介
- VI-080 横浜環状北線馬場ランプシールドにおける地盤変状対策 / 首都高速道路 [正] 溝口 孝夫・遠藤 啓一郎・塩田 健二
- VI-081 横浜環状北線馬場ランプシールドにおける線形確保対策 / 清水建設 [正] 小野塚 直紘・岸田 政彦・副島 直史
- VI-082 シールド工事における地中トンネル接続について / 大林組 [正] 桜庭 一・香川 敦

VI-2 (一般教育棟A21講義室) / 9月18日(金)

- シールドトンネル(6) / 9:00~10:20 / 鹿島 竜之介(清水建設)
- VI-083 都市部でSENSを初適用した鉄道トンネルの施工実績 / 大成建設 [正] 常田 和哉・佐藤 一義・和田 幸治
- VI-084 SENSによる都市部小土被りトンネルの周辺地盤への影響評価 / 大成建設 [正] 加藤 隆・和田 幸治・中西 孝治
- VI-085 SENSによる場所打ちライニングのひび割れ抑制対策に関する一考察 / 大成建設 [正] 岡嶋 和義・常田 和哉・阪田 暁
- VI-086 SENSの一次覆工挙動に関する研究 / 長岡技術科学 [学] ゲン ドク タム・黒橋 群・CHAIYAPUT SALISA
- VI-087 中折れシールドの制御におけるシールド操作パラメータに関する検討 / 長岡技術科学大学 [学] ファム ヴァンフー・SOUNPHOLPHAKADY VANNAXAY・HUYNH NGOC THI

- シールドトンネル(7) / 10:40~12:00 / 安井 克豊(清水建設)
- VI-088 高耐力特殊セグメントの開発(構造概要と製作性) / 安藤ハザマ [正] 三木 章生・新原 圭祐・粥川 幸司
- VI-089 高耐力特殊セグメントの開発(単体曲げ載荷試験) / 安藤ハザマ [正] 新原 圭祐・三木 章生・粥川 幸司
- VI-090 シールドトンネル地中接続部の開口補強構造について / 鹿島建設 [正] 牛垣 勝・上木 泰裕・望月 一宏
- VI-091 既設マンホール内からの凍結工法によるシールド到達接続工 / 戸田建設 [正] 野村 朋之・浦口 泰弘・高橋 知弘
- VI-092 大深度でのシールド機地中接合の施工実績 / 鹿島建設 [正] 堤 和夫・酢谷 郁雄・竹田 岳史

- シールドトンネル(8) / 13:00~14:20 / 津野 究(鉄道総合技術研究所)
- VI-093 鉄道建設・運輸施設整備支援機構におけるトンネルデータベースの改良 / 鉄道・運輸機構 [正] 萩原 秀樹・西村 直樹・松永 卓也
- VI-094 阪神高速におけるシールドトンネルデータベースについて / 阪神高速道路 [正] 志村 敦・渡辺 真介・紀伊 吉隆
- VI-095 風化花崗岩地盤での反力部材応力計測による早期解体の対応について / 清水建設 [正] 宮岡 香苗・風早 謙一・田尾 一憲
- VI-096 巨礫を含む砂礫層のシールド掘進実績 / 鹿島建設 [正] 鈴木 友幸・神田 真一・増田 善也
- VI-097 風化岩層におけるシールド工事のトラブルとその対策について / 前田建設工業 [正] 高本 賢司・安光 立也・塩田 恵一
- VI-098 シールドマシンのカッタービット交換における止水工法について / 前田建設工業 [正] 森 芳樹・安光 立也・塩田 圭一

■シールドトンネル(9) / 14:40~16:00 / 西森 昭博(大林組)

- VI-099 泥土圧シールドにおける掘削土の泥水輸送の有効性と高速施工設備について / 清水建設 [正] 吉澤 尚志・西川 泰司
- VI-100 小口径・長距離シールド(泥土圧)掘進の工程短縮と安全管理—山科三条雨水幹線(その1) 公共下水道工事— / 熊谷組 [正] 春名 俊二
- VI-101 西名古屋火力発電所リフレッシュ工事ガス導管トンネルの施工実績(中間報告) / 鹿島建設 [正] 川登 一幸・滝川 真太郎・河村 晋平
- VI-102 台湾における電力シールドトンネルの高速施工—大林~高港345KV電線線路第二工区工事— / 鹿島建設 [正] 奥山 義英・三井 隆・多田 幸夫
- VI-103 比抵抗センサーを用いた介在砂層探査技術の開発 / 清水建設 [正] 大木 智明・金丸 清人・斎藤 秀樹
- VI-104 長距離・無水砂礫層におけるシールド掘進 / 戸田建設 [正] 堀昭・中山 卓人・弘瀬 雄太

VI-3 (一般教育棟B21講義室) / 9月16日(水)

- 情報化施工 / 9:00~10:20 / 堤 知明(東京電力技術開発研究所)
- VI-105 GISを活用した除染出来高管理システムの開発・適用 / 鹿島建設 [正] 上田 純広・西川 武志・西山 孝一
- VI-106 放射線モニタリングシステムの開発 / 鹿島建設 [正] 西山 孝一・西川 武志・藤巻 孝治
- VI-107 指紋認証を用いた入退管理線量記録及び労務管理システムの開発 / 鹿島建設 [正] 西川 武志・清水 靖則・中尾 曉彦
- VI-108 自律飛行測量機と画像処理を用いた太陽光アレイ最適配置設計 / 清水建設 [正] 吉成 英俊・中牟田 直昭・熊島 豊
- VI-109 転圧作業の情報化施工のための締固め測定器の開発 / 砂子組 [正] 好川 敏・男澤 真樹・坂下 淳一
- VI-110 無人化施工におけるVRS方式のガイダンスシステム使用事例について / 熊谷組 [正] 坂西 孝仁・北原 成郎

- 検査技術・診断(1) / 10:40~12:00 / 石井 明俊(鹿島建設)
- VI-111 音響探査法のトンネル覆工調査に関する検討(1) 供試体を用いた適用性検証 / JR東海 [正] 石川 達也・松本 繁治・杉本 恒美
- VI-112 音響探査法のトンネル覆工調査に関する検討(2) 実トンネルにおける適用性検証 / JR東海 [正] 松本 繁治・石川 達也・杉本 恒美
- VI-113 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発—接着系あと施工アンカーボルトの接着材量との関連性に関する検討— / 桐蔭横浜大学 [正] 上地 樹・杉本 恒美・黒田 千歳
- VI-114 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発—強力超音波音源の検討— / 桐蔭横浜大学 [正] 杉本 恒美・杉本 和子・上地 樹
- VI-115 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発—スベクトルエントロピーを用いた欠陥検出アルゴリズムの検討— / 桐蔭横浜大学 [正] 杉本 和子・杉本 恒美・黒田 千歳
- VI-116 非接触音響手法による鉄筋腐食ひび割れの検出 / IHI検査計測 [正] 河野 豊・西土 隆幸・杉本 恒美

- 検査技術・診断(2) / 13:00~14:20 / 山路 徹(港湾空港技術研究所)
- VI-117 港湾鋼構造物の肉厚測定でみられる腐食程度と測定誤差に関する一考察 / 若築建設 [正] 森 晴夫・秋山 哲治
- VI-118 非接触型の渦流探傷装置と超音波厚み計による岸壁鋼矢板肉厚測定での適用性比較 / 若築建設 [正] 秋山 哲治・森 晴夫
- VI-119 コンクリート建造物のメンテナンス用核磁気共鳴スキャナの開発 / 産業技術総合研究所 [正] 中島 善人
- VI-120 誘導路橋梁の長期モニタリングによる振動特性に関する検討 / 清水建設 [正] 稲田 裕・金子 雅廣・白井 洋史
- VI-121 コンクリート音響探傷システムの開発 / 東芝 [正] 西村 修・吉野 晃・千星 淳
- VI-122 画像解析によるトンネル照明灯の劣化予測手法の基礎的研究 / 西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 橋爪 謙治・橋本 和明・小田 功

VI-3 (一般教育棟B21講義室) / 9月17日(木)

- 検査技術・診断(3) / 9:00~10:20 / 松田 敏(熊谷組)
- VI-123 鋼板接着補強RC床版の劣化度評価に関する研究(その1) ~アンカーボルトセンシングの開発について~ / 阪神高速道路 [正] ハツ元 仁・小坂 崇・小椋 紀彦



- VI-124 鋼板接着補強RC床版の劣化度評価に関する研究(その2)～アンカーボルトセンシングによるコンクリート内部評価～/CORE技術研究所 [正] 小椋 紀彦・ハツ元 仁・塩谷 智基
- VI-125 広帯域AEセンサを用いたPC部材破断検知に関する実験的研究/日本建設機械施工協会 [正] 榎園 正義・谷倉 泉
- VI-126 ノンターゲット撮影による遠方画像変位測定の適用性検討/フジエンジニアリング [正] 讃岐 康博・西芝 貴光・菊池 智彦
- VI-127 高速撮影動画を用いたデジタル画像相関法による面内変位分布計測のコンクリート構造物への適用/鹿島建設 [正] 今井 道男・露木 健一郎・太田 雅彦
- VI-128 電磁パルス法による全面定着方式ロックボルト定着部の非破壊的評価手法の検討/アミック [正] 三輪 秀雄・橋本 光男・高坂 信

#### ■検査技術・診断(4) /10:40～12:00/佐藤 大輔(コンステック)

- VI-129 橋梁点検への音源探査装置活用に関する基礎的検討/熊谷組 [正] 永田 尚人・北原 成郎・大脇 雅直
- VI-130 ラインセンサカメラを使用したトンネル覆工点検システムの開発/西日本高速道路 [正] 竹本 将・谷口 徹也・仲田 慶正
- VI-131 道路の巡回点検支援システムの開発と今後の展望/オリエンタルコンサルタンツ [正] 猪爪 一良・安立 寛・佐古 憲彦
- VI-132 維持管理を目的とした市販UAVによる変状抽出に関する基礎的実験/長崎大学 [学] 山下 真史・奥松 俊博・中村 聖三
- VI-133 中国地方整備局が管理している橋梁における損傷傾向について/中国地方整備局 [正] 高崎 修
- VI-134 道路維持管理の高度化、効率化に向けたICT技術の活用/東芝 [正] 熊倉 信行・猪爪 一良・関 晃仁

#### VI-3 (一般教育棟B21講義室) /9月18日(金)

#### ■検査技術・診断(5) /9:00～10:20/松山 公年(日本工営)

- VI-135 常時計測可能な健全度診断指標を用いた状態監視手法の実橋梁での検討/鉄道総合技術研究所 [正] 名取 努・阿部 慶太・小湊 祐輝
- VI-136 常時計測可能な指標を用いた単線河川橋梁橋脚の健全度診断手法/鉄道総合技術研究所 [正] 谷 賢俊・阿部 慶太・獅子目 修一
- VI-137 コンクリート中鉄筋の腐食環境検知技術のプレキャストPC上部工への適用/太平洋セメント [正] 佐藤 達三・江里口 玲・宮里 心一
- VI-138 ウォータータイトトンネル健全度評価における3次元計測システム等の適用性検討/日本工営 [正] 中山 宣洋・松田 貞則・窪田 実
- VI-139 特殊高所技術を用いた河川上に位置する橋梁の接近点検/首都高技術 [正] 亀岡 誠・紺野 康二・金子 聖哉
- VI-140 コンクリート高架橋の変状未発生部位の劣化ポテンシャル評価に向けたかぶりの重要性に関する一検討/東日本旅客鉄道 [正] 阿部 陸樹・岸 利治

#### ■検査技術・診断(6) /10:40～12:00/羽矢 洋(ジェイアール東日本コンサルタンツ)

- VI-141 プレストレス低下によるポストテンション単純T桁橋の健全性に関する検討/ [正] 柳沢 有一郎・小柴 康平・亀井 啓太
- VI-142 遠隔操作無人探査機(ROV)を利用した大水深水中調査ロボットの現場適用/五洋建設 [正] 小笠原 哲也・杉本 英樹・森屋 陽一
- VI-143 あと施工アンカーボルトの強度低下供試体の製作検討/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 中村 尚武・川崎 廣貴・堀 隆一
- VI-144 橋梁点検画像を用いた耐候性鋼材のさび粒子形状判定とさび外観評価/茨城大学 [学] 作山 卓也・原田 隆郎
- VI-145 磁石式鋼橋点検装置の開発/首都高技術 [正] 布施 光弘・森 清・大塚 義夫
- VI-146 生体脈波を用いた高速道路の走行安全性評価に関する基礎的研究/茨城大学 [正] 原田 隆郎・作山 卓也

#### ■検査技術・診断(7) /13:00～14:20/阿部 慶太(鉄道総合技術研究所)

- VI-147 単眼ステレオ視を活用した列車監視システムの開発/西日本旅客鉄道 [正] 桶谷 栄一・今西 進也・新名 泰仁
- VI-148 二次元センサを用いたレーザ縞結ボルト緩み検知手法の開発/JR東海 [正] 小島 瑛太郎・三澤 真・坂井 光夫
- VI-149 営業列車の動揺と軌道狂いの位置照合に関する検討/JR西日本 [正] 片岡 武

- VI-150 起振器試験を用いたトンネル路盤の健全度診断手法の開発/鉄道総合技術研究所 [正] 小湊 祐輝・篠田 昌弘・雪岡 剛哲
- VI-151 プランキング基礎を有する橋台における振動特性/西日本旅客鉄道 [正] 進藤 義勝・坂本 寛章・豊田 隼也
- VI-152 港湾鋼構造部材の腐食発生位置に関する検討/港湾空港技術研究所 [正] 野上 周嗣・加藤 絵乃・佐藤 徹

#### ■検査技術・診断(8) /14:40～16:00/戸田 勝哉(IHIインフラシステム)

- VI-153 熱赤外線映像法を用いた吹付のり面老朽化診断時の一時刻画像を用いた場合における適用性/京都大学 [正] 原田 紹臣・小杉 賢一朗・水山 高久
- VI-154 画像データと画像処理技術を利用した地下鉄トンネル異状箇所抽出システムの検討/東京地下鉄 [正] 小西 真治・鈴木 拓・篠原 秀明
- VI-155 可視画像データを利用した地下鉄トンネルの状態分析/東京地下鉄 [正] 川上 幸一・小西 真治・岩本 佑太
- VI-156 デジタルカメラ点検システムの現場導入とその評価検証/西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 松井 俊吾・徳永 賢児・加藤 寛之
- VI-157 赤外線熱計測によるトンネルコンクリートの浮き・剥離調査手法の検討/清水建設 [正] 久保 昌史・中山 聡子・小西 真治
- VI-158 デジタルカメラ計測の橋梁補修補強工事への適用/片山ストラテック [正] 大久保 宣人・田中 伸也・高口 昇

#### VI-4 (一般教育棟C22講義室) /9月16日(水)

#### ■検査技術・診断(9) /9:00～10:20/古川 陽(東京工業大学)

- VI-159 レーザリモートセンシングを用いたコンクリート構造物の健全性評価技術(1)コンクリート欠陥箇所と健全箇所の違い/西日本旅客鉄道 [正] 御崎 哲一・朝倉 俊弘・島田 義則
- VI-160 レーザリモートセンシングを用いたコンクリート構造物の健全性評価技術—(2)ケミカルアンカーボルトの接着不良検出—/レーザー技術総合研究所 [正] 島田 義則・Kotyaev Oleg・御崎 哲一
- VI-161 デジタル画像を利用したひび割れ幅計測法の研究/岡山大学 [学] 壺阪 知広・西山 哲・菊地 輝行
- VI-162 ICTタグを用いたスベアサのかぶり厚検査への適用に関する研究/太平洋セメント [正] 井坂 幸俊・江里口 玲・早野 博幸
- VI-163 AEセンサを用いた打音検査システムによるメカニカルアンカ検査技術の開発/原子燃料工業 [正] 小川 良太・松永 嵩・磯部 仁博
- VI-164 学習データベースを用いたマンホール鉄蓋の摩耗推定に関する基礎検討/NTTアクセスサービスシステム研究所 [正] 内堀 大輔・田中 航・川端 一嘉

#### ■検査技術・診断(10) /10:40～12:00/白鷺 卓(鹿島建設)

- VI-165 橋梁遊間部壁面画像スキャニング装置の開発/ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 赤木 琢也・伊藤 幸広・鈴木 裕二
- VI-166 ガードレール支柱の経年劣化検査技術の開発/原子燃料工業 [正] 松永 嵩・小川 良太・磯部 仁博
- VI-167 レーザポインタの光を活用した撮影画像内のひび割れ長計測方法/NTTアクセスサービスシステム研究所 [正] 田中航・高橋 宏行・川端 一嘉
- VI-168 トンネル路盤コンクリート模型による振動試験/西日本旅客鉄道 [正] 坂本 寛章・長山 喜則・近藤 政弘
- VI-169 振動解析によるシールド設備機器診断技術の研究/大成建設 [正] 松本 三千緒・金子 康一・秦野 淳
- VI-170 キヤラデータを用いた盛土内部ゆるみの推定方法と実調査結果/西日本旅客鉄道 [正] 木口 博之・紙田 茂・藤野 準揮

#### ■検査技術・診断(11) /13:00～14:20/金本 康宏(日本工営)

- VI-171 トンネル覆工コンクリート表面の汚れとトンネル内走行視環境に関する基礎的研究/西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 糸野 佑允・橋本 和明・明石 行雄
- VI-172 TCIによるトンネル覆工の経年変化の定量的な把握/山口大学 [学] 中島 彰吾・濱砂 宏・水野 準也
- VI-173 塩害等を受けた壁高欄の詳細調査事例報告(中性化による塩化物イオン濃縮現象)/パシフィックコンサルタンツ [F] 森 康晴・窪田 光作・古谷 明久
- VI-174 樋門樋管点検機械の開発による点検作業の効率化、高度化/パシフィックコンサルタンツ [正] 畠山 直樹・高田 浩穂・高橋 義孝

- VI-175 電気防食による海洋鋼構造物の最適な維持管理方法の提案／中国電力 [正] 磯田 隆行・志水 克成・林 稔
- VI-176 簡易な振動計測による自治体管理橋梁の性能評価に向けた検討／清水建設 [正] 岩城 英朗・稲田 裕・松竹 由樹

VI-4 (一般教育棟C22講義室) / 9月17日(木)

■建設マネジメント(1) / 9:00~10:20 / 井林 康(長岡工業高等専門学校)

- VI-177 橋梁諸元データから見た対策優先度決定要因の分析について／東京都市大学 [学] 川西 寛・丸山 収・三木 千壽
- VI-178 ヴァイン・コピュラを用いた多面的評価を目的とする相関構造の分析／[学] 堀 舜揮・水谷 大二郎・小濱 健吾
- VI-179 道路橋における重大損傷の要因となりうる損傷形態に関する発生要因等の分析／土木研究所 [正] 飯島 翔一・眞弓 英大・石原 大作
- VI-180 三隅・益田道路における橋梁・トンネル設計のマネジメントについて／中国地方整備局浜田河川国道事務所 [正] 川井 啓永・松本 治男・児玉 克史
- VI-181 CIMデータの運用に関する一考察／熊本大学 [学] 川崎 仁美・小林 一郎・藤田 陽一
- VI-182 係留施設の効率的な維持管理のための点検診断システムの開発／SCOPE [正] 兵頭 武志・岩波 光保・西原 孝仁

■建設マネジメント(2) / 10:40~12:00 / 小濱 健吾(大阪大学)

- VI-183 淡路島沿岸神社における南海トラフ地震の津波被災リスク／神戸市立工業高等専門学校 [正] 宇野 宏司・高田 知紀・辻本 剛三
- VI-184 山田町震災復興事業におけるアットリスク型CM方式の適用事例／大林組 [正] 西 彰一・若原 史宏・國澤 正明
- VI-185 事業促進PPPの導入効果等の検証／国土技術政策総合研究所 [正] 近藤 和正・森田 康夫・川俣 裕行
- VI-186 CALS/ECの経験を踏まえたBIM活用推進の課題に関する一検討／東京都市大学 [学] 伊藤 優太
- VI-187 土壌汚染対策事業に対するマネジメント手法導入の有効性について／国際航業 [正] 下池 季樹
- VI-188 建設労働災害増加傾向の分析とその抑制に関する考察／大阪大学 [正] 浜田 成一・貝戸 清之

VI-4 (一般教育棟C22講義室) / 9月18日(金)

■建設マネジメント(3) / 9:00~10:20 / 後藤 忠博(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-189 海外における社会基盤整備事業推進のための課題の検討と考察／桜コンサルティング [正] 桜井 宏・岡田 包儀・日置 晋時
- VI-190 ポスト2020のシビル産業とみんながグローバル シビルエンジニアへ向けて／日本都市整備 [F] 西 満幸
- VI-191 欧米主要国の交通関連公共事業における中長期計画と事業評価制度の現状／国土技術政策総合研究所 [正] 藤井 都弥子・森田 康夫・小林 肇
- VI-192 ベトナムの建設工事積算制度における安全・品質管理費用の実態とその改善について／[正] 小浪 尊宏・七條 牧生・高田 昇一
- VI-193 海外工事における日本式マネジメントに対する一考「擬制変更とmitigationについて」／前田建設工業 [F] 酒井 照夫
- VI-194 途上国向け道路技術支援の方策検討におけるオーラルヒストリー調査の有効性—東アジア地域における自然条件と社会構造変化の類似性に着目して—／国土技術政策総合研究所 [正] 曾根 真理・松岡 禎典・薄井 宏行

■安全管理 / 10:40~12:00 / 原田 雅弘(熊谷組)

- VI-195 建設業における労働災害の発生頻度に関する一考察／労働安全衛生総合研究所 [正] 玉手 聡
- VI-196 ドラグ・ショベルの斜面降下走行時における法肩形状の影響／労働安全衛生総合研究所 [正] 堀 智仁・玉手 聡
- VI-197 在来線線路内立入作業の安全度向上に向けた取組み—携帯型列車運転状況表示装置の改良—／JR東海 [正] 本村 裕基・小岩 祐樹・宇佐見 健
- VI-198 法面工事現場における安全管理法に関する実態調査—宮城県を対象地域としたアンケート調査—／東京都市大学 [正] 伊藤 和也・吉川 直孝・菊地 信夫
- VI-199 可燃性ガス発生環境下のトンネル工事における安全管理／大成建設 [正] 佐藤 剛史・小池 小池
- VI-200 磁界とICタグを利用した重機安全検知システムの屋外工事への適用実績／鹿島建設 [正] 増田 健吾・小林 弘明・伊東 文紀

■海洋構造物 / 13:00~14:20 / 伊藤 一教(大成建設)

- VI-201 供用中の栈橋に適用した栈橋補強工法の施工事例／あおみ建設 [正] 吉原 到・山本 明・安田 博之
- VI-202 自立矢板式係船岸の鋼管矢板に生じる二次応力の設計法について／鋼管杭・鋼矢板技術協会 [正] 塩崎 禎郎・田中 隆太・相和 男男
- VI-203 直立浮上式防波堤試験工事(その1) —施工概要—／大林組 [正] 松元 和久・谷島 義孝・水谷 雅裕
- VI-204 直立浮上式防波堤試験工事(その2) —鋼管製作管理—／新日鉄住金エンジニアリング [正] 高田 賢一・谷島 義孝・高松 健
- VI-205 直立浮上式防波堤試験工事(その3) —鋼管打設管理—／東亜建設工業 [正] 井上 博士・谷島 義孝・岡山 健次
- VI-206 直立浮上式防波堤試験工事(その4) —浮上システムの概要—／エム・エムブリッジ [正] 前川 勉・谷島 義孝・水谷 雅裕

■河川構造物 / 14:40~16:00 / 小畑 耕一(建設技術研究所)

- VI-207 旧石狩川頭首工撤去工事における出水予測警報システムの適用／大成建設 [正] 本田 隆英・大野 剛・伊藤 一教
- VI-208 伊豆大島火山灰等堆積土砂の海水練りモルタルへの有効利用方法の検討／日本コンクリート技術 [正] 野島 省吾・松本 伸・新村 亮
- VI-209 約1000m<sup>3</sup>の水門床版コンクリート打設時の配慮事項について／奥村組 [正] 工藤 竜太・齋藤 隆弘・小原 昭彦
- VI-210 日光川水閘門改築工事の鋼管杭支持力不足の対策事例／大林組 [正] 三城 健一・多田 芳隆・浅野 要
- VI-211 日光川水閘門のハイブリッドケーソン据付事例／大林組 [正] 小坂 準一・多田 芳隆・浅野 要
- VI-212 日光川水閘門改築工事の水中不分離性中詰コンクリートの施工事例／大林組 [正] 石川 進也・多田 芳隆・浅野 要

VI-5 (一般教育棟A31講義室) / 9月16日(水)

■アセットマネジメント(1) / 9:00~10:20 / 五十嵐 寛昌(鹿島建設)

- VI-213 劣化過程を考慮したライフサイクルコスト分析モデル構築に向けた一考察／JR東日本 [正] 西藤 安隆・瀧川 光伸・青木 一也
- VI-214 インフラ維持管理における動学的リスク評価／東京大学 [学] 大澤 遼一・本田 利器
- VI-215 点検結果に基づく橋梁評価指標に関する研究／金沢大学 [学] 山川 貴大・近田 康夫・小川 福嗣
- VI-216 降雪パターンが冬の厳しさ指数(Winter Index)に及ぼす影響／北見工業大学 [正] 白川 龍生・高橋 浩司
- VI-217 路面性状調査データに基づく高速道路舗装の維持管理施策評価／大阪大学 [学] 山田 洋太・加藤 寛之・浜梶 方希
- VI-218 予算制約状況下における舗装更新待ち時間分析／大阪大学 [学] 水谷 大二郎・小濱 健吾・貝戸 清之

■アセットマネジメント(2) / 10:40~12:00 / 小濱 健吾(大阪大学)

- VI-219 移動赤外線熱計測による地下鉄トンネル内コンクリートの浮き・はく離検出／パスコ [正] 日下 義政・黒須 秀明・土屋 善靖
- VI-220 橋梁桁端部の劣化対策への取組み—付着塩分量調査・桁端部洗浄—／京都府 [正] 春田 健作・仲久保 忠伴・小松 靖彦
- VI-221 冬季の気温逆転現象を考慮した冬期路面管理の一考察／構研エンジニアリング [正] 高橋 浩司・白川 龍生・本田 秀樹
- VI-222 3Dモデルの活用による橋梁維持管理の高度化／西日本旅客鉄道 [正] 中澤 明寛・瀧浪 秀元・御崎 哲一
- VI-223 縦断勾配データを活用した舗装路面変位個所の検出手法について／三井共同建設コンサルタント [正] 吉武 俊章・江本 久雄・宮本 文徳
- VI-224 撮影点検と詳細点検による覆工変状の評価／中日本高速道路 [学] 鈴木 俊雄・木村 定雄・平 俊勝

■CIM (1) / 13:00~14:20 / 鈴木 伸康(鹿島建設)

- VI-225 筑豊鳥尾トンネルにおける施工CIMの取り組み／前田建設工業 [正] 松尾 健二・中島 昇・多久 正太
- VI-226 大規模土工におけるCIMを活用した出来形管理について／大成建設 [正] 後藤 貴晴・白土 稔・竹中 万人
- VI-227 CIMの一般化に向けた複数工事への汎用性と適用性について／八千代エンジニアリング [正] 高垣 俊宏・新田 恭士・吉野 博之
- VI-228 地層処分エンジニアリング統合支援システム(ISRE)の開発(その1) —CIM技術を活用した概念—／日本原子力研究開発機構 [正] 杉田 裕・千々和 辰訓・本田 明
- VI-229 地層処分エンジニアリング統合支援システム(ISRE)の開



- 発(その2) —ISREの統合モデルについて—／八千代エンジニアリング [正] 小林 優一・杉田 裕・山村 正人  
 VI-230 地層処分エンジニアリング統合支援システム (ISRE) の開発(その3)／鹿島建設 [正] 新保 弘・杉田 裕・藤沢 泰雄

#### VI-5 (一般教育棟A31講義室)／9月17日(木)

##### ■CIM (2)／9:00～10:20／矢吹 信喜(大阪大学)

- VI-231 水力発電所新設工事における4次元モデルの活用／[正] 平澤 江梨・上田 健二郎・工藤 敏邦  
 VI-232 ダム周辺整備計画への空間シミュレータ利用に関する研究／熊本大学 [正] 加藤 楓・小林 イチロウ・藤田 陽一  
 VI-233 タイムラプス映像から読み取れる施工属性情報に関する検討／トライボッドワークス [正] 渋谷 義博・須田 清隆・可児 憲生  
 VI-234 河川事業におけるCIM活用に関する考察—堤防詳細設計の試行報告—／日本工営 [正] 栗山 卓也・宮武 一郎・岡崎 仁司  
 VI-235 河川事業におけるCIM活用に関する一考察(その3)—築堤事業の施工段階における実施体制と実施フロー—／東京建設コンサルタント [正] 高岸 智紘・宮武 一郎・田村 利晶  
 VI-236 河川事業におけるCIM活用に関する一考察(その4)—築堤事業の施工段階における活用の中間報告—／東京建設コンサルタント [正] 盛 伸行・宮武 一郎・田村 利晶

##### ■CIM (3)／10:40～12:00／青山 憲明(国土技術政策総合研究所)

- VI-237 WEBで閲覧可能な3D維持管理システムの開発／五洋建設 [正] 石田 仁・山中 哲志  
 VI-238 大規模土工におけるCIMを活用した施工計画について／大成建設 [正] 新井 健司・澤田 雅喜・白土 稔  
 VI-239 橋梁下部工事における4次元モデルの施工計画への活用／[正] 中川 博之・田中 春人・工藤 敏邦  
 VI-240 3次元ブロックモデルを用いた盛土情報管理システムの適用／西松建設 [正] 原 久純・佐藤 靖彦・田中 勉  
 VI-241 施工過程を可視化したリアルタイムモニタリングシステム／熊谷組 [正] 天下井 哲生・北原 成郎・飛鳥馬 翼  
 VI-242 「維持管理初期モデル」としてのCIMモデルの構築に向けて／前田建設工業 [正] 工藤 敏邦・三輪 俊彦・河野 浩之

#### VI-5 (一般教育棟A31講義室)／9月18日(金)

##### ■公共政策・調達／9:00～10:20／伊藤 真(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- VI-243 国土交通省発注工事における総合評価落札方式の実施状況と効果について／国土技術政策総合研究所 [正] 大野 真希・森田 康夫・大平 和明  
 VI-244 地方土木行政における縦割／総合行政下での政策形成過程の比較分析／[学] 福田 学・本田 利器  
 VI-245 大山山系の砂防堰堤工事におけるコスト縮減の取り組み／日野川河川事務所 [正] 梅野 浩一・細木 雅博・福島 隆宏  
 VI-246 技術提案・交渉方式に関する運用ガイドラインについて／国土技術政策総合研究所 [正] 天満 知生・森田 康夫・川俣 裕行  
 VI-247 トンネル覆工コンクリートの長期保証制度について／中国地方整備局道路部道路工事課 [正] 速水 優一・角田 真一・山崎 彰  
 VI-248 直近の価格変動と市況気配を用いた建設資材価格の予測／建設物価調査会 [正] 村田 裕介・鈴木 信行・有森 正浩

##### ■GPS・技術開発(1)／10:40～12:00／森田 泰司(大成建設)

- VI-249 1周波ソフトウェア受信機によるRTK測位の建設工事への適用性／三井住友建設 [正] 千葉 史隆・三上 博  
 VI-250 RTK-GNSSへのSN比導入における各手法の性能評価／東京理科大学 [学] 西 宏治郎・佐伯 昌之  
 VI-251 GPS無線センサネットワークを用いた準静的変位モニタリングにおける高精度化／東京理科大学 [学] 高橋 佑莉沙・佐伯 昌之  
 VI-252 複数測位信号によるマルチパス検知効果に関する研究／日本大学 [正] 池田 隆博・佐田 達典  
 VI-253 無機系繊維補強プレートをを用いた帯板接着工法の補強効果に関する実験的研究／戸田建設 [正] 田中 徹・田中 孝・岡野 法之  
 VI-254 大口径配管用土砂密度計の開発／大林組 [正] 宮入 斎・中根 亘・福田 智之

##### ■技術開発(2)／13:00～14:20／石井 裕泰(大成建設)

- VI-255 圧電素子を用いた無電力LED フロアマットの開発／岩田地崎建設 [正] 河村 巧・須藤 敦史・荒井 洋  
 VI-256 VR騒音シミュレーションの開発／清水建設 [正] 宇野 昌利・谷川 将規・宮瀬 文裕  
 VI-257 人工降雨システムを用いた粉じん低減装置の開発／東亜建設工業 [正] 五十嵐 学・田中 ゆう子・替場 信一  
 VI-258 新型雨水貯留浸透施設工法の開発／戸田建設 [正] 下坂 賢二・浅野 均・請川 誠  
 VI-259 ステンレス板の使用による中央分離帯等止水構造の開発／ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 川崎 靖子・阿部 浩樹・鈴木 裕二  
 VI-260 蓄光材料を用いた緊急時避難・誘導タイル等の開発／大建産業 [正] 荒井 洋・須藤 敦史・広井 勝彦

##### ■技術開発(3)／14:40～16:00／寺田 倫康(熊谷組)

- VI-261 高発泡性能を有するシールドトンネル工用起泡剤の開発／大林組 [正] 武田 厚・三浦 俊彦・千野 裕之  
 VI-262 薬液を用いた自立削孔技術の開発／東京都市大学 [学] 杉浦 陽子・末政 直晃  
 VI-263 連続ベルトコンベヤのベルト損傷検出装置の開発実験報告／[正] 増田 湖一・前田 俊宏・岩戸 敦彦  
 VI-264 車線規制用コーンの衝突時性能の改良／首都高メンテナンス 神奈川 [正] 小田桐 直幸・内野 武人・福島 満  
 VI-265 ダム湖工事用構架架設の大幅な合理化技術の開発と実用化／清水建設 [正] 朝山 順一・原田 隆史・大貫 浩幸  
 VI-266 メガソーラー用アルミ製架台の開発／大林組 [正] 大野 鷹久・嶋田 洋一・三浦 国春

#### VI-6 (一般教育棟A32講義室)／9月16日(水)

##### ■橋梁(1)／9:00～10:20／廣井 幸夫(IHIインフラ建設)

- VI-267 太田川大橋 歩道ブラケットの施工／清水建設 [正] 前田 利光・田村 吉広・小林 顕  
 VI-268 太田川大橋 歩道テラスブラケットの施工／清水建設 [正] 小田村 康幸・田村 吉広・小林 顕  
 VI-269 2線支承を有する長大エクストラードロード橋における柱頭部仮固定の検討／大成建設 [正] 中 隆司・細谷 学・福田 雅人  
 VI-270 暑中コンクリートにおける液体窒素を用いたブレーキリングと効果／清水建設 [正] 頃安 研吾・野島 昭二・片山 雅夫  
 VI-271 扁平形状を有する先端ホースを用いたポンプ施工～長部高架橋工事 橋脚部への適用～／鹿島建設 [正] 岡本 裕昭・戸張 正利・石橋 靖亨  
 VI-272 超高強度繊維補強コンクリート製型枠を用いた構造の実橋脚への適用／鹿島建設 [F] 山野辺 慎一・河野 哲也・茂呂 拓実

##### ■橋梁(2)／10:40～12:00／三住 泰之(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-273 下関北バイパスにおけるスプラインPCポータルラーメン橋の施工／中国地方整備局 [正] 吉川 修・比山 公徳・上城 良文  
 VI-274 PC定着具を用いた水平反力調整工の実施報告—小名浜港東港地区臨港道路航路部上部工事—／清水建設 [正] 利波 立秋・千葉 新一・向原 慎次郎  
 VI-275 張出し架設における工程短縮に向けた一方策—東九州道大越川橋上部工—／大林組 [正] 江口 輝行・岩城 孝之・富永 高行  
 VI-276 中国道1夜間通行止めによる有野越橋一括撤去／大林組 [正] 田嶋 秀一・赤星 祐志・小川 浩  
 VI-277 PC箱桁押出し架設による国道2号線鉄道交差部の一括架設／大成建設 [正] 殿内 秀希・村山 佳弘・木戸 浩幸  
 VI-278 名神集中工事における高槻ジャンクション橋C・Dランプ名神上一括架設計画／西日本高速道路 [正] 高木 良久

##### ■建設環境／13:00～14:20／渡邊 和好(土木研究所)

- VI-279 水槽実験によるゲンジボタル(Luciola cruciata)幼虫の流速と水深選好性／熊谷組 [正] 村上 順也・佐々木 静郎・河村 大樹  
 VI-280 大山ダムホタルビオトープのモニタリング結果(その5)／熊谷組 [正] 門倉 伸行・佐々木 静郎・岡本 弾  
 VI-281 生分解性法枠材を用いたのり面緑化実証試験／大成建設 [正] 大野 剛・川又 睦・伊藤 一教  
 VI-282 固形凝集剤を用いた濁水処理方法の適用事例／大林組 [正] 三浦 俊彦・高田 尚哉・山崎 啓三  
 VI-283 ダム仮排水路工事における環境保全対策工の管理と発生材の生態系保全対策資材への活用／鹿島建設 [正] 越川 義

- 功・高山 晴夫・尾口 佳丈  
 VI-284 ダム建設における希少種オオミズゴケの保全にむけた保護  
 増殖／鹿島建設 [正] 高山 晴夫・竹内 康秀・真崎 達也

VI-6 (一般教育棟A32講義室) / 9月17日(木)

■新材料・品質管理 / 9:00~10:20 / 緒方 明彦(熊谷組)

- VI-285 中流動コンクリートの鉄道高架橋への適用に関する実験的  
 検討／JR東日本 [正] 塩田 彩夏・小林 寿子・橋本 学  
 VI-286 フライアッシュおよび高炉スラグ微粉末を用いたローカー  
 ボンハイパフォーマンスコンクリートの施工事例／安藤ハ  
 ザマ [正] 齋藤 淳・黒子 圭二・坂本 昌一  
 VI-287 炭酸化養生を行った環境負荷低減型コンクリートの製造・  
 施工におけるCO<sub>2</sub>収支評価／中国電力 [正] 向原 敦史・  
 小畑 大作・土屋 善之  
 VI-288 新設橋におけるRC中空床版の品質向上に向けた取り組み  
 ／西日本高速道路 [正] 市川 翔太・赤嶺 政治・福田 雅人  
 VI-289 電気比抵抗を用いた水中コンクリート打込み時の筒内高さ  
 管理方法／清水建設 [正] 根本 浩史・別所 友宏・北河 聡  
 VI-290 長時間の打ち重ね間隔を可能とした海上構造物コンクリ  
 ートの打設実績報告／鹿島建設 [正] 黒原 創・井藤 金満・  
 伊東 知哉

■リニューアル(1) / 10:40~12:00 / 内藤 英樹(東北大学)

- VI-291 勝浦大橋の調査・補強設計について／大日本コンサルタン  
 ト [正] 牧 祐之・原田 豊  
 VI-292 一般国道53号那岐大橋上部工の損傷原因及び補修方法／鳥  
 取河川国道事務所 [正] 川上 隆三・堂田 忠  
 VI-293 耐候性鋼材を使用した鋼鈑桁橋の補修設計／オリエンタル  
 コンサルタンツ [正] 荒関 正二・古賀 秀幸・宮内 健  
 VI-294 トラス構造を有する橋梁の検査車に関する一考察／西日本  
 高速道路 [正] 山下 恭敬・飯田 浩貴・新田 善弘  
 VI-295 補剛桁塗装塗替における塗膜除去方法に関する検討／西日  
 本高速道路 [正] 飯田 浩貴・山下 恭敬  
 VI-296 K-Coat-Rを用いたK-PRO工法によるゴム支承表面亀裂の  
 補修／川金コアテック [正] 但住 俊明・鶴野 禎史・菱山  
 知幸

VI-6 (一般教育棟A32講義室) / 9月18日(金)

■リニューアル(2) / 9:00~10:20 / 熊坂 徹也(オリエンタルコンサル  
 タンツ)

- VI-297 橋梁遊間部の狹隘箇所における断面修復技術の開発について  
 ／東日本高速道路 [正] 飯東 義夫・加納 淳郎・鈴木 裕二  
 VI-298 橋梁桁端小遊間部の調査・補修システムの開発／東日本高  
 速道路 [正] 小川 正幸・東田 典雅・桑原 俊彦  
 VI-299 補修性を考慮したすべり板の摺動性能に関する実験的検討  
 ／日本鑄造 [正] 染谷 優太・原田 孝志・石山 昌幸  
 VI-300 南北備讃瀬戸大橋共用アンカレージ内の主ケーブル防錆対  
 策／本州四国連絡高速道路 [正] 竹口 昌弘・北村 岳伸  
 VI-301 腐食したハンガーロープの架替えと精密調査による維持管  
 理方法の一考察／本州四国連絡高速道路 [正] 金澤 高宏・  
 貴志 友基・長尾 幸雄  
 VI-302 深梁工法による既設棧橋の補強工事／ [正] 田中 祐人

■リニューアル(3) / 10:40~12:00 / 川本 篤志(荒谷建設コンサル  
 タント)

- VI-303 橋脚耐震補強鋼板の凹凸極小化による長寿命化技術の開発  
 ／テクノス [正] 三國 智温・鈴木 隆次・桑田 聖久  
 VI-304 鋼棒後挿入工法を用いた無筋橋脚の耐震補強について／熊  
 谷組 [正] 望月 秀朗・大本 晋士郎・日野 篤志  
 VI-305 アスファルト系材料によるスラブてん充層補修工法の開発  
 ／東日本旅客鉄道 [正] 鈴木 幸太郎・堀 雄一郎  
 VI-306 機械式あと施工アンカー構造物に対する修繕方針の一考察  
 ／東日本旅客鉄道 [正] 石原 文恵  
 VI-307 JR既設盛土耐震補強工事における河川張出し足場施工方  
 法について／東鉄工業 [正] 櫻井 淳司  
 VI-308 凍害を受けた老朽レンガトンネルの覆工補強について／熊  
 谷組 [正] 片桐 朗・大本 晋士郎・割田 武志

■リニューアル(4) / 13:00~14:20 / 柴 幸三(総合技術コンサルタント)

- VI-309 溝型補強桁の変状対策／JR東海 [正] 大山 智・野中 大輔・  
 水谷 真基  
 VI-310 東海道新幹線鋼橋における歩道腕材溶接部変状の発生要因  
 と対策工法の確立／東海旅客鉄道 [正] 高橋 眞・中越 正  
 幸・大脇 規孝

- VI-311 東海道新幹線鉄けた補剛材における変状発生原因と対策／  
 東海旅客鉄道 [正] 土井 宏政・北野 祐介  
 VI-312 フラットジャッキを用いた鉄道RC単版桁の桁座修繕／大  
 鉄工業 [正] 岡本 和大・飯塚 友博・湯浅 康史  
 VI-313 活荷重作用時と温度変化時の機能を分離した鉄道橋用支承  
 に関する一検討／京橋メンテック [正] 山田 不二彦・柴  
 崎 奈穂・並木 宏徳  
 VI-314 ビボット支承を有する鉄道橋の橋脚傾斜対策／JR東日  
 本 [正] 中村 兆治・勝沼 浩之・島田 裕樹

■リニューアル(5) / 14:40~16:00 / 海野 豊数(ウエスコ)

- VI-315 東海道新幹線鋼橋への耐火塗料の適用(その1) / ジェイ  
 アール東海コンサルタンツ [正] 門田 祐一郎・畑中 達彦・  
 桑原 幹雄  
 VI-316 東海道新幹線鋼橋への耐火塗料の適用(その2) / 東海旅客  
 鉄道 [正] 田中 佑児・畑中 達彦・門田 祐一郎  
 VI-317 東海道新幹線の沿線で発生した火災における耐火塗料の性  
 能評価／JR東海 [正] 下島 桂・瀬戸 勝・西山 裕之  
 VI-318 沓からの亀裂を要するIビーム桁の維持管理に関する報告  
 ／東日本旅客鉄道 [正] 鈴木 裕二・上堀 拓真  
 VI-319 下路鈑桁の縦桁ウェブ切欠部に発生したき裂に対する原因  
 と対策／東日本旅客鉄道 [正] 岩岸 現・高久 智成・窪田  
 利幸  
 VI-320 鉄筋コンクリート桁の変状原因の究明と修繕方法の検討／  
 東海旅客鉄道 [正] 山上 正彦・加山 晴彦

VI-7 (一般教育棟A34講義室) / 9月16日(水)

■リニューアル(6) / 9:00~10:20 / 片山 武(オリエンタルコンサル  
 タンツ)

- VI-321 導水機能付きのトンネル剥落対策工法の検討(その1) / 東  
 日本旅客鉄道 [正] 古川 武英・齊藤 裕之・浅田 章一  
 VI-322 導水機能付きのトンネル剥落対策工法の検討(その2) /  
 JR東日本 [正] 栗林 健一・浅田 章一・古川 武英  
 VI-323 プラスチック製光ファイバーによるトンネル覆工背面空洞  
 の充填検知システム／鹿島建設 [正] 山本 拓治・井本 厚・  
 芥川 真一  
 VI-324 構造物の機能保持技術(タフネスコート)によるトンネル覆  
 工の剥落防止効果／清水 [F] 奥石 正己・野城 一栄・井  
 出 一直  
 VI-325 関門国道トンネルの天井板落下防止対策／西日本高速道  
 路 [正] 今村 壮宏・渡邊 芳弘・小山 保郎  
 VI-326 太径金属拡張型アンカーの引抜強度特性／サンコーテク  
 ノ [正] 藤井 保也・山崎 裕巳・藤原 優

■リニューアル(7) / 10:40~12:00 / 篠川 俊夫(アサノ大成基礎エ  
 ンジニアリング)

- VI-327 充填硬化材の加圧注入圧を利用した既設トンネルの補強技  
 術の開発～3次元FEM解析による補強成立性の検討～／大  
 成建設 [正] 猪口 泰彦・森田 泰司・高倉 克彦  
 VI-328 充填硬化材の加圧注入圧を利用した既設トンネルの補強技  
 術の開発～2次元フレーム解析による3次元FEM解析の再  
 現性について～／大成建設 [正] 高倉 克彦・森田 泰司・  
 斎賀 雄  
 VI-329 ポリマーセメントモルタルを用いた湿式吹付け断面修復材  
 の10年間追跡調査結果／東京地下鉄 [正] 大塚 努・今村  
 俊毅・新川 洋行  
 VI-330 地震ハザードを考慮したトンネル覆工の劣化モデル／岩田  
 地崎建設 [正] 須藤 敦史・丸山 収・兼清 泰明  
 VI-331 トンネル内あと施工アンカーの引抜き試験に関する基礎的  
 実験／土木研究所 [正] 日下 敦・淡路 勤太・河田 皓介  
 VI-332 臨海部に位置する開削トンネルの中柱の補修工事における  
 施工管理／東日本旅客鉄道 [正] 小笠原 賢・関田 竜典・  
 嶋野 芳憲

■リニューアル(8) / 13:00~14:20 / 廣田 元嗣(東日本旅客鉄道)

- VI-333 タブレット端末を用いた橋梁概略点検システムの実地調査  
 による有効性の検討／長岡工業高等専門学校 [学] 佐々木  
 悠祐・土田 大嗣・井林 康  
 VI-334 日本とキルギス国におけるタブレット端末を用いた橋梁点  
 検および調査閲覧システムの開発／長岡工業高等専門学  
 校 [学] 土田 大嗣・渡邊 正俊・佐々木 悠祐  
 VI-335 ノンブリズムトータルステーションによる供用中高速道路  
 トンネル監視への適用例／東日本高速道路 [正] 宮沢 一  
 雄・永井 宏・増淵 善明  
 VI-336 防食板を有する河川内鋼製橋脚の健全性調査／首都高速道  
 路 [正] 和田 新・吉田 祥二



- VI-337 グラウンドアンカーの保全段階の計測挙動／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 中村 友和・川崎 廣貴・高橋 広幸
- VI-338 過荷重グラウンドアンカーの荷重低減事例と評価／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 西田 直也・川崎 廣貴・中村 友和

#### VI-7 (一般教育棟A34講義室) / 9月17日(木)

##### ■リニューアル(9) / 9:00~10:20 / 高 龍(新日本技研)

- VI-339 橋梁検査路の損傷程度が安全带取付け時の墜落防護性能に与える影響／労働安全衛生総合研究所 [正] 大幡 勝利・高梨 成次・日野 泰道
- VI-340 材質の異なる橋梁検査路の安全带取付け時の墜落防護性能／ヒロセ [正] 熊田 哲規・大幡 勝利・高梨 成次
- VI-341 漁港施設の点検システムとその活用／全日本漁港建設協会 [正] 長野 章・長野 晋平・不動 雅之
- VI-342 老朽導水施設の各種調査に基づく対策優先順位の評価／日本工営 [正] 小谷 拓・沢田 陽佑
- VI-343 全般検査結果を用いたベジアンネットワークによる変状発生の因果関係の分析／東京地下鉄 [正] 篠崎 真澄・村上 哲哉・川上 幸一
- VI-344 全般検査結果を用いた地下鉄トンネルリスク評価のための総合指標の検討／ [正] 村上 哲哉・福中 公輔・小西 真治

##### ■リニューアル(10) / 10:40~12:00 / 岩井 稔(鹿島建設)

- VI-345 ICTを活用した道路維持管理業務の高度化／東京大学 [正] 秋葉 雅章・石川 雄章
- VI-346 広島県における道路メンテナンス会議を通じた老朽化対策の取組み／中国地方整備局 [正] 玉國 和広
- VI-347 豊田市における重要度の低い橋梁に対する維持管理の方向性／豊田市役所 [正] 山本 尚・鈴木 康貴
- VI-348 道路トンネルの長寿命化修繕計画策定における各種マニュアル等の整備／日本工営 [正] 沢田 陽佑・小谷 拓
- VI-349 両端固定RC梁の主筋腐食が耐力に及ぼす影響に関する実験的検討／五洋建設 [正] 三好 俊康・小笠原 哲也・宇野 州彦
- VI-350 鉄道RC高架橋を対象とした戦略的維持管理／東急建設 [正] 鈴木 将充・山田 久美・三輪 昌義

#### VI-7 (一般教育棟A34講義室) / 9月18日(金)

##### ■リニューアル(11) / 9:00~10:20 / 森崎 静一(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-351 高速道路盛土の基礎地盤液状化時の安定性評価と対策工の試行検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 笹本 直之・川崎 廣貴・石橋 円正
- VI-352 国道53号津山管内の供用40年以上のコンクリート舗装の維持補修の検討／中国地方整備局岡山国道事務所 [正] 水上 裕介
- VI-353 個別要素法による城郭石垣における鉄筋挿入工法の補強メカニズムの検討／ [学] 蔦野 温也・西形 達明・山本 浩之
- VI-354 Znシート工法によるコンクリート構造物の長期防食／ナカボーテック [正] 星野 雅彦・小林 浩之・大谷 俊介
- VI-355 エアミルクによる大規模地下排水管充填の工事実績／鹿島建設 [正] 高橋 正・宮本 祐樹
- VI-356 間知石を用いた石積壁を対象とした耐震補強工用注入材の開発／大阪防水建設社 [正] 本橋 俊之・高柳 剛・太田 直之

##### ■地盤改良(1) / 10:40~12:00 / 山下 徹(大林組)

- VI-357 鉋さい堆積場におけるレベル2地震時の液状化対策工の設計／鹿島建設 [正] 大石 峻也・村上 武志・前田 宗宏
- VI-358 鉋さいのセメント改良における配合検討／鹿島建設 [正] 中島 悠介・小原 隆志・北本 幸義
- VI-359 早期道路開放のための地盤改良工法の施工一新浦安駅前バスロータリーの液状化対策／西松建設 [正] 喜多 紀州・佐藤 靖彦・大竹 亮平
- VI-360 礫質埋立地盤の止水を目的とした原位置攪拌による地盤改良工／加藤建設 [正] 伊藤 千寿・池田 憲造・岸上 輝
- VI-361 橋台背面盛土の陥没対策を目的としたグラウト注入実験／鉄道総合技術研究所 [正] 阪東 聖人・高柳 剛・太田 直之
- VI-362 石礫破碎処理した農地表層土の粒度に関する一考察／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 小野寺 康浩・町田 美佳・近藤 晴義

##### ■地盤改良(2) / 13:00~14:20 / 河田 雅也(清水建設)

- VI-363 特殊条件下でのCDM・LODIC工法継ぎ杭の施工方法／テノックス [正] 又吉 直哉・上村 一義・遠西 幸男
- VI-364 陸上機搭載台船方式深層混合処理工法の既設護岸耐震補強への適用／東亜建設工業 [正] 田口 博文・大塚 裕弘・徳永 幸彦
- VI-365 物理探査法を用いた空港誘導路下における地盤改良効果の評価／飛鳥建設 技術研究所 [正] 高瀬 裕也・松本 泰孝・土井 紀直
- VI-366 サンドコンパクションパイル工法における変位抑制試験施工／大成建設 [正] 南出 賢司・池田 裕樹・小山 晋哉
- VI-367 既設構造物への影響を配慮した横坑接続工事での凍結工法施工実績／鹿島建設 [正] 山上 隆行・盛岡 義郎・北村 裕二
- VI-368 地盤改良工事における「見える化」モニタリングの一例／東洋建設 [正] 鶴ヶ崎 和博・宮本 順司・松本 典人

##### ■人材育成 / 14:40~16:00 / 本間 淳史(東日本高速道路)

- VI-369 建設施工における安全マネジメントに関する一考察／東洋大学 [正] 鈴木 信行・落合 真一
- VI-370 社員教育を目的とする企業防災力検定システムの開発／愛知工業大学 [学] 戸崎 将寛・小池 則満
- VI-371 中小建設業における安全教育の実態調査／労働安全衛生総合研究所 [正] 高木 元也
- VI-372 建設業における使途秘匿金課税に関する研究／ [正] 山田 貴久
- VI-373 建設現場での情報共有を目指した取り組み(その1)／東日本旅客鉄道 [正] 田原 孝・蒔苗 耕司・石間 計夫
- VI-374 建設現場での情報共有を目指した取り組み(その2)／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 石間 計夫・蒔苗 耕司・田原 孝

#### VI-8 (一般教育棟A35講義室) / 9月16日(水)

##### ■品質管理(1) / 9:00~10:20 / 堀口 賢一(大成建設)

- VI-375 カメラ画像を用いた配筋検査手法の開発(その1)ースラブ配筋の鉄筋本数の自動認識ー／鹿島建設 [正] 蔡 成浩・中村 隆寛・高橋 和義
- VI-376 カメラ画像を用いた配筋検査手法の開発(その2)ーRCラーメン高架橋のスラブ配筋への適用ー／鹿島建設 [正] 中村 隆寛・蔡 成浩・高橋 和義
- VI-377 鉄道高架橋に表層品質測定結果について／鉄道運輸機構 [正] 下津 達也・横山 秀喜・田口 明勇
- VI-378 アジテータ車に設置したブローブによるコンクリートの連続管理技術の適用性／鹿島建設 [正] 曾我部 直樹・廣藤 義和・毛利 彰仁
- VI-379 RC函体の構築工事におけるコンクリートの連続管理技術の検証実験／鹿島建設 [正] 松井 雅紀・曾我部 直樹・高野 卓
- VI-380 打込み管理システムによる打込み管理手法の提案／安藤ハザマ [正] 白岩 誠史・斉藤 智行

##### ■品質管理(2) / 10:40~12:00 / 焼田 真司(鉄道総合技術研究所)

- VI-381 ひび割れ抑制を目的とした品質証明システムを実構造物に適用した事例／鹿島建設 [正] 今川 将秀・細田 暁・関 健吾
- VI-382 給熱養生温度管理システムによる橋脚スラブの表面ひび割れ抑制／大林組 [正] 中村 清志・藏園 和人・飯谷 隆
- VI-383 ウェアラブルカメラを利用した熟練・若手技術者のコンクリート締固め技術比較実験／西武建設 [正] 須長 真介・二村 憲太郎・伊代田 岳史
- VI-384 RC巻立て耐震補強におけるコンクリート表層品質向上の取組み／西日本旅客鉄道 [正] 山田 兼太郎・宮島 英樹
- VI-385 橋梁における排水樹形状の違いによる排水性能評価／コーセイ [正] 大脇 賢治・伊木 宏行・大橋 慶介
- VI-386 画像処理によるCSG材の粒度分布推定技術の開発／前田建設工業 [正] 田中 麻穂・安井 利彰・中島 具威

##### ■品質管理(3) / 13:00~14:20 / 橋 直毅(中央復建コンサルタンツ)

- VI-387 自動認識技術を用いた構造物管理支援ツールの試作／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 小林 孝光・田原 孝・石間 計夫
- VI-388 開削工事における工程短縮に関する一考察／清水建設 [正] 河村 雄一・白井 健太郎・野口 三郎
- VI-389 攪拌異取付け型抵抗センサーを用いた深層混合処理施工の品質管理について／不動テトラ [正] 白鳥 翔太郎・山口 博久・榎田 実
- VI-390 堆積軟岩地盤における宅地地盤性能評価方法の試験的实施について／大成建設 [正] 久常 雄大・長屋 光記・白土 稔

- VI-391 太陽光発電架台基礎における地盤～基礎間の摩擦係数について／清水建設〔正〕 児玉 浩一・若林 雅樹・熊島 豊
- VI-392 河道掘削土を良質な築堤土に改良・有効利用するための配合管理手法に関する検討／日本国土開発〔正〕 中島 典昭・大野 誠・佐藤 和幸

#### VI-8 (一般教育棟A35講義室) / 9月17日(木)

##### ■施工計画(2) / 9:00～10:20 / 藤田 淳(清水建設)

- VI-393 吊上げ引出し工法による線路上空トラス橋りょうの撤去／JR東日本〔正〕 鬼武 祐太・戸塚 淳也・中野 和也
- VI-394 鉄道クレーンを用いた軌道上からの仮設鋼製桁の一括撤去／JR東日本〔正〕 鈴木 健史・八木 政行
- VI-395 東北縦貫線工事における活線条件下での路盤コンクリートの設計について／JR東日本〔正〕 金島 篤希・半司 淳弥・佃 晋太郎
- VI-396 東北縦貫線工事における活線条件下での路盤コンクリートの施工について／JR東日本〔正〕 半司 淳弥・金島 篤希・佃 晋太郎
- VI-397 横川駅構内における短時間間合でのホーム拡幅工事／西日本旅客鉄道〔正〕 福元 雄大・牛田 直希
- VI-398 鉄道高架橋直下での開削工法によるRC地下函体構築／東日本旅客鉄道〔正〕 池田 圭吾・本田 諭・和田 旭弘

##### ■施工計画(3) / 10:40～12:00 / 清水 正巳(大成建設)

- VI-399 線路群直上における曲線桁の曲線方向送出し架設／JR東日本〔正〕 田中 寿弥・外山 洋文・渡邊 大輔
- VI-400 大型ピボット蒼交換工事／首都高速道路〔正〕 田中 大介・松原 拓朗・山本 一昭
- VI-401 新名神高速道路塩川橋・下り線の設計および施工計画／西日本高速道路〔正〕 小山 敏史・進 繁樹・田口 靖雄
- VI-402 鉄道ラーメン高架橋 柱構築での鉄筋・型枠のユニット化施工実績／鹿島建設〔正〕 小河 亮介・北嶋 晃・桶土井 清裕
- VI-403 都市計画道路上でのトラス型式直受け支保によるPC桁施工／清水建設〔正〕 和田 一彬・宇治 由智・木原 康成
- VI-404 ゼンビア国における住民参加型橋梁施工技術に関する実践的研究／京都大学〔学〕 芝村 裕人・大東 優馬・福林 良典

#### VI-8 (一般教育棟A35講義室) / 9月18日(金)

##### ■施工計画(4) / 9:00～10:20 / 坂平 佳久(大林組)

- VI-405 処分場の再生に伴う選別工事の工夫／大成建設〔正〕 月岡 美佳
- VI-406 起伏のあるゴルフ場跡地でのメガソーラー建設における太陽光パネル配置計画の工夫／〔正〕 新川 泰弘・重松 映輝
- VI-407 気象・海象シミュレーションを利用した洋上風力発電所の施工稼働率の評価／東京大学〔正〕 菊地 由佳・石原 孟
- VI-408 ニューマチックケーソン工法による地下書庫構築プロジェクトー東京大学(本郷)アカデミックコモンズ／清水建設〔正〕 前田 裕一・笠原 隆・安中 健太郎
- VI-409 夜間工事照明影響評価システムの概要とそのケーススタディ／清水建設〔正〕 宮瀬 文裕・林 豊・宇野 昌利
- VI-410 クマタカと共生した与布土ダムの施工／清水建設〔正〕 牧野 有洋・堀江 淳二

##### ■施工計画(5) / 10:40～12:00 / 八朝 秀晃(熊谷組)

- VI-411 移動式型枠支保工による施工性向上への取り組み／鹿島建設〔正〕 古庄 怜太郎・小林 健司・河井 誠治
- VI-412 コンクリート打設により作用する打設側圧の計測結果報告／清水建設〔正〕 阿部 孝裕・石川 大・根本 浩史
- VI-413 寒冷地での昇降式足場使用工事におけるコンクリート養生の試行／東鉄工業〔正〕 藤原 裕貴・本山 時男
- VI-415 幅木の高さをパラメータとした足場の風力風洞実験(壁つなぎを設置した場合の検討)／労働安全衛生総合研究所〔正〕 高橋 弘樹・大嶋 勝利・北條 哲男
- VI-416 長大橋りょうの維持管理に関する一考察／東日本旅客鉄道〔正〕 松本 裕樹・海沼 誠司・重松 彰人

##### ■施工計画(6) / 13:00～14:20 / 梅村 勝(熊谷組)

- VI-417 地中連続壁基礎の合理化施工実績／鹿島建設〔正〕 蔵岡 寛・大野 純平・鈴木 建爾
- VI-418 3次元FEM逐次解析によるオープンケーソンの近接施工影響検討／阪神高速道路〔正〕 藤原 勝也・生田 正祥・森川 信
- VI-419 薬液注入工法によるRC地中連続壁の溝壁防護の施工／清水建設〔正〕 白井 聡也・沼澤 司・平井 孝幸
- VI-420 高速道路橋台下の狭隘空間における既設基礎杭撤去工事／

- 清水建設〔正〕 戸田 明良・緒畑 和也・本間 龍介
- VI-421 狭隘部での急曲線区間を含む推進工法についての施工実績／大成建設〔正〕 米田 和生・飯村 英之・神林 雅敏
- VI-422 運河上の乾式モルタル吹付による橋脚耐震補強について／東鉄工業〔正〕 落合 太郎・栗田 淳・土田 大輔

##### ■施工計画(7) / 14:40～16:00 / 宮田 和(清水建設)

- VI-423 2014広島土砂災害に伴う流木塵芥による高瀬堰ゲート全閉不能対応／中国地方整備局太田川河川事務所〔正〕 山本 智一・山崎 隆洋・岡 力夫
- VI-424 JR山口線白井地区における土砂災害復旧工事に関する一報告／大林組〔正〕 荒木 博・鎌田 和孝・中島 卓哉
- VI-425 宇佐川土砂崩壊災害復旧工事における無人化施工／熊谷組〔正〕 野村 泰之
- VI-426 ダム湖内における放水時の流動解析／鹿島建設〔正〕 新保 裕美・田中 昌宏

#### VI-9 (一般教育棟A36講義室) / 9月16日(水)

##### ■施工計画(1) / 9:00～10:20 / 山本 忠久(大林組)

- VI-428 選奨土木遺産である銀座線新橋駅の改良計画／東京地下鉄〔正〕 佐藤 彰洋・荻野 竹敏・福田 隆二
- VI-429 東西線大手町駅バリアフリー工事に於ける構築床版解体に伴う流動阻害対策について／東京地下鉄〔正〕 荻野 竹敏・柳迫 久・宇野 孝英
- VI-430 地上と地下における旅客流動及び交通結節機能確保した東京駅丸の内広場整備計画について／JR東日本〔正〕 野本 将太・川口 大敏・舟山 雅史
- VI-431 輸送改善対策と出入口、バリアフリー整備に伴う駅改良工事／東京地下鉄〔正〕 坂田 聡・津田 由治・久保田 淳
- VI-432 銀座線渋谷駅改良工事に伴う工事桁構造の選定及び施工結果について／東京地下鉄〔正〕 沼田 敦・上田 直人・長田 茄歩
- VI-433 地下鉄駅改良工事における活線直上に設置するプレキャスト床版の設計・施工／清水建設〔正〕 大野 広志・東山 裕亮・中村 守男

##### ■軌道の維持管理(1) / 10:40～12:00 / 山根 寛史(JR西日本)

- VI-434 レール傷検知性能向上への取り組み／日本機械保線〔正〕 遠藤 哲矢・下前 卓
- VI-435 きしみ傷発生区間におけるシェリング傷管理について／西日本旅客鉄道〔正〕 辰巳 新太郎・高尾 賢一
- VI-436 レール探傷車における探触子の検証／〔正〕 橋村 京介・幸野 茂・佐古 武彦
- VI-437 レールフレッキングの管理方法に関する一考察／東日本旅客鉄道〔正〕 小松 佳弘・熊倉 孝雄・塚田 祐士
- VI-438 ゲージコーナーシェリングの管理手法の研究／JR東日本〔正〕 八巻 泰裕
- VI-439 車輪・レール間の弾塑性転がり接触解析プログラムの開発／鉄道総合技術研究所〔正〕 坂井 宏隆・相川 明・林 雅江

##### ■軌道の維持管理(2) / 13:00～14:20 / 本野 貴志(西日本旅客鉄道)

- VI-440 曲線外軌レールにおける損傷箇所の傾向と解析について／JR東日本〔正〕 安達 大将・深堂 暢之・渋谷 伸一
- VI-441 緩曲線におけるゲージコーナーき裂対策の検討／西日本旅客鉄道〔正〕 加藤 篤史・田中 俊史
- VI-442 レール削正方法の評価と今後の展望／JR西日本〔正〕 村上 邦宏・瀬川 律文・池田 智史
- VI-443 曲線のきしみ割れ進展抑制を目的としたレール削正試験施工／東日本旅客鉄道〔正〕 安藤 洋次郎・安藤 洋介・吉武 昌俊
- VI-444 レール頭部補修溶接(THR)の検証／九州旅客鉄道〔正〕 清水 淳・幸野 茂・河野 皓治
- VI-445 レール頭部補修溶接法の基本的性能の検証／JR西日本〔正〕 田中 俊史・加藤 篤史

#### VI-9 (一般教育棟A36講義室) / 9月17日(木)

##### ■軌道の維持管理(3) / 9:00～10:20 / 坪川 洋友(鉄道総合技術研究所)

- VI-446 東北新幹線盛岡以北320km/h高速走行試験における車上測定結果について／東日本旅客鉄道〔正〕 久保田 光彦・佐竹 宣章
- VI-447 320km/h高速走行試験にける軌道強度等の影響評価(地上編)／東日本旅客鉄道〔正〕 佐竹 宣章・久保田 光彦
- VI-448 東海道新幹線小田原駅構内速度向上への取り組み／東海旅客鉄道〔正〕 君島 康太・北田 悟・平永 稔



- VI-449 高周波振動を考慮した山陽新幹線の乗り心地良化手法の検討／西日本旅客鉄道 [正] 溝口 大介・黒田 昌生・小野 隆  
 VI-450 スラブ長波長整備の施工品質向上に向けた取り組み／JR西日本 [正] 増永 和真・黒田 昌生・佐々木 陽  
 VI-451 新幹線における営業列車への慣性正矢軌道検測装置の搭載／JR東日本 [正] 片岡 慶太

#### ■軌道の維持管理(4) / 10:40～12:00 / 桶谷 栄一(西日本旅客鉄道)

- VI-452 新幹線における乗り心地向上対策について／JR東日本 [正] 山本 修平・山中 貞男・竹内 智希  
 VI-453 東北新幹線の乗り心地向上に関する研究／JR東日本 [正] 丸山 淳也・片岡 慶太  
 VI-454 山陽新幹線における乗り心地向上の取り組み／[正] 小村 啓太・中村 孝次・佐々木 陽  
 VI-455 新幹線における長波長波状摩耗の影響および処置方法の検討／東日本旅客鉄道 [正] 大和田 雅仁・細田 充・田村 大輔  
 VI-456 連続した通り変位と列車の左右動揺の関係について／JR東日本 [正] 吉田 尚  
 VI-457 軌道検測データを活用した車両動揺管理手法の検討／鉄道総合技術研究所 [正] 片山 雄一朗・三和 雅史

#### VI-9 (一般教育棟A36講義室) / 9月18日(金)

#### ■軌道の維持管理(5) / 9:00～10:20 / 佐古 武彦(九州旅客鉄道)

- VI-458 統計的劣化予測手法を活用した軌道施設の劣化過程評価に関する基礎研究／東日本旅客鉄道 [正] 佐藤 陽・瀧川 光伸・青木 一也  
 VI-459 高頻度検測データを活用したMTT運用計画支援システムの開発／鉄道総合技術研究所 [正] 山口 剛志・三和 雅史・吉田 尚史  
 VI-460 保守計画を定量評価する手法の検討／西日本旅客鉄道 [正] 原田 祐樹・桶谷 栄一・横内 広高  
 VI-461 軌道変位保守計画モデルにおける軌道保守管理単位の設定手法の検討／鉄道総合技術研究所 [正] 吉田 尚史・三和 雅史  
 VI-462 営業列車搭載型軌道材料モニタリング装置における継目板ボルトの判定精度向上について／東日本旅客鉄道 [正] 葛西 亮平・矢作 秀之  
 VI-463 画像データ等による線路沿線の環境変化抽出に向けた基礎研究／西日本旅客鉄道 [正] 安部 聡・千代 誠

#### ■軌道の維持管理(6) / 10:40～12:00 / 片岡 慶太(東日本旅客鉄道)

- VI-464 復元原波形を用いたマルチ整備効果の検証について／西日本旅客鉄道 [正] 白木 一樹・黒田 昌生  
 VI-465 分岐器における乗り心地向上／JR東海 [学] 田中 大貴・原 幸一郎  
 VI-466 列車間合の短い線区における無道床橋りょうの軌道整備／JR東海 [正] 矢田 尚樹  
 VI-467 レール削正とマルチプルタイタンパの複合保守の効果に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 矢坂 健太・三和 雅史・佐々木 陽  
 VI-468 レール凹凸連続測定装置の制御／データ処理ソフトの開発／鉄道総合技術研究所 [正] 田中 博文・清水 惇  
 VI-469 加速度と車内音の相互補正による列車位置同定手法の提案／東京大学 [学] 佐野 聡・蘇 迪・田中 博文

#### ■軌道の維持管理(7) / 13:00～14:20 / 川崎 祐征(東海旅客鉄道)

- VI-470 経年レールの高繰返し数の疲労試験／鉄道総合技術研究所 [正] 片岡 宏夫・平出 壮司・細田 充  
 VI-471 防食レール用レール締結装置構造の検討／鉄道総合技術研究所 [正] 庄野 真也・片岡 宏夫  
 VI-472 レール折損補強器設置時における運転速度向上に関する検討～その2～／東京地下鉄 [正] 星子 遼・大澤 純一郎・河野 陽介  
 VI-473 軌間可変輪軸を有する車両走行に対応した誘導ガードレールの基礎検討／JR西日本 [正] 溝口 敦司・佐野 功・三嶋 智志  
 VI-474 分岐器内のレール継目部におけるまくらぎ振動加速度の低減について／鉄道総合技術研究所 [正] 塩田 勝利・及川 祐也・斎藤 康宏  
 VI-475 シーサスクロッシング新設における通り狂い整正作業の一考察／大鉄工業 [正] 寺田 純・芦田 和幸・門脇 政嗣

#### ■軌道の維持管理(8) / 14:40～16:00 / 山崎 誠幸(東海旅客鉄道)

- VI-476 次世代分岐器化における施工計画の検討について／ユニオン建設 [正] 中澤 祐哉・篠田 勝己・伊藤 勝  
 VI-477 ローラー床板の配置の検討／JR東日本 [正] 神谷 祐次・明圓 桂一

- VI-478 新型ノーズ可動クロッシングの試験敷設／JR西日本 [正] 本野 貴志・福井 義弘・山根 寛史  
 VI-479 特殊分岐器(可動ダイヤモンドクロッシング)の設備故障対策／東日本旅客鉄道 [正] 大池 幸史・明圓 桂一  
 VI-480 レール鋼製ノーズ可動クロッシングの性能評価／鉄道総合技術研究所 [正] 及川 祐也・西田 博貴  
 VI-481 列車走行方向の違いによるマンガンクロッシングの耐久性に関する一考察／東京地下鉄 [正] 小林 実・有田 伸介・濱野 浩

#### VI-10 (一般教育棟A37講義室) / 9月16日(水)

#### ■設計技術 / 9:00～10:20 / 高橋 敏樹(大林組)

- VI-482 縦二連道路トンネル切開き施工時の挙動評価／鹿島建設 [正] 佐原 史浩・永井 政伸・山本 佳正  
 VI-483 画像解析に基づく3次元モデルの計測精度に関する試験／計測リサーチコンサルタント [正] 渡邊 弘行・味岡 収  
 VI-484 阪神高速松原ジャンクション北西渡り線の建設／阪神高速道路 [正] 寺岡 正人・間嶋 信博  
 VI-486 盛土と基礎の同時施工を可能にした盛りこぼし橋台の設計／清水建設 [正] 藤田 宗寛・間井 博行・清水 利浩  
 VI-487 盛土と基礎の同時施工を可能にした盛りこぼし橋台の施工／清水建設 [正] 清水 利浩・間井 博行・藤田 宗寛

#### ■軌道の維持管理(9) / 10:40～12:00 / 紅露 一寛(新潟大学)

- VI-488 浮きまくらぎに着目した軌道狂い(変位)進みメカニズム／日本工営 [F] 石田 誠  
 VI-489 バラスト軌道の鉛直方向に関する固有振動特性／鉄道総合技術研究所 [F] 相川 明  
 VI-490 鉄まくらぎを用いたバラスト軌道の補修方法に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 中村 貴久・桃谷 尚嗣・数中 嘉彦  
 VI-491 スタビライザーを活用した継目部上げ越し施工に関する研究／東日本旅客鉄道 [正] 糟谷 賢一・落合 晋一・田中正浩  
 VI-492 SW-MTTを活用した両開き分岐器の通り整正／東日本旅客鉄道 [正] 今村 恵里香・谷 隆一郎  
 VI-493 地方路線における軌道整備の機械化について／JR東日本 [正] 青井 宏貴・榊原 正文・森 政明

#### ■軌道の維持管理(10) / 13:00～14:20 / 中村 貴久(鉄道総合技術研究所)

- VI-494 耐塩害性防振まくらぎの開発／東京地下鉄 [正] 星 幸江・武藤 義彦・吉浦 聖  
 VI-495 高強度横抵抗部材を用いた弾性バラスト軌道構造の開発／JR東日本 [正] 鈴木 辰彦・小林 寿子・石橋 忠良  
 VI-496 スラブ軌道突起部周辺CAモルタルの簡易補修方法の提案／東亜道路工業 [正] 山本 幸亮・佐々 博明・梅田 剛士  
 VI-497 東北新幹線における舗装軌道の現状と補修方法の検討／JR東日本 [正] モトヤマ ヒロシ・築瀬 和清・佐藤 祐介  
 VI-498 レール面低下調整法を用いたTC型省力化軌道の修繕の検討／東日本旅客鉄道 [正] 清水 彰久  
 VI-499 列車間合の短い線区における踏切の軌道管理方法の提案／JR東海 [正] 仲村 貴文・生田 周史

#### VI-10 (一般教育棟A37講義室) / 9月17日(木)

#### ■軌道の維持管理(11) / 9:00～10:20 / 及川 祐也(鉄道総合技術研究所)

- VI-500 振動軸力測定のためのレール締結部回転剛性の同定／新潟大学 [学] 高橋 寛・阿部 和久・浦川 文寛  
 VI-501 2号まくらぎ線ばね補修工法の選択／JR九州 [正] 河野 皓治・幸野 茂・佐古 武彦  
 VI-502 腐食したレール締結装置のアンカーボルトの安全性の検証／鉄道総合技術研究所 [正] 玉川 新悟・永井 明則・弟子丸 将  
 VI-503 PCマクラギ・スラブ区間における折損ボルト除去器の開発／東日本旅客鉄道 [正] 遠田 智生・奥田 健太・植松 芳雄  
 VI-504 スラブ軌道用多頭式ボルト緊解機の現場性能確認試験／JR東日本 [正] 渡部 慎吾・佐竹 宜章  
 VI-505 緩い難いフックボルトの開発／東日本旅客鉄道 [正] 野本 耕一・村越 勝・若月 修

#### ■軌道の維持管理(12) / 10:40～12:00 / 溝口 敦司(西日本旅客鉄道)

- VI-506 座屈防止杭による道床横抵抗力増強に関する基礎的研究／JR東海 [正] 山元 崇史・前田 麦・清水 裕介  
 VI-507 座屈防止杭による道床横抵抗力増強効果のメカニズム／JR東海 [正] 福中 力也・久永 健一郎・前田 麦  
 VI-508 座屈防止杭設置時の道床横抵抗力の評価方法の検討／JR東海 [正] 伊藤 貴広・前田 麦・清水 裕介

- VI-509 軌きょう剛性増加によるレール張出し防止手法の検討／JR西日本 [正] 池内 三津喜・高尾 賢一・辰巳 新太郎  
VI-510 直線軌道の模型座屈実験とFEM解析による再現／鉄道総合技術研究所 [正] 西宮 裕騎・平出 壮司・片岡 宏夫  
VI-511 模型実験による角折れ時の道床横抵抗特性／JFEエンジニアリング [学] 山本 紗穂里・中村 貴久・桃谷 尚嗣

VI-10 (一般教育棟A37講義室) / 9月18日(金)

■軌道の維持管理(13) / 9:00~10:20 / 熊倉 孝雄 (JR東日本)

- VI-512 「二頭式ボルト緊解機」の開発について / [正] 坂本 士・山崎 清水  
VI-513 保線器具が鉄道設備に与える影響／東日本旅客鉄道 [正] 野邊 盛道・佐竹 宣章  
VI-514 レール継目板塗油装置の開発及び検証／九州旅客鉄道 [正] 佐野 弘典・幸野 茂・安部 和俊  
VI-515 軌道パッドの効果的な交換周期に関する一考察／東日本旅客鉄道 [正] 赤松 秀彦・坂本 淳・篠田 勝己  
VI-516 木まくらぎの焼損防止対策について／JR九州 [正] 緒方 亮介・幸野 茂  
VI-517 災害発生時の酷暑期における軌道復旧及びその後の道床状態確認／JR東海 [正] 井上 雄太・岐津 幸大

■軌道の維持管理(14) / 10:40~12:00 / 森本 勝 (東海旅客鉄道)

- VI-518 トンネル内ロングレール端部の継目に関する一考察／東京地下鉄 [正] 磯崎 光・大澤 純一郎・小林 実  
VI-519 温度変化を受ける曲線ロングレールの力学挙動／新潟大学 [学] 曾根川 大治・阿部 和久・紅露 一寛  
VI-520 離散体モデルを用いたレール継目部における軌道弾性化パターンの比較／鉄道総合技術研究所 [正] 河野 昭子  
VI-521 PCまくらぎの疲労寿命推定に関する検討／西日本旅客鉄道 [正] 有本 仁史・今城 正嗣・奥田 広之  
VI-522 営業線軌道におけるレール下面圧力測定／東日本旅客鉄道 [正] 須江 政喜・堀 雄一郎  
VI-523 PCまくらぎの薄型化に関する研究／東日本旅客鉄道 [正] 澁谷 ソウイチ・須江 政喜・堀 雄一郎

■軌道の維持管理(15) / 13:00~14:20 / 田中 博文 (鉄道総合技術研究所)

- VI-524 列車在線位置情報を活用した列車接近警報装置の開発／九州旅客鉄道 [正] 安部 和俊・幸野 茂・佐古 武彦  
VI-525 横取り装置撤去失念防止灯の改良／九州旅客鉄道 [正] 佐古 武彦・幸野 茂・榎並 志則  
VI-526 軌道用鉄製トロの車輪挙動／JR東海 [正] 岩田 直樹・鬼頭 昭人  
VI-527 軌間内散布可能なミニホキの現場性能確認試験／JR東日本 [正] 佐々木 亨・佐竹 宣章  
VI-528 連続した軌道形状の測量方法に関する基礎試験／東日本旅客鉄道 [正] 安藤 洋介・廣畑 翔介・土屋 潤一  
VI-529 近接掘削に用いる軌道計測装置の開発／東日本旅客鉄道 [正] 佐野 健泰・杉崎 向秀・平尾 隆太郎

■事業計画・設計概念 / 14:40~16:00 / 古荘 伸一郎 (大林組)

- VI-530 日比谷線虎ノ門新駅(仮称)計画について／東京地下鉄 [正] 廣元 勝志・鈴木 章悦・渡邊 祐介  
VI-531 新名神高速道路(大阪府域)の建設状況について／西日本高速道路 [正] 兼澤 秀和・川村 祐次・三井 邦弘  
VI-532 橋の復旧法の一考／広島大学 [正] 有尾 一郎・中沢 正利  
VI-533 連鎖シザーズ構造体の簡易設計法と部材構成上の設計パラメータの検討／広島大学 [学] 近広 雄希・有尾 一郎  
VI-534 側方流動に対する鋼管杭の座屈解析／早稲田大学 [学] 若林 学・清宮 理  
VI-535 特殊バキュームウェル工法に関する数値解析法の提案と設計事例の紹介／エーバイシー [正] 植松 祐亮・本多 顕治郎・飯田 健一

VI-11 (一般教育棟B32講義室) / 9月16日(水)

■鉄道工事(1) / 10:40~12:00 / 小林 裕介 (鉄道総合技術研究所)

- VI-536 RC鉄道橋におけるアルミニウム系流電陽極方式電気防食工法の適用事例／東日本旅客鉄道 [正] 土田 詩織・藤江 幸人・小野塚 健吾  
VI-537 槽状桁端支材切欠部の疲労き裂対策／西日本旅客鉄道 [正] 藤野 隼揮・空 信介・福岡 孝典  
VI-538 内房線江見・大海間山生橋りょう電気防食工事について／東日本旅客鉄道 [正] 笹田 和宏・鳥山 英数  
VI-539 風荷重低減型防音工を設置した既設防音壁の接合部に関する研究／前橋工科大学 [学] 大柴 亮・谷口 望・半坂 征則

- VI-540 富士急行線大月線橋梁における橋脚耐震補強報告／熊谷組 [正] 大本 晋士郎・加々美 明雄・小高 篤司  
VI-541 円錐形状高橋脚の耐震補強における移動昇降式足場の開発と施工／ [正] 内倉 義博・土田 大輔・戸田 博明

■鉄道工事(2) / 13:00~14:20 / 伊藤 弘之 (鹿島建設)

- VI-542 狭隘箇所における軌道仮受杭の設計・施工計画／東日本旅客鉄道 [正] 齋藤 洋平・鈴木 啓晋・加藤 精亮  
VI-543 レール温度上昇期における工事桁仮橋杭(口元管)設置の安全対策の実施／ [正] 中野 和也・川嶋 孝明・大谷 拓也  
VI-544 工事桁架設における工期短縮に関する検討／JR西日本 [正] 白根 裕也・額田 親  
VI-545 新橋駅改良工事におけるレンガアーチ高架橋改築の計画と施工実績／JR東日本 [正] 元尾 秀行・石井 通友・有光 武  
VI-546 新橋駅改良工事における工事桁架設の計画と施工について／東日本旅客鉄道 [正] 石井 通友・元尾 秀行・有光 武  
VI-547 バックルプレート桁改良における施工効率の向上／東鉄工業 [正] 四方田 博之・鈴木 健右

VI-11 (一般教育棟B32講義室) / 9月17日(木)

■鉄道工事(3) / 9:00~10:20 / 鈴木 亨 (東海旅客鉄道)

- VI-548 東日本大震災による常磐線広野・竜田間北迫川橋りょうの被害と復旧／東日本旅客鉄道 [正] 長谷川 真吾・徳江 裕司・鈴木 慎  
VI-549 支間70mを有する複線下路トラスの送出し架設における留意点／大鉄工業 [正] 金井 翔太・岡本 圭太・加藤 和宏  
VI-550 軟弱地盤上の別線施工による橋りょう改築工事／東日本旅客鉄道 [正] 飯塚 潤平・岩崎 浩・吉倉 智宏  
VI-551 紀勢線那智川橋りょう架替工事における急曲線SRC桁の施工について／JR西日本 [正] 好井 健太・吉田 晋・柴原 豊和  
VI-552 既設軌道桁からの段階的工事桁化工事／JR東日本 [正] 植村 恵里・加藤 博之  
VI-553 常磐快速線利根川橋りょう改築に伴う取手駅構内線路切換工事／東日本旅客鉄道 [正] 設楽 大翔・中島 裕晋

■鉄道工事(4) / 10:40~12:00 / 久多羅木 吉治 (東亜建設工業)

- VI-554 ボックスカルバートを用いた新駅築造工事／中日本建設コンサルタント [正] 江坂 成利  
VI-555 大断面函体の分割施工における推進精度の確保／九鉄工業 [正] 海老根 達也・太田 成一  
VI-556 R&C工法における函体推進時の軌道変状予測について／九鉄工業 [正] 木部 泰輔  
VI-557 JR軌道直下における幅34mの函体推進(SFT工法)施工実績／鹿島建設 [正] 川井 拓也・鈴木 俊輔  
VI-558 JRゲートタワー工事における仮受された鉄道構造物の二次仮受／東海旅客鉄道 [正] 土屋 正宏・齋藤 力哉・渡辺 典男  
VI-559 鉄道高架化事業における仮線施工計画について／JR九州 [正] 中原 友範・高橋 拓大

VI-11 (一般教育棟B32講義室) / 9月18日(金)

■鉄道工事(5) / 9:00~10:20 / 天野 健次 (大成建設)

- VI-560 新幹線トンネル耐震工事の施工技術／東鉄工業 [正] 小林 昂樹・鈴木 徳仁・茂木 丈晴  
VI-561 高圧噴射攪拌工法による供用中の鉄道トンネル補強工事／清水建設 [正] 渡辺 洋輔・杉山 伸康・横山 顕  
VI-562 鋼製段差継手セグメントを使用した供用中の鉄道トンネルの内部補強工事／清水建設 [正] 神保 誠二・杉山 伸康・蘭 康則  
VI-563 吹付コンクリートによる補修を行ったトンネルに対する維持管理について／東日本旅客鉄道 [正] 大矢 新吾・岸 滋・佐久間 聖之  
VI-564 半断面先進によるURT幅広エレメント推進時の変位抑制効果の検討／西日本旅客鉄道 [正] 正直 貴彦・深田 隆弘・長山 喜則  
VI-565 刃口装置及び刃口装置を用いた推進工法における試験施工(その2)／大鉄工業 [正] 森生 修次・下野 満広・金子 雅

■鉄道工事(6) / 10:40~12:00 / 仁平 達也 (鉄道総合技術研究所)

- VI-566 鉄道駅構内高架橋改築時の仮設構造物の有効利用／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 山口 健・栗原 啓之・九富 理  
VI-567 鉄道営業線直上施工によるラーメン高架橋の設計・施工計画／阪急設計コンサルタント [正] 松本 尚衛・山口 武志



- VI-568 店舗営業制限下での高架橋耐震補強の施工／シーエヌ建設 [F] 丹間 泰郎・安藤 淳
- VI-569 軸方向鉄筋端部に定着体を用いた杭・柱結合の配法に関する研究(実物大との相似則について)／前橋工科大学 [学] 芳賀 貴大・諏訪 嵩人・今野 大義
- VI-570 軸方向鉄筋端部に定着体を用いた杭・柱接合部の配筋方法に関する研究(曲げ挙動に関する検討)／前橋工科大学 [学] 今野 大義・上浦 健司・芳賀 貴大
- VI-571 地震時早期復旧シナリオの有効性の検討／大林組 [正] 堤内 隆広・田中 浩一・江尻 諒嗣
- VI-572 新幹線散水消雪設備における変状について／東日本旅客鉄道 [正] 田中 徹郎・吉田 斉正・白柏 秀章

#### ■鉄道工事(7) / 13:00~14:20 / 大塚 隆人(東日本旅客鉄道)

- VI-573 RRR工法を用いた盛土流出災害復旧工事について／[正] 佐藤 誠之・高瀬 誠司・今 公胤
- VI-574 おおさか東線線路切換工事における急速盛土の施工／西日本旅客鉄道 [正] 相原 修司・岡本 圭太・森川 暁文
- VI-575 高圧噴射攪拌による鉄道橋台背面部の柱状改良体補強工／東鉄工業 [正] 鈴木 裕明・瀬下 孝雄・中村 宏
- VI-576 鉄道乗降場における基礎形式選定の検討／東日本旅客鉄道 [正] 天野 和信・加藤 精亮・鈴木 啓晋
- VI-577 総武本線棚式擁壁部の地盤改良について／東日本旅客鉄道 [正] 高橋 亮・清水 磨・小林 義雄
- VI-578 鉄道に近接する岩盤斜面の調査について／東日本旅客鉄道 [正] 小野 由貴子・関口 達也

#### ■鉄道工事(8) / 14:40~16:00 / 舟橋 秀磨(東海旅客鉄道)

- VI-579 平成25年10月に発生した台風26号による久留里線の盛土崩壊復旧工事について／JR東日本 [正] 三浦 雄一・前田 邦彦
- VI-580 JRゲートタワー工事における地下水位低下に伴う鉄道構造物への影響／東海旅客鉄道 [正] 森 佑樹・齋藤 力哉・小野寺 聡
- VI-581 営業線に近接した鋼矢板引抜に伴う軌道沈下量の予測／西日本旅客鉄道 [正] 森川 達也・猿渡 隆史・相原 修司
- VI-582 田沢湖線における路盤陥没の原因推定と対策工の検討について／JR東日本 [正] 山本 亮・相川 信之
- VI-583 総武緩行・快速線間における路盤陥没発生メカニズムの考察／東日本旅客鉄道 [正] 大澤 英里・高橋 政善・松本 一人
- VI-584 再生プラスチック材を活用したプラットホームでの転落防止対策／西日本旅客鉄道 [正] 徳永 和仁・河本 信二・大橋 敏行

#### VI-12 (一般教育棟B33講義室) / 9月16日(水)

#### ■耐震・免震・施工技術(1) / 9:00~10:20 / 佐藤 清(大林組)

- VI-585 制約条件の多い河川内橋脚の耐震補強・仮締切の計画／オリエンタルコンサルタンツ [正] 広瀬 知晃・浜添 光太郎
- VI-586 建築用タワークレーンのマストの接合部ボルト応力に関する実験的研究／労働安全衛生総合研究所 [正] 高梨 成次・大幡 勝利・高橋 弘樹
- VI-587 RC制震装置設置におけるハンドリングマシンの適用実績／鹿島建設 [正] 岩下 直樹・柳澤 博・黒木 一弥
- VI-588 地下水路構造物へのあと施工せん断補強工法の適用／前田建設工業 [正] 山本 和範・高畑 賢一・鈴木 淳平
- VI-589 首都直下地震対策(盛土耐震補強)一御茶ノ水防災対策工事一／東日本旅客鉄道 [正] 和田 直也・中山 亮二
- VI-590 エアグラウトドリル工法を既設盛土補強に適用するための試験施工／高速道路総合技術研究所 [正] 田久 勉・安部 哲生・田山 聡

#### ■施工技術(2) / 10:40~12:00 / 河野 哲也(鹿島建設)

- VI-591 函渠構造物底版部への水平エアクリーニング工法の適用／熊谷組 [正] 濱 慶子・中出 剛・細川 清
- VI-592 函渠構造物側壁部への水平エアクリーニング工法の適用／熊谷組 [正] 神崎 恵三・中出 剛・工藤 守
- VI-593 ポンプ棟築造工事における温度ひび割れ対策に関する一検討／近藤組 [正] 福家 武一・神谷 剛司・石川 靖晃
- VI-594 液体窒素によるコンクリートのブレッカーリングについて／佐藤工業 [正] 野稻 清・宇野 洋志城・大岩 祐也
- VI-595 動画による表面締固めパイプレータの施工管理手法／鹿島建設 [正] 佐野 雄紀・藤田 雄一・今井 道男
- VI-596 宮城県貞山堀防潮水門のエプロン工に表面締固めパイプレータを適用した事例／鹿島建設 [正] 高橋 幸治・関 健吾・林 大介

#### ■施工技術(3) / 13:00~14:20 / 中出 剛(熊谷組)

- VI-597 強風対応型樹木支柱の開発と実用化／清水建設 [正] 小田 信治・渡辺 高史・中野 孝司
- VI-598 橋りょう桁横取り架設に適用する摺動材の性能比較／東鉄工業 [正] 草野 英明・藤生 純之・相本 亮
- VI-599 既設トンネル内へのFRPM管敷設工法について／大成建設 [正] 丸山 修・足達 康軌
- VI-600 陸前高田市震災復興事業の一体的業務による事業促進(その1)仮設吊橋及びベルトコンベヤ高架部の設計・施工／清水建設 [正] 占部 昇芳・峯澤 孝永・日原 邦夫
- VI-601 陸前高田市震災復興事業の一体的業務による事業促進(その2)一破砕設備及び高速搬送ベルトコンベヤ設備の運転・維持管理一／清水建設 [正] 小野澤 龍介・大橋 清嗣・西川 一正
- VI-602 陸前高田市震災復興事業の一体的業務による事業促進(その3)一大規模土工事の切土搬出・盛土品質管理一／清水建設 [正] 中牟田 直昭・土屋 信洋・山本 修一

#### VI-12 (一般教育棟B33講義室) / 9月17日(木)

#### ■施工技術(4) / 9:00~10:20 / 神崎 恵三(熊谷組)

- VI-603 切梁軸力の「見える化」による土留め工の構造安定等に対する施工管理事例／鴻池組 [正] 國富 和真・上野 裕司・畑真哉
- VI-604 地下鉄駅舎に沿うアンダーパス開削工事における近接影響防止対策事例／鴻池組 [正] 村下 富雄・日向 崇徳・國富 和真
- VI-605 AWC工法を適用した地下水流動保全計画(現場における本施工途中経過報告)／清水建設 [正] 柳原 哲也・久保 徹・中山 佳久
- VI-606 鉄道橋りょう下部導水路における超低空頭鋼矢板圧入に関する施工技術／東鉄工業 [正] 國富 大起・高田 慶
- VI-607 円形ケーソンの施工における近接影響の低減策／大成建設 [正] 佐藤 充弘・中西 禎之・鈴木 誠
- VI-608 大口径・大深度アーバンリング工法の工夫について一石津雨水滞水管布設工事一／大成建設 [正] 平川 信之・川邊 智之・京屋 宜正

#### ■施工技術(5) / 10:40~12:00 / 新村 亮(大林組)

- VI-609 トンネル工事における覆工コンクリートの生産性向上技術に関する検討／佐藤工業 [正] 中谷 幸一・宇野 洋志城・佐々木 駿
- VI-610 投光器を用いた給熱養生の効果と熱流体解析による評価に関する検討／飛鳥建設 [正] 槇島 修・寺澤 正人・川里 麻莉子
- VI-611 スリップフォーム工法に用いるコンクリートの若材齢強度特性に関する検討／清水建設 [正] 宮田 佳和・江波 正満・野村 朋宏
- VI-612 密実なインバートコンクリート打設のための型枠システムの開発／大成建設 [正] 平田 哲朗・勝田 つかさ・大島 基義
- VI-613 高耐久性埋設型枠を用いたコンクリート構造物の長寿命化に関する検討／鹿島建設 [正] 柏倉 翔・畦地 拓也・横関 康祐
- VI-614 型枠取外し後の各種養生の効果および施工歩掛り／鹿島建設 [正] 磯 秀幸・関 健吾・辻 正之

#### VI-12 (一般教育棟B33講義室) / 9月18日(金)

#### ■施工技術(6) / 9:00~10:20 / 藤原 斉都(大成建設)

- VI-615 下水道処理施設建設の大規模開削工事にもなう地下水位低下工法／アサヒテクノ [正] 尾崎 哲二・木島 道也・高橋 裕幸
- VI-616 加圧リチャージ工法における注水効率向上対策／JR東日本 [正] 榊間 遼・本田 諭・柳 博文
- VI-617 長大切土のり面の地すべり対策工と超高圧電線近接作業における安全対策／清水建設 [正] 近江 健吾・高畑 和弘・久野 達彦
- VI-618 真空圧密工法における近接構造物の変位抑制対策／清水建設 [正] 大川戸 昇・小林 勝・佐藤 純哉
- VI-619 鉄道営業線に近接するニューマチックケーソン施工方法の改善／鹿島建設 [正] 柴田 岳彦・杜若 善彦・福島 賢二
- VI-620 様々な制約条件下の地下式雨水滞水池の築造／熊谷組 [正] 飯田 正克・岡田 哲英・堀田 謙一

#### ■施工技術(7) / 10:40~12:00 / 波多野 正邦(清水建設)

- VI-621 高流動コンクリートを用いたURTエレメント61mの一括

- 充填試験施工について／大成建設〔正〕 陶山 正治・水落勝美・坂本 淳
- VI-622 狭小施工スペースでの土かぶりの浅い密閉型泥土圧式ボックス推進工法の施工事例／東京地下鉄〔正〕 岡ノ谷 圭亮・松島 和紀・鈴木 雅史
- VI-623 六面鋼殻合成セグメントによる大断面矩形推進トンネルの設計／東京地下鉄〔正〕 一寸木 朋也・内田 広・小松 賢矢
- VI-624 箱形ルーフ長期間存置に伴う推進不能対策(函体推進工)／大鉄工業〔正〕 堀江 厚平・中尾 敏弘
- VI-625 小口径推進工法における掘進同時注入方法試験／東日本旅客鉄道〔正〕 竹内 幹人・本田 諭・遊座 啓史
- VI-626 曲線区間を含むオープンシールド工法の施工報告／熊谷組〔正〕 堀田 謙一・神崎 恵三・角谷 匡

■施工技術(8)／13:00～14:20／山本 多成(大林組)

- VI-627 コンクリート切削工法を用いた国立競技場壁画移設について～ウォータージェット工法とワイヤーソーイング工法の適応～／村本建設〔正〕 立道 亨・西尾 広・武藤 寿也
- VI-628 組立式仮設水路を活用したコンクリート被覆による鋼矢板水路の保全／水倉組〔正〕 小野 秀一・鈴木 哲也・長崎 文博
- VI-629 既設構造物の打抜きを目的としたチゼル付き鋼矢板の適用／鹿島建設〔正〕 福井 直之・池本 康彦・内田 拓史
- VI-630 狭隘作業環境下での既設構造物の撤去における放電破碎工法の適用／鹿島建設〔正〕 小野 栄二・腰塚 雄太・犬飼 純司
- VI-631 水路改築工事における既設構造物廻りの仮締切方法／鹿島建設〔正〕 松崎 達也・酒井 健博・犬童 真二
- VI-632 武蔵水路改築におけるサイホン耐震補強工事(PIP工法の適用)／鹿島建設〔正〕 平石 剛紀・上田 哲也・犬童 真二

■施工技術(9)／14:40～16:00／杉橋 直行(清水建設)

- VI-633 各種制約条件を軽減するスライド足場開発／東鉄工業〔正〕 長津 貞雄・佐々木 善久・豊田 雅人
- VI-634 PCケーブルの自動緊張管理システムの開発／大成建設〔正〕 赤松 篤・岩崎 郁夫・水谷 公昭
- VI-635 ノンストップPC鋼材緊張管理図自動作成システムの開発と適用実績／鹿島建設〔正〕 山中 大明・小柳 公治・小林 立樹
- VI-636 仕上げ方法が高強度コンクリートを用いたスラブ部材の表層品質に及ぼす影響／鹿島建設〔正〕 横関 康祐・関 健吾・林 大介
- VI-637 設計基準強度40N/mm<sup>2</sup>、スランプ8cmのコンクリートの運搬方法に関する一実験／鹿島建設〔正〕 石橋 靖亨・柳井 修司・橋本 学
- VI-638 高炉セメントB種を用いたコンクリートのPC桁への適用／前田建設工業〔正〕 坂口 伸也・宮本 秀樹・武若 耕司

VI-13 (一般教育棟A41講義室)／9月16日(水)

■山岳トンネル(1)／9:00～10:20／安井 啓祐(奥村組)

- VI-639 増粘剤を含む流動化剤を使用した中流動コンクリートのトンネル覆工への適用／グレースケミカルズ〔正〕 宮川 美穂・野々村 嘉映・高松 雅宏
- VI-640 凝結促進剤を添加した中流動および高流動覆工コンクリートの各種性状について／BASFジャパン〔正〕 コヤマ ヒロミツ・西岡 和則・坂井 吾郎
- VI-641 後添加型中流動コンクリートの小断面放水水路トンネルへの適用／飛鳥建設〔正〕 滝波 真澄・平間 昭信・伊藤 正人
- VI-642 現場添加用の増粘剤一液型流動化剤を用いた中流動コンクリートの製造方法に関する検討／大成建設〔正〕 橋本 理・梁 俊・坂本 淳
- VI-643 中流動覆工コンクリートの締固め方法に関する検討／高速道路総合技術研究所〔正〕 増田 弘明・八木 弘・岩尾 哲也
- VI-644 透気試験による中流動覆工コンクリートの表層品質評価に関する検討／安藤・間〔正〕 松丸 貴英・白岩 誠史・川中 政美

■山岳トンネル(2)／10:40～12:00／砂金 伸治(土木研究所)

- VI-645 覆工コンクリートの養生効果に関する検討／高速道路総合技術研究所〔正〕 水野 希典・八木 弘・岩尾 哲也
- VI-646 テレスコピック式センターを用いたトンネル覆工の施工事例／大林組〔正〕 大洞 允志・伊原 泰之・宮川 俊介
- VI-647 ツインアーチフォーム工法を用いた覆工コンクリートの長期耐久性向上効果に関する検討／鹿島建設〔正〕 手塚 康成・西岡 和則・坂井 吾郎
- VI-648 型枠パイププレートによる覆工コンクリート締固めの最適化に関する取組み／飛鳥建設〔正〕 築地 功・筒井 隆規・平間 昭信

- VI-649 締固めを必要としないトンネル二次覆工コンクリートに関する基礎的検討／鹿島建設〔正〕 松本 修治・坂井 吾郎・林 大介
- VI-650 覆工コンクリートの施工状況の可視化・電子化の試み／フジタ建設本部〔正〕 三河内 永康・藤倉 裕介・三上 浩

■山岳トンネル(3)／13:00～14:20／岩尾 哲也(高速道路総合技術研究所)

- VI-651 覆工コンクリートの温度ひび割れに対する部分バイブクーリングの適用／安藤・間〔正〕 川中 政美・高橋 拓真・白岩 誠史
- VI-652 部分バイブクーリングによる覆工コンクリートの温度ひび割れの解析的検討／安藤ハザマ〔正〕 新居 秀一・荒井 匠・白岩 誠史
- VI-653 トンネル覆工コンクリート側壁部における表面気泡の低減のための基礎実験／中電技術コンサルタント〔正〕 平野 正幸・原田 沙里・前田 智之
- VI-654 SFRC覆工の管理値による施工管理方法の適用性／清水建設〔正〕 木村 厚之・田丸 浩行・楠本 太
- VI-655 トンネル覆工へのSECコンクリートの使用について―田野井第二トンネル工事―／大成建設〔正〕 三谷 一貴・今中 晶紹
- VI-656 覆工コンクリートの打止め圧力管理に関する考察／清水建設〔正〕 山本 将・鶴 悦露・楠本 太

VI-13 (一般教育棟A41講義室)／9月17日(木)

■山岳トンネル(4)／9:00～10:20／山本 雅広(中央復建コンサルタンツ)

- VI-657 早強剤を適用した覆工コンクリート用配合に関する考察／佐藤工業〔正〕 宇野 洋志城・渡部 雅貴・下村 匠
- VI-658 大断面ウォータータイトンネルにおける複鉄筋の組立／清水建設〔正〕 本村 浩志・谷岡 敏幸・上岡 真也
- VI-659 山岳トンネル防水シートの自己治癒機能の開発／金沢工業大学〔学〕 源口 敦史・宇野 洋志城・木村 定雄
- VI-660 増粘剤を含む高性能減水剤による瞬結吹付けコンクリートの粉じん低減に関する研究／グレースケミカルズ〔正〕 岩城 圭介・宮川 美穂・岩崎 昌浩
- VI-661 開業前の軌道直下におけるインバート補強対策工／大林組〔正〕 長崎 裕幸・柿崎 昌志・伊藤 哲
- VI-662 非セメント系可塑状グラウト充填材の開発と長距離圧送試験／エルジー〔正〕 若菜 和之・吉島 聖・下田 一雄

■山岳トンネル(5)／10:40～12:00／土門 剛(首都大学東京)

- VI-663 立坑・横坑を利用した小水力発電施設の建設について／大林組〔正〕 吉田 健一・井上 浩二・川畑 雄司
- VI-664 大深度併設シールドトンネル間のNATM切掛け時の地下水圧分布について／飛鳥建設〔正〕 熊谷 幸樹・越後 卓也・白石 均
- VI-665 瑞浪超深地層研究所深度500mにおけるポストグラウチング技術(その1) ―湧水抑制対策の概要―／日本原子力研究開発機構〔正〕 見掛 信一郎・佐藤 稔紀・池田 幸喜
- VI-666 瑞浪超深地層研究所深度500mにおけるポストグラウチング技術(その2) ―止水性向上を目的とした新技術を採用した設計および湧水量予測―／清水建設〔正〕 小林 伸司・見掛 信一郎・栗田 和昭
- VI-667 瑞浪超深地層研究所深度500mにおけるポストグラウチング技術(その3) ―ポストグラウチング仕様・注入実績概要、新しい技術の施工性―／清水・鹿島・山田特定建設工事共同企業体〔正〕 栗田 和昭・辻 正邦・見掛 信一郎
- VI-668 瑞浪超深地層研究所深度500mにおけるポストグラウチング技術(その4) ―新しい技術の有効性評価―／清水建設〔正〕 辻 正邦・見掛 信一郎・江口 慶多

VI-13 (一般教育棟A41講義室)／9月18日(金)

■山岳トンネル(6)／9:00～10:20／嶋本 敬介(鉄道総合技術研究所)

- VI-669 長大山岳トンネルにおける連続ベルトコンベアシステムの適用実績／戸田建設〔正〕 野村 拓史・高橋 和寛
- VI-670 大断面トンネル交点部の設計と施工／大林組〔正〕 小山 武志・平手 和・樋口 哲哉
- VI-671 低土被り区間における鉄道トンネルの設計・施工について／東日本旅客鉄道〔正〕 伊藤 雄太
- VI-672 新幹線トンネルにおける効果的な支保工選定への展開／鉄道建設・運輸施設整備支援機構〔正〕 中嶋 啓太・直江 久永・秋田 勝次
- VI-673 新幹線トンネルにおける高規格支保工の検証―九州新幹線



- 俵坂トンネルでの施工—/鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 直江 久永・中嶋 啓太・外山 真  
 VI-674 トンネル掘削に伴う水環境保全対策の施工状況について/  
 西日本高速道路 [正] 前本 将志・南場 憲一郎・加藤 宏征

#### ■山岳トンネル(7) /10:40~12:00/三上 元弘(応用地質)

- VI-675 発破掘削時の振動を利用した高精度トンネル切羽前方探査法の開発/奥村組 [正] 塚本 耕治・今泉 和俊  
 VI-676 山岳トンネルにおける掘削発破を利用した切羽前方探査の適用事例/安藤ハザマ [正] 中谷 匡志・山本 浩之・浅野 雅史  
 VI-677 ブレーカー振動を利用したトンネル切羽前方探査手法の3次元化の検討/清水建設 [正] 若林 成樹・西 琢郎・青野 泰久  
 VI-678 双設トンネルの緩み域評価のための弾性波トモグラフィの試行/フジタ [正] 村山 秀幸・浜田 文年・岡村 哲司  
 VI-679 自動計測によるトンネルトモグラフィ探査を活用した掘削管理/鹿島建設 [正] 宮嶋 保幸・栗原 啓丞・富田 朋史  
 VI-680 掘削発破を震源とする弾性波探査用信号の特性/日本工機 [正] 村田 健司・川野 誠・鈴木 慶正

#### ■山岳トンネル(8) /13:00~14:20/金岡 幹(清水建設)

- VI-681 掘削発破を利用した坑内弾性波探査による緩み領域評価の検討/安藤ハザマ [正] 山本 浩之・中谷 匡志・初山 雅彦  
 VI-682 湧水賦存箇所における長尺コアボーリングの効果について/大成建設 [正] 畑山 昌之・市橋 勝行・井奥 克彦  
 VI-683 水圧ハンマを用いたノンコア削孔前方探査における地山評価手法/大林組 [正] 伊藤 哲・安田 肇・秋田 伸治  
 VI-684 簡易な孔内カメラを用いたノンコア削孔切羽前方探査の高精度化/大林組 [正] 藤岡 大輔・畑 浩二  
 VI-685 ドリルジャンボを使用した連続コアボーリングシステムの開発/西松建設 [正] 山下 雅之・引間 亮一・石山 宏二  
 VI-686 インパルト隆起量計測システムの開発/大林組 [正] 木野村 有亮・木梨 秀雄・伊藤 哲

#### ■山岳トンネル(9) /14:40~16:00/高橋 浩(三井住友建設)

- VI-687 天端傾斜計測で評価したトンネル切羽前方地山情報の視覚化/大成建設 [正] 谷 卓也・坂井 一雄・青木 智幸  
 VI-688 切羽での迅速な定量的評価を目指した簡易3Dスキャナによる切羽形状測定/鹿島建設 [正] 石橋 豊・岩野 圭太・手塚 康成  
 VI-689 山岳トンネル切羽変状監視システムの現場適用事例/鹿島建設 [正] 横田 泰宏・齋藤 宏樹・成田 望  
 VI-690 大規模断層出現に対するトンネル変形予測システムの適用/西松建設 [F] 吉永 浩二・山下 雅之・竹村 いずみ  
 VI-691 断面計測を利用した地山変位挙動予測(4D-Super NATM)システムの開発/戸田建設 [正] 山火 智洋・岡村 光政・大塚 賢文  
 VI-692 トンネル施工における逆解析切羽前方予測システムの開発/佐藤工業 [正] 瀬谷 正巳・黒田 千歳・宮下 太一

#### VI-14 (一般教育棟A42講義室) /9月16日(水)

#### ■地下構造物(1) /9:00~10:20/高橋 正登(大林組)

- VI-693 線路下横断工事における薬液注入確認手法の試行について/西日本旅客鉄道 [正] 古藤 賢・前田 友章・坂本 寛章  
 VI-694 国道直下における岩盤内の鉄道トンネル立体交差工法/九鉄工業 [正] 坂井 陽一  
 VI-695 COMPASS工法による線路下横断水路の施工/鉄建建設 [正] 泉 宏和・唐戸 裕二・平 秀夫  
 VI-696 アル・アンド・シー工法における軌道への影響低減/大林組 [正] 山下 衛・前田 昭・宮澤 修  
 VI-697 営業線シールドトンネル下部での高圧噴射攪拌工・薬液注入工の計画と施工—その1/大成建設 [正] 尾関 孝人・伊藤 健治・中山 佳久  
 VI-698 営業線シールドトンネル下部での高圧噴射攪拌工・薬液注入工の計画と施工—その2/大成建設 [正] 熊谷 翼・兜俊彦・本間 慎一

#### ■地下構造物(2) /10:40~12:00/坂梨 利男(鹿島建設)

- VI-699 互層傾斜岩盤におけるニューマチックケーソン工法の施工事例/大林組 [正] 廣戸 将平・安部 真一・石垣 成直  
 VI-700 ケーソン浮上り防止技術の開発—実大1/2モデルでの引抜き試験と現場削孔試験—/錢高組 [正] 白子 将則・竹中 計行・山岸 英昭  
 VI-701 ニューマチックケーソン工法の超大深度施工を目的とした作業気圧低減方法に関する妥当性の一検証/大本組 [正] 川崎 元・杉本 光隆・大西 浩司

- VI-702 ニューマチックケーソン工法の超大深度施工を目的としたワイヤブラシの止水性能に関する研究/長岡技術科学大学 [学] 吉崎 健司・杉本 光隆・川崎 元  
 VI-703 長距離推進かつS字曲線推進の施工事例/大成建設 [正] 相田 宗行・米沢 昭彦・伊東 憲  
 VI-704 有楽町線小竹向原~千川駅間連絡線設置工事向原工区における中床版の吊り工法の計測結果について/東京地下鉄 [正] 藤沼 愛・中村 守男・辻口 貴大

#### ■地下構造物(3) /開削トンネル/13:00~14:20/山本 平(大成建設)

- VI-705 低発熱・収縮抑制型高炉セメントを用いた大断面RC下床梁の暑中施工/西松建設 [正] レー アン ユーン・和田 格・松永 健  
 VI-706 逆打ち工法における増粘型高性能AE減水剤を用いた高流動コンクリートの配合検討/大林組 [正] 谷田部 勝博・桜井 邦昭・富井 孝喜  
 VI-707 銀座線京橋駅改良工事における鉄構框間側壁撤去に関する計測結果について/東京地下鉄 [正] 新井 泰・仲山 貴司・牛田 貴士  
 VI-708 運用中のダム直下における地下発電所の施工 ~徳山水力発電所~ /熊谷組 [正] 鬢谷 亮太・西澤 邦夫・安藤 隆介  
 VI-709 ソイルネイルを使用した大規模オープン掘削工法の設計・施工と計測結果/西松建設 [正] 杵築 秀征・上田 幸生  
 VI-710 気泡混合処理土を用いた埋戻し工の施工実績/鹿島建設 [正] 山本章貴・山本 佳正・西嶋 徹

#### VI-14 (一般教育棟A42講義室) /9月17日(木)

#### ■施工技術(10) /9:00~10:20/天野 英樹(北電総合設計)

- VI-711 没水型鋼管矢板井筒による海底放水口の計画と設計—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その1)—/北海道電力 [正] 畠田 大規・遠藤 勉・坂田 健一郎  
 VI-712 放水路立坑の設計—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その2)—/北海道電力 [正] 齋藤 寿秋・遠藤 勉・小坂 琢郎  
 VI-713 RCプレキャストブロック(部材厚700mm)の寒冷地での製造について—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その3)/鹿島建設 [正] 高柳 哲・遠藤 勉・畠田 大規  
 VI-714 立坑用RCプレキャストブロックの性能試験—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その4)—/鹿島建設 [正] 小坂 琢郎・畠田 大規・鶴田 浩一  
 VI-715 外洋における没水型放水口工事に用いる軽量水中不分離性セメントペーストの配合選定—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その5)—/日本海上工事 [正] 岸田 哲哉・関 健吾・飯田 和弘  
 VI-716 石狩湾新港防波堤前面における波浪計測—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その6)—/鹿島建設 [正] 福山 貴子・秋山 義信・岩前 伸幸

#### ■施工技術(11) /10:40~12:00/大木 智明(清水建設)

- VI-717 中流動コンクリートによる長距離圧送を適用したシールドトンネル二次覆工の構築—中央浅田幹線外1線管きよ築造工事(第1工区)~ /鹿島建設 [正] 和田 信博・伊代田 祥仁・石橋 靖亨  
 VI-718 自動キャリブレーション機能付土量管理システムの開発/清水建設 [正] 飯田 真啓・前田 俊宏・西村 直樹  
 VI-719 シールド高速施工方策—石津雨水滞水管布設工事—/大成建設 [正] 竹嶋 和樹・川邊 智之・京屋 宜正  
 VI-720 セグメント気中組立による急勾配・急曲線管路の構築(その1)—神戸市 中突堤ポンプ場放流渠—/大成建設 [正] 橋本 諭・佐々木 育夫・中田 慎一  
 VI-721 セグメント気中組立による急勾配・急曲線管路の構築(その2)—神戸市 中突堤ポンプ場放流渠—/大成建設 [正] 横澤 裕希・中田 慎一・橋本 諭  
 VI-722 セグメント気中組立による急勾配・急曲線管路の構築(その3)—神戸市 中突堤ポンプ場放流渠—/大成建設 [正] 高鳴笛・橋本 諭・鈴木 由美

#### VI-14 (一般教育棟A42講義室) /9月18日(金)

#### ■施工技術(12) /9:00~10:20/久保 昌史(清水建設)

- VI-723 T-iROBO UW (シャフト式遠隔操縦水中作業機)について/大成建設 [正] 谷地 宜之・蒲谷 大輔・八重田 義博  
 VI-724 ダム本体掘削工事におけるロッククライミングマシン工法の

- 適用性／大成建設〔正〕小林 雅幸・津川 恵介・金子 英幸  
 VI-725 増設放流管・発電取水管周りにおける充填コンクリートの  
 施工実績／鹿島建設〔正〕坂 久弘・金戸 崇史・安田 和弘  
 VI-726 曳航自沈式アンカー（ジャイロアンカー）の沈降挙動に関  
 する理論的考察／ゼニヤ海洋サービス〔正〕西田 秀紀・  
 大友 英明・佐藤 明久  
 VI-727 供用中ダムの大水深下で構築する水中不分離性コンクリ  
 ートの施工実績／鹿島建設〔正〕小川 雄一郎・白川 豪人・  
 岡田 武文  
 VI-728 ノンプリーディング長時間フロー保持高流動コンクリート  
 の配合検討および施工例／大林組〔正〕大竹 敏浩・古川  
 勲・竹 正太郎

■施工技術(13)／10:40～12:00／吉田 健治(熊谷組)

- VI-729 地下鉄営業線直上の上床版改造に伴うハーフプレキャスト  
 ト床版の採用について／東京地下鉄〔正〕伊藤 聡・小賀  
 坂 秀樹・三留 國禎  
 VI-730 都市開削トンネル工事における躯体のプレキャスト化／鹿  
 島建設〔正〕小林 弘茂・森田 大介・島越 貴之  
 VI-731 地上式PCLNG貯槽の工期短縮工法(Dual PC Speed Erection  
 工法)の開発／大成建設〔正〕本谷 幸康・寺岡 匡伸・岩崎 淳  
 VI-732 LNG貯槽の基礎部鋼管杭打設時の振動特性について／北  
 海道電力〔正〕関口 雄介・若松 洋介・都築 顕司  
 VI-733 実測結果によるLNG貯槽の鋼管杭打設時の振動予測につ  
 いて／北海道電力〔正〕若松 洋介・関口 雄介・都築 顕司

■施工技術(14)／13:00～14:20／藤崎 勝利(鹿島建設)

- VI-734 回転式破砕混合工法を適用した葦地下茎混り粘性土を良質  
 な築堤土に改良する施工／日本国土開発〔正〕角脇 三郎・  
 香取 孝史・大坪 研二  
 VI-735 地盤改良工事での地層境界を連続的に把握するための地盤  
 調査方法／奥村組〔正〕藤原 大輔・高崎 茂昌・松井 聡  
 VI-736 岩盤切削機へのマシンコントロール技術の導入／奥村  
 組〔正〕藤森 章記・川畑 雅樹・丸山 健一  
 VI-737 水中作業の施工精度向上に資するバックホウバケット姿勢  
 制御システムの開発／東洋建設〔正〕宮原 和仁・森田 研  
 志・阿部 龍介  
 VI-738 高速道路に近接した低空頭型地中連続壁掘削機による中硬  
 岩地盤の掘削／大林組〔正〕羽立 征治

■施工技術(15)／14:40～16:00／田坂 幹雄(大林組)

- VI-739 離島におけるトンネル工事資機材の調達に関する報告／大  
 成建設〔正〕鈴木 雅浩・藤井 健二  
 VI-740 カーブベルトコンベヤと堅シュートによる効率的な残土搬  
 出／大成建設〔正〕吉野 兼央・石丸 智実・三好 新  
 VI-741 特殊な塗膜剥離剤とプラスチックを用いた水槽構造物内面の瀝  
 青質防水塗装の除去技術／大成建設〔正〕長峰 春夫・手  
 島 和文・中村 弘  
 VI-742 連続鞘管(KanaSlip)工法における更生管の特性／カナフ  
 レックスコーポレーション〔正〕河野 純子・三添 慎也・  
 内山 文男  
 VI-743 中小零細建設業における知財集約を目的とする建設CIMの  
 展開に関する報告／可見建設〔正〕可見 憲生・須田 清隆・  
 建山 和由

VI-15 (一般教育棟B41講義室)／9月16日(水)

■山岳トンネル(10)／9:00～10:20／石田 滋樹(中電技術コンサルタント)

- VI-744 秒時差の異なる発破振動について／フジタ建設〔正〕野間  
 達也・上野 博務・岡村 哲治  
 VI-745 高精度電子雷管を用いた制御発破による環境影響低減一土  
 被り13m住宅直下での制御発破事例一／鹿島建設〔正〕秋  
 山 崇裕・栗木 欣也・落河 崇征  
 VI-746 高精度電子雷管によるトンネル発破の振動・騒音予測とそ  
 の対策／鹿島建設〔正〕大塚 隆明・岩野 圭太・手塚 康成  
 VI-747 高精度電子雷管を用いたトンネル制御発破による近接鉄道  
 に対する影響検討／鹿島建設〔正〕西川 幸一・手塚 康成・  
 岩野 圭太  
 VI-748 非火薬破砕剤を使用した硬岩地山のトンネル掘削事例／大  
 林組〔正〕西村 友宏・村上 勝・佐々木 隆  
 VI-749 高性能自在制御発破工法を用いたトンネル発破における低  
 周波音の低減方策／西日本高速道路〔正〕前田 佳克・福  
 島 博文・荒木 武雄

■山岳トンネル(11)／10:40～12:00／谷 卓也(大成建設)

- VI-750 トンネル発破における超低周波音の低減を目的とした消音  
 器の模型実験／飛鳥建設〔正〕筒井 隆規・小林 真人・岩  
 根 康之

- VI-751 両端開口管を用いた低周波音低減技術の研究／錢高  
 組〔正〕角田 晋相・安部 剛・笠水上 光博  
 VI-752 減音装置付き防音壁による騒音の低減効果確認／安藤ハザ  
 マ〔正〕村上 真一・河邊 信之  
 VI-753 室内風洞施設によるトンネル建設中の粉じん捕集効率向上  
 を目指した遮蔽体の設計／山口大学〔学〕小林 大輝・進  
 士 正人・森本 信吾  
 VI-754 中断面トンネルにおける効果的な換気方式について／佐藤  
 工業〔正〕吉野 隆之・加藤 公章・針生 一成  
 VI-755 排気ガスを利用した生コン車洗浄水の中和处理に関する試  
 み／安藤ハザマ〔正〕辰巳 順一・稲葉 秀雄  
 VI-485 統計的エネルギー解析法によるトンネル防音扉の効果予測  
 に関する考察／中電技術コンサルタント〔正〕石田 滋樹・  
 山崎 徹

■山岳トンネル(12)／13:00～14:20／原 雅人(東京電力)

- VI-756 ボスボラス海峡横断鉄道トンネルのシルケジ駅における斜  
 坑掘削について／〔正〕大塚 勇・小林 伸次・高原 郁恵  
 VI-757 大土被り高温岩体でのTBM掘削一マレーシア パハン・セ  
 ランゴール導水トンネル一／清水建設〔正〕松下 文哉・  
 水戸 聡・松本 高之  
 VI-758 長距離TBMトンネル施工での前方探査一マレーシア パハ  
 ン・セランゴール導水トンネル一／清水建設〔正〕中島  
 穰・水戸 聡・松本 高之  
 VI-759 長距離硬岩TBMでのメインベアリング損傷および交換一  
 マレーシア パハン・セランゴール導水トンネル一／清水  
 建設〔正〕松本 高之・吉成 英俊・岩野 健  
 VI-760 高温多湿、大量湧水下でのTBM坑内解体一マレーシア パ  
 ハン・セランゴール導水トンネル一／清水建設〔正〕岩野  
 健・水戸 聡・白崎 耕平  
 VI-761 剥離性岩盤におけるトンネルボーリングマシン拘束の原因  
 解明調査／鹿島建設〔正〕稲葉 武史・小泉 悠・山本 拓治

VI-15 (一般教育棟B41講義室)／9月17日(木)

■山岳トンネル(13)／9:00～10:20／安井 成豊(施工技術総合研究所)

- VI-762 軟弱な断層破砕帯の切羽安定化および変位抑制対策／大林  
 組〔正〕渡辺 匠・伊原 泰之・宮川 俊介  
 VI-763 トンネル切羽崩落部での地山改良とその確認方法／戸田建  
 設〔正〕原 敏昭・香川 直輝・斎藤 章  
 VI-764 切羽前方の地下水压管理に基づく断層破砕帯のトンネル掘  
 削／鹿島建設〔正〕北村 義宜・工藤 翔太・影山 心  
 VI-765 早期閉合構造形状が早期閉合トンネル安定性に及ぼす影響  
 ／清水建設〔正〕楠本 太・佐藤 淳・前田 崇文  
 VI-766 押出し性地山の強度評価方法に関する考察／清水建  
 設〔正〕谷村 浩輔・佐藤 淳・楠本 太  
 VI-767 泥岩と未固結堆積物からなる小土被り低強度地山の早期閉合  
 トンネル挙動／清水建設〔正〕石黒 聡・工藤 健・楠本 太

■山岳トンネル(14)／10:40～12:00／森田 篤(前田建設工業)

- VI-768 小土被り部での地盤改良工によるトンネル掘削／大成建  
 設〔正〕尾崎 健・浜田 文年・足達 康軌  
 VI-769 都市部における超近接無導坑メガトンネルの施工に関す  
 る一考察／鴻池組〔正〕山田 浩幸・高祖 亮一・大槻 文彦  
 VI-770 未固結砂礫土層における上下線近接トンネルの施工につ  
 いて／大成建設〔正〕勝田 つかさ・大島 基義・川田 淳  
 VI-771 小土かぶり未固結地山における扁平大断面トンネルの施工  
 ／鴻池組〔正〕山下 和也・野田 佳彦・若林 宏彰  
 VI-772 地すべり地域のトンネル施工における地表面変動およびそ  
 の地質学的考察／鹿島建設〔正〕戸邊 勇人・佐藤 淳・田  
 丸 浩行  
 VI-773 急崖地の地滑り地形に到達するトンネル坑口の施工の工夫  
 について／戸田建設〔正〕三上 英明・中川 大有・石井 保

VI-15 (一般教育棟B41講義室)／9月18日(金)

■山岳トンネル(15)／9:00～10:20／横尾 敦(鹿島建設)

- VI-774 斜坑口における斜め支保工部の構造変更について／西松建  
 設〔正〕宇田 好一郎・永見 晃之・舩岡 慶一  
 VI-775 坑口部強風化帯における地山安定対策について／大林  
 組〔正〕渡辺 淳・安田 肇・秋田 伸治  
 VI-776 名護東道路3号トンネル 起点側坑口部のトンネル変状対策  
 ／西松建設〔正〕鈴木 健・福山 新二・寺西 淳次  
 VI-777 トンネル坑口部での調査および地すべり対策について／戸  
 田建設〔正〕三宅 拓也・内藤 雅人  
 VI-778 端末管の事前撤去型AGF工法の開発その1 引抜き専用治  
 具と端末管に適した管材の検討と試験施工結果／竹中土



- 木 [正] 前田 壮亮・市川 晃央・埴村 修  
 VI-779 端末管の事前撤去型AGF工法の開発 その2 現場適用における効果確認／竹中土木 [正] 市川 晃央・前田 壮亮・香川 裕司

#### ■山岳トンネル(16) / 10:40~12:00 / 手塚 仁(熊谷組)

- VI-780 既設水路直下のトンネル掘削時における超長尺大口径鋼管先受け工法の適用／西松建設 [正] 吉平 安生・坂本 進・板橋 弘和  
 VI-781 全断面追尾式穿孔誘導システム「ドリルNAVI」の適用と効果／鴻池組 [正] 福井 正規・富澤 直樹・若林 宏彰  
 VI-782 未固結地山でのトンネル施工における地山状態管理手法の活用について—般国道106号宮古西道路(仮称)松山トンネル築造工事—／村本建設 [正] 北 茂人・熊谷 利明・青山 幸男  
 VI-783 東九州道(佐伯～蒲江)佐伯トンネル新設工事における工程短縮の取り組み／熊谷組 [正] 佐藤 裕治・徳永 英人  
 VI-784 栗子トンネル換気坑における車両搭載型測定機を用いた掘削断面形状測定／前田建設工業 [正] 菊地 見徳・高橋 忠国・鈴木 敏之

#### ■土留め(1) / 13:00~14:20 / 土屋 雅徳(清水建設)

- VI-785 地盤改良を用いた斜め自立土留め工法の試験施工事例／大林組 [正] 青木 峻二・平山 浩司・杉江 茂彦  
 VI-786 地盤改良体を用いた斜め土留め工法の解析検証／大林組 [F] 杉江 茂彦・高橋 真一・嶋田 洋一

- VI-787 気泡掘削土留め壁AWARD-Hsm工法の施工と品質管理(その1:施工概要)／安藤ハザマ [正] 増田 浩二・大住元 豊・近藤 義正  
 VI-788 気泡掘削土留め壁AWARD-Hsm工法の施工と品質管理(その2:施工結果)／安藤ハザマ [正] 佐久間 誠也・守田 貴裕・三反畑 勇  
 VI-789 弾性解析による既設構造物への影響評価に関する検討／長岡工業高等専門学校 [学] 加藤 将史・岩波 基  
 VI-790 大阪湾臨海部の大規模土留め壁に生じた引張挙動に関する検討／長岡工業高等専門学校 [学] 石山 正太郎・岩波 基

#### ■土留め(2) / 14:40~16:00 / 岩波 基(長岡工業高等専門学校)

- VI-791 次工事を考慮した推進立坑仮設土留め壁の計画／清水建設 [正] 柴崎 友哉・古川 慎一・村上 寛  
 VI-792 冬期施工における土留工の変状とその対策について／北海道電力 [正] 土佐 亮允・小山 俊・上田 健二郎  
 VI-793 埋戻し時の盛替コンクリート梁の設置について～グラウンドアンカーの荷重増加抑制～／清水建設 [正] 中島 健輔・竹原 昭雄・山崎 光貴  
 VI-794 大口径地下埋設物横断面における山留め壁欠損防護工の計画／清水建設 [正] 若林 剛・大田 寛・寺田 惇郎  
 VI-795 深層混合処理杭(CDM)の自立山留め壁体への利用／大成建設 [正] 大久保 洋子・大塚 徳之・神田 基  
 VI-796 開削工事深部における自立改良土留め壁の適用事例／熊谷組 [正] 中出 剛・濱 慶子・町田 憲泰

## 第Ⅶ部門

環境計画・管理、環境システム、用排水システム、廃棄物、環境保全など

#### Ⅶ-1 (工学部5号館第15講義室) / 9月16日(水)

##### ■用排水処理(1) / 9:00~10:20 / 村上 和仁(千葉工業大学)

- Ⅶ-001 アナモックスによる廃水からの窒素除去／鹿島建設 [正] 多田 羅 昌浩・石川 秀・上野 嘉之  
 Ⅶ-002 ステップ流入式DHSリアクターによるメタン発酵脱水ろ液の部分硝化の試み／長岡技術科学大学 [学] 段下 剛志・DAO THI NGOC HOANG・幡本 将史  
 Ⅶ-003 都市部のオンサイト型メタン発酵の普及に向けた課題と解決策の検討／ [正] 押部 洋・西川 向一・李 玉友  
 Ⅶ-004 高温・高圧蒸気分解処理を適用したポリ乳酸を原料とする高温嫌気性消化リアクターのメタン生成特性／豊橋技術科学大学 [正] 山田 剛史・下田 将也・大門 裕之  
 Ⅶ-005 嫌気的硫酸酸化反応の発生時および非発生時における微生物群集構造の比較／長岡技術科学大学 [学] 中原 望・黒田 恭平・TRHAN THI THAN THUY  
 Ⅶ-006 嫌気性バッフル反応器による高濃度油分含有廃水の連続処理／呉工業高等専門学校 [正] 谷川 大輔・藤平 卓也・横手 直哉

##### ■用排水処理(2) / 10:40~12:00 / 多川 正(香川高等専門学校)

- Ⅶ-007 天然ゴム製造工程廃水中の窒素除去手法の検討／長岡技術科学大学 [学] 渡利 高大・武笠 巨亮・山口 隆司  
 Ⅶ-008 低温下水を対象とした初沈+DHS+終沈システムの処理性能評価／長岡技科大院・工 [学] 十河 圭輔・幡本 将史・多川 正  
 Ⅶ-009 嫌気的メタン酸化脱窒微生物の集積培養と脱窒活性に与える基質組成の影響／長岡技科大院・工 [学] 根本 笙・佐藤 崇文・幡本 将史  
 Ⅶ-010 下水処理DHSリアクター中における病原性細菌の定量／長岡技科大院・工 [学] 高橋 省悟・黒田 恭平・Namita Maharanjan  
 Ⅶ-011 MBRにおけるMPCポリマー及びPEGポリマー加工膜のファウリング抑制効果／東京都市大学 [学] 新井 広基・山田 朋子・長岡 裕  
 Ⅶ-012 浸漬型MBRにおいて平膜の振動がファウリングの抑制効果及び流体に及ぼす影響／東京都市大学 [学] 酒井 駿治・長岡 裕・井上 美穂

##### ■用排水処理(3) / 13:00~14:20 / 笠原 伸介(大阪工業大学)

- Ⅶ-013 平膜状浸漬型MBRにおいて曝気による振動特性の検討／東京都市大学 [学] 井上 美穂・長岡 裕・酒井 駿治  
 Ⅶ-014 MBRにおけるポリマー加工膜のファウリング抑制効果及び汚泥状態との関係／東京都市大学 [学] 山田 朋子・長岡 裕・新井 広基

- Ⅶ-015 浸漬型膜分離活性汚泥法における槽内にバッフルを設置することによる効果的な膜面洗浄効果の検討／東京都市大学 [学] 丸林 修・長岡 裕  
 Ⅶ-016 下降流懸垂型スポンジリアクターを用いた高濃度アンモニア含有廃水のストリップ処理／呉工業高等専門学校 [学] 惣中 英章・珠坪 一晃・福田 雅夫  
 Ⅶ-017 食品残渣等の都市ごみを対象としたメタン発酵システムの実験的検討／西松建設 [F] 伊藤 忠彦・石渡 寛之・清水 直人  
 Ⅶ-018 糖化・エタノール発酵を前処理に用いる模擬厨房のメタン発酵／大阪工業大学 [学] 高橋 開人・田中 量也・古崎 康哲

#### Ⅶ-1 (工学部5号館第15講義室) / 9月17日(木)

##### ■用排水処理(4) / 9:00~10:20 / 長岡 裕(東京都市大学)

- Ⅶ-019 微細珪砂を用いた無薬注砂ろ過法の性能評価／日本水工設計 [正] 東川 昇平・笠原 伸介・石川 宗孝  
 Ⅶ-020 微細珪砂を用いた凝集+砂ろ過法に関する基礎的研究／石垣 [正] 南 修司・永井 将貴・笠原 伸介  
 Ⅶ-021 DHSリアクターへの排水供給方法が処理に与える影響／岐阜工業高等専門学校 [正] 角野 晴彦・小野寺 崇・珠坪 一晃  
 Ⅶ-022 電気化学的AOPによる下水処理水の高濃度処理に関する研究／早稲田大学 [学] 富田 淳・鈴木 淳哉・榎原 豊  
 Ⅶ-023 し尿処理場を対象とした活性汚泥改質手法の検討／大阪工業大学 [学] 和田 彬久・石川 宗孝・古崎 康哲  
 Ⅶ-024 矩形トラフを用いたTSSの初期水深が与える造水特性と水蒸気量に関する研究／広島工業大学 [学] 三角 彰・石井 義裕・福原 輝幸

##### ■用排水処理(5) / 10:40~12:00 / 高部 祐剛(土木研究所)

- Ⅶ-025 メタン発酵消化液利用による微細藻培養時の雑菌抑制効果／大林組 [正] 山本 縁・大島 義徳・千野 裕之  
 Ⅶ-026 海洋性微細藻の機能性油脂の生産速度について／大林組 [正] 大島 義徳・山本 縁・千野 裕之  
 Ⅶ-027 極低濃度のメタンを酸化分解するメタン酸化細菌の培養と検出／長岡技術科学大学 [学] 鶴岡 夏海・幡本 将史・山口 隆司  
 Ⅶ-028 海洋生物環境への光照射の効果／大成建設 [正] 片平 智仁・帆秋 利洋  
 Ⅶ-029 微細藻類Chlorella vulgarisを用いた人工排水中の窒素・リン連続処理に関する研究／大阪工業大学 [学] 副田 正樹・古田 大地・古崎 康哲

Ⅶ-1 (工学部5号館第15講義室) / 9月18日(金)

■水質モニタリング・解析 / 9:00~10:20 / 金田一 智規(広島大学)

- Ⅶ-030 三次元励起蛍光スペクトルを用いた河川汽水域における負荷源の推定 / 清水建設 [正] 小島 啓輔・林 秀彦・田崎 雅晴
- Ⅶ-031 2014/15年インフルエンザシーズンにおける河川中のタミフルおよびタミフル代謝物濃度について / 大阪産業大学 [正] 高浪 龍平・尾崎 博明・林 新太郎
- Ⅶ-032 地域特性に応じた下水処理放流水の挙動と水・底質環境への影響調査 / 佐賀大学 [正] 山西 博幸・福島 保奈美・井上 紀行
- Ⅶ-033 河北潟流域における窒素及び難分解性有機物濃度の変動特性 / 金沢大学 [学] 小杉 優佳・末永 遼・池本 良子
- Ⅶ-034 由布院温泉と長湯温泉の温泉水が大分川の水質に与える影響 / 大分工業高等専門学校 [正] 横田 恭平
- Ⅶ-035 晴天時における森林域を流れる小河川の水質変動 / 東北工業大学 [学] 水野 俊・中山 正与

■水質浄化技術 / 10:40~12:00 / 奈良 松範(諏訪東京理科大学)

- Ⅶ-036 鉄イオン溶出による河川等の水質浄化実証試験 / 復建調査設計 [F] 福田 直三・杉本 幹生・小浪 岳治
- Ⅶ-037 生物学的フェントン法におけるOHラジカルの検出に関する研究 / 早稲田大学 [正] 稲垣 嘉彦・Vo Cong・Li Cheng
- Ⅶ-038 有明海を対象としたフルボ酸鉄シリカ資材を用いたヘドロ浄化実証実験 / 福岡大学 [学] 黒瀬 達也・渡辺 亮一・浜田 晃規
- Ⅶ-039 バイオフィントン法によるPCPの除去・無害化に関する研究 / 早稲田大学 [学] 栗原 孝明・稲垣 嘉彦・榊原 豊
- Ⅶ-040 アルカリ土類金属および遷移金属元素を用いて合成したナノサイズ無機層状複水酸化物のイオン吸着能の評価 / 佐賀大学 [正] 三島 悠一郎・村岡 宙彦・荒木 宏之
- Ⅶ-041 未活用資源を吸着材とした浄化槽処理水のリン削減効果に関する研究 / 東京理科大学 [学] 大友 絵尋・小倉 久子・二瓶 泰雄

■生態系モニタリング・解析 / 13:00~14:20 / 赤松 良久(山口大学)

- Ⅶ-042 分子生物学的手法による2-MIB生成シアノバクテリアの定量化及び種の同定 / 日水コン [正] 森川 敏成・梶山 泰弘・塩見 裕亮
- Ⅶ-043 井芹川水系成道寺川におけるホタル出現個体数の変動について / 福岡工業大学 [正] 森山 聡之・時枝 真志・藤森 憲臣
- Ⅶ-044 分布型流出モデルを用いた名取川水系の付着藻類量推定 / 東北大学 [学] 渡邊 健吾・糠澤 桂・風間 聡
- Ⅶ-045 UAV-SEM手法を用いた干潟地形変化の把握 / 福岡大学 [正] 伊豫岡 宏樹・浜田 晃規・渡辺 亮一
- Ⅶ-046 根固め用袋材を用いたコンクリート塊と礫における水生昆虫群集の評価 / 東北大学 [正] 会田 俊介・糠澤 桂・風間 聡
- Ⅶ-047 透過型砂防ダム上下流の河川の底生動物群集の種多様性 / 東北大学 [学] 林 達也・糠澤 桂・会田 俊介

■上下水道管理 / 14:40~16:00 / 天野 幹大(日本上下水道設計)

- Ⅶ-048 豪雨時に遮集量を制御できる新しい分流施設の模型実験 / 松江工業高等専門学校 [正] 荒尾 慎司・小田 収平・小田 耕平
- Ⅶ-049 配水本管の漏水事故シミュレーションによる事故影響の分析 / 首都大学東京 [学] 阿部 豊・稲貝 とよの・國實 誉治
- Ⅶ-050 結合塩素処理にともなう亜硝酸態窒素生成の影響要因 / 首都大学東京 [正] 山崎 公子・稲貝 とよの・小泉 明
- Ⅶ-051 インドネシア国中崎カリマンタン州パランカラヤ市における上水道水質の実態調査 / 山口大学 [学] 小野 文也・山本 浩一・Caroline Maria
- Ⅶ-052 小規模な閉鎖性水域における礫間接触酸化槽と植生浮島の適用事例 / 前田建設工業 [正] 林 まゆ・岩田 将英・小口 深志

Ⅶ-2 (工学部5号館第16講義室) / 9月16日(水)

■温暖化対策・評価 / 9:00~10:20 / 渡辺 亮一(福岡大学)

- Ⅶ-053 気候変動による将来の土地利用変化を考慮した浮遊土砂量への影響評価 / 東京大学 [正] 守利 悟朗
- Ⅶ-054 スマートフォンを用いたダンプトラックの省燃費運転改善効果 / 前田建設工業 [正] 平田 昌史・西川 浩二・武部 篤治
- Ⅶ-055 舗装の供用性低下がもたらす自動車からの二酸化炭素排出量への影響 / 国土技術政策総合研究所 [正] 長浜 庸介・小川 智弘・井上 隆司
- Ⅶ-056 バイオディーゼル燃料の排出ガス特性について(第2報) / 土木研究所 [正] 西山 章彦・藤野 健一・杉谷 康弘

- Ⅶ-057 都市階層モデルを用いた都市圏の低物質・低炭素化に関する研究 / 名古屋大学 [正] 奥岡 桂次郎・谷川 寛樹・大西 曉生

■循環資源リサイクル(1) / 10:40~12:00 / 寺嶋 光春(北九州市立大学)

- Ⅶ-058 貝殻砕粉を配合したフライアッシュ固化物の振動締固め法による調製 / [正] 日恵井 佳子・山本 武志・布川 信
- Ⅶ-059 二酸化炭素固定による六価クロム溶出抑制効果 / 早稲田大学 [学] 坂巻 潤平・小峯 秀雄
- Ⅶ-060 木質バイオマス燃焼飛灰のセメント固化処理に関する基礎検討(その3) / 鴻池組 [正] 大山 将・中島 卓夫・松生 隆司
- Ⅶ-061 焼却残渣の最終処分における石炭灰固化技術の適用に関する基礎的研究 / 九州大学 [学] 村川 大亮・小宮 哲平・島岡 隆行
- Ⅶ-062 石炭灰改良材の環境安全性に関する研究 / 大林組 [正] 田島 孝敏・井出一貴・千野 裕之
- Ⅶ-063 アルカリ性地下水の炭酸ガスによる原位置中和の実証実験 / 大林組 [正] 加藤 顕・日笠山 徹巳

■循環資源リサイクル(2) / 13:00~14:20 / 島岡 隆行(九州大学)

- Ⅶ-064 覆砂材に活用される石炭灰造粒物による硫化物イオン吸着機能と吸着サイト再生機構 / 中国電力 [正] 中本 健二・樋野 和俊・浅岡 聡
- Ⅶ-065 覆砂材に活用される石炭灰造粒物の硫化物イオン吸着機能に注目した最適配合の検討 / 中国電力 [正] 井上 智子・中本 健二・樋野 和俊
- Ⅶ-066 干潟覆砂材に活用される石炭灰造粒物の透水路機能と仮設作業通路としての支持力評価 / 中国電力 [正] 宮國 幸介・樋野 和俊・中本 健二
- Ⅶ-067 セメント硬化体の細孔径分布とヨウ化セシウム溶液の拡散透過性の関係 / 大阪大学 [学] 工藤 正智・久司 成利・三原 守弘
- Ⅶ-068 IGCCスラグの物理化学特性と防草効果 / 大林組 [正] 前田 章・赤津 英一・坂本 康一
- Ⅶ-069 杭汚泥の現場内自ラ利用のための固化材配合試験 / 大林組 [正] 小竹 茂夫・柴田 健司・日笠山 徹巳

Ⅶ-2 (工学部5号館第16講義室) / 9月17日(木)

■埋立処分場管理・処分計画 / 9:00~10:20 / 大下 和徹(京都大学)

- Ⅶ-070 岩手県一関市における利用自粛牧草のペレット化処理業務報告 / 西武建設 [正] 三村 卓・平沢 路夫
- Ⅶ-071 安定型最終処分場におけるNB工法の適用事例 / NB研究会 [正] 新井 靖典・柴崎 孝広・成島 誠一
- Ⅶ-072 数量化理論第I類による小型家電リサイクル回収量の推定モデル / 首都大学東京 [学] 李 小航・荒井 康裕・小泉 明
- Ⅶ-073 東京湾北部地震・多摩直下地震を想定した震災廃棄物の発生量と仮置場に関する比較 / 首都大学東京 [正] 荒井 康裕・小泉 明・稲貝 とよの
- Ⅶ-074 建設リサイクル法情報共有システムの開発について / 八千代エンジニアリング [正] 吉野 博之・藤井 純一郎・齋藤 康宏

■埋立処分場及び技術 / 10:40~12:00 / 藤原 健史(岡山大学)

- Ⅶ-075 堆積廃棄物の内部温度計測手法に関する考察 / 奥村組 [正] 笠本 雅春・長田 洋・大塚 義一
- Ⅶ-076 海面処分場における杭基礎の適用性に関する検討(その1) 一杭の打設実験 / 港湾空港技術研究所 [正] 渡部 要一・水谷 崇亮・林 佳克
- Ⅶ-077 海面処分場における杭基礎の適用性に関する検討(その2) 一杭周囲の透水実験 / 港湾空港技術研究所 [正] 金子 崇・渡部 要一・水谷 崇亮
- Ⅶ-078 ベントナイトの膨潤力とベントナイト混合土の遮水性に関する検討2 / 大林組 [F] 柴田 健司・日笠山 徹巳・田島 孝敏
- Ⅶ-079 土質系遮水材HCB-Fの乾湿繰返し試験 / 東洋建設 [正] 山崎 智弘・村井 伸之・角田 紘子

Ⅶ-2 (工学部5号館第16講義室) / 9月18日(金)

■土壌地下水汚染(重金属等) / 9:00~10:20 / 樋口 隆哉(山口大学)

- Ⅶ-080 有機酸による熱付加条件下での汚染土壌の重金属溶出特性 / 北九州市立大学 [正] 山田 百合子・伊藤 洋
- Ⅶ-081 薬剤浸透による砒素汚染土壌の不溶化と地下水浄化に関する一考察 / 大林組 [F] 西田 憲司・三浦 俊彦・日笠山 徹巳
- Ⅶ-082 水銀汚染土壌の掘削作業時における水銀蒸気濃度の測定事



- 例/竹中工務店 [正] 奥田 信康・舟川 将史・藤崎 幸市郎  
 VII-083 電解水素/酸素を用いた原位置脱窒法の浄化性能に及ぼす地下水流速の影響/早稲田大学 [学] 古川 照哲・葉 堅・内藤 克貴  
 VII-084 水素および酸素を注入する地下水の原位置独立栄養脱窒法の数学モデルに関する研究/早稲田大学 [学] 内藤 克貴・小森 正人・榊原 豊  
 VII-085 細粒分に対応した環境配慮型オンサイト大規模土壌洗浄法の浄化事例(その2)/大成建設 [正] 大石 雅也・平岡 康之・中根 友理

#### ■土壌地下水汚染(自然由来重金属)/10:40~12:00/緒方 浩基(大林組)

- VII-086 自然由来の砒素で汚染されたシールド掘削土の浄化技術の開発(その2) —実証実験結果について—/西松建設 [正] 石渡 寛之・浅井 靖史・小林 正典  
 VII-087 自然由来の砒素で汚染されたシールド掘削土の浄化技術の開発(その1)キレート剤を用いた湿式洗浄の基礎的検討/金沢大学 [学] 澤井 光・長谷川 浩・石渡 寛之  
 VII-088 砒素汚染土浄化システムの現場実証試験/大林組 [正] 加藤 秀一・三浦 俊彦・武田 厚  
 VII-089 ヒ素を含む発生土を用いた流動化処理土の水中打設に関する基礎検討(その1)一周辺水へのヒ素の溶出挙動/大成建設 [正] 忠野 祐介・下村 雅則・宇野 浩樹  
 VII-090 ヒ素を含む発生土を用いた流動化処理土の水中打設に関する基礎検討(その2)一破碎した固化体からのヒ素の長期溶出挙動/大成建設 [正] 下村 雅則・忠野 祐介・宇野 浩樹

#### ■土壌地下水汚染(重金属以外)(1)/13:00~14:20/伊藤 歩(岩手大学)

- VII-091 不飽和層の油汚染に対する原位置浄化/鴻池組 [正] 田中 宏幸・吉浪 賢史・松久 裕之  
 VII-092 油汚染土壌バイオブائل処理における効果的な酸素供給方法の解析的検討/熊谷組 [正] 河村 大樹・佐々木 静郎・村上 順也  
 VII-093 石油汚染土壌の嫌気環境における生物処理の適用検討/熊谷組 [正] 佐々木 静郎・門倉 伸行・久保 幹  
 VII-094 ペンゼン分解菌DN11株の簡易培養方法の検討とMALDI-BioTyperによる検定/大成建設 [正] 高畑 陽・伊藤 雅子・廣瀬 美奈

#### ■土壌地下水汚染(重金属以外)(2)/14:40~16:00/池田 和弘(埼玉環境科学国際センター)

- VII-095 塩素化エチレン汚染地下水浄化に用いる有機資材の挙動と脱塩素化効果/大成建設 [正] 伊藤 雅子・高畑 陽  
 VII-096 地下水流速の大きい地盤における徐放性栄養剤の効果確認/大林組 [正] 宮崎 隆洋・西田 憲司・日笠山 徹巳  
 VII-097 VOCs実汚染現場での原位置微生物処理におけるpHの影響/大林組 [正] 佐藤 祐輔・西田 憲司・日笠山 徹巳  
 VII-098 1,4-ジオキサン実汚染地下水を用いた新規酸化剤の適用性の検討/大林組 [正] 緒方 浩基・大島 義徳・西田 憲司  
 VII-099 津波後の水田土壌の降雨除塩特性/福井大学 [正] 仇 啓涵・寺崎 寛章・竹崎 寛之

#### VII-3 (工学部5号館第17講義室)/9月16日(水)

#### ■環境影響評価(1)/10:40~12:00/小林 功(パシフィックコンサルタンツ)

- VII-100 沖縄琉球列島への震災瓦礫の漂着実態/元防衛大学校 [正] ヤマグチ ハレユキ  
 VII-101 通信用マンホールにおける温湿度測定の途中経過について/NTTアクセスサービスシステム研究所 [正] 勝木 康博・川端 一嘉・森 治郎  
 VII-102 道路環境影響評価の技術手法「自動車の走行に係る騒音」の改定/国土技術政策総合研究所 [正] 大河内 恵子・井上 隆司・吉永 弘志  
 VII-103 風速・風向が風車の騒音予測に与える影響についての基礎的な検討/建設環境研究所 [正] 坂崎 友美・志村 正幸  
 VII-104 道路事業における植物に対する環境保全措置の実施状況に関する調査/国土技術政策総合研究所 [正] 大城 温・長谷川 啓一・井上 隆司

#### ■環境影響評価(2)/13:00~14:20/大城 温(国土技術政策総合研究所)

- VII-105 環境影響評価における新しい調査手法の試み—環境DNAを用いたニホンザリガニ生息場の推定—/パシフィックコンサルタンツ [正] 池田 幸資・土居 秀幸・高原 輝彦  
 VII-106 希少猛禽類の自動車衝突確立の算定方法に係る検討—オジロワシを対象とした試算—/パシフィックコンサルタンツ [正] 森元 愛和・石井 宏章・山田 浩行

- VII-107 小型発信機を用いたキタサンショウウオ(*Salamandrella keyserlingii*)の行動追跡の試み/パシフィックコンサルタンツ [正] 小林 功・山田 浩行・太田 宏  
 VII-108 環境影響評価における新しい調査手法の試み—環境DNAを用いたイタセンバラ生息の推定—/パシフィックコンサルタンツ [正] 上月 佐葉子・源 利文・上原 一彦  
 VII-109 都市部におけるエコロジカルコリドー簡易評価方法/東急建設 [正] 金内 敦・田中 章・遠藤 修  
 VII-110 農業含有排水を対象としたマイクロコズムによるWET試験/千葉工業大学 [正] 村上 和仁・小浜 暁子

#### VII-3 (工学部5号館第17講義室)/9月17日(木)

#### ■環境計画・環境管理/9:00~10:20/米村 惣太郎(清水建設)

- VII-111 社会経済の近未来シナリオに基づく中国の地域別・産業別COD発生量の予測/国立環境研究所 [正] 秋山 千亜紀・戴 瀚程・東 博紀  
 VII-112 中小河川自然再生計画のための目標設定と問題の明確化のための分析/琉球大学 [学] 辻本 真希・神谷 大介・赤松 良久  
 VII-113 途上国の地方都市を対象とした都市化による生態系サービスの影響評価に関する基礎的研究—タイ・コンケン市を対象として—/日本大学 [正] 伊東 英幸・渡部 圭次・藤井 敬宏  
 VII-114 森林セラピーへの期待と感想からみた武田の杜保健休養林の計画/山梨県富士山科学研究所 [正] 菊池 佐智子・遠藤 淳子・堀内 雅弘  
 VII-115 雨水利用住宅における雨水活用費用対効果の検討/福岡大学 [正] 渡辺 亮一・浜田 晃規・伊豫岡 宏樹  
 VII-116 クラピア吹付緑化工法を用いた既存雑草抑制/東急建設 [正] 福田 淳・金内 敦

#### ■環境創造・ビオトープ(1)/10:40~12:00/高砂 裕之(鹿島建設)

- VII-117 バイオテレメトリーによるニホンザリガニ移動能力の調査研究/ドーコン [正] 高松 慎吾・村上 弘樹・鈴木 祐太郎  
 VII-118 イロハモミジ、ヤマザクラの葉緑体DNA変異とその地理的分布/清水建設 [正] 米村 惣太郎・森 高子・白子 智康  
 VII-119 環境配慮型ガラスパーキングに関する研究 コンセプトおよび利用者の印象試験結果/竹中工務店 [正] 佐久間 護・古川 靖英・植尾 健  
 VII-120 環境配慮型ガラスパーキングに関する研究 芝生保護材の構造解析/竹中道路 [正] 國松 俊郎・佐久間 護・古川 靖英  
 VII-121 環境配慮型ガラスパーキングに関する研究 芝生の生育試験/竹中工務店 [正] 植尾 健・佐久間 護・古川 靖英  
 VII-122 環境配慮型ガラスパーキングに関する研究 灌水再利用システムの検討/竹中工務店 [正] 古川 靖英・佐久間 護・植尾 健

#### VII-3 (工学部5号館第17講義室)/9月18日(金)

#### ■環境創造・ビオトープ(2)/9:00~10:20/酢谷 大輔(日水コン)

- VII-123 タブレット型生物多様性評価ツール「いきものコンシェルジュ」の開発/大成建設 [正] 内池 智広  
 VII-124 網状人工基盤を用いたサンゴ群集再生技術—那覇港・慶良間諸島での再生事例—/鹿島建設 [正] 山本 克則・新保 裕美・田中 昌宏  
 VII-125 ビオトープにおけるカワニナ及びマルタニシの生息状況と水環境条件/鹿島建設 [正] 高砂 裕之・越川 義功・高山 晴夫  
 VII-126 新名神高速道路(高槻~箕面間)建設区間に生息するカヤネズミの生息環境創出の取り組みについて/西日本高速道路 [正] 川村 祐次・三井 邦弘・高山 和久  
 VII-127 現地試験水路でのカワニナの成長比較/鹿島建設 [正] 大野 貴子・高砂 裕之・越川 義功  
 VII-128 発信機・PITタグを用いたニホンザリガニの追跡調査による保全対策の評価/パシフィックコンサルタンツ [正] 石井 宏章・森元 愛和・山田 浩之

#### ■森林・植生/10:40~12:00/大野 剛(大成建設)

- VII-129 人形峠環境技術センターにおける覆土表層に対する植物根侵入対策について/日本原子力研究開発機構 [正] 榊永 幸介・齊藤 宏・佐藤 寿一  
 VII-130 省管理型芝草(ティフ・ブレア)の導入と新たな施工方法の確立について/ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 小笠原 秀治・新見 政儀・中村 剛  
 VII-131 国内土壌を用いたカルシウム環境の違いによる甘草の生育特

- 性／九州大学〔学〕 灘波 真裕子・安福 規之・古川 全太郎  
 VII-132 札内川におけるケシヨウヤナギの定着条件について／ドール  
 コン〔正〕住友 慶三・渡邊 和好・武田 淳史  
 VII-133 ダムフラッシュ放流によるケシヨウヤナギ実生の流亡と残  
 存について／土木研究所寒地土木研究所〔正〕渡邊 和好・  
 住友 慶三・武田 淳史  
 VII-134 白山国立公園内の工事用道路に設置された車両タイヤ洗浄  
 施設の種実捕捉効果／国土開発センター〔正〕田屋 祐樹・  
 澤 康雄・片桐 寿通
- 振動／13:00～14:20／齋藤 邦夫(中央大学)  
 VII-135 コンクリート遮振壁による工事振動対策／鹿島建設〔正〕小  
 原 隆志・岡本 道孝・志水 俊仁  
 VII-136 振動制御装置を用いた建設作業振動の伝搬経路対策に関す  
 る実験的検討／飛鳥建設〔正〕岩根 康之・小林 真人・石  
 見 理朗  
 VII-137 プラント設備解体における塔押倒し工法に関する報告／コ  
 スモエンジニアリング〔正〕近 信明・竹内 良太・角崎 由  
 貴子

- VII-138 ラーメン高架橋区間における列車走行時の地盤振動シミュ  
 レーション／鉄道総合技術研究所〔正〕横山 秀史・三橋  
 祐太  
 VII-139 CIP法による動弾性解析を用いたWIB工の制振性能評価／  
 環境風土テクノ〔正〕本田 陽一・竹宮 宏和・須田 清隆
- 大気・騒音・振動／14:40～16:00／山本 浩一(山口大学)  
 VII-140 RADIOACTIVE POLLUTION OF FUKUSHIMA  
 DAIICHI NUCLEAR POWER PLANT／長崎大学〔正〕小  
 川 進・葛 亜静・高原 弘史朗  
 VII-141 サイドブラント型消音器のバックホウへの適用性検討／前  
 田建設工業〔正〕安井 利彰・藤橋 克己・山田 哲也  
 VII-142 省力化軌道における鉄道騒音低減に有効な軌道面吸音板の  
 評価／JR東日本〔正〕熊倉 孝雄・小松 佳弘・堀 壮大  
 VII-143 キャタピラ防振パットの振動低減効果に関する現場実験／  
 飛鳥建設〔正〕小林 真人・岩根 康之・山内 浩司  
 VII-144 防振壁による振動低減効果の平面分布に関する検討／JR  
 東日本〔正〕金田 淳・池本 宏文・高崎 秀明

## 共通セッション

CSの1会場(理学部本館11講義室(B124))／9月16日(水)

- 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(鋼構造・耐震・地盤)  
 ／9:00～10:20／田島 剛之(川田テクノシステム)  
 CS7-001 衝撃法によって励起されたガイド波と加速度センサを用いた  
 遠隔計測／愛媛大学〔正〕高本 龍直・大谷 愛馬・齊藤 中  
 CS7-002 カルマンフィルタを用いたMEMSセンサ計測システムの  
 高度化に関する検討／愛媛大学〔学〕齊藤 中・高本 龍直・  
 中畑 和之  
 CS7-003 パソコン用ポインティングデバイスを利用した構造実験用  
 2次元変位測定システムの構築／名古屋工業大学〔F〕オ  
 バタ マコト・後藤 泰輔  
 CS7-004 新しいGPS変位計測センサーの開発(その2)／山口大  
 学〔学〕寺田 脩作・中島 伸一郎・清水 則一  
 CS7-005 光弾性効果を応用した水位計の開発／レーザック〔正〕藤  
 井 宏和・海老原 悠馬・芥川 真一

- 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(維持・管理)／  
 10:40～12:00／松谷 治(アイベック)  
 CS7-006 茨城県水戸市における内水氾濫監視システムの検討／茨城  
 大学〔正〕齋藤 修・桑原 祐史・黒木 幹  
 CS7-007 単色光と陰影による煤で汚れたコンクリート壁面の段差高  
 推定に関する研究／日本大学〔学〕石森 章之・塩崎 正人・  
 佐田 達典  
 CS7-008 コンクリート壁面撮影画像からのひび割れ図作成ソフトの  
 開発に関する研究／〔学〕村上 慧季・河村 圭・塩崎 正人  
 CS7-009 画像処理を用いたトンネル壁面画像展開図作成における結  
 合エラー補正に関する研究／山口大学〔学〕古賀 通博・  
 河村 圭・松本 潤児  
 CS7-010 遠隔非接触測定による岩塊安定性評価システムの開発／鉄  
 道総合技術研究所〔正〕上半 文昭・箕浦 慎太郎  
 CS7-011 トンネル走行型計測でのボケ画像低減に関する基礎実験／  
 三井住友建設〔正〕塩崎 正人・河村 圭・千葉 史隆

- 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(施工管理・施工技術)  
 ／13:00～14:20／石間 計夫(ジェイアール東日本コンサルタンツ)  
 CS7-012 RFID・GNSSを用いた資材管理システム／東洋建設〔正〕水  
 谷 征治・阿部 龍介  
 CS7-013 光ファイバーを用いた金属材料の腐食状況把握に関する基  
 礎的研究／神戸大学〔学〕田宮 周・芥川 真一  
 CS7-014 水中での高精度変位計測を想定した光ファイバーセンサの  
 試作と基礎的研究／神戸大学〔学〕富安 ひとみ・芥川 真一  
 CS7-015 電波吸収による電波減衰を利用したWi-Fi単独測位手法の  
 提案／飛鳥建設〔正〕松田 浩朗・松元 和伸・田頭 茂明  
 CS7-016 3次元点群データを用いた道路の白線抽出手法に関する研  
 究／日本大学〔学〕今村 一紀・佐田 達典  
 CS7-017 移動体計測システムによる点群データを用いた3次元モデル  
 の作成／日本大学〔学〕小川 達也・佐田 達典・池田 隆博

CSの1会場(理学部本館11講義室(B124))／9月17日(木)

- 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(1)／9:00～  
 10:20／松井 隆行(西日本高速道路)  
 CS10-001 舗設時に作用するせん断力の測定方法に関する一検討／ニ  
 チレキ 技術研究所〔正〕樋口 勇輝・牧山 晃・田中 伸介  
 CS10-002 勾配箇所において床版防水層に作用するせん断力に関する  
 一検討／ニチレキ 技術研究所〔正〕牧山 晃・田中 伸介・  
 樋口 勇輝  
 CS10-003 橋面舗装のわだち掘れ挙動に及ぼす防水層のせん断接着特  
 性の影響について／土木研究所 寒地土木研究所〔正〕角  
 間 恒・佐藤 孝司・西 弘明  
 CS10-004 コンクリート床版の高浸透型防水材料の開発／首都高速道  
 路〔正〕蒲 和也・永田 佳文・井田 達郎  
 CS10-005 高機能ウレタン床版防水システムにおけるAs系接着材の  
 塗布量が合材に与える影響調査／三菱樹脂インフラテッ  
 ク〔正〕大出 努・山口 茂・山脇 圭悟

- 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(2)／10:40～  
 12:00／石川 裕一(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)  
 CS10-006 コンクリート床版内部に発生した水平ひび割れの微破壊調  
 査方法／日本建設機械施工協会〔正〕渡邊 晋也・谷倉 泉・  
 佐藤 智  
 CS10-007 RC床版上面の損傷と路面のひび割れ／ニチレキ〔正〕永  
 塚 竜也・近藤 成則  
 CS10-008 疲労荷重を受ける道路橋床版上面コンクリートの吸水性状  
 による損傷評価／香川高等専門学校〔学〕増尾 敬・眞鍋  
 健也・林 和彦  
 CS10-009 道路橋から撤去した鋼板接着床版の欠陥部検出実験／東京  
 工業大学〔学〕小原 稔生・橋 肇・廣瀬 壮一  
 CS10-010 赤外線サーモグラフィを用いたロビンソン型合成床版の維  
 持管理手法に関する研究／川田工業〔正〕水野 浩・和泉  
 遊以・阪上 隆英  
 CS10-011 熱弾性応力測定に基づく鋼・コンクリート合成床版の疲労  
 損傷評価法の高精度化／川田工業〔正〕街道 浩・和泉 遊  
 以・阪上 隆英

CSの1会場(理学部本館11講義室(B124))／9月18日(金)

- 道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(3)／9:00～  
 10:20／田中 良樹(土木研究所)  
 CS10-012 拡張された併用法の開発と張出し多層版への適用／井沢設  
 計〔正〕廣瀬 清泰・鍋島 益弘・堀川 都志雄  
 CS10-013 剛支持領域をもつ多層版の変位法による解析／三井住友建  
 設〔F〕三上 浩・井之上 賢一・水野 政純  
 CS10-014 ロビンソン型合成床版のコスト縮減に向けたスタッド付き  
 鋼板の疲労強度／川田工業〔正〕吉田 賢二・東山 浩士・  
 水野 浩  
 CS10-015 FEM解析によるロビンソン型合成床版の底鋼板スタッド  
 のせん断力分担率の試算／日本橋梁建設協会〔正〕松村  
 寿男・高須賀 丈広・石井 雄大



CS10-016 道路橋RC床版の耐久性向上に資する床版構築方法／NIPPO [正] 荒井 明夫・斉藤 徹

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(4) / 10:40～12:00 / 本間 雅史(ドーコン)

- CS10-017 沖縄自動車道の鋼橋床版の塩分調査に関する報告／土木研究センター [正] 大田 孝二・花田 克彦・宜志富 紹一  
CS10-018 道路橋床版の健全度評価における点検データを用いた統計的手法の検討／西日本高速道路 [正] 横山 和昭・伊藤 一弘・鈴木 正範  
CS10-019 道路橋補強床版の衝撃荷重載荷による劣化度評価に関する実験的検討／大日本コンサルタント [正] 横山 広・石尾 真理・玉越 隆史  
CS10-020 塩害を受けたコンクリート構造物の劣化診断／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 高野 真希子・阿部 忠  
CS10-021 高速道路高架橋RC床版のパネル単位データを用いた集計的劣化予測／大阪大学 [学] 北浦 直樹・水谷 大二郎・松井 隆行

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(5) / 13:00～14:20 / 横山 和昭(西日本高速道路)

- CS10-022 普通セメントに低収縮型早強性混和材を配合したSFRC舗装による鋼床版との付着強度／日本大学 [正] 阿部 忠・一瀬 八洋・山下 雄史  
CS10-023 普通セメントに低収縮型早強性混和材を配合したSFRC材の上面補強における応力低減効果／日本大学 [学] 野口 博之・阿部 忠・川井 豊  
CS10-024 自然浸透型接着剤とエポキシ樹脂系接着剤を併用したRC床版上面補修法における補修効果の検証／鹿島道路 [正] 伊藤 清志・阿部 忠・児玉 孝喜  
CS10-025 2タイプの鋼板格子筋を用いたRC床版の下面増厚補強法における補強効果に関する研究／日本大学 [学] 及川 裕介・阿部 忠・水口 和彦  
CS10-026 沖縄自動車 明治山第二橋・第三橋の床版取替工事／川田建設 [正] 垣花 寿・西谷 朋晃・野上 朋和

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(6) / 14:40～16:00 / 北川 幸二(川田工業)

- CS10-027 超高強度材料を用いた薄型RC床版の押抜きせん断性状／エスイー [正] 野澤 忠明・濱口 祥輝・松井 繁之  
CS10-028 超高強度材料を用いた薄型 RC 床版の輪荷重走行試験／エスイー [正] 濱口 祥輝・野澤 忠明・松井 繁之  
CS10-029 リブ付きアーチフォームを適用したRC床版の劣化度および剥落防止性能評価／協立エンジ [正] 西條 龍・吉松 秀和・街道 浩  
CS10-030 道路橋床版補修に適する超緻密高強度繊維補強材料の開発／サンブリッジ [正] 三田村 浩・今井 隆・松井 繁之  
CS10-031 軽量コンクリートを用いたRC床版の疲労耐久性／横河ブリッジホールディングス [正] 春日井 俊博・岸田 政彦・副島 直史

CSの2会場(理学部本館21講義室(B218)) / 9月17日(木)

■放射性廃棄物の処分技術(1) / 9:00～10:20 / 佐藤 伸(大林組)

- CS12-001 幌延URLにおける人工バリア性能確認試験 堆積岩の掘削ズリを用いた埋め戻し材による坑道埋め戻しの検討及び施工／大成・大林・三井住友JV [正] 白瀬 光泰・丹生屋 純夫・名合 牧人  
CS12-002 幌延URLにおける人工バリア性能確認試験高流動・低アルカリプラグコンクリートの配合検討および温度応力解析・躯体温度測定結果／大成建設 [正] 本島 貴之・臼井 達哉・坂本 淳  
CS12-003 幌延深地層研究センターの立坑掘削時における力学的・水理学的影響評価／大林組 [正] 畑 浩二・丹生屋 純夫・青柳 和平  
CS12-004 低pHコンクリートの初期強度発現性／大成建設 [正] 岡本 礼子・大脇 英司・城 まゆみ  
CS12-005 孔間透水試験データを用いた地質の透水異方性の評価／原子力発電環境整備機構 [正] 吉村 公孝・國丸 貴紀・近藤 浩文  
CS12-006 高レベル放射性廃棄物処分施設の人工バリアの地震応答特性／大林組 [正] 佐藤 伸・伊藤 浩二・山本 陽一

■放射性廃棄物の処分技術(2) / 10:40～12:00 / 千々松 正和(安藤・間)

- CS12-007 観測データを用いた地下空洞型処分施設の地震挙動分析／東電設計 [正] 伊藤 喜広・田坂 嘉章・山田 淳夫  
CS12-008 ベントナイト系人工バリア切削技術の開発(その1) 一切削

- 方法の実験的検討―／大林組 [正] 森 拓雄・土井 暁  
CS12-009 ベントナイト混合土の吹付け施工における材料分離の発生要因に関する検討／安藤ハザマ [正] 千々松 正和・田嶋 宏之・永井 裕之  
CS12-010 地下空洞型処分施設における上部埋戻し材の施工確認試験(その3)―施工品質の向上検討―／安藤ハザマ [正] 荻原 績・千々松 正和・山田 淳夫  
CS12-011 地下空洞型処分施設における上部埋戻し材の施工時の品質管理に関する検討／原環センター [正] 山田 淳夫・秋山 吉弘・千々松 正和  
CS12-012 連続縦落とし式混合・加水装置を用いた粒状ベントナイト混合土の加水調整実験／前田建設工業 [正] 久慈 雅栄・秋山 吉弘・中島 昌樹

CSの2会場(理学部本館21講義室(B218)) / 9月18日(金)

■放射性廃棄物の処分技術(3) / 9:00～10:20 / 渡邊 保貴(電力中央研究所)

- CS12-013 飽和ベントナイトの膨潤・せん断挙動の弾塑性モデルによるシミュレーション／電力中央研究所 [F] 田中 幸久・渡邊 保貴  
CS12-014 Ca型ベントナイト混合土の長期状態設定における変形挙動と透水係数(その1)―せん断透水試験における長期・地震時による比較・検討―／大成建設 [正] 森川 義人・木ノ村 幸士・磯 さち恵  
CS12-015 Ca型ベントナイト混合土の長期状態設定における変形挙動と透水係数(その2)―せん断透水試験における拘束圧条件による比較・検討―／大成建設 [正] 磯 さち恵・森川 義人・木ノ村 幸士  
CS12-016 レーザースキャナによる放射性廃棄物処分施設の遮水層の非破壊密度推定／安藤ハザマ [正] 石濱 裕幸・千々松 正和・田嶋 宏之  
CS12-017 地層処分的人工バリア設計における緩衝材の圧密反力について／原子力発電環境整備機構 [正] 山本 陽一・窪田 茂  
CS12-018 微小変位制御によるベントナイトの膨潤圧試験および膨潤変形試験／電力中央研究所 [正] 渡邊 保貴・田中 幸久

■放射性廃棄物の処分技術(4) / 10:40～12:00 / 中島 均(清水建設)

- CS12-019 ベントナイトの水分保持曲線に与える温度の影響／足利工業大学 [正] 西村 友良・古閑 潤一  
CS12-020 ベントナイト混合土に使用する砂の違いが透水係数に与える影響／日本原燃 [正] 工藤 淳・庭瀬 一仁・浪岡 翔吾  
CS12-021 砂・ベントナイト混合土のための透水試験方法の選定・改良とその適用性／茨城大学 [学] 伊藤 紗由未・小峯 秀雄・関口 高志  
CS12-022 アルゴンガス溶解水を用いたベントナイトの飽和試験／大林組 [正] 志村 友行・佐藤 伸・山本 修一  
CS12-023 体積変化に伴う透水性の変化を考慮した圧密試験シミュレーションの評価／大林組 [正] 原 朗・佐藤 伸・山本 陽一  
CS12-024 カルシウム型ベントナイト難透水性材料の飽和透水係数に与える飽和方法の違いの影響／清水建設 [正] 中島 均・齋藤 亮・石井 卓

■放射性廃棄物の処分技術(5) / 13:00～14:20 / 小林 一三(鹿島建設)

- CS12-025 Kozeny-Carman則を用いたベントナイト系人工バリアの止水性能評価／鹿島建設 [正] 小林 一三・大和田 仁・林 大介  
CS12-026 TRU 廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その1)―TRU 廃棄物処分におけるガス影響シナリオに係る不確実性の検討―／原子力環境整備促進・資金管理センター [正] 古賀 和正・大和田 仁・河村 秀紀  
CS12-027 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その2)―圧縮飽和ベントナイトの低注入圧条件によるガス移行試験と特性評価―／大林組 [正] 高橋 真一・古賀 和正・大和田 仁  
CS12-028 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その3)―力学連成二相流解析によるガス移行試験の予察的検討―／大林組 [正] 鳥巢 セタ・佐藤 伸・古賀 和正  
CS12-029 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その4)―ベントナイト・砂混合材料のヒステリシス水分特性とサクション変化に伴う膨潤・収縮変形特性―／大林組 [正] 山本 修一・古賀 和正・大和田 仁  
CS12-030 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その5)―ガス移行挙動解析手法の高度化―／地圏環境テクノロジー [正] 田原 康博・佐伯 亜由美・佐藤 伸  
CS12-031 地層処分における緩衝材の再冠水挙動に関する解析的検討／西松建設 [正] 吉野 修・石山 宏二・金澤 伸一

- 放射性廃棄物の処分技術(6) / 14:40~16:00 / 小峯 秀雄(早稲田大学)
- CS12-032 除染廃棄物仮置場上部シートへの風による張力測定 / 太陽工業 [正] 石田 正利・小嶋 淳・西村 正樹
- CS12-033 焼却飛灰浸出液用ベントナイト砕石(NB工法)に関する一考察 / NB研究会 [正] 成島 誠一・遠藤 和人・氏家 伸介
- CS12-034 フレキシブルコンテナの非接触破袋技術の開発 / 清水建設 [正] 横山 勝彦・鈴木 正憲・江頭 正州
- CS12-035 光ファイバー伝送式の小型放射線検知センサーの室内試験検討 / 鹿島建設 [正] 田中 真弓・伊藤 圭二郎・瀬尾 昭治
- CS12-036 福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた技術者育成における放射線遮蔽実験の有用性 / 早稲田大学 [正] 小峯 秀雄・齋藤 祐磨・成島 誠一
- CS12-037 変形追従型放射線遮蔽材の開発 / NB研究会 [正] 齊藤 務・氏家 伸介・小峯 秀雄

CSの3会場(理学部本館22講義室(B219)) / 9月16日(水)

- 水理・水文解析のための汎用プラットフォームによる水工技術の社会実装(1) / 9:00~10:20 / 立川 康人(京都大学)
- CS6-001 江の川上流におけるCommonMPモデルの構築と活用 / 建設技術研究所 [正] 深草 新・光井 伸典・梅田 敏之
- CS6-002 CommonMPを用いた簡易洪水予測 / 東京建設コンサルタント [正] 永山 正典・藤田 唱二・太田 垣 暁
- CS6-003 九頭竜川におけるCommonMPによる洪水予測システムの構築 / ニュージェック [正] 藤田 暁・景山 健彦・藤井 正明
- CS6-004 CommonMPを活用したダムの洪水調節効果の算定について / 河川情報センター [正] 佐藤 宏明・三平 良雄・加藤 譲
- CS6-005 常呂川水系無加川における軟岩侵食を考慮した河床変動計算 / 開発工営社 [正] 濱木 道大・清家 拓哉・木下 誠一
- CS6-006 CommonMPの国外水系への適用性の検討~ベトナム カウ川を例にして~ / 中央大学 [学] NguyenXuan Doan・徐 冰潔・山田 正

- 水理・水文解析のための汎用プラットフォームによる水工技術の社会実装(2) / 10:40~12:00 / 菊森 桂幹(国土技術政策総合研究所)
- CS6-007 CommonMPと粒子フィルタを用いた実時間流出予測システムの開発 / 京都大学 [正] 立川 康人・湯浅 大樹・萬 和明
- CS6-008 CommonMPによる実用的な氾濫シミュレーション要素モデルの性能評価 / 建設技術研究所 [正] 岡峰 奈津美・米勢 嘉智・三浦 心
- CS6-009 CommonMP (64bit)による既存Fortranプログラムの利用のための実装の検討 / 国土技術政策総合研究所 [正] 菊森 桂幹・三浦 心
- CS6-010 圧密沈下計算のCommonMPへの適用 / 日立製作所 ディフェンスシステム社 [正] 川戸 渉・三城 徹也
- CS6-011 粒子フィルタと二次元不定流モデルを用いた洪水流量の推定と予測 / 京都大学 [正] 萬 和明・立川 康人・大月 友貴
- CS6-012 日本利根川上流域におけるGSMaP衛星観測雨量精度の検討と補正方法の提案 / 中央大学 [学] 劉 芮嵐・銭 潮潮・大平 一典
- CS6-013 江戸城外濠における溶存酸素濃度と水温・日射量の関係について / 中央大学 [学] 柿沼 太貴・崔 ミ芝・銭 潮潮

CSの3会場(理学部本館22講義室(B219)) / 9月17日(木)

- International session国際セッション(3) / 9:00~10:20 / 田中 賢治(京都大学)
- CS2-014 ANALYSIS OF HEAVY RAIN IN HIROSHIMA BY 3D MP-X RAIN AND DOPPLER WIND / 広島大学 [正] にゅん ちょ たんだ・Nyunt Cho Thanda・Boris Kolar
- CS2-015 Incorporation of Bias Correction and Spatial Downscaling to Reduce Uncertainty of Hydrologic Impact Projection from Climate Change At Indochina Peninsula / [学] HANITTINAN PATINYA・TACHIKAWA YASUTO・ICHIKAWA YUTAKA
- CS2-016 Climate Change impact on reservoir water availability in THAILAND / Kyoto University [学] Manee Donpapob・Manee Donpapob・Tachikawa Yasuto
- CS2-017 HEAT ISLAND SIMULATION OVER JAKARTA, INDONESIA USING CLOUD RESOLVING MODEL CONSIDERING URBAN ACTIVITIES / 山梨大学 [学] BIN MD DIN MUHAMMAD SYAHIR・Souma Kazuyoshi・Widyasamratri Hasti
- CS2-018 STUDY ON SANDBAR FORMATION AND MIGRATION IN THE SUSPENDED SEDIMENT DOMINATED BRAHMAPUTRA RIVER / PWRI [学] Biswas Robin Kumar・Biswas Robin Kumar・萬矢 敦啓

- CS2-019 Investigation of suspended sediment production by using X-ray fluorescence analysis in the Oromushi River / 北見工業大学 [正] 中山 恵介・Beitia Carlos・Nakayama Keisuke

■International session国際セッション(4) / 10:40~12:00 / 下園 武範(東京大学)

- CS2-020 ESTIMATION OF INUNDATION WATER DEPTH USING FLOOD EXTENT INFORMATION AND HYDRODYNAMIC SIMULATIONS / 山梨大学 [学] Nguyen Nhu・Ichikawa Yutaka・Ishidaira Hiroshi
- CS2-021 DYNAMICS OF TSUNAMI DRIFTED WOOD DEBRIS UPON COLLISION WITH FINITE LENGTH FOREST: A FLUME EXPERIMENT / Saitama University [学] Pasha Ghufuran Ahmed・Ogino Kazuyoshi・Tanaka Norio
- CS2-022 TURBULENCE CHARACTERISTICS AND BOUNDARY LAYER DEVELOPMENT IN ARMORED GRAVEL BED / Saitama University [学] Habib Saqib・Yoshizawa Yuta・Tanaka Norio
- CS2-023 STUDY ON EROSION OF COASTAL DIKE CONSISTS OF NON-COHESIVE FINE SAND UNDER TSUNAMI OVERFLOW / 大成建設 [正] マナワセカラ チャトラ・本田 隆英・織田 幸伸
- CS2-024 ASSESSMENT OF SEAWATER INTRUSION IN MEKONG RIVER DELTA, VIETNAM IN THE CONTEXT OF CLIMATE CHANGE / 中央大学 [学] TUNG VU DUC・山田 正

CSの3会場(理学部本館22講義室(B219)) / 9月18日(金)

- 複合構造物(1) (FRP (1)) / 9:00~10:20 / 松本 高志(北海道大学)
- CS3-001 GFRP桁を用いた歩道橋主桁の試設計および曲げ載荷試験に関する検討 / 立命館大学 [学] 大森 政和・松村 政秀・久部 修弘
- CS3-002 トラス桁形式GFRP製橋梁用検査路の上弦材および水平材の耐衝撃性能の検討 / [学] 小泉 公佑・中村 一史・古谷 嘉康
- CS3-003 トラス桁形式GFRP製橋梁用検査路の構造特性と耐荷力に関する実験的検討 / 首都大学東京 [学] 石井 佑弥・中村 一史・古谷 嘉康
- CS3-004 FRPトラス歩道橋に対する供用5年経過後の観察 / 豊橋技術科学大学 [正] 松本 幸大・吉岩 明彦・織笠 千春
- CS3-005 GFRP角型管のソケット接合に関する実験的検討 / 鉄建建設 [正] 安保 知紀・露木 寿・内藤 孝和

■複合構造物(2) (FRP (2)) / 10:40~12:00 / 中村 一史(首都大学東京)

- CS3-006 歩道橋におけるCFRP板を用いた補修工事について / 中日本建設コンサルタント [正] 加藤 幸男・森 一裕・渡邊 英
- CS3-007 鋼板をCFRP板で補強したときの端部剥離の防止に関する研究 / 明星大学 [正] 鈴木 博之・並木 宏徳・鳥山 正吾
- CS3-008 表面粗さが接着強度に与える影響に関する実験的検討 / 名古屋大学 [正] 北根 安雄・吉村 浩寿・上山 裕太
- CS3-009 微小骨材が鋼コンクリート境界面付着メカニズムに及ぼす影響の検討 / 法政大学 [正] 植田 祐司・藤山 知加子
- CS3-010 床版下面増厚補強法に用いるエポキシ樹脂接着剤とPCMの付着メカニズムと性能評価 / 日本大学 [学] 小森 篤也・阿部 忠・立石 晶洋
- CS3-011 トルク型せん断試験の供試体形状が破壊モードと試験結果に与える影響の考察 / 東北工業大学 [正] 山田 真幸・齊木 功・岩村 大地

■複合構造物(3) (複合構造一般(2)) / 13:00~14:20 / 葛西 昭(熊本大学)

- CS3-018 鋼材とPCaRC板を組合せた埋設型枠の一体性に関する検討 / ジオスター [正] 横尾 彰彦・中谷 郁夫・谷口 哲憲
- CS3-019 鋼材とPCaRC板を組合せた埋設型枠を用いたボックスカルバートの地震時挙動における解析的検討 / ジオスター [正] 西嶋 修平・中谷 郁夫・横尾 彰彦
- CS3-020 合成構造を用いた親杭横矢板式壁体の地震時挙動における解析的検討 / ジオスター [正] 齊藤 光海・中谷 郁夫・横尾 彰彦
- CS3-021 合成構造を用いた親杭横矢板式壁体の端部補強に関する実験的検討 / 横河住金ブリッジ [正] 関口 修史・竹内 大輔・中谷 郁夫
- CS3-022 鋼製セグメントボックス構造の施工実績 / 鹿島建設 [正] 橋本 勇・西嶋 宏介・三宅 恵史



# ■複合構造物 (4) (複合構造一般 (3)) / 14:40~16:00 / 平 陽兵 (鹿島建設)

- CS3-023 高温時における合成桁の軸引張力と正曲げモーメントの相関 / 川田建設 [正] 柳澤 則文・大山 理・栗田 章光
- CS3-024 定点載荷における鋼板コンクリート合成版のせん断疲労耐力 / 北海道大学 [学] 伊藤 翼・古内 仁・高橋 良輔
- CS3-025 床版取替え時のスタッド配置を変化させた合成桁の限界状態に関する検討 / 宇都宮大学 [学] 岡崎 康幸・中島 章典・溝江 慶久
- CS3-026 鋼・コンクリート二重合成I桁橋の経時挙動に関する研究 / 大阪工業大学 [学] 渡邊 涼・大山 理
- CS3-027 鋼鉄道橋における製作キャンバーの精度向上について (床版打設時、逐次合成) / トーニチコンサルタント [正] 久保 武明・藤原 良憲・小峰 翔一
- CS3-028 鋼とコンクリートの混合橋における接合部の構造検討 / 東日本旅客鉄道 [正] 高橋 泰之・吉田 一・井上 佳樹

## CSの4会場 (理学部本館23講義室 (B220)) / 9月16日 (水)

# ■International session国際セッション (1) / 9:00~10:20 / 田村 洋 (東京工業大学)

- CS2-001 ANALYSIS OF ENVIRONMENTAL EFFECTS ON A PC BOX-GIRDER BRIDGE USING LONG-TERM MONITORING DATA / 横浜国立大学 [学] 許 佳奕・西尾 真由子
- CS2-002 STATIC ANALYSIS OF CABLE-STAYED BRIDGE UNDER EFFECT OF SUDDEN CABLE RUPTURE / 早稲田大学 [学] ホアン フー・清宮 理・安 同祥
- CS2-003 MODEL UPDATING OF A STEEL TRUSS BRIDGE USING BAYESIAN PROBABILISTIC APPROACH / Saitama University [学] MUSTAFA SAMIM・Matsumoto Yasunao
- CS2-004 EFFECTS OF SOIL NONLINEARITY ON THE LATERAL IMPEDANCE FUNCTIONS OF INCLINED SINGLE PILES / 埼玉大学 [正] ゴイト チャンドラ シェーカー・齊藤 正人
- CS2-005 Experimental Study on Kinematic Response of Soil-Pile-Superstructure System / Saitama University [学] ULLAH MD SHAJIB・SAITOH MASATO
- CS2-006 DETAILED SENSITIVITY ANALYSIS OF NUMERICAL MODEL OF AN EXISTING BASE-ISOLATED BUILDING / 横浜国立大学 [学] トウラン ティ スン タン

# ■International session国際セッション (2) / 10:40~12:00 / 水谷 司 (東京大学)

- CS2-007 EFFECTS OF WATER TABLE FLUCTUATION ON THE VARIATION OF LIQUEFACTION POTENTIAL IN SEDIMENTARY DEPOSITS / 東京大学 [正] ボカレル ラマ モハン・Kiyota Takashi・Kuwano Jiro
- CS2-008 STUDY OF WIND TUBULENCE BASED ON STRONG WIND MEASUREMENT / Yokohama National University [学] HOANG TRONG LAM・Katsuchi Hiroshi・Yamada Hitoshi
- CS2-009 TOWARD A FURTHER UNDERSTANDING OF RAIN-WIND INDUCED VIBRATION THROUGH EXPERIMENTAL WORKS / 横浜国立大学 [学] VO DUY HUNG・Katsuchi Hiroshi・Yamada Hitoshi
- CS2-010 Analytical investigation for Fatigue Cracking from Weld Roots between Deck Plate and U-rib in Orthotropic Steel Decks / 九州大学 [学] 楊 沐野・貝沼 重信・井口 進
- CS2-011 Investigation on the Feasibility of Mahalanobis Distance of Modal Parameters as the Indicator for Long-term Bridge Monitoring / 京都大学 [学] 王 子然・金 哲佑・森田 知明
- CS2-012 On Increasing Accuracy of Linear Redundancy Analysis Method for Steel Truss Bridges / 長岡技術科学大学 [学] HOANG TRONG KHUYEN
- CS2-013 STRUCTURAL ANALYSIS OF PLATE GIRDER BRIDGE RESPONSE UNDER THE ASSUMPTION OF DEGRADATION SCENARIOS / 長岡技術科学大学 [学] Galicia Garcia David・宮下 剛・有馬 直秀

# ■計算力学 (4) / 13:00~14:20 / 中畑 和之 (愛媛大学)

- CS8-021 時間域多重極境界要素法を用いた移動音源による音場解析と妥当性の検討 / 中央大学 [学] 岡村 理一郎・吉川 仁・高橋 徹

- CS8-022 VR技術を用いた道路交通騒音予測システムの都市域への適用へ向けた検討 / 中央大学 [学] 石田 安理・吉町 徹・樫山 和男
- CS8-023 実験・計測・解析によるRC はりの破壊力学挙動評価に関する基礎的研究 / 茨城大学 [学] 邊見 哲一・車谷 麻緒
- CS8-024 ゴムのエネルギー吸収性能を再現するための超弾性-粘弾塑性ダメージモデル / 山梨大学 [正] 吉田 純司
- CS8-025 まくらぎの浮きを考慮したバラスト道床沈下有限要素法鉄道 / 新潟大学 [学] 相田 真人・紅露 一寛・阿部 和久
- CS8-026 波動音響解析における擬似インパルス応答解析手法の妥当性の検証 / 中央大学 [学] 吉町 徹・谷川 将規・樫山 和男

## CSの4会場 (理学部本館23講義室 (B220)) / 9月17日 (木)

# ■International session国際セッション (5) / 9:00~10:20 / 安原 英明 (愛媛大学)

- CS2-025 STATIC STRESS FIELDS IN LOOSE SAND HEAPS LOADED BY SELF WEIGHT / 京都大学 [正] ピパット ボンサー ティラボン・松下 忠己
- CS2-026 A consideration on the shear strength characteristics of unsaturated Kanto loam / 東海大学 [学] Samim Ahmad Sabour・Suzuki Satoshi・Sugiyama Motohiro
- CS2-027 STUDY ON THE EFFECT OF EQUIVALENT DIAMETER CONVERSION OF BAND-SHAPED DRAIN BASED ON A NEW MACRO ELEMENT METHOD / Nagoya University [学] Nguyen Hong Son・田代 むつみ・山田 正太郎
- CS2-028 Settlement and strength characteristics of unsaturated silty soils with different degrees of compaction / 大学 [学] Shahnoory Atta Mohammad・Sugiyama Motohiro
- CS2-029 CONIC SOIL WEDGE CHARACTERIZATION OF Laterally Loaded Piles in Medium Dense Sand Based on Active Pile Length / Institute of Industrial Science University of Tokyo [学] AGLIPAY ROXANNE・AGLIPAY ROXANNE・KONAGAI KAZUO

# ■International session国際セッション (6) / 10:40~12:00 / 瀬谷 創 (広島大学)

- CS2-030 BRAIN WAVES FOR 3D VISUALIZATIONS / 愛知工業大学 [正] 山本 義幸・中川 将太郎
- CS2-031 STUDY ON EVALUATION OF IMPACTS OF BRT INTRODUCTION ON TRAFFIC AND CO<sub>2</sub> EMISSION IN DANANG CITY, VIETNAM / 日本大学 [学] 畠山 晃穂・福田 敦・石坂 哲宏
- CS2-032 Analysis on Relationship of Estimated VSP from Coast-down Test and Fuel Consumption / 日本大学 [学] 福室 恵子・石坂 哲宏・福田 敦
- CS2-033 RELATIONSHIP BETWEEN PM<sub>2.5</sub> CONCENTRATIONS AND AOT IN NAGASAKI / [学] WANG JIANHUA・坂田 康幸・小川 進

## CSの4会場 (理学部本館23講義室 (B220)) / 9月18日 (金)

# ■複合構造物 (5) (複合構造物一般 (1)) / 9:00~10:20 / 大久保 宣人 (片山ストラテック)

- CS3-012 斜角を有する鉄骨鉄筋コンクリート桁の用心鉄筋の効果に関する解析的検討 / 前橋工科大学 [学] 小島 宏太・谷口 望・池田 学
- CS3-013 SRC部材の破壊メカニズムの検討のための基礎的検討 / 北武コンサルタント [正] 阿部 淳一・渡邊 忠朋
- CS3-014 下路鉄骨鉄筋コンクリート連続桁の経時挙動に関する一考察 / 鉄道総合技術研究所 [正] 福本 守・猪股 貴憲・池田 学
- CS3-015 長スパンGRS一体橋梁の温度変化による変形挙動に関する一考察 / 鉄道総合技術研究所 [正] 猪股 貴憲・齊藤 雅充・池田 学
- CS3-016 鋼材の拘束作用を考慮したプレベーム合成桁の乾燥収縮に関する検討 / 川田工業 [正] 藤林 博明・野呂 直樹・小川 利之
- CS3-017 プレベーム合成桁での曲げびり割れ幅算定式の誘導 / 川田テクノシステム [正] 小川 利之・野呂 直樹・藤林 博明

# ■複合構造物 (6) (ずれ止め (1)) / 10:40~12:00 / 齋藤 隆 (大林組)

- CS3-029 直接せん断試験によるスタッドの軸部せん断破壊耐力の検討 / 宇都宮大学 [学] Nguyen Minh Hai・Nguyen Minh Hai・中島 章典
- CS3-030 φ25mm頭付きスタッドが溶接された鋼板の疲労強度に関

- する検討／愛知工業大学 [正] 鈴木 森晶・仲地 健二郎・佐々木 一明
- CS3-031 軸径25mm頭付きスタッドの押抜きせん断強度／神戸大学 [正] 大谷 恭弘・栄 真堂・仲地 健二郎
- CS3-032 ハーフブレイキャストSC部材の曲げ性能に関する実験的検討／鹿島建設 [正] 平 陽兵・山野辺 慎一・内藤 英樹
- CS3-033 橋梁に用いる孔あき鋼板リブをズレ止めとした合成床版の耐荷力に関する研究／前橋工科大学 [学] 関口 翔太・藤原 良憲・水口 知樹

- 複合構造物(7) (ずれ止め(2)) / 13:00~14:20 / 溝江 慶久(川田工業)
- CS3-034 コンクリート拘束力と孔径が変化した場合の孔あき鋼板ジベルのずれ耐荷力／広島大学 [学] 實田 雅人・民家 洋輔・藤井 堅
- CS3-035 孔あき鋼板ジベルのせん断抵抗に及ぼすジベル鋼板位置の影響／宇都宮大学 [学] 大野 将季・中島 章典・Nguyen Minh Hai
- CS3-036 組合せ荷重を受けるシートパイル基礎の接合部に関する模型実験(その1:実験概要と標準ケースの結果)／鉄道総合技術研究所 [正] 西岡 英俊・中山 裕章・喜多 直之
- CS3-037 組合せ荷重を受けるシートパイル基礎の接合部に関する模型実験(その2:摩擦抵抗の検討)／新日鐵住金 [正] 妙中 真治・喜多 直之・西岡 英俊
- CS3-038 組合せ荷重を受けるシートパイル基礎の接合部に関する模型実験(その3:U型鉄筋の効果)／大林組 [正] 光森 章・西岡 英俊・田中 隆太

- 複合構造物(8) (ずれ止め(3)) / 14:40~16:00 / 牧 剛史(埼玉大学)
- CS3-039 非線形FEMを用いた風車基礎接合部におけるひずみ評価指標の検討／コムスエンジニアリング [正] 米津 薫・藤山 知加子・前島 拓
- CS3-040 接合部に作用する繰り返し荷重が風車基礎の破壊機構に与える影響／ [学] 星名 浩人・米津 薫・藤山 知加子
- CS3-041 試験体の拘束状況を考慮したアンダーカット付きあと施工アンカーボルトの性能確認試験／駒井ハルテック [正] 中本 啓介・岑山 友紀・三輪 浩二
- CS3-042 PCa-RC壁と鋼製フーチングの接合部の繰返し載荷実験／横河住金ブリッジ [正] 上條 崇・竹内 大輔・中谷 郁夫
- CS3-043 鋼製フーチングを有するPCaコンクリート壁部材の曲げ耐力に関する実験的検討／ジオスター [正] 中谷 郁夫・横尾 彰彦・齊藤 光海
- CS3-044 鋼製フーチング杭頭部の繰返し載荷実験／横河住金ブリッジ [正] 松尾 卓弥・竹内 大輔・中谷 郁夫

CSの5会場(理学部本館24講義室(A229)) / 9月16日(水)

- International session国際セッション(9) / 9:00~10:20 / Yao Luan (埼玉大学)
- CS2-043 EVALUATION OF THRESHOLD OF CRACK WIDTH BASED ON CHLORIDE INGRESS INTO CONCRETE IN RC MEMBER BY NUMERICAL SIMULATION／長岡技術科学大学 [学] Nguyen Thi Hien・下村 匠
- CS2-044 Evaluation of high temperature effect on shear bond strength between PMM and concrete by using bi-surface shear test／北海道大学 [学] 三浦 舟樹・上田 多門・張大偉
- CS2-045 FATIGUE BEHAVIOUR OF MORTAR WITH BLAST FURNACE SLAG AS FINE AGGREGATES／ [学] ファルーク モハマド アブバカル・佐藤 靖彦・綾野 克紀
- CS2-046 CFRP STRAND SHEETS STRENGTHENING ON RC BEAMS WITH VARIOUS TYPES OF ADHESIVE／九州大学 [学] BAHSUAN RIFADLI・Hino Shinichi・Komori Atsuya
- CS2-047 複数観測量に基づく車両応答型路面プロファイル推定手法の開発／東京大学 [学] 趙 博宇・高田 修太・長山 智則

- International session国際セッション(10) / 10:40~12:00 / MICHAEL HENRY (北海道大学)
- CS2-048 Study on H&V shield control during spiral section / Nagaoka University of Technology [学] ヒュイ ゴック ティ・Chen Jian・杉本 光隆
- CS2-049 Application of Building Information Modeling In Singapore MRT T207 Project／清水建設 [正] SUTHIWARAPIRAK PEERAPONG・CHUO Wei Ling
- CS2-050 Introduction of Eurocode2: Design of concrete structures / 日建設計シビル [正] 門前 敏典
- CS2-051 An analysis of challenges in international construction

projects-A practitioners' perspective / 東京大学 [学] ダニエル ハウスナー・Petr MATOUS

- インフラ維持管理役割分担と契約方式 / 13:00~14:20 / 森田 康夫 (国土技術政策総合研究所)
- CS9-001 維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)の活用／鹿島建設 [正] 山地 伸弥・森田 康夫・小澤 一雅
- CS9-002 性能規定型契約を活用した維持管理業務の効率化／八千代エンジニアリング [正] 水野 高志・山地 伸弥・森田 康夫
- CS9-003 設計者と施工者の連携を図る契約方式を活用した維持管理業務の効率化／IHIインフラシステム [正] 白石 薫・横井 宏行・森田 康夫
- CS9-004 地域維持型契約を活用した維持管理業務の効率化／建設技術研究所 [正] 横井 宏行・深澤 竜介・山地 伸弥
- CS9-005 市町村が管理する中小橋梁の維持管理(城陽市)その1〈維持管理を行うためのサポート体制〉／災害科学研究所 [正] 古市 亨・林 正一・井出 昭宣
- CS9-006 市町村が管理する中小橋梁の維持管理(城陽市)その2〈鉄道橋を転用した大河原橋の事例〉／近畿建設協会 [正] 山本 幸雄・長沢 哲夫・山本 真史
- CS9-007 市町村が管理する中小橋梁の維持管理(城陽市)その3〈仮設橋梁を本設橋梁へ転用した古川橋の事例〉／災害科学研究所 [正] 守屋 裕兄・上野 孝則・木村 亮太

CSの5会場(理学部本館24講義室(A229)) / 9月17日(木)

- International session国際セッション(7) / 9:00~10:20 / 山本 佳士(名古屋大学)
- CS2-034 EXPERIMENTAL STUDY ON CHANGES IN DYNAMIC CHARACTERISTICS OF RC STRUCTURES DUE TO CRACKS／宇都宮大学 [学] タイ ウィサル・中島 章典・Al Sehnawi Reem
- CS2-035 SEISMIC DAMAGE ANALYSIS OF RC RIGID-FRAME RAILWAY VIADUCTS USING 3D LATTICE MODEL / Hyogo Kobe Nada-ku Shinohara-Kitamachi 1-7-22 205 [学] シマン マウロ リカルド・三木 朋広
- CS2-036 EFFECTS OF BONDING PARAMETERS OF BASALT FRP BARS ON THE BEHAVIOR OF RC COLUMNS／茨城大学 [学] Kamal Doaa・Doaa Kamal・Arafa Ibrahim
- CS2-037 Study on shear resistant mechanism of RC member subjected to cyclic load／名古屋大学 [学] 付 李・中村 光・山本 佳士

- International session国際セッション(8) / 10:40~12:00 / 高橋 佑弥(東京大学)
- CS2-038 INVESTIGATION ON THE EFFECT OF WATER FLOW ON CEMENT PASTE MICROSTRUCTURE USING NON-DESTRUCTIVE INTEGRATED CT-XRD METHOD / Graduate School of Engineering, Hokkaido University [学] Kuri Jhutan Chandra・杉山 隆文
- CS2-039 Experimental Study on Upper Limit of Fly ash's Effective Replacement Ratio in Mortar / 首都大学東京 [学] 王 亮・宇治 公隆・上野 敦
- CS2-040 Experimental study on tensile behaviour of the crossing point in CFRP grid / 首都大学東京 [学] 王 博・宇治 公隆・大野 健太郎
- CS2-041 Applicability of Acoustic Emission Method to Damage Evaluation for RC Decks: A Fundamentally Experimental Verification / 京都大学 [正] 張 凱淳・Shiotatni Tomoki・Ohara Motokazu
- CS2-042 Projecting future CO<sub>2</sub> emissions in Japan based on cement consumption intensity and prefectural population change / 北海道大学 [正] Henry Michael・高橋 駿人

CSの5会場(理学部本館24講義室(A229)) / 9月18日(金)

- 土木教育一般(1) / 10:40~12:00 / 皆川 浩(東北大学)
- CS1-001 HTML5とJavaScriptを用いたWeb上で利用できるICT教育のための有限要素法アプリケーションの開発 / WebFEM研究会 [正] 野城 良祐
- CS1-002 縮尺鉄筋を用いたはり模型の製作授業 / 苫小牧工業高等専門学校 [正] 土門 寛幸・廣川 一巳・渡辺 曉史
- CS1-003 土木系学科の構造力学教育と実務者ニーズについて / 函館高専 [正] 平沢 秀之・小室 雅人・宮森 保紀
- CS1-004 防府市華浦・大道地域での防災教育を通じた防災意識の化学学校・家庭・地域社会と連携した防災教育プログラムの



- 実践と評価その3/徳山工業高等専門学校 [正] 目山 直樹・後藤 見徳
- CS1-005 RPGによる防災教育教材の開発とその効果について/和歌山工業高等専門学校 [学] 植前 成美・辻原 治
- CS1-006 VRによる避難行動の学習教材開発に関する基礎的研究/和歌山工業高等専門学校 [学] 藤井 沙耶・辻原 治・佐藤 友之
- CS1-007 「東京メトロ建設と開業の歴史」を制作して一建設パンフレットの整理保存と利活用—/東京地下鉄 [正] 平野 隆・下野 順也

#### ■土木教育一般(2) /13:00~14:20/加藤 隆(大成建設)

- CS1-008 社会基盤分野の中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト/東京工科大学・日本工学院 [正] 伊藤 武志・広瀬 幸男
- CS1-009 2014年度継続教育実施委員会活動の報告/大成建設 [F] 尾高 義夫・竹村 次朗
- CS1-010 空港工事施工管理技術者資格の継続学習に関する一考察/港湾空港総合技術センター [正] 島田 伊浩・梅沢 信敏・富沢 今朝一
- CS1-011 建設コンサルタントにおける若手土木技術者のデザイントレーニング—熟練デザイナーによるデザイン技術の継承—/オリエンタルコンサルタンツ [正] 大波 修二・杉山 達彦・杉山 和雄
- CS1-012 リモートセンシングを使用した海外での環境調査/苫小牧工業高等専門学校 [学] 梶原 碧・栗山 昌樹・小野 真嗣
- CS1-013 分岐器のメンテナンス技術の継承と知識向上に向けて/日本線路技術 [正] 水江 達也・小尾 実

#### ■土木教育一般(3) /14:40~16:00/山田 久美(東急電鉄)

- CS1-014 地域貢献活動を通じた技術者倫理の育成/岡山県立岡山工業高等学校 [正] 御船 博士
- CS1-015 画像Webサイトの構築による効果的な土木教育の提案—土木ウォッチング & Discover Doboku—/東京都市大学 [F] 吉川 弘道・高橋 優輔
- CS1-016 アクチュエータとモーションコントローラによる教材用—軸振動台の開発について—/和歌山工業高等専門学校 [正] 辻原 治・土肥 聖平・山村 猛
- CS1-017 “シビルエンジニアの仕事”の理解向上を目指す、大学への出前講座活動/鹿島建設 [正] 吉川 正・洪沢 重彦
- CS1-018 学び合いによる「水理学」教育とその効果—初学者を対象として—(その3)/北海道大学 [正] 田中 岳
- CS1-019 授業実践報告—「土木技術者倫理」におけるダイバーシティ推進—/東京工業大学 [正] 山田 菊子
- CS1-020 建設分野における女性技術者支援の変遷と今後の課題/山梨大学 [正] 岡村 美好・木村 達司・瀬尾 弘美

#### CSの6会場(理学部本館25講義室(B222)) /9月16日(水)

#### ■計算力学(1) /9:00~10:20/紅露 一寛(新潟大学)

- CS8-001 大規模津波解析用メッシュ生成システムの構築/エイト日本技術開発 [正] 大川 博史・近藤 直哉・榎山 和男
- CS8-002 多数の津波漂流物輸送と衝突防止工の効果に関する大規模並列計算/京都大学 [学] 鳥生 大祐・青木 一真・牛島 省
- CS8-003 超並列コンピュータ上における多相流体と地球化学反応の連成解析/大成建設 [正] 山本 肇・中島 研吾・Zhang Keni
- CS8-004 VOF安定化有限要素法に基づく2次元・3次元ハイブリッド津波解析モデルの構築/中央大学 [学] 凌 国明・松本 純一・榎山 和男
- CS8-005 移動境界を考慮した安定化有限要素法による津波解析/中央大学 [学] 花澤 広貴・大川 博史・榎山 和男
- CS8-006 粒子法による三次元津波遡上解析とその利活用法の検討/九州大学 [学] 江口 史門・浅井 光輝・大谷 英之
- CS8-007 火災シミュレーション構築のための低マッハ数近似の妥当性の検証/中央大学 [学] 川口 泰斗・榎山 和男

#### ■計算力学(2) /10:40~12:00/車谷 麻緒(茨城大学)

- CS8-008 NURBSによる物体形状作成と運動解析/日本大学 [学] 齋藤 良平・野村 卓史・長谷部 寛
- CS8-009 粒子法による浮遊物を考慮した津波避難ビルの安全性評価に関する基礎検討/九州大学 [学] 鍋倉 昌博・浅井 光輝
- CS8-010 2次元面外波動問題のための新しい時間領域有限要素法・境界要素法結合法の開発/群馬大学 [学] 市川 諒・斎藤 隆泰・丸山 泰蔵
- CS8-011 都市キャンピースケールにおける地表面温熱環境解析/中央大学 [学] 堀池 慎治・榎山 和男

- CS8-012 周期長の異なる複合材層の波動透過解析手法/新潟大学 [学] 寛 拓哉・阿部 和久・紅露 一寛
- CS8-013 AR技術を用いた環境流れ問題のための可視化手法の構築/中央大学 [学] 菅田 大輔・宮地 英生・榎山 和男

#### ■計算力学(3) /13:00~14:20/浅井 光輝(九州大学)

- CS8-014 VR技術を用いた3次元メッシュ修正システムの適用性向上/中央大学 [学] 今西 準紀・榎山 和男
- CS8-015 LESを用いた安定化有限要素法に基づく自由表面流れ解析の精度検証/中央大学 [学] 太田 真貴子・凌 国明・榎山 和男
- CS8-016 空気中を自由落下した球による衝撃力の評価/日本大学 [F] 野村 卓史・渡邊 光太郎
- CS8-017 Study on Identification of Wave Velocity and Density of Defect Using Particle Filter./愛媛大学 [学] アイシャビンティ ザブリ・紙田 聖也・中畑 和之
- CS8-018 有限要素法を用いた騒音伝播解析手法に関する構築研究/中央大学 [学] 中村 和寛・榎山 和男・志村 正幸
- CS8-019 周波数領域境界要素法を用いた異方性飽和多孔質弾性体の3次元波動散乱解析/東京工業大学 [正] 古川 陽・斎藤 隆泰・廣瀬 壮一
- CS8-020 3次元音響波動問題に対するCQ-FMBEMの時間方向の高速化について/東京工業大学 [学] 丸山 泰蔵・斎藤 隆泰・廣瀬 壮一

#### CSの6会場(理学部本館25講義室(B222)) /9月17日(木)

#### ■地下空間の多角的利用(1) /9:00~10:20/馬場 康之(京都大学)

- CS5-001 地下空間を考慮した庄内川の破堤氾濫による浸水解析と被害評価/中央コンサルタンツ [正] 島田 嘉樹・武田 誠・松尾 直規
- CS5-002 2013年台風18号による京都市地下鉄浸水被害に関する検討/関西大学 [正] 石垣 泰輔・川中 龍児・古屋 智秀
- CS5-003 地下浸水解析結果を援用した早期安全避難支援システムの検討/関西大学 [学] 濱口 舜・津田 信彦・石垣 泰輔
- CS5-004 地下鉄軌道を伝播する氾濫水からの避難について/オリジナル設計 [正] 寺田 光宏・宮下 真輝・石垣 泰輔
- CS5-005 大規模浸水に対する地下鉄の危険度評価の試み/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 西田 貢士郎・武田 誠・島田 嘉樹
- CS5-006 津波浸水が予想される小学校を対象とした水防災教育効果に関する検討/関西大学 [学] 米倉 翔・藤田 聖・石垣 泰輔

#### ■地下空間の多角的利用(2) /10:40~12:00/宇野 洋志城(佐藤工業)

- CS5-007 地下空間内の有効活用に役立つ人材育成のための調査事例(その2)/神戸学院大学 [F] 中山 学
- CS5-008 事業化を目指した大谷採石地下空間の価値評価の試み/宇都宮大学 [正] 清木 隆文・高橋 智信・多田 海成
- CS5-009 地下空間における無線LANを用いた測位センサネットワークによる位置管理システムの基本性能に関する実験的研究/神戸市立工業高等専門学校 [正] 小林 薫・松田 浩朗・田頭 茂明
- CS5-010 地下特殊環境下に曝されたセメント硬化体における混和材の効果に関する検討/埼玉大学 [学] 塚原 美晴・浅本 晋吾
- CS5-011 マイクロバブルCO<sub>2</sub>地中中和処理に関する大型土槽実験/大林組 [正] 鈴木 健一郎・奥澤 康一・人見 尚
- CS5-012 非定常法における水—超臨界CO<sub>2</sub>系の相対浸透率測定における逆解析解の妥当性評価/大成建設 [正] 平塚 裕介・山本 肇

#### CSの6会場(理学部本館25講義室(B222)) /9月18日(金)

#### ■新設および大規模改修時における橋梁計画(1) /9:00~10:20/小林 義弘(本州四国連絡高速道路)

- CS4-001 橋梁制震に適用する同調型慣性質量ダンパーの試設計/首都高速道路 [正] 大西 孝典・蔵治 賢太郎・滝本 和志
- CS4-002 橋梁制震に適用する同調型慣性質量ダンパーの最適化と応答低減効果の検討/清水建設 [正] 林 大輔・吉武 謙二・滝本 和志
- CS4-003 橋梁制震に適用する同調型慣性質量ダンパーの性能確認試験/清水建設 [正] 吉武 謙二・滝本 和志・林 大輔
- CS4-004 鋼橋の疲労亀裂調査の効率化に関する研究プロジェクト/関西大学 [正] 坂野 昌弘
- CS4-005 渦流探傷試験を用いた鋼橋の疲労き裂調査の効率化に関する検討(その2)/日本工業試験所 [正] 一ノ瀬 ルイザ伯子・水江 正弘・坂野 昌弘

CS4-006 横桁貫通構造の疲労損傷に対する予防保全対策効果の検討  
／関西大学〔学〕吉田 直人・坂野 昌弘・小西 日出幸

■新設および大規模改修時における橋梁計画(2)／10:40～12:00／  
一ノ瀬 伯子ルイザ(日本工業試験所)

CS4-007 φ16スレッドローリングスクリューのせん断強度／関西大  
学〔学〕奥村 淳弘・坂野 昌弘・藤永 政司

CS4-008 Uリブ鋼床版のビードき裂に対する補修方法の検討／関西  
大学〔学〕楠元 崇志・奥村 淳弘・坂野 昌弘

CS4-009 実橋計測による支承の機能評価手法の確立(その2)／川金  
コアテック〔正〕柴崎 奈穂・池田 真理子・大橋 康雄

CS4-010 複合斜張吊り橋の接合部への提案／〔F〕塩井 幸武・長谷  
川 明・工藤 浩

CS4-011 設計・施工一括発注方式の試行と検証に関する一考察／中  
日本高速技術マーケティング〔F〕上東 泰

■新設および大規模改修時における橋梁計画(3)／13:00～14:20／  
永元 直樹(三井住友建設)

CS4-012 拡幅幅が変化する中空床版橋の拡幅設計／ドュー大  
地〔正〕吉田 直弘・金田 遥・手塚 浩太

CS4-013 歩行者用吊橋(湯橋)の改修計画／エイト日本技術開発〔正〕安  
木 清史・片山 誠

CS4-014 添架歩道橋の計画／エイト日本技術開発〔正〕梶木 洋子

CS4-015 重交通路線の交差点上に構築する曲線橋の計画・設計／中  
央復建コンサルタンツ〔正〕丹羽 信弘・坪村 健二・川副  
孝行

CS4-016 側方移動した渡河橋の二期線整備に向けた橋梁計画につい  
て／ドーコン〔正〕熊谷 清貴・芳賀 重敏・阿部 要

■新設および大規模改修時における橋梁計画(4)／14:40～16:00／  
畑山 義人(ドーコン)

CS4-017 新柵の瀬橋の計画／エイト日本技術開発〔正〕古閑 徹也・  
田頭 征剛・菅野 智宏

CS4-018 現場打ちコンクリート箱桁橋の構造の合理化に関する検討  
／三井住友建設〔正〕永元 直樹・内堀 裕之・中島 大樹

CS4-019 新名神高速道路 城陽市域の高架橋景観設計について／  
ドュー大地〔F〕坂手 道明・市谷 良浩・山光 涼平

CS4-020 維持管理性向上に配慮した鉄道と交差するエクストラドー  
ズド橋の設計／西日本高速道路〔正〕福田 雅人・黒川 秀  
樹・細谷 学

CS4-021 橋梁維持管理計画における長寿命化の構造検討／エイト日  
本技術開発〔正〕廣瀬 彰則・磯邊 英二

CS4-022 道路橋の「減築」と「現状維持工事」／橋梁調査会〔正〕西  
川 和廣



This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

[illegible]



[illegible]



実績と信頼で築いてきた大学土木系教科書

# 「大学土木」シリーズ

A5判  
定価(本体2,800円+税)

- ・基礎力を着実に定着できるように、理解しやすい表現を用いて解説。
- ・用語解説の拡充によりレポート、論文等で重要用語を正しく使うことができる。
- ・論理的な思考力を鍛えられるよう、項目や説明の展開を整理して記述。



## 大学土木 道路工学 改訂3版

新刊!

稲垣竜興 編／中村俊行・  
稲垣竜興・小梁川雅 共著  
248頁 978-4-274-21787-6



## 大学土木 水理学 改訂2版

玉井信行・有田正光 共編  
浅枝 隆・有田正光・池谷 毅・  
佐藤大作・玉井信行 共著  
244頁 978-4-274-21673-2



## 大学土木 河川工学 改訂2版

玉井信行 編／浅枝 隆・  
鈴木 篤・玉井信行・西川 肇・  
安田 実・青山定敬・朝香智仁 共著  
228頁 978-4-274-21653-4



## 大学土木 土質力学 改訂2版

安田 進・山田恭央・  
片田敏行 共著  
194頁 978-4-274-21643-5



## 大学土木 水環境工学 改訂3版

松尾友矩 編  
田中修三・神子直之・  
齋藤利晃・長岡 裕 共著  
276頁 978-4-274-21525-4



## 大学土木 鉄筋コンクリート 工学 改訂3版

町田篤彦 編／町田篤彦・関 博・  
丸山武彦・檜貝 勇・齊藤成彦 共著  
244頁 978-4-274-21524-7



オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1  
TEL 03(3233)0853 FAX 03(3233)3440

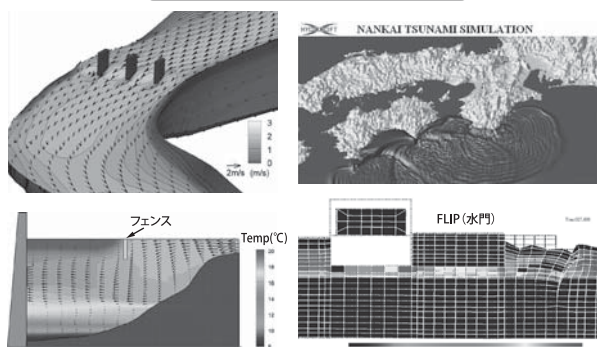
[www.ohmsha.co.jp](http://www.ohmsha.co.jp)

定価は変更になる場合があります。

## 「確かな技術で未来を創る」

河川・砂防・ダム及び海岸の各事業分野において、専門技術を生かし、建設コンサルタント業界における  
数値解析と土木システム構築・データ処理の高品質な技術サービスを提供いたします。

### 解析技術サービス



- 土砂水理解析 ●海岸水理解析 ●環境水理解析
- 氾濫・防災関連解析 ●下水道解析 ●水循環・地下水解析
- 耐震・地盤・構造解析 ●科学技術解析

### 情報技術サービス

お客様保有プログラムコードの解析・改修  
・コードの構造化・API仕様作成  
・並列化・高速化を実現

保有解析プログラム

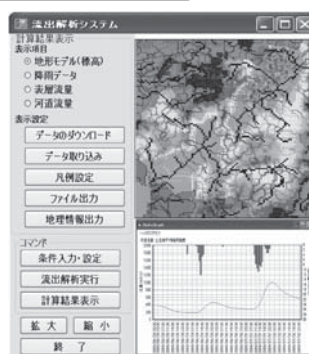
単体テストの実施

コーディング規約を利用した  
スタイルの統一

構造化プログラミングの適用

API仕様自動作成

保守・拡張・信頼性向上



- 土木・防災情報システム ●解析プログラムのGUI構築
- 解析プログラムの高度化・並列化・高速化
- ビッグデータ解析



株式会社 ハイドロソフト技術研究所

[www.hydro-soft.co.jp](http://www.hydro-soft.co.jp)

【技術に関するお問い合わせは、  
お電話・HPへお寄せください】



大阪本社

〒530-6126 大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル 26F  
TEL: 06-6479-3621 FAX: 06-6479-3622

東京支社

〒105-6031 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー 31F  
TEL: 03-6721-5507 FAX: 03-6721-5506



“建設の安全”と“省力化”のお役に立つ、建設用副資材専門メーカーです。Epoch - Making New Type

無溶接による鉄筋結束金具  
場所打ち杭／鉄筋組立用

# ゼスロック®

PAT.P

ゼスロックとは、鉄筋組立の“点溶接”に代わって、鉄筋をねじで組立結合する“無溶接（ゼロ溶接）”鉄筋結合金具のことです。

|        |                  |  |
|--------|------------------|--|
| ねじ山の比較 | ゼスナーねじ<br>(円形ねじ) |  |
|        | メートルねじ           |  |

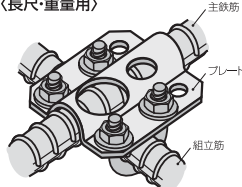


NETIS登録番号  
KT-120088-VE

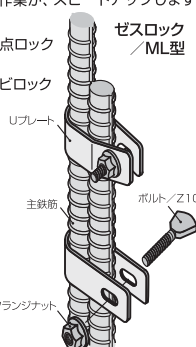
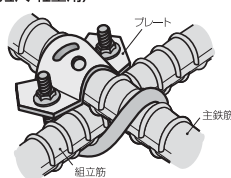
## 特長

- ゼスロックのゼスナーねじ(ゼン技研製品)は、ねじ山が大きく円形なので、ねじ組立ての作業が、スピードアップします。
- ゼスナーねじの締付け力は、トルク管理を提案します。
- 主鉄筋と組立筋の結合金具は、・長尺・重量用の、4点ロック(US型)、・短尺・軽量用には、2点ロック(UL型)があり、各々の使い分けを提案します。
- 主鉄筋の重ね継手の結合金具(ML)は、上下鉄筋かこの重量を安全に支えるハチ巻きクサビロック(ねじ結合)です。

ゼスロック／US型(4点ロック)  
〈長尺・重量用〉



ゼスロック／UL型(2点ロック)  
〈短尺・軽量用〉



## 建設の安全と省力化・必ず役立つ 建設用副資材・金具

- プロテックPコン 塩害防止コーン・インサート
- プロテックPコンシリーズ MCコン・ZCコン
- テンパー コンクリート床板の天端出し表示具
- 吊りカーン つりだな足場のつりチェーン用アンカー金具
- RCT-107 コンクリート専用壁つなぎ金具のアンカー

全国多数実績有

## 建設の安全と省力にアタック ゼン技研株式会社

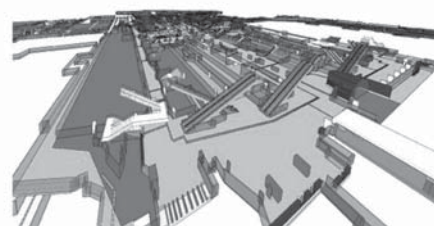
本社 〒818-0105 太宰府市都府楼南5-16-13  
TEL (092)925-8161 FAX (092)925-3449  
URL <http://www.zen-g.co.jp/>  
東京営業所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1-601  
TEL (03)5352-6185 FAX (03)5352-6810

## 調査・計画・設計・施工事業分野



鉄道総合コンサルタントとして  
高い品質で鉄道分野での業務革新、技術革新に貢献し、  
あらゆる分野で新たな可能性へ挑戦してまいります。

## ICT事業分野



## メンテナンス・防災事業分野



ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社  
JR East Consultants Company

〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号メトロポリタンプラザ 8F  
TEL 03-5396-7254 FAX 03-5949-2792

# 自然との調和



私たちは先進技術で  
自然と調和し美しい地球を創ることに貢献します



AsunaroAoki

## 青木あすなろ建設株式会社

代表取締役社長 上野 康 信

〒108-0014 東京都港区芝 4-8-2 TEL 03-5419-1011 (代表)

URL <http://www.aaconst.co.jp>

## 沿岸域の環境創造

五洋建設が培ってきた海洋土木技術は、  
多岐にわたる沿岸域の再生と創造を可能にします



東京都文京区後楽2-2-8  
[www.penta-ocean.co.jp](http://www.penta-ocean.co.jp)



## ① 長期供給と長期保守

2002年からPCIバス搭載FAコントローラを販売しており、これまでシリーズ発売開始から10年継続生産してきました。  
これからも同じCPU、OS、ユニット、インタフェースモジュールを長期に渡って供給していきます。  
また、保守は最長8年間の延長契約ができるため、出荷から最長15年間の修理対応が受けられます。  
トータルコストを考えると、パソコンからの置き換えに最適です。

## ④ パソコンにない付加価値

FAコントローラと名乗っていますが、中身はパソコンです。但し、パソコンとの違いは、部品選定から工業用部品を採用することで、信頼性と長期供給を実現しております。また、電源ブチ切り、RAID、瞬時電圧低下対策装置等、FA分野に必要な機能に特化したモデルも用意しております。

## ② 安心の互換性

10年継続生産を続けながらも、互換性をもった後継機種を定期的に発売しており、現在11種類のシリーズ展開をしてきました。  
後継機種は、ハードウェア、ソフトウェアの互換性があるため、どのタイミングでも安心して移行できます。

## ⑤ PCIバスの継続 PCI Expressの拡充

PCIバス用インタフェースモジュールは、1997年の発売から約300種類を販売してきました。  
まだまだ継続販売を致しますので、長期安心FAコントローラと一緒にPCIの資産をご利用ください。

PCIバス用インタフェースモジュールとハードウェア、ソフトウェア互換を持ったPCI Express用インタフェースモジュールを52種類リリース予定。

長期安心FAコントローラもPCI Expressとの混載モデルやPCI Express専用モデルも用意しており、PCI Expressへの移行も容易にできます。

Interface **日本**  
Made in Japan

## ③ 幅広いOSラインナップ

各種Windows系OSを用意しており、Windows 10 IoTの対応も予定しております。  
Linuxについては2002年から自社ボーディングを行っており、安定供給を実現しています。  
また、DOSやWindows XP Proも継続販売中です。

## ⑥ 高いメンテナンス性

カレンダー時計は10年保持ができる電池を採用。メディア(HDD、CF、CFast)や筐体FANは簡単に交換ができ、ネジ4本で筐体カバーも簡単に開閉できます。

# 長期安心FAコントローラ

CPU + OS + ユニット + インタフェースモジュール = Interface のオールインワンソリューション

インタフェースモジュール  
※ インタフェースモジュールは別売です。

ユニット: PCI 7スロット

CPU: Celeron 807UE 1.0GHz

OS: Windows 7 Professional

HDD×2 RAID対応モデル

型式: PFA-R07CC10U(W7)R12

CPU: Celeron 807UE 1.0GHz

メモリ: 2GB

起動デバイス: HDD 500GB×2

OS: Windows 7 Professional

画面出力: DVI×1

LAN: 1Gb×2ポート

USB: 5ポート(前面1 / 背面4)

RS-232C: 1ポート

PS/2: 1ポート

拡張スロット: 7スロット(PCI)

入力電源: AC 100V-240V(50Hz / 60Hz)

※ ただし、ACケーブルはAC100V用を添付

電源容量: 220W(MAX)

筐体FAN: あり

動作温度: 0℃~+50℃(HDD部は+5℃~+50℃)

外形寸法: 304(W)×285(D)×155(H) [mm]

(突起部含まず)

省スペース  
PCI 1スロット  
カスタマイズ

PCI 2スロット  
カスタマイズ

PCI 4スロット

多スロット  
PCI 7スロット

PCI 13スロット(19インチラック対応)

PCI 9スロット(19インチラック対応)

スロットイン電源  
+ 瞬時電圧低下対策装置

型式説明: PFA - C 04 C717 S (W7)

① 拡張バス

PFA: PCIバス  
PHA: PCIバス & PCI Express  
PXA: PCI Express

② 起動メディア

C: HDD  
D: CF  
F: CFast  
R: HDD×2

③ スロット数

01: 1スロット  
02: 2スロット  
04: 4スロット  
07: 7スロット  
09: 9スロット  
13: 13スロット

④ CPUタイプ / ディスプレイ

NM17: Atom N450 / RGB  
NM19: Atom N2800 / DVH  
C524: Core i5 520E / RGB  
C726: Core i7 610E / RGB  
C711: Core i7 620UE / RGB  
C717: Core i7 3517UE / DVH  
CC10: Celeron 807UE / DVH

⑤ 電源 / 筐体

| 省スペース               | 多スロット                            |
|---------------------|----------------------------------|
| J: DC電源入力 / フルサイズ   | T: ATX電源220W / フルサイズ             |
| K: DC電源入力 / ショートサイズ | U: ATX電源220W / ショートサイズ           |
| S: ACアダプタ / ショートサイズ | W: ATX電源400W / フルサイズ             |
| なし ACアダプタ / フルサイズ   | V: ATX電源400W / ショートサイズ           |
|                     | C: スロットイン電源+瞬時電圧低下対策装置 / フルサイズ   |
|                     | D: スロットイン電源+瞬時電圧低下対策装置 / ショートサイズ |

⑥ OS

W7: Windows 7 Professional  
S7: Windows Embedded Standard 7  
S: Windows Embedded Standard 2009  
L: Interface Linux System  
L6: Interface Linux System 6  
J: Interface DOS System(日本環境モデル)  
N: Interface DOS System(ネットワークモデル)

カスタマイズ対応できます

■ メモリ容量変更や64bitOS、OSレス、FANレス、フレーム形状、お客様ロゴ対応等、ご相談ください。  
■ 32bit種類のPCIインタフェースモジュールからセレクトして、組み込んだ状態でお届けできます。  
■ オリジナルのインタフェースモジュールの開発を行っており、ODMにも対応できます。  
■ より省スペースな1、2スロットタイプへカスタマイズできます。

有償サービス

下記の有償サービスを行っております。  
■ 弊社PCIインタフェースモジュールの弊社FAコンピュータでの動作検証  
■ 弊社パソコンでの弊社PCIインタフェースモジュールの動作検証

※ 組み合わせできる型式全てが製品化されているわけではありません。

Interface®  
Vision & Freedom  
株式会社 インタフェース

詳しくはwebsiteまで [www.interface.co.jp](http://www.interface.co.jp)  
カスタマーサポートセンター

TEL: 050-3032-9900 URL: [www.interface.co.jp](http://www.interface.co.jp)  
FAX: 050-3032-9901 E-mail: [support@interface.co.jp](mailto:support@interface.co.jp)

製品の仕様、デザイン、価格については、予告なく変更する場合があります。本広告に記載した会社名、商品名は、各会社の商標または登録商標です。

# マスコンクリートの3次元温度応力解析専用プログラム

目地検討も

らくらく  
温度応力

# ASTEAMACS

Ver.8

最強バージョンアップ V8 新規リリース



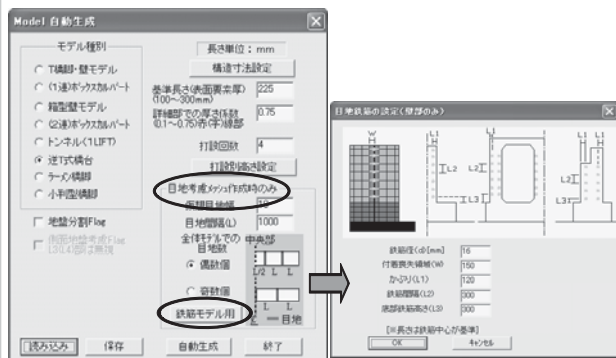
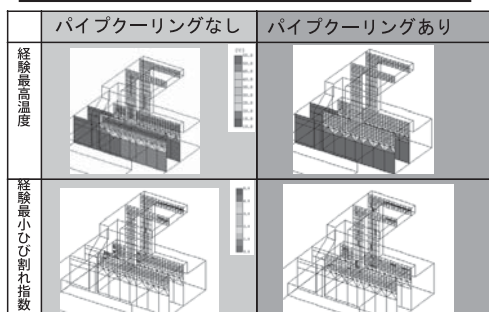
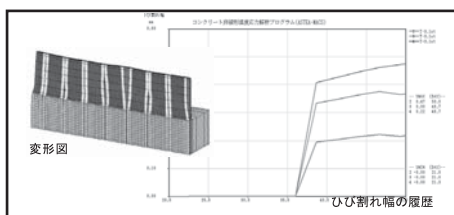
## MACS スタンダード版

土木学会RC標準示方書 2012

JCIひび割れ制御指針2008

建築学会マスコン指針に準拠

マスコンクリートの温度応力検討専用開発されたシステムで、土木学会標準示方書・建築学会マスコン指針に準拠しています。コンクリート打設に伴う境界条件の変化や水和発熱・養生条件などを考慮した3次元非定常熱伝導計算と強度発現を伴う温度応力計算を一貫して行なうことが出来ます。プリ・ポスト機能を重視し、標準データベースのデフォルト設定など解析初心者にも優しい設計となっております。自動メッシュ機能と条件自動設定のできる定形パターン8タイプが自動作成できます。(CS 機能完全内蔵)

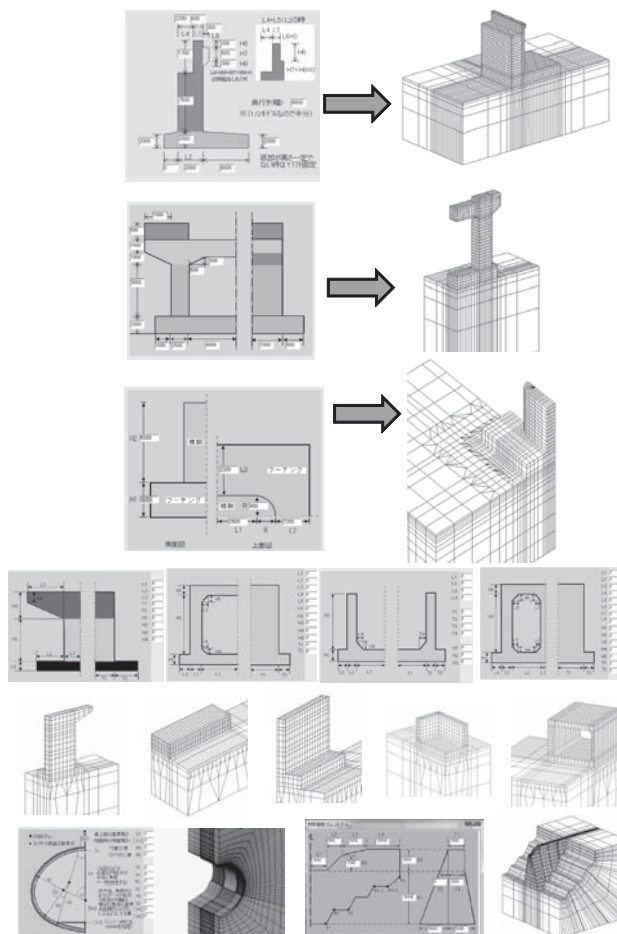


現場向けオートメッシュ搭載MACS

## MACS CS Construction Site

現場の技術者が手軽に温度応力評価ができます。スタンダード版との互換性があるので、更に詳細な検討につなぐことが可能です。解析対象構造を限定し、主要な機能のみのコンパクト版です。メッシュ、物性データ、境界条件の自動設定により、作業時間を大幅に短縮できます。

サイズを入力すると自動的にメッシュが完成します。



| ASTEAMACS for Windows スタンダード版 |           |           | MACS-CS  |
|-------------------------------|-----------|-----------|----------|
| 年間ライセンス                       | 3ヶ月ライセンス  | 1ヶ月ライセンス  | 年間ライセンス  |
| 400,000円～                     | 250,000円～ | 180,000円～ | 300,000円 |

上記はすべてサポート込の価格です。



# 学会 on the WEB

## ■オンラインソリューション例

第64回年次学術講演会 講演申込 (平成21年度)  
《講演者人数11/100名》

講演申込は、下の会員番号(半角4桁)・生年月日(半角8桁)を入力し、「次へ」ボタンを押してください。  
生年月日の入力例: 1970年3月1日生まれの方: 19700301 と入力して下さい。  
西暦でお願ひします。

《会員を識別されている方はログインできません》

| 講演申込                              |        |
|-----------------------------------|--------|
| 3/2(月) 12:00~4/1(金) 17:00         |        |
| 会員番号                              | (半角4桁) |
| 生年月日                              | (半角8桁) |
| <input type="button" value="次へ"/> |        |

一瞬保存された方はこちらから  
ログイン番号: (半角10桁)

学術研究機関をオンラインシステムでサポートします。

秋田活版印刷株式会社では、土木学会をはじめ各学会・研究機関の論文集・講演集の編集印刷製本はもとより、オンライン投稿システム・査読システム等の提供により、研究者の時間というコスト、事務局の経費というコストの削減をお手伝いするとともに、リアルタイムでの管理システムを実現します。

セキュアな環境で提供するオンラインシステムは、投稿の負担軽減、管理の効率化はもちろんのこと、デジタルデータ収集により学会誌・論文集・講演集・予稿集等の刊行物やCD-ROM・DVD・WEBコンテンツと幅広い活用が出来ます。

URL <http://www.kappan.co.jp/>  
**Kappan**  
E-mail [info@kappan.co.jp](mailto:info@kappan.co.jp)

■運用実績・事例はお問い合わせください

**秋田活版印刷株式会社**

〒011-0901 秋田県秋田市寺内三千判110-1  
TEL 018-888-3500 FAX 018-888-3505





安藤ハザマ



熊谷組



佐藤工業



鉄建



飛島建設



西松建設



前田建設



# 時をつくる　　ところで創る

子どもたちが大人になっていくように、  
街も健やかに育っていくと、  
そこで暮らすみんなに幸せが広がります。

わたしたち大林組は、  
親が子どもたちに愛情を注ぐように、  
ところを込めて、建物や街をつくっています。

みんなの未来を、夢のある時間で満たすために。



# 想像を、チカラに。



フランス人の小説家、ジュール・ヴェルヌが残したという言葉があります。「人が想像できることは、必ず人が実現できる」

100年以上も前に彼が空想したロケットや携帯電話が、世界の常識になっている今日。私たちは、「想像」の可能性を否定することはできません。いま、私たちが建設するひとつひとつが、地球の上でどんな存在なのか問われる時代。これから築かなければいけないのは、人と地球のいい関係です。100年先、200年先、ずっと先の未来まで。私たちは、想像します。たとえいま困難に思えることでも、やがて世界の常識になる日が来るために。

人が想像できることは、必ず人が実現できる。鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社

**in 鹿島**





# 夢から未来を始めよう。

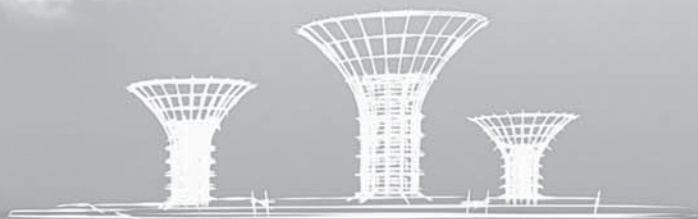
世界をより快適に

安心して暮らせる場所にしたい。

そんな願いを一つひとつの技術に込めて

私たちは“自然と共に生きる”未来を

提案し続けています。



子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION

清水建設



## 環境アイランド GREEN FLOAT

それは、太平洋に浮かぶ海上都市。

太陽光、風、水といった大自然の力と最新のテクノロジーを融合させることで、エネルギーや食糧は自給自足、CO<sub>2</sub>ゼロを超えたカーボンマイナスを実現。

快適な暮らしと、人と生物との持続的な共生を実現した「植物質な都市」です。

シミズ・ドリーム

検索



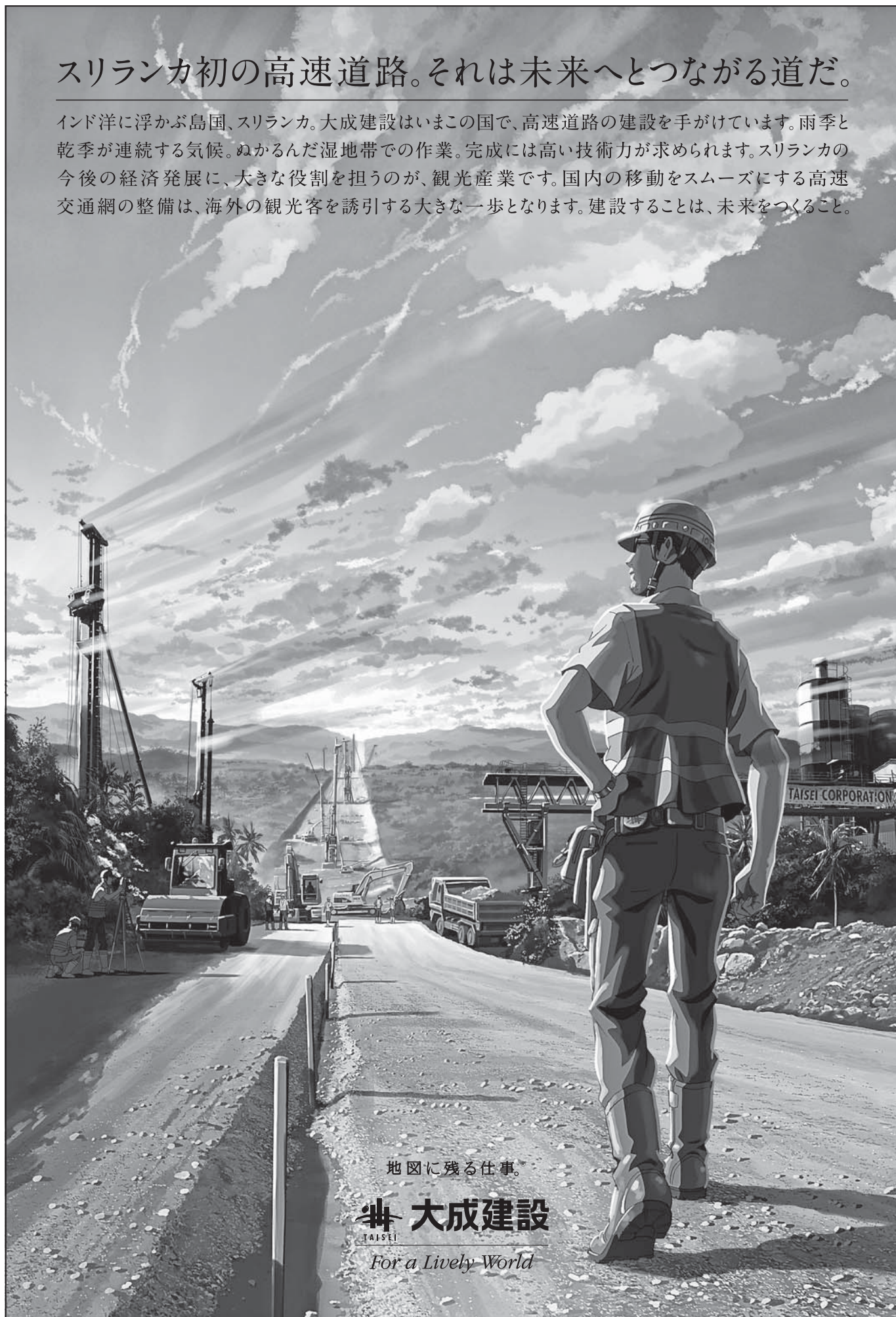
# スリランカ初の高速道路。それは未来へとつながる道だ。

インド洋に浮かぶ島国、スリランカ。大成建設はいまこの国で、高速道路の建設を手がけています。雨季と乾季が連続する気候。ぬかるんだ湿地帯での作業。完成には高い技術力が求められます。スリランカの今後の経済発展に、大きな役割を担うのが、観光産業です。国内の移動をスムーズにする高速交通網の整備は、海外の観光客を誘引する大きな一歩となります。建設することは、未来をつくること。

地図に残る仕事。

**大成建設**  
TAISEI

*For a Lively World*







免震装置（積層ゴム支承）

大地の揺れを、柔らかく抱きとめる技術——「免震」

建物の揺れを少なくして、人の命や財産を守りたい。  
私たちは、今後とも免震建築に積極的に関わり、  
業界をリードしていきます。

私たちは「免震の竹中」です。

想いをかたちに 未来へつなぐ

# 価値ある環境を未来に

当社は、2015年6月に創立60周年を迎えました



太田川大橋  
平成26年度 田中賞(作品部門)受賞



**株式会社 エイト日本技術開発**

<http://www.ejec.ej-hds.co.jp>

本店 〒700-8617 岡山市北区津島京町 3-1-21  
TEL.086-252-8917 FAX.086-252-7509

本社 〒164-8601 東京都中野区本町 5-33-11  
TEL.03-5341-5111 FAX.03-5385-8500



伊良部大橋  
平成26年度 田中賞(作品部門)受賞



Design for Next Age

# 次代への構想

建設コンサルタントに求められるもの。

その変化をとらえて、次の世代、次の時代に受け入れられる

社会資本整備に貢献していきます。



株式会社 東京建設コンサルタント  
TOKEN C. E. E. Consultants Co., Ltd.

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-15-6 TEL.(03)5980-2633 FAX.(03)5980-2601

<http://www.tokencon.co.jp/>

支社・支店：東京本社、関西本社、東北支社、北陸支社、中部支社、中国支社、四国支社、九州支社、北海道支店

## 事業内容

河川計画、河川構造物、河川環境、水質保全、上下水道、道路、橋梁、交通、海岸、ダム、砂防、港湾、環境アセスメント、観測技術、模型実験、都市・地域計画、事業執行マネジメント、防災、LCM、機械電気設備技術、情報通信技術、測量・地質調査、施工管理、建築設計



# 歴史を繋ぐ。

苦難の歴史を乗り越えてきた余部鉄橋。鉄橋は展望施設「空の駅」として生まれ変わり、次の100年へ。

私たちは、「後世に歴史をつなぐ」責任を担う一員として、技術的・社会的な価値をもつ遺産の保存・利活用にこれからも挑み続けてまいります。



株式会社  
オリエンタルコンサルタンツ

URL <http://www.oriconsul.com>

本社 / 東京都渋谷区本町三丁目12番1号 住友不動産西新宿ビル6号館  
支店 / 北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄





# 株式会社 大應は創業51年目を迎えます。

- パンフレット・ポスター・会社案内・学会誌・協会誌・記念誌・季刊誌・各種冊子
- アンケート印刷・集計・封入/封緘・発送業務



エコ用紙、大豆インク、そして廃材廃液を出さない、環境に配慮した最新のシステムで質と価格にこだわり提供しています。

最新のカラー印刷システムを駆使し、**工期の短縮・高品質かつ正確で完璧な仕上がり、低価格のカラー印刷を実現し、一層のコスト削減**にむけてサービスを展開しております。

グラフィックデザイナーと印刷オペレータが直接言葉を交わせる環境が大切です。制作部門と印刷を併設する私達は魅力的な発色にこだわっています。

その他、**高速オンデマンド印刷**で素早く安価に提供しております。是非一度お試し下さいますようお願い申し上げます。



最先端のデジタルテクノロジー

株式会社 **大 應**

本社 神田事業部

〒101-0047 東京都千代田区神田1-7-5

Tel 03(3292)1488 Fax 03(3292)1485

<http://www.dai-oh.co.jp>

OFF  
SET  
オフセット印刷

Design  
グラフィックデザイン

オンデマンド印刷  
ON-DEMAND

イベント・セミナー  
関連印刷  
Seminar

カラー総合技術印刷・情報処理・編集加工・Web制作

横浜事業部

〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡1-2 高島台第2ビル 6-F号  
Tel 045 (320) 2081 (代表) Fax 03(3292)1485

新宿営業所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-1-7 三晃ビル4階  
Tel 03(3375)6320

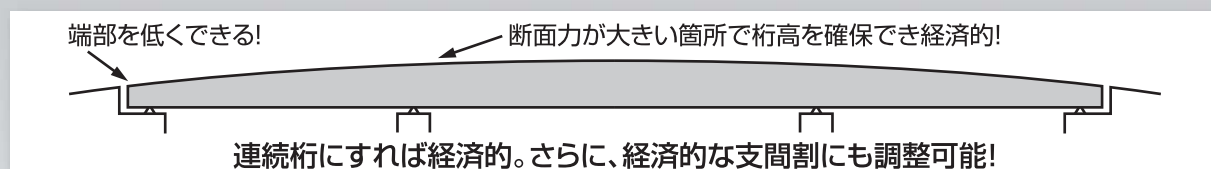


# 桁高変化が得意なプレビーム桁橋

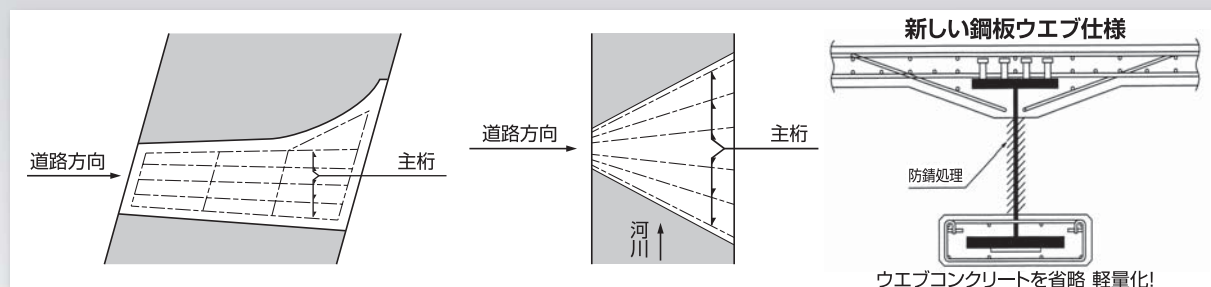


● 桁剛性が高く、低い桁高が可能! ● 分割工法、連続桁が可能!

● 道路縦断に合わせ、必要な桁高に変化が可能!



● 他形式では困難とされる道路線形に対応可能!



● 鋼板ウェブ仕様で、死荷重低減・コストダウンが可能!

● 45年以上・950橋以上の実績があり、信頼される橋梁!

プレビーム工法  
1,000件突破

「カタログ」「設計・施工指針」「標準設計集」「設計・製作・施工要領書」の  
図書販売、無料の設計計算プログラム、橋梁の実績等をホームページで公開中!

<http://www.prebeam.jp>

## プレビーム振興会

事務局 〒114-0023 東京都北区滝野川 1-3-11 TEL(03)3915-5394

東北支部 〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-6-35 TEL(022)266-8887  
中部支部 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-4-1 TEL(052)223-8211  
北陸支部 〒939-1593 富山県南砺市苗島 4610 TEL(0763)22-6669  
関西支部 〒550-0014 大阪市西区北堀江 1-22-19 TEL(06)6532-4174  
九州支部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-19 TEL(092)431-7345

### プレビーム振興会会員

- (株)IHIインフラ建設
- (株)安部日鋼工業
- 川田建設(株)
- 川田工業(株)
- 極東興和(株)
- コーアツ工業(株)
- 昭和コンクリート工業(株)
- ドーピー建設工業(株)

- 日本高压コンクリート(株)
- (株)日本ビーエス
- (株)ビーエス三菱
- (株)富士ビー・エス

### 賛助会員

- 協立エンジ(株)
- (株)駒井ハルテック
- (株)メタルワン建材





美しく、  
快適な  
地球環境づくりに  
邁進する

Environment and new energy  
環境・新エネルギー

小水力・地熱発電等のクリーンエネルギー  
事業の展開  
東南アジア諸国の地元企業と連携した  
生活環境改善を目指すエコ事業の展開

Healthcare, welfare, construction  
医療・福祉・建築

ITS 技術を駆使したデマンドバス  
事業など医療・福祉と連携した地域  
交通システムの整備  
地域の交流と発展に寄与する新たな  
建築設計

Improvement of country foundation  
国土基盤整備

国土強靱化施策に対応する安全・安心で  
豊かさを実感できる国土づくりを目指して  
「技術の長大」の復活と発展  
世界に誇る長大橋梁技術のさらなる  
国外発展

人・夢・技術

株式会社 長大

[www.chodai.co.jp](http://www.chodai.co.jp)

# 持続型社会の基盤整備に貢献



会 長 則久 芳行

副 会 長 杉本 武司

副 会 長 菅野 昇孝

専務理事 上野 進一郎



一般社団法人

**プレストレスト・コンクリート建設業協会** [略称]  
JAPAN PRESTRESSED CONCRETE CONTRACTORS ASSOCIATION **PC建協**

〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4番6号 第3都ビル

TEL.03-3260-2535 FAX.03-3260-2518

<http://www.pcken.or.jp/>



SE CORPORATION

# For a high-quality social infrastructure

SEEE工法を主力とするエスイーは、土木技術を高性能化するコア・テクノロジーを柱に、高架橋や斜張橋などの社会インフラ事業分野で建設コストの削減、工期の短縮、施工性向上などを実現するとともに、国際競争力を持つトータルエンジニアリングメーカーとして新製品・新技術の開発を行い、高品質を保証した製品、ニーズに応えたソリューションを国際競争の視点で提案しています。



● 矢部川大橋 平成21年3月14日開通



● 鷹島肥前大橋 平成21年4月18日開通



● 太田川大橋 平成26年3月23日開通



● 余部橋梁 平成22年8月12日開通

**SEC 株式会社 エスイー**

URL <http://www.se-corp.com>

本社 〒163-1343 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号(新宿アイランドタワー 43F) TEL.03-3340-5500

東京支店 TEL.03-3340-1801  
東北支店 TEL.022-792-0450  
四国営業所 TEL.087-826-0481  
山口工場 TEL.083-989-6666

大阪支店 TEL.06-6245-0921  
名古屋支店 TEL.052-229-0311  
北陸営業所 TEL.025-285-7581

九州支店 TEL.092-473-0191  
中国営業所 TEL.082-568-9891  
北海道営業所 TEL.011-717-5811

● エスイーグループ会社 株式会社 アンジェロセック / エスイー A & K 株式会社 / エスイーリペア 株式会社 / 株式会社 ランドプラン / エスイー鉄建 株式会社

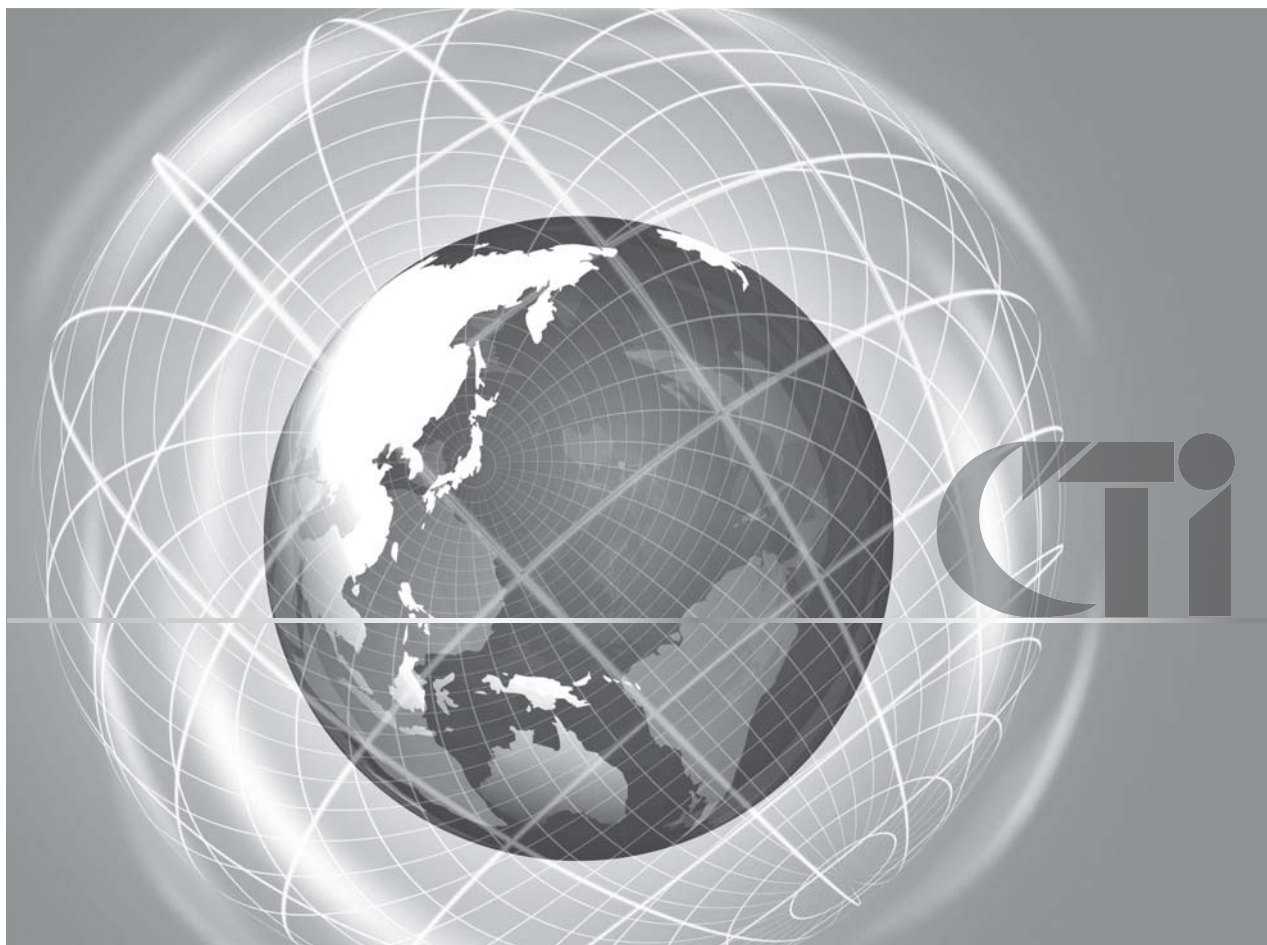
● 海外関連企業 フランス INGEROP / 韓国 KOREA SEC / 台湾 九春工業公司 / ベトナム V-JEC /



環境認証範囲は山口工場と本社部門



世界に誇れる技術と英知で  
安全で潤いのある  
豊かな社会づくりに挑戦する



信頼と技術で  
心をつなぐ環境づくり

**CTi** 株式会社 **建設技術研究所**

本社 〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1 (日本橋浜町 F タワー)

TEL : 03-3668-0451 (大代表)

E-mail : [koho@ctie.co.jp](mailto:koho@ctie.co.jp) <http://www.ctie.co.jp/>



社会を、もっと美しく  
カタチづくるために



We add value for a bright future.

---

 パシフィックコンサルタンツ株式会社

---

[www.pacific.co.jp](http://www.pacific.co.jp)